









大正十二年 (紀元二五八三年)

【一月】

一日 (月)

◇矯正院設置

政府は本日矯正院を設置し、四日同院教官太田秀穂を多摩少年院長に、同小川惇蔵を浪速少年院長に任命、同時に東京と大阪に少年審判所を設けた

◇山東鐵道の引續式舉行

山東鐵道引續式は山東鐵道本部會議室樓上に於て舉行され、支那側代表顧德惠、王正廷、魯道、勞之常外二十三名、日本側は委員長代理大村卓一、入澤總務部長外十四名出席し、大村委員長挨拶を述べ、勞之常は鐵道受取の辭を述べ我國によつて二十餘年間經營された二百四十哩の山東鐵道は完全に支那側に引渡された

◇日支郵便約定外四件の勅令公布

外務省告示を以て日支郵便約定外四件が公布され、同時にこれに關聯して逓信省官制中改正の件、在外郵便局職員手當給與規則改正

の件、明治三十八年勅令第六十六號郵便貯金利子割合の件中改正の件が勅令を以て公布された。なほ逓信省令を以て郵便規則、外國郵便規則、外國郵便爲替規則中改正を公布、即日實施した。日支郵便約定によつて明治九年以來支那にある數十の日本郵便局は、滿鐵の沿線にあるものを除き全部十一年末限り廢止し支那郵便局が代つて日本發着の郵便物を取扱ふことゝなつた

◇和蘭の印刷職工同盟罷業

和蘭の印刷工場主協會は印刷職工の勞銀引下を實施したためヘーグ及びハーレルウエムの諸新聞社職工は同盟罷業を決定した

四日 (木)

◇日本最初の無線電信局竣工

工費十八萬圓を以て逓信省が大阪府下東成郡平野郷に建設中の日本最初の無線電信局は竣工を告げ、二月一日開局と決定した。五千哩を距てる中欧諸國、主として佛蘭西からの通信を同局が受信し、大阪中央電信局に打電して各方面に送信される

◇大分銀行の休業繼續

休業中の同行は帳簿整理を理由とし本日から更に三週間休業をなす旨發表した

◇巴里の聯合國首相會議決議案

巴里の聯合國首相會議はボナー・ローの提出した英國案とポアンカレの提出した佛國の對案との間に非常な懸隔あり、英國が獨逸に對する賠償金支拂を四ヶ年間猶豫するとの案に對し佛國は保障がなければ延期は出來ぬと主張したため遂に決裂するに至つた。このため紙育市場に於ける諸株は一齊に低落した

五日 (金)

◇張紹曾内閣成立

黎元洪の大總統令を以て張紹曾の内閣は本日左の如く任命され成立した

六日 (土)

◇倉敷紡績、岡山染織整理を合併

資本金一千五百萬圓の倉敷紡績會社は岡山染織整理會社を合併、二百二十萬圓を増資して資本金一千七百二十萬圓となつた

七日 (日)

◇トルコ代表、聯合國の提案を拒絶

ローザンヌ會議に於て、土耳其代表は少數民族問題及び治外法權に關する聯合國側提案



を拒絶した

◇日露經濟提携代表團六出發  
民間の事業家から日露經濟提携の代表者と  
して選ばれた日魯漁業社長堤清六は、浦鹽と  
チタに於て日露經濟提携に關しロシア代表と  
折衝するため同社の漁撈組合長中村精一、同  
理事秋元義親と共に東京驛を出發した  
八日(月)

◇農商務省、内地米三十五萬石買入發表  
農商務省食糧局は大正十一年の産米三十五  
萬石を東京、大阪、神戸に於て買入れること  
に決定し、十五日から十九日迄に申込を受付  
け、二月十五日までに受渡しをなすべき旨本  
日の官報を以て告示した

◇日本讀書銀行に違背處分  
破綻休業中なる同行の預金者瀧川朝外十三  
名(預金總額七千六百九十二圓八十九錢二厘)  
の支拂請求代理人寺尾辯護士は同行に執達吏  
を差向け金庫在中の税金三千圓と有價證券全  
部の差押處分をなした。十日同行頭取高倉爲  
三は行金一千六百萬圓を横領費消した嫌疑に  
より大阪市若松町の刑務支所に收監された

◇海軍大將野島村建雄死去  
本日午前九時三十分東京府下上目黒の自邸

で死去した。享年六十五。同大將は明治七年  
海軍大學校長となり、大正三年海軍教育本部  
長に補せられ同四年海軍大將に進み、同五年  
男爵を授けられ、死去の趣き天聽に達するや  
元帥府に列せられた  
九日(火)

◇印度、金爲替本位制を復活  
印度政府は大正九年輸出貿易が極度に沈衰  
したため同年九月二十九日限り金爲替本位制  
を中止したが、本日から同制度を復活し毎週  
五百萬留比を限り何人にもカウンスル・ビル  
を賣出すことに決定した  
十日(水)

◇五分利國庫債券一千萬圓發行  
政府は鐵道建設改良費の財源に充當するた  
め五分利國庫債券(も號)一千萬圓を左の條  
件で發行する旨本日の官報を以て告示した  
▽發行日大正十二年一月二十五日▽發行價  
格九十二圓▽償還期限大正十八年六月一日  
迄▽利廻六分六厘強

◇米國軍にライン撤退命令  
米國政府は佛國がルール地方に侵入せんと  
する行動に對し不満を抱き、大統領ハーデン  
グはライン駐屯の米國軍隊に對し即時撤退の

命令を發した

十一日(金)

◇南洋廳商工業補助規則公布  
南洋廳は廳令を以て商工業補助規則を公布  
した。同規則は七ヶ條から成り洗濯業、靴業  
理髮業、仕立業、旅館業に對しその設備費又  
は營業費に對し補助金を下附することを規定  
したもので、即日實施された

◇安田銀行、帝國商業銀行を總行  
安田銀行(資本金二千五百萬圓)は帝國商  
業銀行(資本金四百萬圓)を經營することに  
決定し、安田側の出資によつて資本金を六百  
萬圓に増加する件を協定した  
十二日(土)

◇土地及鹽業補助日支公文交換  
外務省は山東細目協定に關連し日支兩國委  
員は土地及び鹽業補助に關し細目の協定をな  
し公文を交換した旨公表した

◇米穀需給調節會決定  
農商務省は特別會計である大正十二年度米  
穀需給調節會を左の如く決定した(單位圓)  
▽歲入豫定額一、一六一、七〇二▽歲出豫  
定額同上▽歲入内譯(一)米穀賣捌代一四、  
九〇〇、七〇一(二)借入金五、二六〇、

〇〇〇(三)雜收入一、〇〇〇

◇獨逸、佛、白兩國に抗議  
獨逸政府は佛蘭西がルール地方を占領した  
件に關し佛國及び白耳義に對し條約違反であ  
ると抗議し、佛、白兩國の行動より生じた結  
果の責任は總て侵入國側にあると聲明した  
十四日(日)

◇大阪商船、敦賀浦鹽間の運賃引下  
大阪商船は對露貿易促進のため敦賀、浦鹽  
間の貨物運賃を一割引下げ本日から實施した

◇社會事業家金原明善死去  
本日午前一時東京府下渋谷の孫舞二宅で死  
去した。享年九十二。靜岡縣濱名郡和田村の  
豪家に生れ、天龍川の防永事業に力を盡し勤  
儉貯蓄の實踐を高唱し、私費を投じて植林、  
堤防、灌漑事業に専念した功に依り大正四年  
勳四等に叙せられた  
十五日(月)

◇國際労働機關帝國事務所設置  
政府は勅令を以て國際労働機關帝國事務所  
官制を本日の官報を以て公布した。同官制は  
六ヶ條から成り、海外に於て國際労働機關に  
關する事務を處理するため國際労働機關帝國  
事務所を國際労働事務局所在地に設置し、事

務官二名、書記二名を置くことを規定したも  
のである

◇獨逸政府、賠償支拂中止を通告  
獨逸政府は賠償委員會に對し佛軍のルール  
占領はヴェルサイユ條約違反なるを以て賠償  
としての現金支拂及び物資引渡を中止する旨  
の通牒を發した  
十六日(火)

◇内務省、行政整理實行方針を通告  
内務省は省内各局課に對し行政整理の實行  
方針を通告したが、右方針に依る減員は左の  
如し  
▽本省高等官五名、判任官三十名▽地方高  
等官七十五名、判任官六百二十名▽本省は理  
察官、書記官、事務官、技師、地方は理  
事官、技師、警視を含む

◇借金玉石井定七の抗告却下  
銀行團から破産を申請された借金玉石井定  
七は前年十一月十一日大阪地方裁判所に於て  
破産の宣告を受け、不服として抗告し大阪控  
訴院に於て審理中のところ十五日までの債權  
者の債權額届出は六千萬圓に達したため、書  
面審理によつて本日右抗告を却下し、石井の  
破産は確定した

十八日(木)

◇支那郵傳部公債償還に決定  
明治四十四年清國政府五分利付郵傳部公債  
一千萬圓の元利支拂は大正十一年六月一日以  
來滞つてゐたが、橫濱正金銀行にて交渉の結  
果、支那政府は本日から右の利札は延滞利子  
と共に支拂を開始することに決定した

◇東京府農工債券二百萬圓發行  
東京府農工銀行は左の條件で第十一回短期  
債券二百萬圓を發行することに決定した  
▽發行價格、額面▽券面種類十圓、五十圓  
百圓、五百圓、一千圓▽拂込期限大正十二  
年三月二十日▽利率八分  
十九日(金)

◇支那參議院、日支協約無効を可決  
支那參議院は委員會の報告に基き二十一箇  
條の日支協約及びこれに附屬する交換文書の  
無効を可決した

◇獨逸帝國銀行の利上  
獨逸帝國銀行は公定割引歩合を二分引上げ  
一割二分に改訂した  
二十日(土)

◇普選記者同盟大會の宣言  
普選記者同盟大會は本日東京日比公園松本



接に於て開會、各社代表百餘名參集して須崎芳三郎座長席に着き、普通選挙を断行せよとの宣言及び二月十八日全国記者大會を開き普通選挙の運動をなすことを決議した

○郵便貯金十億二千九百萬圓に達す

大蔵省発表によれば一月十五日現在の郵便貯金は著しく増加し、郵便及び振替貯金の總額十億二千九百萬圓、預金總人員は二千六百七十二萬四千五百十三人に達した。増増の原因は大正十一年十一月末銀行取付積出のためである

○米國の國大鐵道會社合併

米國のベセルヘム製鐵會社はラクワナ、カンブリア、ミドウェルの三大製鐵會社を合併して資本金を五億弗に増加し、米國の鐵全産額の二割に當る年一千萬トンの製造能力を有する新會社を組織した

二十一日 (日)

○憲政會大會、加藤憲法内閣反對を宣言

憲政會大會は本部に於て開會、總裁加藤高明以下參集し幹事長頼母木桂吉開會の辭を述べ「偶々超然内閣の成立を見たるは憲政の常道に照し我黨の反對するところなり」との宣言及び「外交を刷新し帝國の權利々益を確保すべし」外十四項の政策を可決した

すべし」外十四項の政策を可決した

二十一日 (月)

○政友會大會、是々非々主義を宣言

政友會大會は本部に於て開會、總裁高橋是清、床次竹二郎、小川平吉、三土忠造以下參集、幹事長望月圭介開會の辭を述べ加藤友三郎内閣に對し「公正なる見地に立脚し審かに施設計畫を考究して、その是なるものはこれに賛し、その非なるものはこれを正すべきは更に言を俟たず」との宣言を可決した

○革新俱樂部大會、政綱を決定

革新俱樂部は東京上野精養軒に大會を開き犬養毅、古島一雄以下出席、内治は國民生活の安定を圖るを基調とし産業立國の方針を確立すること、外二項の政綱と「行政組織の根本的改善統一を行ひ、政務の簡捷を圖り、政費の大節減を行ふこと」外二十項の政策を可決した

○岡山農田租増徴に等運動

岡山縣兒島郡の藤田組開墾地の農場に於ける農民は結束し形勢險惡となつたため百五十名の警官隊出動警戒したが、請負農民の親の分配は全額十分の三を農家へ保管すること、外三ヶ條の應急調停覺書を交換し二十一日落着した

○加藤首相、地租移譲案決定を宣言

岡山の貴族院本會議に於て、憲政會の若槻禮次郎から「華府會議の結果による財政上の剩餘は、之を折半して一先づ地租の軽減に充て後日別に財源を得て之を地方に移譲すればよい。政府は果して地租と營業税を共に地方に移譲する方針であるか」と質問したに對し首相加藤友三郎は「地租移譲に就ては大蔵省で目下調査研究中であるからその可否に關しては未だ決定してゐない」と答辯した

○革新俱樂部、日支郵便問題決議案を提出

革新俱樂部は緊急代議士會において決定した日支郵便約定問題に關する左の決議案を衆議院に提出した

○大株商議員、北濱信用組合を設立

大株短期商議員は信用組合設立に關し協議會を開き、三十六ヶ條の會則を制定、會名を北濱信用組合とし、短期專業者の外兼業者の加入も許し、一人の出資及び責任限度二千圓として設立することに決定した

○東京印刷會社の借額増資

同社(資本金五十萬圓)は定時總會を開き五十萬圓を増資し、資本金百萬圓とする件を可決した

○本場銀行の支拂停止

和歌山縣高地町の同行(資本金十四萬圓)は貸出高四十萬三千六百八十圓に達し整理のため二月四日まで支拂停止をなす旨發表した

○加藤高明、外交問題に關し問責

貴族院本會議に於て憲政會總裁加藤高明は外交問題に關し「昨今の我外交は歩一歩減少又減少してゐる有様である。例へば山東問題の如き我國は支那に對して一歩譲り、二歩譲り、遂に全く空しきに歸してしまつたではないか」と問責し、總理大臣加藤友三郎は「山東問題は列國に對し誤解を生じ、これがため

提出者濱田國松、林田龜太郎、前川虎造

○義務教育費國庫負擔改正案決定

政府は閣議において市町村義務教育費國庫負擔法の改正案を決定した。同法は七ヶ條から成り、第二條において國庫の負擔として支出すべき金額は毎年度四千萬圓を下らざるものとすと規定した

○中央農事協會、地租軽減を決議

中央農事協會評議員會は帝國農會において開會、松岡勝太郎開會を宣し、理事に岡山縣大原孫三郎、藤原元三郎、大井通憲、愛知縣堀尾茂助、後藤三郎、大野松藏、岐阜縣松岡勝太郎、坪井秀、菱田尙一を選任し、大正十二年度において地租二分以上の軽減を實現するよう當局に要望すとの決議を可決した

○露米中央會、工場法修正案を可決

露米同業組合中央會は農商務省會議室に總會を開き、工場法中改正に關する諮問に對し適用を受くべき工場の範圍を、原案は常時十人以上の職工を使用するものと局限してゐるが、その範圍を更に擴大して家族以外の職工を使用する工場に及ぼすを可すとすとの修正案を可決した

○山十組製糸所職工の同盟罷業

山東問題以外に帝國の被つた不利益は鮮少でないと思へる。多少譲歩してもこの問題を解決することが帝國にとつて多大の利益と信じてゐる」と答辯した

○造幣局共済組合規則の制定

大蔵省は省令を以て造幣局共済組合規則を制定公布した。同規則は七十二ヶ條から成り組合員の相互救済をなすを以て目的とするもので、組合の事務は造幣局長が管理する規定である

○帝國水産聯合大會、組織變更を可決

同大會は東京赤坂三會堂に於て開會、委員長川島瀧藏から議案の説明あり、官設の帝國水産會と同會とを合同せしめるや否やの問題に關し農商務省側と意見の齟齬を來したため同會の組織を變更して「全國水産會」と改稱し存続することに決定した

○東神倉庫會社の三借増資

同社(資本金五百萬圓)は定時總會を開き資本金を三倍の一千五百萬圓に増加する件を可決した

二十四日 (水)

○日支郵便協定公表

外務省は、南滿洲鐵道附屬地内に於ける日



栃木縣小山町の山十組製糸所職工一千三百名は工賃一圓八十錢を三圓に値上の要求をなし、一旦容認されたが、二圓に引下げられたため男女工全部同盟罷業を執行した

二十六日 (金)

◇漢口總督、行財政整理不徹底を詰問

本日の衆議院豫算委員會において憲政會の漢口總督は行政財政整理の不徹底を詰問し「首相は果してこの五千萬圓程度の整理を以て満足してゐるのであるか」との質問をなし、首相加藤友三郎は「整理の金額が過少であるとの非難であるが、今日の狀態においてはこれ以上の整理は無理であると思ふ。故に今回の整理においてはこの程度に止めた次第である」と答辯した

◇大同電力社債一千万圓發行

大同電力會社は社債一千万圓を興業銀行引受により左の條件で發行することに決定した  
▽利率年七分▽發行價格九十六圓五十錢▽償還一年半償還の後一年半毎期二百五十萬圓宛▽利率平均八分九厘七毛

◇十五銀行の役員改選

十五銀行は定時總會を開き監査役今井高行(大正十一年十二月十七日死亡)の後任とし

て西脇清三郎を選任した

◇聯合同調、獨逸の支拂擔保を拒絶

聯合同調は獨逸の賠償支拂擔保を拒絶し獨逸の一般的賠償不履行に關する宣言を發表した

◇五國國の大木口雷死去

泰編腎を病み本日死去した。享年七十五。信州上田に生れ三十二歳の時上京、兩國の大木口哲樂館に住込み見込まれて養子となり、五國國の販賣擴張に力を盡して實業界の先覺者といはれ、東京起業銀行の頭取に就任、その他の要職にあつた

二十七日 (土)

◇農會代表會議の農業負債削減決議

全國農會代表委員會は帝國農會において開會、十七名の委員出席し農業負債の軽減の實行を期すること外二項の決議案を可決し左の實行委員を選任した  
▽東京、神奈川、千葉、茨城、岡山、愛知、岐阜

なほ實行委員は三十日各政黨を訪問し直ちに地租を二分軽減されんことを要望し今後の援助方を陳情した  
◇東横電氣一千五百萬圓に増資

同社(資本金九百萬圓)は東京丸ノ内工業俱樂部に定時總會を開き、資本金一千五百萬圓に増加する件を可決した

◇大日本製糖、内外製糖を合併

大日本製糖會社(資本金二千五百萬圓)は臨時株主總會を開き、内外製糖會社(資本金五百萬圓拂込済)を合併し資本金を二千七百二十五萬圓とする件を可決した

◇朝鮮銀行の整理進捗

朝鮮銀行は大正十一年八月整理計畫を樹て絶対に同收不可能の損失金を一千萬圓と見做し半期に七十萬圓以上五ヶ年間に全額を銷却することに決定し、前年下半期から實行本日まで八十六萬圓の銷却をなした

◇米國石油會社、薩哈噠の油田獲得

米國のシントレア石油會社は米國政府が五ヶ年以内に勞農政府を承認するといふ條件の下に薩哈噠哈噠において一千平方ヴァーストの油田を三十六年間租借する權利を獲得した  
二十八日 (日)

◇鐵道列車衝突、死傷四十一名

本日午後二時二十五分九州筑豊線折尾驛構内支線において直方行下り七二二號混合列車に炭車一〇三號列車が衝突、客車二臺は脱線

顛覆し、四十一名の死傷者を出した

二十九日 (月)

◇日支郵便約定問題に關する實情の實明

本日の衆議院豫算委員會において憲政會の下岡忠治から日支郵便約定の効力發生に關する質問を受けた首相加藤友三郎は「條約又は約定は批准又は御裁可を経ざる限り一の案たるに止まり、明文を以て特別の規定無き限り調印によつて直ちに効力を生ずるものとは考へられぬといふことであるので、日支郵便約定の如きはこの原則に従つて御裁可を経て初めて効力を生ずるものと考慮した次第である」と答辯し、なほ郵便約定の手續に關し、樞府と政府との間に意見の相違を來し樞密院の上奏となつたが、樞密院下から御下付あらせられた御沙汰書の内容については公表しないことに決定した旨言明した

三十日 (火)

◇養父セメント會社の創立

同社(資本金五百萬圓、四分の一拂込)は東京丸ノ内工業俱樂部に創立總會を開き、左の役員を選任した

▽取締役諸井恒平(社長)、小倉當吉、大友幸助、渡邊勝三郎、柿原定吉、塚口慶三郎

楠木武彦、櫻野泰次郎、三輪善兵衛▽監査役根津嘉一郎、増田明六、鈴木六郎

三十一日 (水)

◇日本經濟聯盟會理事の更迭

日本經濟聯盟會は常務理事會を開き、當常務理事井上津之助、大橋新太郎、菊池恭三は任期満了のため辭任し、その後任に和田豊治、池田謙三、原富太郎が就任することに決定した

◇帝國商會銀行の整理

同行(資本金四百萬圓)は東京日本新俱樂部において定時總會を開き、資本金を二百萬圓に減資して整理をなし、整理完了後更に三百萬圓増資して總資本金五百萬圓とする件を可決した

◇續善銀行の換損一千四百七十一萬圓

京都の日本續善銀行(資本金五百萬圓)は定時總會を開き、當期換損金一千四百七十一萬八千三百二十九圓を承認、本店を大阪に移轉することに決定し、次いで左の評議員を選任した

▽前田龜千代、北織喜太郎、片岡慶太郎、竹原藏之助

【一月】

一日 (木)

◇大連汽船三百萬圓に増資

資本金二百萬圓の同社は臨時總會を開き、百萬圓を増資して資本金三百萬圓となすに決定した

◇日本綿羊會社、日清毛織會社と改稱

日本綿羊會社(資本金百萬圓)は日清毛織會社と改稱し、社長清水建哉、専務取締役安川政次郎が經營の任に當ることになつたが、換損金百四十萬圓に達するため整理困難を傳へられた

◇勢農會代表ヨツフエ入京

日露通商協約の使命を負ひ勢農會政府代表ヨツフエは、本日午後零時四十分東京驛着の列車で入京、築地鳩養軒に投宿、二日驛旋の勢をとつた子爵後藤新平に答禮のため麻布櫻田町の同邸を訪問挨拶をなし、十日病氣靜養のため伊豆山の熱海ホテルに移つた

二日 (金)

◇全國商會聯合會、鹽稅全廢を決議

全國商會聯合會を東京商業會議所に開き、大阪商業會議所會頭安宅彌吉の提案に



より一人は營業税の一部修正に満足せず更に進んで全廢を期すとの決議をなした

日本郵船社長更迭

日本郵船會社の副社長永富雄吉は辭任し、その後任として石井徹が就任した

三日 (土)

農村復興に關する建議案可決

政友會の床次竹二郎外十一名から提出された農村復興に關する建議案は本日の衆議院本會議に於て可決された

簡易保險積立金八十七萬圓貸付

逓信省は簡易生命保險積立金八十七萬圓を左の各事業に割當て貸付けることに決定した(單位千圓)

▽住宅九五▽簡易食堂一五▽公益市場七▽公設質屋三〇▽公益浴場三八▽自作農創設維持六八五

關山會社私財八十萬圓を帝國に提供

整理中の帝國商業銀行(資本金四百萬圓)は會長高山長幸の不正貸出しにより三百八十萬圓が回收不能に陥つたため、同行取締役山岡太は損失補填のため私財八十萬圓を提供した

英米債償協定成立

米國債償委員と駐米英國大使ゲレスとの間に英國の對米債償に關する協定が成立した。本年十二月十五日滿期の英國の債務残高は四十六億四百萬弗で内四百萬弗は現金で支拂ひ殘餘は三ヶ年賦で返済する契約である

四日 (日)

伏見宮内親王殿下薨去

本日午後五時千葉縣銚子町の御別邸で薨去あらせられた。御年六十四。殿下は故一品邦家親王殿下の第十四の王子に御在し、明治三十七年陸軍大將に御昇進、大正元年四月内大臣府に御出仕、同四年一月元帥府に列せられ給ひ、軍事參議官に任ぜられた。岡野の御儀は十四日豊島丘に於て嚴かに執行あらせられた

陸軍大將伯耆守本富親死去

本日午後二時青山の自邸で死去した。享年七十九。舊鹿兒島藩士。佐官右衛門の三男に生れ、同藩士黒木高右衛門の養子となり、鳥羽伏見の戦に陸軍大將に進み、明治三十七八年の日露戦役には第一軍司令官として武功を擲てた。同四十年伯爵を授けられ、現に樞密顧問官の職にあつた

五日 (月)

政府所有内地白米三千石拂下

政府はその所有内地白米三千石を價格一石に付約二十五圓の割合を以て農商務省食糧局事務所(東京深川區佃町合名會社共同精米所内)に於て賣却した

米國下院、日本移民の入國禁止を可決

米國下院移民委員會は日本移民の入國を禁止し、米國に移住する外國移民を制限せんとする法案を可決した

六日 (火)

川崎造船所社債一千萬圓發行

川崎造船所は左の條件を以て社債一千萬圓を發行することに決定した

▽利率年八分▽發行價格九十八圓▽償還期限大正十三年三月九日迄据置大正十七年三月一日迄に毎年百萬圓以上抽籤償還▽申込期間二月十二日より十五日迄

▽六銀行合同し中債銀行設立  
長野縣下の左の六銀行合同し資本金一千二百五十萬圓の中債銀行を設立することに各銀行の株主總會に於て決定した

▽上田銀行(資本金四百萬圓)▽志賀銀行(資本金四百萬圓)▽佐久商業銀行(資本金五十萬圓)▽信陽銀行(資本金百萬圓)▽神川

銀行(資本金五十萬圓)▽小布施銀行(資本金二十五萬圓)

七日 (水)

有栖川宮大親王子殿下薨去

故有栖川宮熾仁親王妃董子殿下には本日午後六時二十分薨去あらせられた。御年六十九

八日 (木)

産業組合中央會、購買組合聯合會を設立

購買組合聯合會を設立することに決定した。同會の目的は、所屬聯合會及び所屬組合の購買するものを買入れてこれに加工し、若くは加工せず、又はこれを生産して所屬聯合會及び所屬組合に賣却するもので、事務所は産業組合中央會で取扱ふこととなつた

九日 (金)

横濱製鋼會社の役員改選

同社は東京丸ノ内の日本工業俱樂部に臨時株主總會を開き、役員改選の結果、左の諸氏が當選した

▽取締役大川平三郎(社長)、熊澤一衛、藤田好三郎、稻垣英一郎

十日 (土)

營業稅輕減案、衆議院を通過

本日の衆議院本會議に於て營業稅法中改正法律案(約二千萬圓減稅)は、委員長山本伸二郎から委員會の経過報告をなし、憲政會の早速整案、政友會の島田俊雄との間に討論の後政府案たる同改正法律案は可決された

日本興業銀行總裁更迭

日本興業銀行總裁土方久敏は任期満了のため引退し、後任として同行副總裁小野英二郎が任命された

實業労働大會、解散報告を決議

全國官業労働大會は關西縣八幡市に於て開會、決議案の審理に入り、左の二件を可決し軍縮による解職手當に關し、小石川労働組合の中村辰雄、向上會の高田信秋は過激な主張をなし檢束された

一、軍縮による解職の報告を二ヶ月前になすこと  
一、失業問題に關する救済の件  
◇エツキス光緒の發見者レントゲン死去  
ウイールヘルム・コンラート・レントゲンは本日獨逸ミュンヘンにおいて死去した。享年七十九。一千八百九十五年エツキス光緒を發見しウヌルツブルヒ大學に於て研究報告をなし學界を驚かした

十一日 (日)

普選即行の各派聯合會開かる

普選即行を主張する各派聯合大會は本日東京上野精養軒に開かれ、三千餘名參集、憲政會の箕浦勝人、小泉又次郎、革新俱樂部の關直彦、無所屬の安藤正純、庚申俱樂部の南鼎三等が交々起つて普選即行に關する演説をなした

露國、對日覺書を發表

露國外務次官カラハンは、日本の軍艦が國際法を遵守して露國の太平洋諸港に入港するに先立ち同國の許可を受けることを要求するとの對日覺書を發表した

労働團體の承認運動行はる

都下の各労働團體は過激取締法案、労働組合法案、小作法案、争議調停法案の反對氣勢を擧げるため東京芝浦に二千餘名出席し、造船工労働組合の齋藤忠利司會者となり、各代表者の演説あり、東京市内に示威行進をなした

十二日 (月)

北海道拓殖銀行は拓殖債券五百萬圓發行

北海道拓殖銀行は拓殖債券五百萬圓を左の條件で發行することに決定した



▽發行價格額面▽利率年八分▽償還期限大正十三年三月迄据置後四ヶ年に償還

○衆議院本會議、通算案を修正可決  
本日の衆議院本會議に大正十二年度の通算案(總額十三億四千六百萬圓、大正十一年度に比し一億三千萬圓減少)上程され、羅馬法王國使節派遣費十一萬四千四百二十二圓が削除された外原案に對し大多數が賛成し可決された

○日本政府、支那に四千萬圓支拂を催告  
日本政府は支那政府に對し、山東鐵道引渡と同時に保障として支那政府が日本政府に支拂ふべき四千萬圓の元利支拂方を催告した

○大日本聯合火災保險協會は東京九ノ内海上ビルディング商會堂に總會を開き、現行保險料協定率二割引下案を附議したが、賛成者なく否決された

○臨時國庫證券一億圓借替發行  
十四日滿期の臨時國庫證券割引一億圓借替のため同證券(たぬ)一億圓を發行することに決定した。支拂期日は大正十三年二月十四日

日、割引歩合は日歩一錢八厘である

○北海道電氣會社は臨時株主總會に於て、社債五百萬圓を左の條件で發行することに決定した

▽種類百圓、五百圓、一千圓、五千圓▽利率年八分▽償還方法一ヶ年据置後四ヶ年に抽籤償還

○帝國鐵道協會、鐵道銀行設立を建議  
帝國鐵道協會は、大正十年末現在に於て官私鐵道軌道の總延長一萬二千三百三十哩、資本金約二十二億圓に達したるにも拘らず機關銀行の無いのを遺憾とし、資本金最低五千萬圓の鐵道銀行を設立されたいとの建議書を政府に提出した

○内閣不信任決議案上程され議場混亂  
本日の衆議院本會議に憲政會(安達謙蔵外四名提出)と革新俱樂部(廣田國松外二名提出)の内閣不信任決議案が上程され、政友會の床次竹二郎が對支二十一ヶ條の條約は支那及び歐米に於ける排日運動に口實を與へることとなつたと主張したに對し、憲政會の原川小太郎が反駁せんとして登壇するや、政友會

側の喧嘩甚だしく、議場は混亂の極に達したため副議長粕谷義三は議事の中止を宣告し、不信任決議案は審議未了のまま散會した

○日本形樂會社の休業  
濱松の日本形樂會社(資本金百五十萬圓)は事業不振に陥り整理のため休業することに決定し、男女工三百五十八名に對し各一週間づつの手當を給與して工場を閉鎖した

○東成電氣鐵道會社の借替増資  
同社は臨時株主總會を開き資本金五百萬圓を倍額の一千萬圓に増資する件を可決した

○佛國、百三十億法の公債發行  
佛國政府は豫算の收支均衡を圖るため百三十億法の公債を發行する件を提案し、本日の下院に於て可決された

○衆議院議長奥三郎辭任  
衆議院議長奥三郎は病氣のため十三日辭表を捧呈し本日承認された

○帝國電氣鐵道會社の借替發行  
同社は發售所増設と借入金整理のため、左の條件で社債五百萬圓を發行することに決定した

▽利率年八分▽發行價格九十七圓五十錢▽

利子支拂期四月一日、十月一日▽擔保工場財團▽受託會社神田銀行▽利率平均九分二厘七毛

○臺灣銀行の職制改定  
臺灣銀行は從來營業部の上に總務部を置き統轄指示の任務を遂行してゐたが、總務部を廢止して計理部、營業部の二部に改め、計理部は人事、庶務、秘書を、營業部は預金、貸出、爲替その他を管掌し、兩部は臺北本店と東京支店に本部を置き、部長は理事がその任に當ることと決定、同時に東京支店の支配人に武藤貞雄、佐々木義彦が就任した

○吉島成信、我國最初の經濟學博士となる  
日本郵船會社理事兼帝國大學講師吉島成信は「帝國海運政策論」の論文により我國最初の經濟學博士の學位を授與された

○大日本紡績會社の男女工同業獎勵  
大阪の大日本紡績會社津守工場の男女工九百名は戰時手當を廢止する代りに日給一割を増加せよと要求し、容れられぬため同盟罷業を決定した

○借金玉石非定七の債務額發表  
大阪地方裁判所民事部は石井定七に對する債權届出によつて石井の債務總額は八千四百

日、割引歩合は日歩一錢八厘である

○全國警備記者大會の宣言決議  
全國警備記者大會は東京築地精養軒に於て開かれ「吾人は詳かに國家の情勢を察し、廣く民意の向ふところを慮りて、茲に普通選舉の斷行の一日を繰らすべからざることを斷ずる

三十七萬七千四百三十六圓十九錢であると發表した

○婦人主催の女子參政演說大會開催  
婦人參政演說大會は東京神田駿河臺下の佛教會館に於て開かれ、婦人二百名と聴衆の男子一千名が參集し、荻野好子、坂本眞琴、上村露子、西川文子、長谷川たね子、兼木安子が交々立つて婦人參政論を唱へた

○粕谷義三、衆議院議長に當選  
衆議院議長奥三郎の後任として政友會の粕谷義三、岡副議長に松田源治當選就任した

○政府所有古米五萬石を賣却  
農商務省食糧局は政府所有古米五萬石を左の如く賣却する旨發表した

▽入札場所東京、大阪、神戸各食糧局事務所▽東京二萬五千石▽大阪一萬五千石▽神戸一萬石

○全國警備記者大會の宣言決議  
全國警備記者大會は東京築地精養軒に於て開かれ「吾人は詳かに國家の情勢を察し、廣く民意の向ふところを慮りて、茲に普通選舉の斷行の一日を繰らすべからざることを斷ずる

ものなり」との宣言及び「吾人は普通實行の目的を達するため凡ゆる立憲的手段を執るべし」との決議を可決した

○前浦鹽政府首相、後藤新平に公開狀  
前浦鹽政府首相エヌ・メルクロフは亡命客として東京ステーション・ホテルに滞在してゐたが、勞農政府代表ヨッフエを招待した東京市長後藤新平に宛て「ユダヤ人であるヨッフエはユダヤ陰謀團の密使で、ユダヤ王國を建設するため他民族を國奴とするものである」との公開狀を送つた

○内閣不信任案、衆議院で否決さる  
内閣不信任決議案(憲政會・革新俱樂部提出)は衆議院本會議に上程され、憲政會の原小太郎は内閣の失敗を糾弾し、政友會の小久保喜七はこれを反駁、革新俱樂部の佐々木安五郎は樞府問題に關しては皇室の御信任を失つたと内閣不信任の理由を指摘し、首相加藤友三郎は否決を希望し、採決の結果政友會の反對により否決された

○貴族院本會議、外交決議案を可決  
外交に關する決議案(公爵近衛文麿外九名提出)は貴族院本會議に上程され、研究會の

○貴族院本會議、外交決議案を可決  
外交に關する決議案(公爵近衛文麿外九名提出)は貴族院本會議に上程され、研究會の



録須賀正副侯は「苟めにも帝國にして侵略的  
意思を表示するが如き態度は尙迄もこれを避  
けなければならぬ。又我國の經濟的存立のた  
めに確たる外交政策を樹立しなければなら  
ぬ」と提案理由を説明し、首相加藤友三郎も  
亦同決議案に對し賛成の意を表し、採決の結  
果全員起立可決された

▽外交に關する決議案 貴族院は國際政局  
に於ける帝國の地位及び責任の重大なる  
その經濟的生存の意義とに鑑み、對外國策  
を確立し東洋平和の基礎を鞏固ならしむる  
ことは緊切なる要務なりと認む

◇對英英幣相場、平價に復す

大正八年三月英國が米國のゼー・ビー・モル  
ガンをして磅爲替の無制限買入を中絶せしめ  
て以來、英米クロス・レートは空前の下落  
を來し、我對英爲替も大暴落を示し、圓に對  
する磅の價値は一時二志十一片毫まで下落し  
たが、本日に至つて二志零片十六分の九を唱  
へ、四年振りで平價に復した

二十日 (火)

◇新俱樂部、露國承認の決議案提出

革新俱樂部は衆議院に中野正剛、砂田重政  
の署名で「政府は速かに露西亞政府を承認し

對露國策の根本方針を確立、遂行すべし」と  
の決議案を提出した

◇勸業債券一千萬圓發行

日本勸業銀行は激増して來た各種資金の需  
要に應ずるため勸業債券(大券)一千萬圓を  
左の條件で發行した

▽利率年七分▽發行價格九十七圓▽償還期  
限二ヶ年新置八ヶ年に償還▽申込期間二月  
二十日より二十六日迄

◇國會議の三代目川島甚兵衛死去

本日京都の自邸で死去した。享年四十。明  
治十二年五月二十日石川縣土族井上盛重の三  
男に生れ、帝大法科を卒業後西陣織の商家川  
島家の養子となり三代目を襲名、美術織物の  
鼓吹に盡し、特旨により從七位に叙せられた

二十一日 (水)

◇南洋協會の役員改選

南洋協會は東京丸ノ内中央亭に於て臨時總  
會を開き、副會頭に和田豊治、會計監督に江  
口定條を選任した

◇日本農民組合全國大會の決議

日本農民組合全國大會(第二日目)は神戸  
市山手通神戸基督教會に於て開催、山名義徳、  
有馬頼寧、加藤勤十、赤松克廣、西尾末廣、

藤岡文六等出席し、組合は新に小作法案を作  
成し政府案に反對すること、新農會法に就て  
は農會の役員選舉に於て役員の大多數を小作  
人側が占めること、農民學校を開設すること  
等を可決した

◇帝國織布社長畔柳久太郎致意

岡崎市の帝國織布會社(資本金五十萬圓の  
社長、帝國紡績會社(資本金一千萬圓)の取締  
役畔柳久太郎は、名古屋地方裁判所檢察局に  
召喚され、背任横領の嫌疑で名古屋刑務所に  
收監された。帝國織布は百二十萬圓の缺損、  
帝國紡績は八十三萬圓の缺損により、いづれ  
も休業中であるが、缺損金中使途不明のもの  
に對する私消の嫌疑によるものである

二十一日 (木)

◇五分利國庫債券七千萬圓發行

政府は五分利國庫債券(せ號)七千萬圓を左  
の條件で發行することに決定し本日の官報を  
以て公示した

▽發行價格九十二圓二十五錢▽償還期限大  
正十八年九月一日迄▽利率年五分▽利拂期  
日三月一日、六月一日

◇經濟團體の物價調節委員會方針決定

日本經濟團體會物價調節委員會は東京丸ノ

内日本工業俱樂部に於て開き、物價調節に關  
する調査方針及び民間施設の項目を左の如く  
決定した

(一)事業經營上の改善、執務法、能率の増  
進、機械使用、生産増加(二)シンブリフイ  
ケーション(單純化運動)(三)小運動の整理  
統一(四)消費及び購買組合(五)物資及び勞  
力の節約の履行

◇前大審院長田園死

前大審院長從二位勳一等男野村博士横田  
國臣は本日午後二時東京牛込區神樂町の自邸  
で死去した。享年七十四。氏は大分縣に生れ  
司法次官、東京控訴院檢察長、大審院長等を  
歴任、治罪法、刑法、刑事訴訟法の立法に盡し  
司法部内の大功勞者としてその名を顯はれた

二十二日 (金)

◇各派聯合會選即行示威運動

各派聯合會選即行示威運動は東京芝公園の  
廣場に於て舉行され、各團體の参加者約二萬  
人、磐州河野廣中、尾崎行雄等は先頭になつ  
て自動車及び馬車にて指揮に當り「普選即行、  
萬機公論」の大旗を押し立て民衆はその後に  
續き、午前十時から夕刻まで増上寺の山門よ  
り坂本公園に至る道筋において示威行列を行

つた

二十四日 (土)

◇普選即行の國民大會開催

普選即行の國民大會は午後一時東京芝公園  
に於て開催され、三千名參集、座長に憲政會  
院外議長加藤政之助を推し、左の宣言を可決  
した

普選即行の熱呼は滿都を震撼せり。私心を  
去つてこの天の聲を聞け。若しなほ覺るな  
くんば實例立所に至らん。敢て宣す

◇政府、内地米價高石買上

農商務省は農村の窮狀に鑑み、先きに内地  
米百萬石を買上げること決定したが、二十  
日から二十四日迄の間に左の如く買上をなし  
た旨發表した

▽東京二六、三三三俵△大阪九、五八四俵▽  
神戸一八、〇九八俵▽計五四、〇一五俵

◇富士製鋼會社の借額増資

富士製鋼會社(資本金三百萬圓)は株主總  
會を開き、資本金を倍額の六百萬圓に増加し、  
債務三百萬圓の中百八十萬圓を優先株に振向  
け、残り百二十萬圓(明治商業銀行からの借  
入金)を五ヶ年無利子据置後五ヶ年間に償還  
(利率は金融市場の情況に應じ定む)すること

に決定した

二十六日 (月)

◇天津紡績聯合會、紡績工場新設を禁止

天津の紡績聯合會は天津を中心とし五百支  
里四方(日本里八十里四方)において向ふ二  
十ヶ年間紡績工場の新設を禁止する案を支那  
政府に建議し許可された

二十七日 (火)

◇普選案の討論、混亂のため中止

普選案(衆議院議員選舉法中改正法律案、  
憲政會の安達謙蔵外十二名提出)は衆議院本  
會議に於て二十五日上程され、三日目の本日  
政友會の武田徳三郎、同福井三郎の反對論、  
無所屬の田淵豊吉、憲政會の山道襄一の賛成  
論があつたが議長粕谷義三が「政友會から山  
道襄一に對し懲罰委員會に附すべし」との提議  
があつた「旨報告するや憲政會側から横暴の  
絶叫起り、議場は忽ち混亂し不穩の状態に陥  
つたため「議場喧嘩を極め整理する能はず」  
との理由で粕谷議長は散會を宣し、普選案に  
對する討論は中止となつた

◇海外興業會社債百三十五萬圓發行

海外興業會社は定時總會を開き舊社債百三  
十五萬圓を償還するため同額の社債(條件方



法は重役に一任、借替發行の件を可決した

日本銀行は臺灣銀行に對し固定貸付によつて援助整理を爲すことに決定し、左の援助内容を發表した

一、從來日銀は臺灣に爲替資金一千萬圓を五分、更に一千萬圓を公定日歩によつて貸付けてあるが、なほこの外に二千萬圓のスタンブ手形を許す

一、預金部が日銀に對し二分で預金してゐる資金を、日銀から臺灣に對し五分で預金する

一、南支、南洋向輸出爲替を見返りに日銀は五分の爲替資金貸付をなす

◇新運通會社、内外商工會社を合併

内國通運會社の姉妹會社である新運通會社(資本金二十五萬圓)は株主總會を開き、内外商工會社(資本金二十五萬圓)を合併し資本金を五十萬圓となすことに決定した

二十八日(水)

◇山道義一代議士、登壇停止さる

憲政會所屬代議士山道義一は、二十七日の衆議院本會議における普選案の賛成演説に當り成弊の言辭を弄したとの理由で懲罰委員會

に附せられ、本日十四日間の登壇停止處分を受けた

【三月】

一日(木)

◇衆議院本會議、普選案を否決

衆議院本會議に普選案(衆議院議員選舉法中改正法律案、憲政會安達謙蔵外十二名提出)上程され、普選案に對し首相加藤友三郎は、時勢に順應して選舉權の擴張を行ふは當然のことと信ずる故に政府はこれ等の問題に關して調査中である。併しながらこれを直ちに實行することの出来ぬのは遺憾である」と述べ、政友會の岩崎勲は討論終結の動議を提出して一月二十五日以来討論を重ねた普選案の討論は終結し、第一讀會に於て本案の可否を採決し、政友會の多數反對により否決された

◇支那政府、棉花輸出を禁止

支那政府は外交團の反對にも拘らず海關總稅務司に支那棉花の輸出禁止を命じたので、杭州の海關は本日附を以て來る二十日から輸出を禁止する旨告示した

二日(金)

◇附審法案、衆議院本會議で可決

附審法案は衆議院本會議に上程され、委員長橋澤聰明の報告に次で憲政會の鈴木富士彌の質問、高橋覺太郎(革新)の反對論、作問辨論(憲政)の希望條件附賛成論、黒住成章(政友)の原案賛成論あり、議會を省略し同案は委員長の報告通り可決された

◇全國水産社大會、大混亂に陥る  
全國水産社第二回大會は京都の岡崎公會堂に於て開かれ、全國六千部藩の代表(三府二十一縣)三百五十名の代議員列席、議長に中央執行委員長長南梅吉(京都)、副議長に砂田忠三郎(大阪)、寺田正四郎(京都)推薦され水産社運動に關する宣言決議を可決した。なほ水産社同人は差別的言辭を弄した林春太郎を殴打し、仲裁に這入つた巡查に暴行を加へ大混亂に陥つたので川端署は巡查三十名を現場に派し漸く鎮撫した

三日(土)

◇産案組合中央金庫法案可決さる  
産案組合中央金庫法案(資本金三千萬圓中政府半額出資、政友會の床次竹二郎外十一名提出)は衆議院本會議に於て委員長武蔵金吉の報告あり、採決の結果多數起立によつて可決された

◇恩給法案、衆議院本會議で可決

恩給法案(政府提出)は衆議院の本會議に上程され、委員長高橋光成は支給額三百六十萬圓を總額二千八百萬圓と修正したとの報告あり、高木正年(革新)は「十二年度に於て増額の三分の一を追加預算として要求替をなすこと」の修正意見を述べたが、三浦得一郎(憲政)は委員長報告説に賛成し報告通り可決された

◇瀨の製糖職工一千名同盟罷業

瀨五郷酒造業の製糖職工並に輸竹工一千名は海聯合會を組織し労働同盟に加盟して、賃銀値上げを要求して容れられぬため同盟罷業を決行、榨工徒百名も労働徒弟新進會を組織し待遇改善の要求書を提出した

四日(日)

◇東京汽船社長豊井重二死去

本日午前九時死去した。享年六十八。熊本縣天草に生れ、早くから海運造船界に身を投じ明治二十二年東京汽船會社創立に際し常務取締役就任、後社長に昇進し、次で日本製氷會社を創立し社長に就任した。特旨により正七位に叙せられた

五日(月)

◇政府所有白米二千石拂下

農商務省は政府所有白米二千石を一石に付約二十七圓の割合を以て拂下げた

六日(火)

◇鐵道省、高等官七十五名を淘汰

鐵道省は行政整理のため高等官七十五名の淘汰を斷行して省内の刷新を圖ることに決定した

◇三國紡績の罷業職工、工場を占領

大阪の三國紡績會社の男女工二百五十名は會社の待遇を不當として同盟罷業を決行すると同時に工場を占領し、機械と調車を破壊した。め首謀者三十一名は大阪府特高課と中津署に檢査された

七日(水)

◇東京、日露通商條約締結を遺囑

東京商業會議所は役員會の決議を以て日露通商條約の締結及び引揚げ居留民の損害賠償に關する建議案を總理大臣加藤友三郎並に外務、大藏、農商務省當局に提出した

◇松田汽船、合名と合併し松田商事と改稱

神戸の松田汽船會社(資本金百二十萬圓)は株主總會を開き、松川合名會社と合併して松田商事會社と改稱することに決定した

八日(木)

◇支那政府の使者、内田外相に公文書手交

支那外交部書記仁起華は二十一ヶ條の條約廢棄に關する公文書を携へて本日入京、翌九日永田町の支那公使館に於て廖代理公使と會見し、公文書を日本政府に提出すべきの否やに付打合せをなし、十日外務大臣内田廣蔵に公文書を手交した

◇東京市債二千萬圓發行

東京市は電氣事業擴張のため市債二千萬圓を日本興業銀行その他の引受により左の條件で發行することに決定した

▽利率年六分▽發行價格九十三圓五十錢▽期限五ヶ年▽利廻七分八厘餘

◇張福言内閣編纂

支那國務總理張福言は南北の和平統一は不可能であるとの理由を以て大總統黎元洪に辭表を提出し、張内閣は總辭職をなした

九日(金)

◇競馬法案、衆議院本會議で可決

競馬法案(政府提出、十六ヶ條、入場者に勝馬投票券金額五圓以上二十圓以下の勝馬投票券の發賣等を規定)は本日の衆議院本會議に上程され、委員長廣岡宇一郎の報告通り可決された



會を省略し可決された

○養育費、都制案を提出  
東京市長後藤新平は東京市の特別市制実施問題に關し「帝都の制度に關する根本法制の大綱」を内務大臣水野鎮太郎、宇佐美東京府知事に提出し、東京市政調査會は同案の要綱を發表した

○千葉野田町の龜甲萬油礦造會社の職工二千名は去る一月の制度改正以來怠業状態を續けてゐるが、第九工場(宮内省御用油礦造)の職工百十名、第十工場の職工百三十名は本日突然同盟罷業を決定、十日職工代表は東京労働總同盟本部と善後策の打合せをなした。二十九日調停委員は會社側と重役室に於て會見し解決策につき協議したが、妥協成立するに至らなかつた

十日(土)  
○支那政府、二十一ヶ條無効を通告  
支那政府は北京の日本公使館に宛て支那國會の二十一ヶ條無効宣言を傳へ日支條約廢棄の希望を通告した

○東洋拓殖外債二千萬圓成立  
東洋拓殖會社はシチー・コンパニー東京支店を省略し可決された

店の手を経て米國に於て外債二千萬圓(四千百餘萬圓)を利子年六分(利息七分)引受手数料百圓に付三券で募集することに決定した。條件は左の如し

○發行價格九十二券  
後二十五ヶ年償還  
取換銀行ナショナル・シチー・バンク

○日支聯絡小荷物委託取換規則公布  
鐵道省は日支國際聯絡小荷物委託取換規則を制定し官報を以て告示した。規則は三ヶ條から成り、小荷物の取扱をジャパン・ツーリスト・ビニローに委託することを制定したものである

十一日(日)  
○目黒、丸子間電車開通  
目黒浦田電氣會社は田園都市會社から目黒多摩川間の電車軌道敷設権を譲り受けて工事の進捗を開始した

十二日(月)  
○鈴木商店の組織變更  
神戸の合名會社鈴木商店はその組織を變更し、産業貿易に關する業務を分離獨立させ、資本金八千萬圓(内拂込五千萬圓)の株式會社に改組して鈴木よねが社長に就任し、合名會社は代表社員の外に理事と監事を置く規定に改めた

○小野鐵道社長小野金六死去  
本日午後八時東京麹町區三丁目自邸で死去した。享年七十二。嘉永五年山梨縣韭崎町に生れ、第十銀行支配人を兼出し交通機關の創設に努力し甲信鐵道、兩毛鐵道、朝鮮輕便鐵道、富士身延鐵道等を経営し、甲州財閥の雄として重きをなした。特旨を以て從五位に叙し勳五等旭日章を賜つた

十三日(火)  
○工船製造業取換規則の公布  
農商務省は工船製造業取換規則を制定し官報を以て公布した。同規則は二十一ヶ條から成り、工船製造業は鐵結製造設備を有する船舶又は之に附屬する漁船によつてなす製造業を指すもので、工船製造業の許可の期間を五ヶ年とし、申請によつて期間を更新し得ることを制定したものである。十五日から實施

○政府所有内地米六萬五千石拂下  
農商務省は大正九年度の産米六萬五千石を東京、大阪、神戸に於て拂下げた

○二十一ヶ條無効を通告の國書公文書手交  
外務省は駐日支那公使に對し二十一ヶ條廢棄通告の公文書に對し「貴我兩國間に條として有効に存在する條約及び交換公文を貴國政府が隨意に廢棄せられんとするが如きは、實に日支兩國國民の親善を害す所以に非ざるのみならず國際の信義に反するものにして、帝國政府の斷じて承認し難き措置なり」と拒絕の意志を表明した回答文を手交した

○労働黨、カメキフ等に行政權を委任  
労働黨國民人民委員會、共産黨中央委員會、全露中央執行委員會は、レーニン危篤のためモスクワに於て會議を開き、行政權をカメネフ、ルイコフ、スターリンの三名に委任することを決議した

十五日(木)  
○郵便切手額及收入印紙賣捌規則公布  
逓信省は郵便切手額及び收入印紙賣捌規則を制定公布した。同規則は三十一ヶ條から成り、郵便切手、切手券、郵便葉書、價格表記郵便物封皮、國際返信切手券、郵便物封紙紙、郵便封書、收入印紙等の賣捌に關するもので四月一日から實施

○滿洲紡織會社の創立  
富士紡織と滿鐵の出資により資本金五百萬圓を以て遼陽に設立された同社は、東京丸の内日本工業俱樂部に創立總會を開き左の役員を選任した

○明治製糖會社(資本金三千二百五十萬圓)は東京丸の内日本工業俱樂部において臨時總會を開き、日本製糖會社(資本金五百萬圓)を合併し資本金を三千七百五十萬圓に増加する件を可決した

○東京市政調査會顧問ビヤード博士歸國  
東京市政調査會顧問として約六ヶ月間調査に當つた米國紐約市政調査會顧問チャールズ・エー・ビヤード博士は、その任務を終り神戸解纜の信濃丸で歸國の途に就いた

○實業家前川太兵衛死去  
東洋モスリン會社取締役前川太兵衛は本日午後十時東京日本橋區富澤町の自邸で死去した。享年六十二。篤誠之助、藤山雷太等と共に改組して鈴木よねが社長に就任し、合名會社は代表社員の外に理事と監事を置く規定に改めた

○十二年度追加豫算提出  
政府は歳入歳出各二千二百三十萬九百圓を十二年度追加豫算として衆議院に提出した。費目は各省の所管に關するもので、二十一日の衆議院本會議で原案通り可決された

○島原銀行の休業  
長崎縣渡町の同行(資本金六百萬圓拂込済)は預金の引出し増加のため十七日から向ふ三週間臨時休業をなす旨發表した

○第一銀行監査役日下謙雄死去  
本日東京本郷區湯島の自邸で死去した。享年七十三。長崎、福島の知事を歴任し、明治四十五年代議士に當選、晩年實業界に轉じて東邦火災保險會社社長、第一銀行監査役等に就任。特旨を以て正四位に叙せられた

○失業防止労働者大會開かる  
東京市内外二十の労働團體は失業防止労働者同盟を結成して日本労働總同盟本部に幹部會を開き、失業同盟の主催で東京芝公園廣場



に於て失業大会を開催、南葛労働協会の渡邊正之助司會者となり、左の六件を決議した  
 (一)軍需利金の減渡(二)失業中の生活保  
 證(三)八時間制即時実施及び残業撤廃(四)  
 最低賃金の制定(五)對露通商即時開始(六)  
 労働組合による職業紹介所の設置

◇東京株式取引所所費  
 東京株式取引所から發火、同所を全焼した。  
 同建物は、大正九年の焼失後建てた間口十間、  
 奥行十五間の木造二階建普請で、損害高は二  
 十五萬圓。立會場は焼焼を免れたため、十九日  
 は午後一時から前場の立會を開始し、後場は  
 休會した

十九日(月)

◇轉讓銀行法の改正  
 政府は日本勸業銀行法、農工銀行法、日本  
 興業銀行法、北海道拓殖銀行法に改正を加へ  
 官報を以て公布した。勸業銀行法は勸業債券  
 は割引の方法を以て發行し得ることとなり、  
 日本興業銀行法は社債に関する條項を改正し  
 農工銀行法は畜産組合の外に住宅組合を加へ  
 十人以上の農業者、工業者が申合せ、連帯責  
 任を以て借金を申出た時は信用が確實なれ  
 ば無擔保で短期貸付をなすことを得と改正、

北海道拓殖銀行法は同法中「農業者又は工業  
 者」とあるを「農業者、工業者又は漁業者」  
 に「畜産組合」とあるを「畜産組合、住宅組  
 合」と改正し、社債に関する規定が新に加へ  
 られた

◇退職金積算可決  
 退職金一千八百九十六萬五千圓は十一年  
 度の追加積算として衆議院本會議に上程され  
 原案通り可決された

◇生命保險協會理事決定  
 同協會は理事會を開き互選の結果、理事長  
 に矢野恒太、事務理事に北里架装男、藤村義  
 苗を選任した

◇奈良縣の國庫會員と水戸社員大衝突  
 奈良縣城郡川西村の國庫會員と同郡都村  
 大字八尾の水戸社員約九百名は思想の對立抗  
 争から大衝突をなし互に日本刀と鐵砲を以て  
 亂闘を演じ、水戸社員二名は重傷を負ふに至  
 つたが、警官隊の出動により國庫會員は引揚  
 げた。清水警察部長、伊藤保安課長が現場に  
 急行、二十日双方會見の結果、同地方の嫁入  
 りの式に對する水戸社員の不謹慎な行動が暴  
 動の端緒をなしたと判明し、水戸社員の森  
 川義松、南田勝太郎兩名が謝罪文を國庫會員に

提出し解決した

◇新潟鐵工所職工の同盟罷業  
 東京府下蒲田町の新潟鐵工所蒲田工場の職  
 工三百名は、三名の職工が解職されたのを不  
 當として復職を要求し、會社側が拒絶の場合  
 は二十一日から同盟罷業をなすことを議決し  
 たが、會社側が強硬態度に出たので、同日罷  
 業を決定した

二十日(火)

◇養永製菓、丸ノ内製菓を合併  
 養永製菓會社(資本金三百萬圓)は臨時總  
 會を開き丸ノ内製菓會社(資本金五十萬圓)を  
 合併する件を可決した

更に養永製菓の製品販賣の目的を以て養永  
 製品販賣會社(資本金百萬圓)を設立するこ  
 とに決定し、創立總會を開き左の役員を選任  
 した

▽取締役松崎半三郎(社長)、廣瀬庄太郎(專  
 務)、保井萬次郎、伊藤桂藏、長野七右衛  
 門、養永善吉、大串松次▽監査役佐藤勝之  
 助、丸田喜一郎▽相談役養永太一郎

◇新製菓會社の創立  
 南昌洋行、三井物産、三菱、滿鐵の四社に  
 よつて設立された撫順炭販賣會社(資本金三

百萬圓)は、東京丸ノ内三友俱樂部に創立總  
 會を開き左の役員を選定した

▽取締役武部治右衛門(滿鐵)、齋藤茂一郎  
 (南昌)、渡邊四郎(三井)、野村大藏(三菱)

▽監査役荒井泰治(南昌)、大和田勇(滿鐵)

◇東商會關山會本外遊  
 東京商業會議所會頭關山雷太は歐米視察の  
 ため横濱出帆の天津丸で出發した

二十一日(水)

◇東京砲兵工廠職工三千二百三名解雇  
 東京砲兵工廠の職工三千二百三名(男二、  
 二四五、女九五八)に對し本日午前七時軍縮  
 によつて解雇する旨官達した。解雇手当總額  
 は二百二十四萬圓であり最高五千三百五十九  
 圓、平均一人七百圓強であつた

◇聯合國備ロンドン會議開かる  
 聯合國委員會はロンドンにおいて開會さ  
 れ、ローザンヌ協和條約草案に對する土耳其  
 の對案を審議した。日本側の出席者は首席全  
 權たる駐英大使林權助男及び委員チエコ・ス  
 ロヴァキア駐劄公使長岡春一、駐佛參事官佐  
 藤尙武、駐英二等書記官西澤義徳の四名であ  
 つた

二十二日(金)

◇和氣銀行の休業  
 岡山縣和氣町の同行(資本金三十萬圓)は帳  
 簿整理を理由とし二週間休業する旨發表した

◇東水本社創立さる  
 關東水本社創立大會は群馬縣太田町の電氣  
 館に於て開會され、本部から南梅吉、平野小  
 劍等出席し「吾等同人は同人自身の行動によ  
 つて絶対の解放を期す」との宣言及び「吾等  
 に對し將來の名譽、又は新に符號を以て侮辱  
 の意思を表示したる時は徹底的糾弾を示す」  
 との決議を可決した

二十四日(土)

◇鐵道紡績會社(資本金一千七百九十三萬圓)  
 は東京日本橋俱樂部に於て臨時株主總會を開  
 き、南勢紡績會社(資本金百二十二萬圓)を合併  
 し資本金を一千八百十三萬圓に増加する件を  
 可決した

二十五日(日)

◇工學博士開口在屢死去  
 本日午前九時東京小石川區西原町の自邸で  
 死去した。享年六十八。工科大學卒業後英國  
 に留學、歸朝後工部大學助教授となり工學博  
 士の學位を得、東京帝國大學工學部の助任教

授になつた。動力用の渦巻ポンプは世界的の  
 發明として有名である

二十六日(月)

◇大正十二年度の更正總算  
 第四十六議會の衆議院本會議は本日午後十  
 二時最終の議事を終つたが、大正十二年度歳  
 入歳出豫算十三億四千六百一十一萬六千圓は、  
 追加、修正、削除等によつて三千萬圓を増加  
 し可決され、更正豫算の總額は十三億七千六  
 百十六萬六千圓となつた

◇明治漁業會社五十萬圓に増資  
 同社 資本金五百萬圓は東京丸ノ内生命保  
 險協會内において臨時總會を開き、百五十萬  
 圓に減資する件を可決した

二十七日(火)

◇天分利國債券三千八百萬圓償還發行  
 政府は佛貨公債借替のため五分利國庫債券  
 三千八百萬圓を左の條件で發行することに決  
 定し本日の官報を以て公示した

▽發行價格現金應募九十二圓、佛貨國庫債  
 券應募九十一圓五十錢▽償還期限大正  
 十八年十二月一日

◇石油消費稅法廢止さる  
 政府は法律第十號を以て發布した石油消費

大正十二年三月



税法を廢止する旨官報を以て公布、四月一日から實施

○外地の事業公債法改正

朝鮮、臺灣、樺太の事業公債法は改正を加へられ官報を以て公布された。朝鮮事業公債法中「三位四千四百八十萬圓」は「三位九千三百七十萬圓」に、臺灣事業公債法中「一位二千六百三十萬圓」は「一位三千三百八十萬圓」に、樺太事業公債法中「二千九百四十萬圓」は「三千三百五十萬圓」にそれぞれ改正したものである

○所得税法其他の改正

政府は所得税法、營業税法、賣場税法、印紙税法、煙草專賣法にそれぞれ改正を加へ官報を以て公布した

○米國の絹業會社破産

米國の反物絹製造業デ・ビーダリー會社は一年約二千四百萬弗の製造取引のある大會社であるが、莫大の負債のため破産し債権者は會社の清算訴訟を提起した

二十八日(水)

○朝鮮私設鐵道補助法の改正

政府は朝鮮私設鐵道補助法に改正を加へ官報を以て公布した。同補助法中「十年」を「十

五年」に「二百五十萬圓」を「三百萬圓」と改め、四月一日から實施

○義務教育費國庫負擔法の改正

政府は市町村義務教育費國庫負擔法を改正し官報を以て公布した。同法は七ヶ條から成り「國庫の負擔として支出すべき金額は毎年度四千萬圓を下らざるものとす」と改正、四月一日から實施

二十九日(木)

○加藤會館、徳島院に贈明

首相加藤友三郎は樞密院事務局に於て「日支郵便協約に關し、手違ひを生じそのため御沙汰書を拜したことは恐惶に堪へぬ次第である」と對支外交方針及び諮詢手續に就て委曲を陳述し、樞密院議長斎藤實吾以下各委員に釋明するところあつた

○東洋汽船の換據三百四十三萬圓

東洋汽船會社は東京丸ノ内日本工業俱樂部に於て定時總會を開き、當期換據金三百四十三萬七千七百九十四圓を別途積立金中より補填し無配當とする件を可決した

三十日(金)

○中央卸賣市場法の公布

政府は中央卸賣市場法を制定公布した。同

法は二十七ヶ條から成り第一條に於て「中央卸賣市場は地方公共團體又は特別の事情ある場合に於ては民法第三十四條の規定による法人が魚類、肉類、鳥類、卵、蔬菜及び果實の卸賣をなすため主務大臣の指定する都市及びその隣接地に於て本法により開設する市場を謂ふ」と規定し、中央卸賣市場に於て賣買する場合には卸賣の方法によること等を定め、施行期日は追つて勅令によつて決定することとなつた

○工業労働者最低年齢法の公布

政府は工業労働者最低年齢法を制定公布した。同法は十一ヶ條から成り、第二條に於て「十四歳未満の者は工業に之を使用することを得ず、但し十二歳以上の者にして尋常小學校の教科を修了したるものに就てはこの限にあらざ」と規定してゐる

○遼洋漁業獎勵法の改正

政府は遼洋漁業獎勵法に改正を加へ官報を以て公布した。同法は補助金一四十五圓を「鋼製六十圓、木製四十五圓」に同「三十圓」を「四十圓」に改め「新漁業」の外に「改良業」も加へられた

○工場法の改正とその主要點

工場法の改正とその主要點

政府は工場法に改正を加へ官報を以て公布した。同改正法は「十五人」を「十人」に「十五歳」を「十六歳」に「十二時間」を「十一時間」に「午前四時」を「午前五時」に改正し、「但し行政官廳の許可を受けたるときは午後十一時迄就業せしむることを得」の一項を加へ、なほ各條項に於て部分的に改正を加へた

○朝鮮事業公債一千二百五十萬圓借替發行

朝鮮事業公債一千二百五十萬圓借替發行五圓の借替發行は朝鮮銀行が左の條件で引受應募をなすことに決定した

▽發行價格九十八圓三十錢▽利率年五分▽利差六分八厘一毛▽償還一ヶ年

○日本電氣會社の編成

東京日本橋區通三丁目の同社(資本金三百萬圓)は株主總會を開き會社の解散と清算人六名の選舉を議決したが、一部の株主は第一回拂込徴収に對し四十五萬圓の拂込金あるもその使途不明なりとて、社長金山吉五郎に議事録の公開を迫つたため、双方對立して紛擾を惹起し、三十餘名の株主は東京區裁判所檢事局に出頭し證據保全の手續を申請した

三十一日(土)

○國庫債券一千七百萬圓借替發行

政府は三十日償還期限の五分利國庫債券一千七百三十八萬一千六百七十五圓を左の條件で借替發行した

▽發行價格九十八圓三十錢▽償還期限大正十三年二月二十九日迄▽利差六分八厘餘▽利子支拂期三月一日、六月一日、九月一日、十二月一日

○九州水力八千萬圓に増資

九州水力電氣會社(資本金三千八百四十萬圓)は臨時總會を開き工事資金、社債償却資金に充當する三千二百萬圓増資のため増資するに決定、資本金を八千萬圓に増加する件を可決した

○富士紡、金華紡、日本紡の二社を合併

富士紡績會社(資本金四千三百萬圓)は臨時總會を開き、金華紡績會社(資本金七十萬圓)日本紡績會社(資本金二十萬圓)を合併し資本金を四千五百二十萬圓とする件を可決した

○日本郵船、近海郵船會社を創立

日本郵船會社は株主總會を開き近海部を分離獨立せしめ資本金九百五十萬圓の近海郵船會社を創立するに決定した。資本内譯は日本郵船會社の出資額八十五萬圓、土地建物三百

○北白川宮成久王殿下、巴里にて駕去

御外遊中の北白川宮成久王殿下には巴里郊外ベルネー附近を御手づから自動車を御運轉遊ばされて進行中路傍の並木に激突し、薨去あらせられ、御同乗の同妃房子内親王殿下、朝香宮鳩彦王殿下にも御負傷遊ばされた。成

【四月】

一日(日)

○北白川宮成久王殿下、巴里にて駕去

御外遊中の北白川宮成久王殿下には巴里郊外ベルネー附近を御手づから自動車を御運轉遊ばされて進行中路傍の並木に激突し、薨去あらせられ、御同乗の同妃房子内親王殿下、朝香宮鳩彦王殿下にも御負傷遊ばされた。成



久王殿下は故能久親王殿下の第三王子として明治二十年四月御誕生、軍事御研究の御ため北伯爵の御假名で大正十年十一月御渡佛遊ばされ御研鑽中であらせられた

○**農務省分限規定を改正して種馬牧場、種馬育成所及び種馬所に關する事項を決定し本日付を以て宮城、關島、秋田、長野、石川、鳥根、高知、熊本、宮崎、鹿児島等の各種馬所長が任命された**

○**朝鮮移入税は廢止された。從來内地以上の物價高に苦んで来た鮮内需要者は多大の便益を受けるが、朝鮮内商工業者の受け**

○**關東鐵道、岩代紡績所を合併改稱す**  
關島紡績會社(資本金七十萬圓、全額拂込済、總株式の半数に相當する優先株は片倉製絲會社所有)は片倉製絲會社の岩代紡績所を合併して五百萬圓に増資し、日本紡績株式會社と改稱する件を臨時總會で決定した

○**日本興業銀行副總裁任命**  
大藏省主税局長松本重成は日本興業銀行副總裁に任命された

○**日本コナミル社五分の一に減資**  
同社は本日第一相互館に臨時總會を開催、資本金百萬圓を二十萬圓に減資する件を可決した

○**日活と國活の合併不調**  
兼に松竹キネマ會社との合併に失敗した國際活映會社は新たに日本活動寫眞會社との間に合併交渉を續けてゐるが、條件妥協成らず

大正十二年四月

る打撃は尠くないので斯業者はそれ〴〵總督府に保護施設を要望した

○**全日本煙草労働組合成立**  
全日本煙草労働組合は本日京都市に於て發會式を舉げた

○**五分利國庫債券三千八百萬圓發行**  
政府は佛國國庫債券借替のため五分利國庫債券(寸號)三千八百萬圓を發行するに決定した

○**富士身延鐵道社長に堀内真平就任**  
富士身延鐵道會社は帝國鐵道協會に臨時總會を開き、社長小野金六死亡につき後任社長として堀内真平を選任し、なほ取締役候補選舉を行ひ、その結果、小野耕一、穴水要七が當選した

○**關東鐵道の支那人三十名送歸**  
警視廳が去る一月下旬から關西、山梨方面に亘つて刑事を派して逮捕した銀貨偽造の支那人吳連順等の三十名は本日送歸、他の二十名に對しては退去命令を下すことになつた

○**太平洋運賃協定の運賃協定**  
太平洋運賃同盟會は日本郵船橫濱支店に於いて同盟汽船代表と茶商側代表と協議し、太平洋岸揚げは茶一ト五弗となす旨協定した

○**東京モスリヤ紡績會社(資本金一千五百萬圓)は臨時株主總會を開催、倍額増資の件及び日本絹紡績會社(資本金百四十萬圓)を合併して更に三千四百四十萬圓に増資する件を決定した**

○**百十銀行、豐田銀行を合併**  
百十銀行(資本金五百五十萬圓、内拂込二百七十二萬五千圓)は山口縣三田尻の豐田銀行(資本金五十萬圓、内拂込二十萬圓)を合併することに假契約が成立した

○**瓦斯事業法公布**

名を懸念へ招致、産業の發達促進と金融機關の安全を圖るため銀行の合同を勧め、各代表者と協議し上越、中越、下越の三地方で普通銀行並に貯蓄銀行の合同協議會を開くことに決定した

○**三國社の組織變更**  
岡崎市の合資會社三國社(資本金百五十萬圓)は、資本金二百萬圓拂込済の株式會社に組織を變更した

○**白耳義實視察團一行十一名は關長モンス商會所會頭キヤノン・レグラントに引率され本日來朝、神戸より直ちに上京した**

○**産業組合中央金庫法の公布**  
本日の官報を以て産業組合中央金庫法(四十條)が公布された

○**産業組合調査會設置に決定**  
五、六兩日に亘り農商務省内に開催した全國産業組合協議會の決議の結果に基き、同省内に、産業組合不振の原因を探索し其恒久的振興策を圖るため調査會を設置し、調査委員には大都市各種産業組合、全國産業組合代表者及び關係官廳官吏、實業家等約二十名を選

○**中央電氣會社債四百五十萬圓成立**  
中央電氣會社債四百五十萬圓は生命保險協會加入會社との間に、左の條件を以て成立した

○**中央電氣會社の創立**  
資本金一千萬圓の同社は東京丸ノ内日本工業俱樂部に創立總會を開催、左の役員を決定した

▽取締役 奥平昌恭(會長)、大川平三郎、小池國三、穴水要七、藤原銀次郎、田中平八郎、高橋貞三郎、小笠原菊次郎、田中治郎、光澤義男、櫻井久我治▽監査役 高島菊次郎、橋原啓藏、飯田邦彦、中村金太郎

○**フイーゴーステンネス佛軍に捕はる**

本日の官報を以て瓦斯事業法(十七條)が公布された



獨逸工業界の巨頭フリーゴ・スチンネスは妻と共に佛軍の占領地を旅行中シャルンホルスト驛に於いて佛軍のため捕はれ拘留された

十一日(水)

○大日本米穀會第十六回大會は東京上野の自

治館に於て開かれ、二千名参集し會頭志村源太郎開會の辭を述べ、第二日目の委員會に於て移出米検査を國營とする案を可決した

○日支合辦運送洋行の創立

横濱の置合資會社は上海に於ける置合界の重鎮馮憲洋行と合辦組織で上海に運送洋行を創立し、置合資會社は解散して同洋行出張所とすること及び置合の外一般日支貿易をも行ふことに決定した

○消防本部に懸懸懸

警視廳消防部の機械課長尾形孝道及び部下の技手金子定吉は自動車製作所川口銀太郎から自動車哪哪購入の際一萬圓を収賄したと發覺、本日起訴收監された

十一日(木)

○郵政官廳下、臺灣へ行啓

郵政官廳下には午前九時五十分軍艦金剛に御乗艦あらせられ、横須賀軍港を御發航、臺灣へ行啓せられた

○朝鮮義烈團の監獄内苦闘

三月一日の朝鮮獨立記念日を期して一齊に蜂起し京城、平壤、大邱、釜山其他鮮内十數ヶ所の都邑、官公署に爆弾を投じ、要路の高官を暗殺し共産主義の宣傳ビラを撒布せんとした朝鮮義烈團の陰謀は未だに暴露し、朝鮮無産者同盟會長金翰他十八名が逮捕された事件は本日記事附載、その内容が發表された

○野田醫造等議決

野田醫造等議決の職工は本年一月の制度改正以來怠業、日給歩引、工場閉鎖、總罷業決行等三ヶ月に亘つて争議を續けてゐたが、齊藤千葉縣知事の調停によつて解決し清水公園に於いて和解の手打式を舉行し、會社側は寄宿舎に酒を寄贈し職工二千名を慰勞した

十二日(金)

○日本郵船、南洋航路を受命

日本郵船會社は南洋航路から南洋航路を受命し筑前丸、八幡丸、筑後丸の三汽船を配船することとなつた。同航路は一ヶ年十六航海で補助金は年額六十五萬圓

十四日(土)

○電氣協會の役員改選

電氣協會總會は大坂の中央公會堂に於て開かれ、會長以下役員の改選を行ひ左の如く選任した

▽會長上野吉二郎▽副會長三崎省三、松永安左工門▽理事萩原峰吉、關東、田中博、關西、堀木亮三(九州)、藍川清成(東海)、井原外助(中國)、塚田正一(東北)、菅見邦助(北海道)

○國際商業會議所の理事決定

日本經濟聯盟會は常務理事會を開いて國際商業會議所に加入する日本代表理事の銜銜をなし、關球磨、藤山雷太、堀啓次郎を推薦し三名は即日快諾した

○國際新聞記者協會發會式

國際新聞記者協會は帝國ホテルで發會式を舉げた。同會は約七十名の日本人新聞記者の會員と十數名の外國人同業者の客員とを以て成立し、會長は坂本元貞と決定し、英國大使エリオット、内田外相、其他諸名士の祝辭があつた

十五日(日)

○滿鐵鐵道會社の開業

南滿洲鐵道會社は川崎造船所から返還を受けた大連ドックと旅順の海軍ドックとを合併

して資本金二百萬圓(内拂込八十萬圓)の滿鐵船渠會社を創立、本日開業した

○魯大鐵業公司の創立

日支合辦事業たる魯大鐵業公司(資本金九百萬圓)は本日天津に創立總會を開き、正式に會社設立の手續きを完了し、役員は左の如く決定した

▽支那側 總理新雲鵬、協理潘復、董事柯劭怒、王占元、趙世基、監察人呂海寰

▽日本側 協理田邊勝那、專務董事田中末雄、董事井上源太三、半田盛次郎、監察人門野重九郎、顧問實相寺定彦

十六日(月)

○石井ランシング協定職費公文交換

支那に於ける日本の特殊權益を認めてゐた一千九百十七年十一月二日の石井ランシング協定は、ワシントン九ヶ國條約により完全に之を廢棄することに日米兩國政府間に了解なり、兩國政府は本日その公文書を交換した。協定廢棄の理由は、日本の支那に於ける利益享有の承認、支那の領土保全、門戶開放、機會均等の目的は既に達せられその必要が無くなつたといふにある

○勸業債券七百萬圓發行

日本勸業銀行は長期農業資金の需要に應ずるため第八十九回勸業小券(十圓券)七百萬圓を本日より三十日まで賣出した。一等割増金五千圓、二等百圓、三等十圓、四等五圓

○北海道電燈社債五百萬圓發行

富士製紙會社の姉妹會社たる北海道電燈會社は擔保附社債五百萬圓を小池、藤本、大阪野村三銀行並に東京現物團引受けにより左の條件で賣出した

▽利率年八分▽發行價格九十七圓五十錢▽償還期限一年据置後四ヶ年間に七十五萬圓宛抽籤償還

○名古屋紡績社債三百萬圓發行

同社は臨時總會で擔保付社債三百萬圓發行を決議した。條件左の如し

▽利率年八分▽償還期限一ヶ年据置後二ヶ年償還▽發行價格九十四圓五十錢▽受託銀行三十四銀行▽引受銀行住友、三十四、藤本ビルブローカー

○ラジアル企業組合、南米企業組合と改稱

ラジアル企業組合は東京丸ノ内工業俱樂部に總會を開き山科鐵道部長席に着き、規約六ヶ條の改正を可決、同時に南米企業組合と名稱を変更した

○帝國紡績本會社七十萬圓に増資

同社は第一相互館に臨時總會を開き資本金十七萬五千圓を七十萬圓に増加する件を決議した

○參宮線列車覆没の慘事

參宮線一身田、下の庄兩驛間で列車覆没し死者十四名、重傷者九十五名、輕傷四十九名を出した

十七日(火)

○名古屋市場増設費八十萬圓借入

名古屋市場は公設市場増設費八十萬圓の起債に關し大藏省と交渉の結果、低利資金を借入れこれに充當することに決定した

○東京工業品及日用品の規格統一建議

東京商業會議所は總會を開き工業品及び日用品の規格統一に關し農商務大臣に建議書を提出することに決定した

十八日(水)

○陸審法公布さる

第四十六議會を通過した陸審法は本日の官報を以て公布された

○朝鮮の五私鐵道合同調印

朝鮮の私設鐵道中の西鮮殖産、南朝鮮、朝鮮森林、兩江拓林、朝鮮産業の五社代表者は



本日、東京丸ノ内の日本工業俱樂部に會合、五社中より總督府の指令によつて一社を存続し他の四社を併合する形式をとり、合同の新會社は名稱を朝鮮鐵道株式會社とし、その重役も亦總督一任と内定し調印を了した。各社の資本金及び拂込は左の通りである

會社名	公稱資本	拂込資本	開業
朝鮮森林	二〇〇〇〇	二〇〇〇〇	千圓
兩江拓殖	一五〇〇〇	一五〇〇〇	千圓
朝鮮殖産	一〇〇〇〇	三〇〇〇〇	三
南朝鮮	一〇〇〇〇	三〇〇〇〇	三
朝鮮産業	五〇〇〇〇	二〇〇〇〇	九
合計	六〇〇〇〇	一、一五〇〇〇	六三

公債二千萬圓抽換償還に決定

政府は左記長期公債を抽換によつて償還する旨本日の官報を以て告示した  
 △五分利公債(明治三十九年乃至大正八年發行のもの)額面七百萬圓▽特別五分利公債額面七百萬圓▽甲種五分利公債額面六百萬圓▽以上合計二千萬圓▽抽換執行日五月七日▽償還期日五月二十五日  
 ◇東京モスリン紡績株式會社五百萬圓發行

東京モスリン紡績株式會社は事業擴張資金に充てるため社債五百萬圓を左記條件にて發行の件を臨時總會で決定した  
 △利率年八分▽發行價格九十八圓▽償還期限二年償還後三ヶ年に償還▽申込期日四月二十五日より三十日▽拂込期日六月一日▽受託銀行三井、第一、百三十三

全國購買總會聯合會成立す

同會は創立總會を東京牛込區湯島町の産業組合中央會樓上に開催、各地組合代表者百九十二名出席、第一回出資拂込は一口二百圓とし、九月一日事業開始と決定、左の役員を選任した  
 △顧問志村源太郎▽理事月田三郎(會長)千石興太郎、小林辰蔵、相馬貞一、木津慶次郎、杉浦彦次、北川嘉兵衛、野村勘左衛門、湯島長右衛門、岡佳吉、石井環▽監事徳田留蔵、渡邊眞幸、下島平治、袴田支之助、飯島哲郎  
 二十日(金)

山口銀行五千萬圓に増資

山口銀行は臨時總會を開き資本金二千萬圓を五千萬圓に増資するの件を可決した  
 二十一日(土)

五分利國庫債券七千萬圓發行

政府は本年六月一日償還期限の到来する五分利國庫債券(る説)及び(て説)借替のため第三回五分利國庫債券七千萬圓を、左の條件によつて發行することに決定、本日の官報を以て告示した  
 △發行價格現金拂込のもの九十一圓七十五錢、代用拂込のもの九十一圓二十五錢▽償還期限大正十九年三月一日まで▽申込期日五月十日より同月十二日まで  
 ◇滿鐵の職制改革と部長更迭

川村滿鐵社長は本日職制の改革と部長の更迭を發表した

職制は新たに庶務部を設け運輸部を鐵道部とし五部制とした。人事の更迭は鐵道部長藤根壽吉、礦業部長貝瀬謙吾、鐵道部長長根野實、庶務部長木部守一とし、礦業部長和田敬三、建築課長小野木孝治、土木課長加藤與之吉等四十一名の高級社員を淘汰した。更に東京支社に於ても従来の運輸課を廢して庶務、經理の二課を置き、運輸課の事務は庶務課に屬せしむることとなり、それと同時に次の通りの異動が行はれた  
 東京支社駐在理事森俊六郎を東京支社長事務取扱に、同支社長主事木部守一を本社庶務取扱に

郵務長に、同庶務課長兼運輸課長井上政也

を安東事務所勤務に、參事古仁所豊を支社庶務課長兼經理課長に、支社經理課長大和田勇は依願免職  
 二十一日(日)

北京外交團の對支要求

北京外交團は支那政府に對し、關稅增收額全部を外債償還に充當せよと要求した  
 二十三日(月)

武蔵山治の實業同志會成立

大日本實業聯合會は本日大阪市中央會堂に總會を開催、出席組合數百二十四、會員六百十名、實業同志會組織の懇談會を開き直ちに宣言、綱領、政策等を決定し、武蔵山治を會長に推選した。尙ほ東京實業組合聯合會は二十八日定時總會を開き、政治的色彩を有する實業同志會に加入する件は見合すことに決定した  
 二十四日(火)

手形交換所聯合會の募集債權總額

大阪市中央會堂に開催された第二十回全國手形交換所聯合會は國債整理に關する建議案を可決したが、その内容は募集債權を要望したものである

朝鮮中央鐵道會社の帝國鐵道協會に臨時總會を開き取締役及び監査役全員辭任につき改選を行ひ左の如く當選した

△取締役室田義文(社長)、佐藤潤象(専務)武和三郎、東條正平、野村龍太郎、鈴木寅彦、渡邊修▽監査役渡邊嘉一、杉浦宗三郎、松井民治郎  
 ◇東京電氣、關東電氣を特許權侵害で訴ふ  
 タングステン電球の特許權を有するマツダ電球の製造元たる東京電氣會社は、關東電氣會社を長若尾普造に對し特許權侵害及び權利確認の訴願を特許局に提出した  
 二十五日(水)

五分利國庫債券一千萬圓發行

政府は鐵道建設改良費に當てるため五分利國庫債券(第二回)一千萬圓を價格百圓につき九十二圓四十錢、償還期限大正十八年六月一日までの條件で發行した  
 ◇東京製鋼社債五百萬圓發行

同社は臨時總會を開き日東製鋼會社川崎工場及び附屬地買入れ資金に充當するため百五十萬圓の社債發行を可決し、社債借入先及び時期等は重役會に一任した

日本油商、日本グリセリン工業を合併

日本油商會社(資本金二百萬圓)内拂込百二十萬八千二百圓)は日本グリセリン工業會社(資本金六百萬圓)内拂込四百二十萬圓)を合併し、資本金を六百二十萬圓に増加する件を臨時總會で決定した  
 二十六日(木)

後藤東京市長辭職

東京市長子爵後藤新平は突然辭表を提出して日露國交調停に乗出し、來朝中の露國駐東全權ヨツフェと私的に交渉を開始した  
 ◇日本輸出組合、國庫補助を要求  
 山形縣鶴岡町に開催された日本輸出同業組合聯合會組長會議は、同聯合會に對し國庫補助申請の件、同運送料の低減を期する件、同營業稅撤廢方請願の件を可決した  
 二十七日(金)

國有財産整理局設置さる

大藏省内に國有財産整理局設置の官制は本日の官報を以て公布された  
 ◇日露の伐材契約正式調印さる

東洋拓殖、大倉組、秋田木材其他の林業者を代表して露領チタに赴いた極東林業組合顧問鈴木重治、大倉組の吉田薫は本日露農政府



よりの被委任者、経東革命委員會議長コーゼ  
ボフとデカストリ、漢以南滿洲對岸附近に至る  
三百萬町歩に亘る伐材契約を正式に調印した  
この契約は労働政府と日本との最初の契約で  
ある

◇大蔵省は臺灣銀行の整理資金として預金部  
より五千萬圓を利率年五分、期限一ヶ年の條  
件で融通することに決定した

◇大日本紡績聯合會は採短問題に關し賛否兩  
派の委員會を大阪ホテルに開催したが、五月  
十五日より深夜業廢止に至る期間、四晝夜の  
休業及び晝夜各十時間を越えざる運轉とする  
(無強制)案を可決した

◇支那郵船會社、損失のため事業中止  
米支合辦の支那郵船會社は、南京號、チャ  
イナ號、ナイル號の三汽船を以て桑港・香港間  
の定期航海を經營してゐたが、海運界の不況  
により損失多きため本月限り事業を中止する  
ことに決定した

◇東亞拓殖會社の半額減資  
同社は臨時總會を開會、資本金二千萬圓を  
一千萬圓に減資し、前期缺損金二百六十四萬  
餘圓を後期に繰越す件を可決した

◇英商會の損害賠償訴訟、日本側勝訴  
英國ロンドンに本社を有するリョーボード

埼玉縣大里郡正村に深淵なる小作争議が  
起り六十餘名の小作人が團結して一千餘町歩  
の小作地返還、名譽職職辭職、村稅滞納、小  
學校兒童の同盟休校を決議し、三十日には四  
百餘名の兒童中三百三十九名は同盟休校した  
三十日(月)

◇日本電報會社の増資  
資本金五十萬圓(内拂込四分の一)の同社  
は臨時總會を開き解散に決定した

◇東亞紡績六百萬圓に減資  
資本金九百萬圓の東亞紡績會社は臨時總會  
を開き、三百萬圓を減資して資本金六百萬圓  
となす件を可決した

◇明治紡績、日印紡績を買収  
明治紡績會社(資本金五百萬圓)は日印紡  
績會社(資本金三百萬圓内拂込七十五萬圓)  
を六十萬圓にて買収する件を臨時總會で決定  
した

◇東亞拓殖會社の半額減資  
同社は臨時總會を開會、資本金二千萬圓を  
一千萬圓に減資し、前期缺損金二百六十四萬  
餘圓を後期に繰越す件を可決した

◇英商會の損害賠償訴訟、日本側勝訴  
英國ロンドンに本社を有するリョーボード

・ワルフォード商會は六年前滿洲國縣若松市邊  
船業粉木順作を相手取り買買契約不履行に基  
く損害賠償百六十八萬四千五百圓請求の訴訟  
を起したが、本日控訴院の判決で被告の勝利  
となつた

◇大阪職業補導會、總會式を舉行  
大阪職業補導會は今橋ホテルに於て發會式  
を舉行した。同會の基金十萬圓は維新紡績會  
社々長武藤山治の寄附によるものである

◇ロンドン、ベルリン間の定期飛行實施  
倫敦伯林間の定期飛行は本日より實施され  
た。一週一回就航で今朝英國飛行機は出發し  
たが、途中アムステルダム、ハンブルグ等を  
經由する

◇郵政官廳下、臺灣より運送  
二旬に亘り臺灣の民情を御視察遊ばされた  
攝政官廳下には、本日午前八時横濱須賀軍港御  
入港の御召艦金剛にて還啓遊ばされた

◇ブラジル公使館、大使館に昇格  
南米ブラジル駐在帝國公使館は大使館に昇  
格、二等書記官原田良治が代理大使を命ぜら

【五月】

一日(火)  
◇郵政官廳下、臺灣より運送  
二旬に亘り臺灣の民情を御視察遊ばされた  
攝政官廳下には、本日午前八時横濱須賀軍港御  
入港の御召艦金剛にて還啓遊ばされた

れた

◇米國補償委員會、生糸の強制検査を要望  
來朝中の米國補償委員會ゴールド・スミ  
ス、チニー、ダウティ外六名は本日農商務省  
を訪問し、日本生糸の強制検査を要望した

◇大分銀行の休業繼續  
休業整理中の大分銀行は休業繼續満期たる  
四月末日に至るも整理未済のため再開業に至  
らず、更に五月三十一日まで休業することと  
なつた

◇小田原銀行鐵道會社の創立  
資本金一千三百五十萬圓(内拂込百三十五  
萬圓)の同社は帝國鐵道協會に創立總會を開  
き、左の役員を決定した

▽取締役利光鶴松(社長)、波多野友江、吉  
村憲吉(以上常務)、兒玉集穂、中村宗太郎  
安東龍五、小川市太郎、藤江章夫、上杉松  
太郎、森格、池邊稻生▽監査役鳩山一郎、  
鈴木茂兵衛、星光

◇東京の労働祭で百九十名檢束  
メーデーは全国の主要都市に於てそれ〴〵  
行はれ、東京に於ては都下の十五労働團體と  
二十五組合の約二萬人が芝公園から上野公園  
に向つて労働歌を高唱しつゝ行進し、不逞の

行爲をなした百九十名は檢束された

三日(木)  
◇山東鹽田業者に補償金交付  
外務省は山東の鹽田業者に對し從來の補償  
金七百八十七萬圓に更に百五十萬圓を増額し  
總額九百三十七萬圓を交付することに決定し  
第一回分として三分の一を同業者に交付した

◇加賀義内務事務會、浦邊に拘禁さる  
前年十一月中旬内務省より浦邊に派遣され  
た事務官加賀美武夫は同地國家保安部に拘禁  
された

◇米國の西比利亞富源調査團來朝  
米國紐育の資本家團體によつて派遣された  
シベリア富源調査團一行ダニエル・ウルム他  
五名は本日横濱に上陸した

四日(金)  
◇紡績聯合會加盟の休業會社増加  
紡績聯合會加盟の會社中採棄不引合のため  
休業してゐる會社は山東紡績、日本メリヤス  
和歌山染工、關西紡績、山積紡績の五社であ  
つたが、更に山陰紡績が休業して合計六社と  
なり、全休止社數四萬七千九百六十八社に達  
した

◇西比利亞經由の歐洲郵便に日本は除外

歐洲方面から支那北京方面への郵便物は西  
比利亞經由によつて八日乃至十二日位短縮さ  
れることになつたが、日本は露國政府を信用  
せず、露國政府も亦日本を除外し日歐間郵便  
物を取扱はぬことに決定した

◇漢口商務會の日貨不買決議  
漢口商務會は五月七日以前の約定品以外  
の日本商品を仕入れぬこと及び日本品の輸出  
に對しては一般的にボイコットをなすことを  
決議した

五日(土)  
◇滿鐵借入金一千六百萬圓借替  
南滿洲鐵道會社の借入金一千六百萬圓は五  
日償還期限に達したので關係銀行の興銀、正  
金、鮮銀、毫銀、三井、第一、三菱、安田、  
十五、三十四の十銀行と交渉の結果、借入金  
を手形の形式で借替へ利率は日歩二錢五厘と  
なすに決定した

◇龍城に土匪襲撃事件起る  
支那津浦鐵道龍城縣縣で特別急行列車が軍  
隊同様の武裝を有する土匪に襲撃され、約三  
百人の外國人と支那人が拉致された。十日英  
米、佛三國は三日以内に救助しなければ出兵  
するとの抗議を支那政府に提出した



○無償代表ヨツプス再び入京

本朝中の露國陸軍全權ヨツプスは、熱海の勝美を終へて本日夕刻上京、築地精養軒に入つた。

○六日(日)

○工業技術家聯合會の街頭進出

工政會、日本工人俱樂部外十四團體によつて組織された工業技術家聯合會は、工業立國の進歩を宣揚するため第一回演說會を上野公園東京自治館に開き、帝大教授工學博士佐野利器、協同會理事田澤義輔、東京市電氣局長長尾半平等の演說があつた。

○下野銀行の五十萬圓責任額事件

宇都宮市に本店を有する下野銀行(資本金五百五十萬圓)は同行東京支店長高島三三を行金五十萬圓責任額として東京地方裁判所に告訴した。

○七日(月)

○對支文化事務局設置

本日の官報を以て外務省内に新設する對支文化事務局官制を公布、即日施行された。

○紡績協會、操業基準統一案を可決

紡績聯合會の協議會を大阪ホテルに開き、紡績、富士瓦斯等三十九社會會、聯合會各社

は本年五月十五日より深夜業撤廢に至るまで一ヶ月少くも四晝夜の休業をなし、一日の運轉時間は晝夜各十時間を超えざること、但し夜業休止の工場はこの限りに非ずとの操業基準統一案を可決した。

○山東鑛業會社の創立

山東鑛業會社(資本金五百萬圓)は東京丸の内日本工業俱樂部に創立總會を開き、左の役員を決定した。

△取締役大倉喜八郎(社長)、牧田環、三谷一二、川上常郎、白岩龍平、坂仲輔、門野重九郎、田邊勝那、田中末雄、神崎正助、監査役松本健次郎、中田錦吉、磯村豊太郎、岡崎孝吉、森俊六郎、△相談役和田豊治

○大日本鑛業會社二十萬圓に減資

同社は臨時總會を開き、資本金百二十五萬圓を二十萬圓に減資する件を可決した。尙取締役會を開き取締役會長に松尾鶴太郎、専務取締役に林彌太郎を選任した。

○株式会社山久商店の設立

株式会社山久商店(資本金二十五萬圓)は創立總會を開き、左の役員を決定した。

△取締役 高橋久太郎(社長)、中島武平、高橋弁太郎、△監査役 小倉善右衛門、小久

江喜衛

○鐵道夢酒會社の借額増資

資本金五百萬圓の同社は臨時總會を開き、借額の一千萬圓に増資する件を可決した。

○國際教育會議の日本代表決定

本年六月二十八日から一週間米國桑港に開催される國際教育會議に出席すべき日本代表を決定するため、日本平和運動聯盟は東京の神田青年會館に協議會を開き、東京帝大教授姉崎正治、目下渡米中の安井哲子、フレンド女學校教師佐藤隆子を代表とすることに決定した。

○支那留學生、駐日公使に謝辭書

日本在留支那學生五百餘名は五月七日を國母記念日と稱し、東京神田區神保町の中華青年會館に「五七國母記念會」を開催して氣勢を擧げ「二十一ヶ條廢棄の再通告をなすこと」其他を決議し、更に大舉支那公使館に應代理公使を訪問同公使の辭職を勧告した。

○八日(火)

○小作制度調査會設置

本日の官報を以て小作制度調査會官制を公布、即日施行された。同官制は第一條に於て「調査會は農商務大臣の監督に屬し關係各大

臣の諮問に應じて小作制度に關する事項を調査審議する」ことを制定してゐる。

○安田系銀行の十一銀行、合同に決す

安田銀行は安田系銀行十一行を新設の保善銀行(資本金二千萬圓内拂込四分の一)に合併し、更に安田銀行(資本金一億五千萬圓内拂込九千二百七十五萬圓)を創立する件を本日の臨時總會で承認し、本年十月上旬に左記十一行の合同成立を見ることになつた。

△安田、第三、明商、肥後、京都、日商、百三十、二十二、根室、信濃、神奈川

○九日(水)

○臨時國庫券五千三百萬圓借替發行

前年十一月九日發行された臨時國庫券(か號)五千三百萬圓は本日償還期限到来し左の條件で借替發行された。

△割引歩合日歩一錢八厘五毛、償還大正十二年十一月九日

○十日(木)

○三山電鐵及山東鐵道に駁免許

鐵道省は左記二會社に對し鐵道敷設免許狀を下附した。

△三山電氣鐵道會社、山形縣西村山郡高松村より同郡西山村に至る五哩六十領、建設

資金七十二萬圓

△山東輕便鐵道會社、和歌山縣海草郡西山東より同縣那賀郡中貴志村に至る三哩五十九領、建設資金三十萬圓

○有馬電氣鐵道會社の創立

資本金三百萬圓の同社(資本金より有馬に至る八哩の電氣軌道敷設計畫)は創立總會を開き、左の役員を選任した。

△取締役坪田十郎、松田治三郎、平井龜之助、赤穂常七、山田文吉、橋本久一、梶太郎、富谷三郎、正木孝之、△監査役坂田寅雄、岡本彌松、芝辻孝太郎

○早大に學生軍事研究會生る

早稻田大學々生を以て組織された軍事研究會は本日同校内に發會式をあげた。

○十二日(土)

○東京電燈外債五千萬圓成立

東京電燈會社は外債五千萬圓を左の條件を以て英國に於て發行することに決定し假調印を終つた。

△第一回三千萬圓、第二回一千萬圓、追加一千万圓、利率年六分、償還期限二十ヶ年、据置後五ヶ年間に償還

○早大の軍事研究反對大會、大混亂に陥る

早稻田大學校内廣場に開催された早大學生の軍事研究反對大會は賛否両者の争闘により大混亂に陥り數名の重傷者を出した。

○十三日(日)

○國際貿易所の株主協議會開催

國際貿易所の有志株主は株主の利益擁護のため東京地學協會に有志株主協議會を開き、一部株主は拂込金中三十八萬圓が使途不明であると指摘したことから議論百出し紛擾を來したため散會し、十五日再開し日本側株主の拂込金七十萬圓の保管人選定は議長横木壽三郎に一任することに決定し落着した。

○十四日(月)

○滿洲四銀行合併の假調印

滿洲四銀行合併に關して各銀行代表者は東京に於て合併の基本を定め假調印を終つたが四銀行の資本金は左の通り

△大連銀行資本金三百萬圓内拂込二百五十萬圓、遼東銀行資本金三百萬圓内拂込百七十五萬五千圓、奉天銀行資本金五百萬圓内拂込百二十五萬圓、滿洲商業銀行資本金二百二十七萬五千圓、合計資本金一千三百二十七萬五千圓内拂込七百七十三萬圓

○馬場正治、富山縣へ百萬圓密附



高山縣上新川郡東岩瀬町の富家馬場正治は親権者たる春子の名儀で百萬圓を高山縣へ寄附した

十五日 (火)  
○水産冷蔵獎勵規則の公布

農商務省は水産冷蔵獎勵規則を制定公布した。同規則は十九ヶ條から成り、水産物の冷蔵を奨励するため水産物の冷蔵運搬船及び冷蔵庫並に冷蔵用水等の貯水庫に對する獎勵金交付を規定したものである

○對朝鮮、海軍大臣に親任さる

横須賀鎮守府司令長官海軍大將財部龍は海軍大臣に親任され、海軍大臣兼海軍中將の總理大臣加藤友三郎は兼任を解かれた

○日米農工業三十五萬圓に減資

同社は臨時總會を開き資本金百萬圓を三十五萬圓に減資する件を決定した

十六日 (水)  
○對獨逸賠償問題の國答文公表

外務省は「獨逸政府が日本、アメリカ、英國、フランス、イタリ、ベルギーに向つて發した賠償金問題に關する新提案に對し、帝國政府は直ちに賛同の意を表することが出来ぬとの回答文を十五日獨逸に交付した」旨公表した

○北海道拓殖銀行頭取水越理應  
歐米漫遊中の北海道拓殖銀行頭取水越理應は横濱入港の加茂丸で歸朝した

十七日 (木)  
○子爵渡邊一、東京市長就任を拒絶

東京市會の市長銜委員代表は後任市長に子爵渡邊一を推薦し就任を懇請したが「明治六年官界を去つてから五十年に及び、明治三十四年伊藤内閣倒れ山縣内閣組織の際、山縣公から大藏大臣の交渉を受けたが固辭した次第で、五十年來の主義主張は曲げられぬ」との理由で拒絶の回答をなした

二十日 (日)  
○早稻田大學の文化同盟解散

早稻田大學の文化同盟は同校の軍事研究會と對立し紛擾の因をなしたといはれたため「母校平和のため解散す」との宣言を發表して解散した

二十一日 (月)  
○鴻巣銀行の休業

埼玉縣鴻巣町の鴻巣銀行(資本金百萬圓内拂込四十九萬圓)は本日より二十八日まで帳簿整理のため休業を公表したが、同行の相談

役員長島弘は、小切手五十三萬圓を振出し新東株を買入れ更にこれを遠山商店に賣拂ひ現金を拂へて逃走し休業せしめたこと發覺し、二十三日警視廳の手に取押へられた

二十二日 (水)  
○勞働統計實地調査の勅令公布

勞働統計實地調査の勅令は本日の官報を以て公布された。同勅令は三年に一回づつ十月十日現在の勞働状況を調査することを規定したもので、第一回調査は十月十日全國一齊に施行することに決定した

○五分利國庫債券四千五百萬圓發行

政府は第五回五分利國庫債券四千五百萬圓を發行することに決定し大藏省告示を以て發表した。條件は左の如し

▽發行價格額面百圓につき九十八圓二十五錢  
▽發行日六月一日  
▽利子支拂期三月一日  
六月一日、九月一日、十二月一日  
▽償還期限大正十三年六月一日迄  
▽利廻六分八厘餘

○日本鋼鐵、東海鋼鐵を合併

日本鋼鐵會社は東京日本橋俱樂部に臨時總會を開き、東海鋼鐵會社(資本金百七十萬圓全額拂込済)を合併し、百十五萬圓を増資して資本金六百十五萬圓(内拂込四百九十二萬

圓)とすることに決定した

○東洋殖産會社理事任命

川上常郎、人見次郎、池邊龍一、八木武三郎、尾崎敬義は東洋殖産會社の理事に任命された

二十四日 (木)  
○大門銀行の休業

埼玉縣北足郡大門の大門銀行(資本金五十萬圓)は鴻巣銀行休業の餘波を受けて本日より六月十二日まで休業する旨發表した

○佛蘭西アンカレ内閣總辭職

佛蘭西元老院が「ボアンカレ」政府は佛軍がルール占領當時捕縛した共產主義の下院議員マルセル・カシヤン其他の佛國共產主義者を裁判する権能なし」との議決をなしたため、ボアンカレ内閣は大統領ミランランに辭表を提出した

二十五日 (金)  
○浜田秀次郎、東京市長に當選

本日の東京市長候補選挙の市會に於て東京市高級助役浜田秀次郎が當選した

○後藤新平、日ソ交渉内容につき聲明

露國代表ヨッフエと後藤新平との間に行はれた日ソ國交回復の内交渉の經過につき、後

藤新平は聲明書を發表した。同聲明書は豫備交渉基礎の私案要目として、サガレンは日露合辦のシンチケート若くは特許を以て利権を與ふること外五項目を明示したものである。右に關し外務省は、豫備交渉の基礎は後藤子の私案で中央政府と諒解あるものではないと

二十七日打消しの當局談を發表した

○常盤銀行、水海道銀行を合併

水戸の常盤銀行は水海道銀行(資本金七十萬圓)を合併し、資本金を四百二十萬圓となす件を臨時總會で決定した

○高砂生命保險會社の四倍増資

同社は臨時總會を開き資本金五十萬圓を二百萬圓に増資と決定した

○三十八銀行、神戸實業銀行を合併

姫路市に本店を有する三十八銀行は臨時總會に於て神戸實業銀行(資本金百萬圓内拂込六十萬圓)の合併を決定した

二十八日 (月)  
○帝國製糖會社六百萬圓借替發行

帝國製糖會社は東京丸の内帝國鐵道協會に定時總會を開き、社債六百萬圓償還に關し新に同類の社債を借替發行する件を可決した

○帝國製糖、日本製糖を合併

帝國製糖會社は日本製糖會社(資本金三百五十萬圓全額拂込済)の合併假契約を臨時總會で承認した。合併後の帝國製糖會社の總資本金は三千七百七十五萬圓である

○大連取引所信託會社の五倍増資  
大連取引所信託會社(資本金三百萬圓)は臨時總會を開き資本金を五倍の一千五百萬圓に増加する件を可決した

二十九日 (火)  
○小作制度調査會委員任命

本日附を以て小作制度調査會委員として内務省地方局長潮惠之輔以下二十五名が任命された

○日英小包郵便約定の改訂

日英小包郵便約定改訂追加條款は本日日英兩國政府間に調印を終つた。條款は英本國が物價騰貴のため運賃の値上を希望し、日英兩國間の小包料金の率を引上げる必要から改訂されたものである

○下野銀行の休業

宇都宮市の下野銀行(資本金五百五十萬圓)は本日より六月十一日まで帳簿整理を名とし臨時休業する旨發表した

三十日 (水)



日支通商會議開催

同會議の總會は鐵道省會議室に開かれ、大正十年巴里に於て開會された國際鐵道通商會議は日本國鐵とロシア鐵道とを除いたが、この際日支通商を中心として東亞鐵道國際會議を設置すべきことを日本側より提案し、支那委員も同意し、ロシアの國際的復興を待つて開設することに決定した

大日本人遺囑執行の調査

大日本人遺囑執行會社は東京丸ノ内工業俱樂部に臨時總會を開催、國東俊吉及び日本化學肥料兩會社合併を報告し、左記新重役を選任した

取締役 役田中榮八郎(社長)、二神駿吉(専務)、室田義文、竹原友三郎、益田太郎、藤原有信、村井貞之助、山岡俊、千葉清(總務部長)、石川一郎(工務部長)、吉米地義三(營業部長)、吉田浩三(關西支部長)、監査役 松岡修造、小西喜兵衛、松村光三

尾瀨鐵道工場組織變更

信州尾瀨組は片倉製菓會社へ合併する前提として資本金五百五十萬圓(拂込四分の一)の株式會社に組織を變更することとなり、本日東京支店に創立總會を開き左の役員を決定した

した

取締役 尾瀨廣太郎(社長)、今井五介、尾瀨虎雄、片倉直人、片倉修一、尾瀨良一、武井慎太郎、尾瀨昌一郎、尾瀨都司、監査役 片倉武雄、青木萬之助

臺灣製糖の損失

臺灣製糖會社は東京日本橋俱樂部に定時總會を開き、當期損失金二十六萬九千九百五十三圓、前期繰越損失金百三十二萬四千八百六十三圓、合計百五十九萬一千八百十六圓を後期に繰越す件を可決した

三十一日(木)

芳澤慶吉、駐支公使に任ぜらる

外務省亞細亞局長芳澤慶吉は本日特命全權公使に任ぜられ、支那駐劄を仰付けられた。同時に特命全權公使小幡西吉は支那駐劄を免ぜられた

新潟水電、高瀬電氣、東北電化を合併

新潟水電、高瀬電氣、東北電化を合併し、新潟水電會社(資本金七百萬圓)は定時總會を開き東北電化、高瀬電氣兩會社を合併し資本金を七百五十萬圓に増加する件を可決した

小野田セメント、小野田煉材を合併

資本金七百五十萬圓の小野田セメント製造

會社は小野田煉材會社を合併、三十萬圓を増資して資本金七百八十萬圓となつた

大日本電力、北海道電力を合併  
資本金二百六十三萬五千圓の大日本電力會社は北海道電力會社を合併し、二十五萬圓を増資して資本金二百八十八萬五千圓となつた

六月

一日(金)

特殊建築物耐火構造規則の公布

政府は市街地建築物法第十四條の規定による特殊建築物耐火構造規則を制定し本日官報を以て公布した。七月一日から實施

社會局健康保險部の設置

社會局に健康保險部を設置する勅令は本日官報を以て公布された。同勅令は内務省社會局に健康保險部を置き分課規定を制定したもので、職員は部長一人、書記官專任二人、技師專任三人、屬專任十二人、技手專任二人で、部長には社會局書記官次田大三郎が任命された

五分利國庫債券四千五百萬圓發行

政府は本日償還の「ろ」及び「て」五

分利國庫債券發行のため左の條件で國庫債券

四千五百萬圓を發行した

發行價格九十八圓二十五錢、利六分八厘、發行日期六月一日、償還期限大正十三年六月一日

鐵道公債一千萬圓發行

政府は鐵道建設改良費の財源に充てるため五分利國庫債券一千萬圓を、左の條件で發行した

發行價格九十一圓六十錢、利六分七厘、償還期限大正十九年六月一日

興業債券二千萬圓發行

日本興業銀行は本年七月十五日償還期限の第一回政府保證興業債券發行のため左の條件で興業債券二千萬圓を發行するに決した

利率年六分、發行價格九十三圓五十錢、發行日期七月二日、償還期限六ヶ年、隨時償還

電話重疊通過規則の公布

通信省は電話至急通過に関する規則を制定公布した。同規則は管利の目的を以て申請する者を取締り、電話の公平な普及を図ることを主眼としたもので、開通後五年間は加入名簿及び設置場所の變更を許可せぬ規則である

農事電化協會創立

農事電化を促進する目的を以て組織された農事電化協會は東京丸ノ内日本工業俱樂部に創立總會を開き、左の役員を選任した

會長 内田嘉吉、副會長 道家齊、常務理事 林安繁、若尾球八、奥村寅次郎、窪田四郎、矢作守謙、松永安左工門、岸敬次郎、山川茂太郎、青柳榮司、監事 榊島禮吉、中川末吉、安藤廣太郎

二一日(土)

日露交誼會開催

日露交誼のため來朝中の露國代表ヨッフエ歓迎の日露交誼會は東京築地の精養軒に開かれ五十餘名出席し、三宅雪嶺博士は日本側を代表し挨拶をなした

阪神電氣會社の創立

同社(資本金五百萬圓)は創立總會を開き左の重役を選任した

社長 井上虎治、専務取締役 河原政策、門田、取締役 矢野藤太、西田正俊、池内源吉、庄島貞次郎、監査役 加納由兵衛、中西平兵衛

米露爲替協定の成立

勞農露西亞商工銀行は紐育の米露銀行と米露爲替取組の契約を結んだ

三日(日)

アダム・スミスの二百年祭舉行

「國富論」の著者アダム・スミスの二百年祭は都下の各大學が聯合し東京帝國大學法科教室において舉行され、同時に文獻の展覽會を開催した。スミスは一千七百二十三年六月五日スコットランドのカーコーディに生れ、一千七百九十年七月十七日死去した

四日(月)

長沙の排日暴行事件に我政府抗議

日清汽船會社の武蔵丸が本月一日長沙に入港したところ排日暴徒は同汽船の荷揚げを妨害し、救援に出動した軍艦伏見の水兵に對して投石暴行をなしたため我が水兵は止むなく暴徒二名を射殺するに至つたが、本日政府は支那外交部に對して抗議を提出した

關西汽船同盟會組織

關西に於ける近海小型船主、大阪商船、尼ヶ崎汽船、宇和島運輸外數社は瀬戸内海航路の競争を避け運賃の協定をなすため關西汽船同盟會を結成した

横濱取引所の同盟

横濱取引所の所員は待遇改善と慰勞金分配の要求が容れられぬところから同盟罷業を斷



行し、そのため生糸市場長期取引の立會は延滞するに至り、我國取引所開設以來始めての争議を惹起したが、翌五日希望条件の一部を認められ解決した

五日 (火)

◇全國農會大會、農務省獨立を決議  
全國農會大會は東京丸の内商工獎勵館に開かれ、六百餘名出席し、農村振興の急務を提唱した宣言及び、直ちに農務省の獨立設置を期す、外三項の決議を可決した

◇秘書補給一費檢點  
警視廳は本朝堺利彦外十五名にかゝる秘書補給事件の一斉検舉を行ひ、堺始め浦田武雄、渡邊清三、杉浦修一、田所輝明、上田茂樹、橋浦時雄、市川正一の八名を東京刑務所に収容した。罪名は朝憲素亂と治安維持法違反である

◇電信電氣試驗所長島瀨右一死去  
本日午前八時東京府下大井町の自邸で死去した。享年四十一。明治三十九年東大工科を卒業後電信省の技師となり歐米各國に留學、歸朝後石檢波器を發明し長距離電話通信に應用し、次で電信省型無線電信を發明した

六日 (水)  
◇東京電燈社債六千萬圓發行  
東京電燈社は臨時總會を開き社債六千萬圓發行の件を可決した。條件と發行期日は取替役に一任

◇佛國國債公債五千萬圓借替發行  
佛國政府は日本に於て國債借替發行五千萬圓を借替發行することに決定し、本日左の條件で各引受銀行が賣出した  
▽債券名額一千九百二十三年佛國政府國債  
車債券▽償還期限大正十三年七月四日▽利率年六分▽利息七分九厘弱▽賣出價格額面百圓に付九十八圓二十五銭▽引受銀行第一、三井、三菱、十五、第百、興銀、鮮銀、安田、第三、日佛銀行支店、橫濱正金、三十四、住友、鴻池、加島、近江、山口の十八行  
◇帝國農政協會設立さる  
各府縣の農會代表者は東京丸の内帝國農會に會合し、農村を振興し國家産業の發達を國の目的を以て帝國農政協會を設立することに決定した。同協會の組織は道府縣農會を中心として道府縣の農政俱樂部、農政研究會、農事協會等打つて一九としたものである

◇日本郵船會社瀧館の火災  
東京麹町區有樂町一ノ一の日本郵船會社は東京驛前の新館へ移轉する最中舊館の二十一號室から發火し、三階全部を焼失した。損害は約三百萬圓であるが、同會館は三菱地所部の所有で保險金は三菱海上保險に三十萬圓附してある。郵船の損害は約六萬圓、貴重な造船設計圖は全部焼失した

九日 (土)  
◇日華實業協會の日貨排斥決議  
日華實業協會は會長益澤榮一以下各委員出席して支那の日貨排斥に關する對策を協議し支那及び内地各商業會議所と聯絡をとり打開策を講ずることを決議した

十日 (日)  
◇日露交渉に關し加藤、後藤の會談  
露政會議加藤高明は華族會館に於て後藤新平と會見し、勞農代表ヨッフエとの日露交渉の經過を聴取した

◇預金部、朝鮮殖産に三百萬圓融資  
朝鮮殖産銀行は不動産擔保の長期資金融通をなしてゐるため債券の發行難に陥り資金の調達に窮してゐるので、總督府の斡旋により産業開發資金として大藏省預金部から低利資金三百萬圓を融通することに決定した。二十ヶ年に買戻す條件を以て朝鮮殖産債額面三百萬圓を預金部が引受けるもので、利率は年五分五厘

十一日 (月)  
◇東洋紡織工業、瀧ノ湖水電を合併  
資本金一千五百萬圓の東洋紡織工業會社は資本金七百萬圓の瀧ノ湖水力電氣を合併し、三百萬圓増資して資本金一千八百萬圓となつた

十二日 (火)  
◇日露備交渉代表に川上登喜彦任命

日露備交渉代表委員として渡邊公使川上登喜彦を任命することに決定し、同公使はこれを受諾した

十三日 (水)

◇國策研究會、日露復交を決議  
國策研究會は臨時總會を開き阪本俊篤、新渡忠三郎等三十餘名出席し、阪本俊篤議長席に着き「吾人は政府がこの機を逸せず日露會商を成立せしめ、兩國の友邦關係を設定せんことを望む」との決議をなした

◇大阪商船、カルカッタ鐵路同盟に加盟  
大阪商船會社はカルカッタ鐵路同盟(ブリタニヤ・インデアン、インド・チャイナ、日本郵船の三社)に加盟することを大正十年以來希望してゐたが、インデアン社が商船の購買寄港に反対し延期されてゐたところ本日同鐵路同盟に加入することを承認された

◇大總統發元洪、天津に逃る  
大總統發元洪は直隸派の壓迫に堪へ兼ね北京を脱出して天津に逃れたため、大總統の職權は高内務總長が代行することとなつた。翌十四日黎大總統は辭職し、國務院に職權を代行せしめるとの通電を全國に發した

十四日 (木)

◇青島牛調查機關設置の勅令公布  
青島牛及び同生肉の輸入税を免除し輸入に便利となつた結果、牛疫其他の傳染病が内地に波及する虞れあるため、政府は農商務省防疫調査所に青島牛調査の臨時職員を設置することに決定し、本日の官報を以て勅令を公布した

◇漢口の日本人會、日對策決議  
漢口に於ける日貨排斥は日を送つて熾烈となつたので、同地の日本人會は大會を開き、「帝國政府は凡ゆる手段を盡して支那官民をして最も嚴重にその責任を自覺せしむるを要す」との決議をなした

◇大倉組頭頭取野重九郎、支那から歸朝  
大倉組頭頭取野重九郎は支那の觀察を終へ門司入港の河南丸で歸朝した

十六日 (土)  
◇瀧電社債二千萬圓借替發行  
南滿洲鐵道會社の社債總額三千五百萬圓償還に關し東京丸の内銀行集會所にシンヂケイト銀行團の代表集會し、左の條件を以て二千萬圓を借替發行することに決定した  
▽利率年七分▽發行價格現金應募九十五萬圓  
乘替應募九十四萬五千圓▽期限大正十八年



八月一日▽利殖現金八分二厘四毛、乗替八分三厘七毛

○關稅聯合會、二割五分増徴を協定  
關稅聯合會は神奈川縣橋本の奈良屋に總會を開き、本年七月から九月迄の三ヶ月間各社は生産能力の一割五分を操縦することの協定をなした

十七日(日)

○露國政府、日露關係交渉を繼續  
露國政府は日露兩國の懸案解決のためヨツフニの交渉委員たる資格を承認し、且つその權限を與へ、日本政府と露國交渉を開始せしめると我外務省に通告した。二十一日外務省は外務大臣内田康哉、露國外務委員チチエリツの名によつて代表委員に川上俊彦、アドルフ・ヨツフニを任命したとの交換電報を公表した

十八日(月)

○稅制調査委員會の設置  
大藏省は稅制の整理及び地租移譲に關する調査をなすため稅制調査委員會を設置することとに決定し、會長に大藏次官西野元を任命、本日本藏大臣官邸に第一回調査會を開いた

○北海道殖産債券五百萬圓發行  
北海道殖産銀行は臨時總會を開き、折産債券五百萬圓を左の條件により發行することに決定した  
▽利半年八分▽發行價格額面▽償還期限一ヶ年償還後四ヶ年に償還  
○ブルガリア農民の反亂  
ブルガリアの農民は共產黨と協力して反亂を起したため、新首相ザンコフは軍隊に命じて鎮壓の手段をとり數ヶ村を焼き拂つた。これがためユーゴスラビアは恐慌を來し豫備兵を召集して軍隊をマセドニアの國境に派遣した  
○萬國婦人平和聯盟會長アダムス來朝  
ノールベル平和賞を授與された萬國婦人平和聯盟會長ジーン・アダムス女史は、和蘭のヘーグ會議を終へて歸米の途中支那、朝鮮を視察し、下關入港の國益聯絡船量九で來朝した

十九日(火)

○三銀行、國庫借款の根本解決を交渉  
興銀、産銀、鮮銀の三行が支那政府に貸付けた一億圓の西原借款に對して大正十一年度上半期以來利子の支拂をなさず、利子の延滞額は五百萬圓に達し元利の支拂は殆ど望みな

い状態となつたので、小野興銀總裁、中川臺銀頭取、美濃部鮮銀總裁は官邸に大藏大臣市來乙彦を訪問し、西原借款を根本的に解決する方法として預金部を煩はし救済されたいと陳情し、市來藏相は三行の立場を諒とし救済策に關し考究實行する旨回答した  
○日本貿易協會の日貨排斥対策決議  
日本貿易協會は各部聯合會を開き支那の日貨排斥に關し「吾人は我政府當局が寛濈宜しきに従つて支那官民の反省を促し、尙反省せざるに於ては特に斷乎たる措置を採り、この際排日運動の防止を徹底せられんことを希望す」との決議をなし、外務、農商務の兩大臣に提出した  
○休業中の大阪銀行二百萬圓に増資  
積善銀行破綻の餘波を受けて大正十一年十月以來休業中の大阪銀行は臨時總會を開き資本金十萬圓を二百萬圓に増資し開業する件を可決した

二十日(水)

○滿洲財界救済資金二千八百萬圓融資  
大藏省は滿洲財界救済資金として預金部から八百萬圓、東洋折産から一千二百萬圓、朝鮮銀行から八百萬圓、計二千八百萬圓を支出

を可決した  
○北海通電燈、北海通電力を合併  
北海通電燈會社(資本金二千六百三十三萬五千圓)は臨時總會を開き北海通電力會社(資本金五百萬圓)を合併し資本金を二千八百八十八萬五千圓に増加する件を可決した  
○朝鮮銀行副總裁變更  
朝鮮銀行副總裁嘉納德三郎は任期満了のため辭任し、同行理事鈴木穆が後任副總裁に任命された  
二十一日(金)  
○國際運送會社の創立  
日本運送會社(資本金三百萬圓)と東亞運送會社(資本金二百五十萬圓)が合併し新に國際運送會社(資本金八百七十五萬圓全額拂込)を創立することに決定し、左の役員を選任した  
▽取締役中島久萬吉(社長)、小日山直登、專務、中島多嘉吉、青葉延太郎、田島庄太郎、平田誠一郎、三木武重、鹿島精一、堀俊彦  
▽監査役神原辨吉、岩倉具光  
二十三日(土)  
○日露交渉兩代表の初會見

せしめ、預金部の利子は救済のために低利資金を融通する理由なしとの見地から年七分とし、東折、鮮銀の利子は協議の上決定する旨公表した

○兵庫農工銀行一千萬圓に増資  
兵庫農工銀行は臨時總會を開き、資本金五百萬圓を一千萬圓に増資し、新株二十萬株の内十五萬株は株主に對し二株につき一株の割合で交付し、一萬株は重役と行員に分配、四萬株は一株につき四圓の割増で賣出すことに決定した

二十一日(木)

○大阪市、大阪電燈會社買収に決定  
大阪市は井上府知事の裁定案によつて大阪電燈會社(資本金四千三百二十萬圓)を六千八百六十一萬圓で買収し市營とすることに決定し、電燈會社側も重役會を開きこれを可決し、兩者間に本日調印を終つた。裁定案の條件は左の如し

一、買收價格 六千四百六十五萬圓(大正十一年末現在財産) 百四十六萬圓(大正十一年十二月より大正十二年二月末日に至る建設費、これに對しては八分利附市公債を交付)、二百萬圓(大正十二年三月以降引繼

ぎの建設費、現金を交付)  
一、大阪市に供給する電力料 定時一基二錢三厘、七十パーセント以上同一錢三厘、不定時二錢

なほ大阪電燈會社から大同電力會社に引渡すべき残存財産三千九百九十九萬九千九百六十一圓は兩社の間に二千九百九十九萬九千九百六十一圓と決定、内一千二百九十六萬圓は大同の七分利附の社債及び現金四百七十九萬九千九百六十一圓を交付し、更に大阪電燈の春日出第二發電所は一千二百九十萬圓の新會社として設立と同時に大同電力會社に合併することとなつた。尙二十七日大阪市は參事會を開き大阪電燈買收の原案を可決した  
○東京實業聯合會、日貨排斥防止を決議  
東京實業聯合會は理事會を開き、會長星野錫以下出席、支那の日貨排斥に關し「日貨排斥に關する真相の調査と相互の理解を期するため、關係諸團體と協議し代表委員派遣の手段を講ずること」その他三項の決議をなした

○東洋紡績、伊勢紡績を合併  
東洋紡績會社(資本金五千萬圓)は定時總會を開き伊勢紡績會社(資本金三百三十六萬

大正十二年六月



日露會商交渉開始に關し日本政府代表川上俊彦は東京築地の精養軒に勞農協同政府代表ヨッフエを訪問し、二十八日から連日會議を開くこと、双方とも當初原案を提出せず白紙主義で議事を進めること、議事記録を取らぬが双方の意見一致した點については覺書を作成して署名すること等を決定した

○千葉縣警備隊、無償で國庫に移管

千葉縣警備隊の木更津、久留里間十四哩一分の鐵道は大正十一年の縣會の決議に基き無償で鐵道省に移管することに決し交渉中のところ、鐵道省は本日許可する旨縣會に指令を發した

○全國商工業者大會の警備隊全廢案

全國商工業者大會は東京實業聯合會事務所に警備隊全廢に關する實行委員會を開き、東京外十市の代表者出席し、左の請願書を可決した

警備隊は第四十六議會に於て一部改正を見たるも、益々負擔の不均衡を來しその弊の及ぶところ甚しく帝國産業の發達を阻害すること大なるものあり。故に吾人は今期議會に於てこれが全廢を切望してやまず。實はくは實業振興のため願旨御採納せられん

ことを請願す

○徳川會館、開館式を舉行  
勞農協同の機關である財團法人協同會の事業として東京芝公園内に建設された協同會館落成し、開館式を舉行した

二十四日(日)

○實業同志會關東本部の宣言決議

實業同志會關東本部發會式は東京神田の青年會館に舉行され、二千名參集。會長武藤山治、三原六郎、柳澤猛雄等の演説あり「由來我國の實業家は國政に關與し國策の樹立に力を致さんとせず。是れ吾人の最も遺憾とするところなり」との宣言及び「國民の自覺を促し純眞なる立憲政治を確立せんことを期す」との決議をなした

二十五日(月)

○池貝鐵工所の警備

東京芝區三田四國町の池貝鐵工所は事業不振のため同工場職工四十名の淘汰を發表したので、全工場の職工は不當なりとし本芝の勞働組合本部と三田通りの遷生寺に立籠り、怠業をなすことに決定した

二十六日(火)

○廣島電氣三千萬圓に増資

廣島電氣會社(資本金二千五百萬圓)は臨時總會を開き資本金を三千萬圓に増加する件を可決した

○日本モスリン會社の創立

日本モスリン會社(資本金二百萬圓)は東京京橋の交詢社に創立總會を開き、左の役員を選任した

▽取締役松尾久男、森八郎助、片岡元彌、彌越加美夫、川西清司、村井五郎、清水朝郎、澤邊四郎▽監査役津下紋太郎、細山太七、小布施邦太郎

○日本興業銀行本店落成

大正十年六月東京丸ノ内の銀行集會所の隣接地に工費三百五十萬圓を以て起工した日本興業銀行は、地下室共八階、總坪四千六十坪の新館が落成し、二十四日舊館から移轉を終り、本日營業を開始した

○赤化防止團長、就全警署を射殺

東京赤坂池田赤化防止團長辯護士米村喜一郎は社會主義者高尾平兵衛外三名に襲撃され高尾をピストルを以て射殺したため表町署に召喚された

二十七日(水)

○東洋大學、再び論議し無期休校

學長境野實洋に對する反對と擁護の二派に別れ

別れ二ヶ月間紛糾を續けてゐた東洋大學は本日學生大會を機會に約百五十名の學生が校内の幹部室に亂入し境野學長を毆打した上強制的に辭表に署名させ、取締の巡査をも毆打し騷擾化したので、學校當局は無期休校の揭示をなし、翌二十八日文部省は私立學校令第七條を適用し境野學長の認可を取消した。文部省として最初の取消處分である

二十八日(木)

○日露備交渉開始さる

日露備交渉の第一回會商は本日午後二時から東京築地の精養軒會議室に於て、日本代表川上俊彦と露國代表ヨッフエの間に開會された。翌二十九日から尼港問題、サガレン問題を議題に供し兩國の主張と要求に關し意見の交換を行つた

○鐵道銀行の損失額

破綻した報徳銀行の預金者委員會は東京會館に於て開かれ、同行の損失見込額を貸出及び社債七百十六萬九千八百五十六圓、有價證券評價百四萬四千二百一十一圓、その他五十四萬八千六百二十九圓、合計八百七十二萬一千六百六圓と發表した。なほ同行は七月十日まで

休業することに決定した

○大日本石油鑛業の役員改選

同社は東京丸ノ内生命保險協會に臨時總會を開き、左の如く役員を改選した

▽取締役中野信吾(會長)、伊藤清助、白石元治郎、上田彌兵衛、廣瀬千秋▽監査役吉村鐵之助、中西徳五郎、栗原善太郎

○岡山縣福多村の小作争議

岡山縣上道郡福多村宇兼基の地主寺尾古登羅と小作人約三百名との間に小作争議勃發し小作人は同村小學校に集合して示威運動をなすと共に、正當の理由なくして數十年耕作してゐる土地の返還を要求するは不當であると縣當局に陳情した

二十九日(金)

○帝國信託會社の減資と改稱

大阪の帝國信託會社(資本金四千二百五十萬圓)は株主總會を開き三千八百五十萬圓に減資し關西土地會社と改稱する件を可決した

○日本味噌製造會社百五十萬圓に減資

日本味噌製造會社(資本金七百萬圓)は東京の日本橋俱樂部に臨時總會を開き、百五十萬圓に減資する件を可決した

三十日(土)

○臨時國債五十五萬圓借替發行

政府は對露債券整理のため發行した臨時國庫證券(ほ號)五十五萬一千二百五十圓が本日償還期限に當るので左の條件で借替發行することに決定した

▽發行價格額面▽利率年二分▽償還期限大正十二年六月一日迄

○日本電報會社の借額増資

資本金百萬圓の日本電報會社は臨時總會を開き、借額増資して資本金二百萬圓となすことに決定した(日不詳)

【七月】

二日(月)

○臨時大都市制度調査會の設置  
特別市制の調査を目的とする臨時大都市制度調査會官制が公布された

○加島銀行、長島銀行を合併

大阪の加島銀行(資本金一千五百萬圓)は臨時總會を開き、岡山縣の合資會社星島銀行(資本金十萬圓)合併の件を決議した

三日(火)

○池貝鐵工所、工場を閉鎖

東京芝區三田の池貝鐵工所は事業不振の結果



果四十名の職工を解雇したのに端を發して争議中のところ、會社側は強硬態度に出で、本日から工場を閉鎖し休業する旨通告した

五日 (木)

◇小田原電機自動車運轉手の罷業

同社自動車運轉手五十名は會社に對し待遇改善方を要求したが拒絶されたので總罷業を行った

◇男爵頼朝六死去

樞密顧問官男爵頼朝六は本日死去した。享年六十三。東京府出身、東京帝大卒業と共に獨逸に留學し歸朝後外務省に入り累進して外務次官、文部次官、樞密院書記官長に歴任し、明治三十二年勳選議員となり、萬國平和會議の全權大使に任ぜられた

六日 (金)

◇多摩川水力電氣會社の創立

同社(資本金一千萬圓)は創立總會を開き左の役員を選任した

▽取締役中島久萬吉(社長)、井上篤太郎、金光庸夫、紅林七五郎、大澤大助、川島正次郎、加瀬和三郎、中島守利、山崎龜吉、瀧沼伊兵衛▽監査役江藤基三郎、堀江正三郎、小澤大平、木村信三、加瀬清造

七日 (土)

◇有島武郎、波多野秋子と情死

文士有島武郎は輕井澤の別荘で、火災保險協會書記長波多野春房の妻で婦人公論記者の波多野秋子と情死した

十日 (火)

◇藤原製菓會社一千萬圓に増資

同社は臨時總會を開き資本金七百萬圓を一千万圓に増加を決議した

◇大日本紡績、日本絹毛紡績を合併

同社は臨時總會を開き、日本絹毛紡績會社(資本金百萬圓)を合併し資本金五千萬圓を五千百萬圓に増加を決議した

◇片倉製絲紡績、尾瀨組を合併

資本金五千萬圓の片倉製絲紡績會社は臨時株主總會を開き、拂込資本金二百七十五萬圓の株式會社尾瀨組を合併、二百七十五萬圓を増資して資本金五千二百七十五萬圓となすことに決定した

十一日 (水)

◇朝鮮殖産銀行社債八百萬圓發行

同社は事業資金として社債八百萬圓を左記條件で發行した

▽利率年八分▽發行價格額面▽償還方法二

ケ年額置三ヶ年償還

十二日 (木)

◇農村電氣商會職工の罷業

京都市外吉祥院村の同商會(資本金一千萬圓)は給料半減を發表したので職工側は要求書を提出し會社側に再考を促したが拒絶され罷業を開始した

十三日 (金)

◇大坂商會社の借額増資

同社は臨時總會を開き資本金二百五十萬圓を五百萬圓に増加を決議した

◇名古屋殖産銀行の休業

名古屋の同行は、一株主が重役に對して責任行爲の告訴を提起したため、預金者間に恐慌を惹起し、十二日多數の預金者押寄せ取付に遭つたので本日より向ふ二週間整理のため休業を發表した

十六日 (月)

◇富士パルプ會社の解散

同社は富士製紙會社のパルプ工場であり、保護會社として税金免除の特典關係から表面獨立會社であつたが創立後三年の保護期間を経過したため、本日の株主總會で本年十月一日限り解散し富士製紙會社のパルプ工場とす

ることに決定した

十七日 (火)

◇日本絹織物會社五十萬圓發行

同社は三十四銀行及び藤本ビルプロカー銀行引受の下に左の條件で社債五十萬圓を發行した

▽發行價格額面につき九十七圓▽利率年八分▽償還方法一ヶ年額置後二ヶ年間に隨時償還

◇尾三銀行の取付

名古屋の同行(資本金七百七十九萬圓)は同行藤川支店が本月十四日平常よりも多額の預金引出があつたのを新聞が取付に違つたと誤報したため、預金者多數本店に押しかけ取付となつた

◇小坂嶺山の罷業

藤田組經營の秋田縣鹿角郡所在の小坂嶺山従業員四千名は、儲蓄機關部の工夫、職工雜役夫の賃銀引上、病院の薬價引下、待遇の向上等の要求を嶺山側へ提出し、實行方を陳情中のところ拒絶されたので一齊に罷業を行った

十八日 (水)

◇尾三銀行に休業す

同日 (水)

◇三葉倉庫會社の社員減法

同社は経費節減の目的から本支店を通じて約五十名の社員を淘汰した

◇樞密顧問官細川潤次郎死去

同日 (水)

同日 (水)

同日 (水)

同日 (水)

同日 (水)

同日 (水)

同日 (水)

同日 (水)

同日 (水)

同日 (水)

同日 (水)

同日 (水)

同日 (水)

同日 (水)

同日 (水)

同日 (水)

同日 (水)

同日 (水)

同日 (水)

同日 (水)

同日 (水)

同日 (水)

同日 (水)

同日 (水)

同日 (水)

同日 (水)

同日 (水)

同日 (水)

同日 (水)

同日 (水)

同日 (水)

同日 (水)

同日 (水)

同日 (水)

同日 (水)

同日 (水)

同日 (水)

同日 (水)

同日 (水)

同日 (水)

同日 (水)

同日 (水)

同日 (水)

同日 (水)

同日 (水)

同日 (水)

同日 (水)

同日 (水)

同日 (水)

同日 (水)

同日 (水)

同日 (水)

同日 (水)

同日 (水)

同日 (水)



同行は株主總會を開き資本金百萬圓を一層一千萬圓に十倍増資する件を可決した

上海製造業會社一千萬圓に増資  
上海の同社は株主總會を開き資本金三百萬圓を一千萬圓に増資を決議した

二十六日(木)

○東京電力株式會社の公告  
本日産業債券令が公布された

二十七日(金)

○國庫債券八千萬圓借替發行  
第六回五分利國庫債券八千萬圓は左記條件で借替發行された

○發行價格現金拂込のもの九十一圓二十五錢・代用拂込のもの九十四圓七十五錢▽償還期限大正十九年九月一日迄

○秋田木材株式會社發行  
同社は臨時總會を開き、此債百萬圓を左記條件で發行の件を決議した

▽利率年九分五厘▽償還方法一ヶ年据置後二ヶ年償還

二十八日(土)

○十四取引所の整理總見許  
農商務省は東京米穀商品取引所外左記十三取引所に無條件で營業繼續見許の指令を交付した

した

東京米穀商品取引所、東京株式取引所、京都取引所、大阪堂島米穀取引所、大阪株式取引所、新潟米穀取引所、名古屋米穀取引所、酒田米穀取引所、金澤米穀取引所、高岡米穀取引所、下關米取引所、博多株式取引所、桑名米穀取引所、近江米取引所

○多摩川水力電氣株式會社の論議  
本月七日設立された同社は重役間に紛擾あり對立して抗争を續けてゐるが、社長中島久高吉はその責任を負ひ本日重役會宛に辭表を提出した

三十日(月)

○神戸商會社九百萬圓に減資  
同社は臨時總會を開き資本金一千二百萬圓を九百萬圓に減資を決議した

○官業労働組合の創立  
大阪、京都、名古屋三都市の官業労働團體(大阪向上會、名古屋向上會、大阪煙草労働組合、京都煙草労働組合、組合員六千名)は關西同盟會の創立大會を大阪中之島公會堂に開催し、會長に名古屋向上會會長西浦吉吉を選挙した

三十一日(火)

○日露通商非公式準備交渉の終了  
日露通商非公式準備交渉は本日で一と先づ終了した。但し内容は發表されない

○東京聯合自動車株式會社の借替増資  
同社は株主總會を開き、現資本金三百萬圓を六百萬圓に増資を決議した

【八月】

一日(水)

○尾三銀行の休業繼續  
帳簿整理のため休業中の同行は更に本日から三週間の休業を發表した

○中央セメントの借替増資  
同社は株主總會を開き資本金百萬圓を二百萬圓に借替増資を決議した

二日(木)

○鬼怒川水電株式會社三萬圓發行  
同社は小池、神田兩銀行引受の下に社債三百萬圓を左の條件で發行した

▽利率年八分五厘▽發行價格九十七圓五十錢▽償還期限一ヶ年据置後二ヶ年間に隨時償還

○米國大統領ハーディングの暴死  
米國大統領ハーディングは、腦溢血で急死した

三日(金)

○米國大統領ハーディングの暴死  
米國大統領ハーディングは、腦溢血で急死した

六日(月)

○借金玉石井定七牧監さる  
借金玉石井定七は詐欺破産の罪名で大阪刑務所北區支所に收監された

七日(火)

○東邦電力株式會社一千萬圓發行  
東邦電力株式會社は資本ビルブローカー、大阪野村、小池の各銀行引受の下に社債一千萬圓を左の條件で發行した

▽利率年八分五厘▽償還方法二ヶ年据置後四年間に隨時償還▽發行價格百圓に付九十八圓

十日(金)

○山陽中央水電株式會社三萬圓發行  
同社は社債三百萬圓を資本ビルブローカー三十八、五十六各銀行引受の下に左記條件で發行した

▽利率年八分五厘▽發行價格百圓につき百圓▽償還方法二ヶ年据置後三ヶ年間に隨時償還

○東京中央會有志の条債維持決議

東京中央會は有志大會を開き左の生糸市價維持の實行方法を決議した

一、操業中止又は就業時間短縮により二割の調節をすること

一、生産調節に伴ひ本年七月中横濱に入荷せる数量の二割を減じたるものを各自の入荷数量とすること

十一日(土)

○五分利國庫債券一千萬圓發行  
鐵道建設改良費に充當するため五分利國庫債券一千萬圓を左の條件で發行した

▽發行價格百圓につき九十一圓七十錢▽償還期限大正十九年六月一日迄

十三日(月)

○國際聯盟會議の帝國代表任命  
九月三日からジュネーブに開催される國際聯盟會議出席の帝國代表委員は左の通り任命された

石井菊次郎(駐佛大使)、安達肇一郎(駐白大使)、有吉明(駐瑞西公使)

十四日(火)

○日本電力株式會社一千萬圓發行  
同社は株主總會を開き社債一千萬圓發行の件を可決し、發行の時期及び方法は取締役

に一任と決定した

○新潟鐵工所争議の暴行  
争議中の新潟鐵工所蒲田工場職工二百餘名は大暴して工場に闖入し、事務所、庶務室等を破壊し警戒の警官に負傷者を出したので多数職工が檢束された

○子爵田尻稻次郎死去  
貴族院議員子爵田尻稻次郎は本日死去した享年七十四。鹿兒島出身で明治四年米國エール大學卒業と共に歸朝して大藏省に出仕し、同省主税局長、大藏次官、會計検査院長を歴任し、後東京市長に推され、大正七年貴族院議員に勅選された。日清戦争の功により子爵に陞授を授けられ、日露戦争の功により子爵に陞授されたが、「北首」と號し奇行に富み學者としても著名であつた

十五日(水)

○大同電力株式會社一千四百餘萬圓發行  
同社は臨時總會を開き、社債一千四百十五萬圓を左の條件で發行と決定した

▽利率年八分五厘▽償還方法三ヶ年据置後三ヶ年間に隨時償還

十七日(金)

○新潟鐵工所争議職員三十名收監



新潟鐵工所蒲田工場争議員三十四名は罷  
業及び器物破壊罪で東京刑務所へ收監され  
十八日(土)

○通電電氣社債七十五萬圓發行に決定  
同社は事業擴張費に充當するため神田銀行  
引受の下に左記條件で社債七十五萬圓を發行  
するに決定した

▽利率年九分▽發行價格百圓に付百圓▽價  
運方法一ヶ年据置後二ヶ年間に随時償還  
二十日(月)

○東洋鐵道、東洋鐵道を合併増資  
同社(資本金一千萬圓)は臨時株主總會を  
開き、東洋鐵道社(資本金八十萬圓)を合  
併し一千八十八萬圓に増資の件を可決した

○中央電氣の債權増資と役員改選  
中央電氣社は臨時總會を開き資本金四百  
五十萬圓を倍額に増資して九百萬圓(内拂込  
金五百六十二萬五千圓)となすに決定した。

▽社長清水宣輝▽専務取締役岡友末藏▽取  
締役大田黒重五郎、竹内勝藏、今井五介、  
今井眞平、名越重孝、池田六衛、小原信吉  
佐原市右衛門、瀧黒幸市、渡部勉、松原十  
一郎、山本彦太郎、大塚吉太郎▽監査役岩

崎徳五郎、玉井久兵衛、石井祐助  
二十一日(火)

○國屋沖で潜水艦沈没  
本日午後一時十分神戸港外假屋沖で川崎造  
船所で建造した潜水艦第七十號が沈没し、乗  
組員艦長上林少佐以下六十七名は遭難した

○國庫券發行準備代表の任命  
第六回國庫券發行準備の政府、資本、労働の  
各代表は左の如く任命された

政府代表前田多門(前東京市助役)、資本家  
代表山崎龜吉(東京實業組合聯合會副會長)  
労働側代表宇野利右衛門(工業教育會主事)

二十一日(水)  
○恩給審査會官制の公布  
本日勅令を以て、恩給審査會官制が公布さ  
れた

○恩給給與規則の公布  
本日勅令を以て恩給給與規則が公布された  
○富士電機製造會社の創立  
同社は資本金一千萬圓を以て設立され、創  
立總會を開き左の役員を選任した

月内閣總理大臣となつた

二十五日(土)

○内閣外相、臨時内閣總理大臣を兼務  
首相加藤友三郎死去に伴ひ外務大臣内田康  
哉は臨時内閣總理大臣兼務となつた

○帝國製糖社債五百萬圓發行  
同社は臨時總會を開き、亞麻、支那麻等の  
原料購入及び事業擴張資金に充當するため社  
債五百萬圓發行を可決し、發行時期、條件は  
取締役會に一任した

○揚子川電氣二千萬圓に債權増資  
同社は臨時總會を開き資本金一千萬圓を二  
千萬圓に増資を決議した

○株式会社住友倉庫の創立  
同社(資本金一千五百萬圓)は創立總會を  
開き、左の役員を選任した

▽取締役住友左衛門(代表)、草鹿丁卯次  
郎、湯川寛吉、山本五郎、中田錦吉▽監査  
役小倉正恒、加納友之介、木島敏三郎  
○國庫券發行所に鑑査命令  
農商務省は岐阜、彦根、豊橋、甲府の各米  
穀取引所に於ける違法行為に對し斷乎たる處  
置に出で解散命令を發した

二十六日(日)

○内閣總理辭職す

本日の臨時閣議に於て、内閣總理職と決定  
し内田臨時首相は各大臣の辭表を取極め閣下  
に捧呈した

二十七日(月)

○東京實用自動車會社の創立  
同社(資本金百二十五萬圓)は創立總會を  
開き、左の役員を選任した

▽取締役渡邊六郎(社長)、石崎石三、辰澤  
茂乙、津澤秀雄、渡邊六山、堀内良平、滋  
澤正雄、岩倉具光、木村小左衛門▽監査役  
井出百太郎、杉本直寛、後藤三治、小田鐵  
五郎

二十八日(火)

○船員職業紹介委員會官制公布  
本日勅令を以て船員職業紹介委員會官制が  
公布された

○山本權兵衛に親屬の人命墜下  
伯爵山本權兵衛に對し後継内閣組織の人命  
墜下した。御召により参内した山本伯は暫く  
の御猶豫を請ふて退下し直ちに組閣準備に着  
手した

三十日(木)

○關山雪太郎歸となる

フランク、中川末吉、長島寛太郎  
二十三日(木)

○上海紡績會社六百萬圓に増資  
同社は上海本社で株主總會を開き、現資本  
金上海現銀四百萬圓を六百萬圓に増資を決議  
した

二十四日(金)  
○首相加藤友三郎辭職辭呈さる  
畏き邊りに於かせられては首相加藤友三郎  
危篤の趣聞召され多年の勳功を思召され左の  
如く陸軍陸軍の御沙汰あらせられた旨宮内省  
から發表された

海軍大將從二位勳一等功二級男爵加藤友三  
郎元帥府に列せられ特に元帥の稱號を賜ふ  
依勳功特授授子爵 叙正二位  
叙大勳位授菊花大授章

○總理大臣加藤友三郎死去  
内閣總理大臣大勳位元帥海軍大將子爵加藤  
友三郎は本日死去した。享年六十三。廣島縣  
出身で明治十六年海軍少尉に任官、海軍次官  
吳鎮守府、第一艦隊司令長官等に歴補し、  
大正四年八月大隈内閣の海軍大臣となり爾來  
寺内、原、高橋の各内閣に海相として歴任し、  
華府會議日本全權として出席、大正十一年六

大日本製糖會社社長藤山雷太は貴族院議員に  
動選された

○阿片事件の控訴判決

阿片事件控訴の判決は旅順高等法院で左の  
通り官渡があつた

▽懲役一年六ヶ月中有光▽(阿)古賀廉造  
▽懲役一年小畑貞次郎▽懲役十ヶ月梶井盛  
一▽懲役六ヶ月遠藤良吉(但被告全部三年  
間執行猶豫)

【九月】

一日(土)

○東久通官師正王殿下薨去  
東久通官第二王子師正王殿下は鶴沼の別邸  
に於て地震のため薨去遊ばされた。御年七歳

○剛院宮寛子女王殿下薨去  
剛院宮寛子女王殿下は小田原御別邸に於て  
地震のため薨去遊ばされた。御年十八歳

○山階宮武彦王妃紀子女王殿下薨去  
山階宮武彦王妃紀子女王殿下は鎌倉御別  
邸に於て地震のため薨去遊ばされた。御年二  
十一歳

○關東地方の大震災  
本日午前十一時五十八分二十四秒相模灣中







- 二、擔保品の擴張
- 三、信用貸出の便法
- 四、取引銀行の擴張

八日(土)

北濱株式市場の暴落

大阪北濱市場は本日立會を開始したが関東震災の影響で大暴落を示した

東京六六銀行、營業を開始

本日より左の各銀行は營業を開始した  
日本銀行、日本勸業銀行、正金銀行東京支店、三菱銀行、臺灣銀行東京支店、日本興業銀行

八王子の各銀行閉業

震災のため一時營業休止中であつた八王子の各銀行は本日より富座、小口富座、定期等の預金に限り一口五十圓を限度に拂出を開始した

九日(日)

横濱實業貿易復興會の成立

同組合は緊急大會を開き左の決議をなした  
吾人は協力一致して國家實業貿易と横濱市の建設復興のため、茲に横濱實業貿易復興會を組織し、右實行の一步として實業の輸出貿易を此の場合一日も速に復活すること

とに決死の努力を期す

十日(月)

支那防衛令を解議す

支那國務會議は日本の震災に對し防衛令を解議して、日本の所要數量判明次第適宜の處置を採ることを決議した

十一日(火)

米穀輸入税免除される

本日勅令を以て、米穀の輸入税を大正十三年三月三十一日迄免除の旨公布した

生牛肉及鳥卵の輸入税免除

本日勅令を以て、生牛肉及鳥卵の輸入税を大正十三年三月三十一日迄免除の旨公布した

大震災復興會の成立

東京の實業家及び貴族兩院議員を以て組織する大震災復興會が成立し役員を決定したが正副會長には左の諸氏が就任した  
會長公野徳川家達、副會長粕谷義三、子爵澁澤榮一、山科謙蔵、藤山雷太

芝浦で避難ランチ沈没す

本日午後一時東京芝浦で食料品陸揚中の軍艦比叡のランチと罹災者救護隊車と衝突しランチは沈没、乗組中の野村主計大佐以下五十名の將兵が溺死した

十二日(水)

帝都復興の圖書出版

本日帝都復興に關する、左の大詔が漢發された

朕神聖ナル祖宗ノ洪範ヲ紹キ光輝アル國史ノ成跡ニ鑑ミ皇考中興ノ宏謨ヲ繼承シテ青テ奮ラサランコトヲ庶幾シ夙夜兢兢トシテ治ヲ圖リ幸ニ祖宗ノ神祐ト國庶ノ協力トニ頼リ世界空前ノ大戦ニ處シ尙克ク小康ヲ保ツヲ得タリ矣ソ圖ラン九月一日ノ激震ハ事咄嗟ニ起リ其ノ震動極メテ峻烈ニシテ家屋ノ潰倒男女ノ慘死幾萬ナルヲ知ラス病ヘ火災四方ニ起リ炎々天ニ沖リ京濱其ノ他ノ市邑一夜ニシテ焦土ト化ス此間交通機關杜絶シ爲メニ流言蜚語盛ニ傳ハリ人心恟々トシテ倍々其慘害ヲ大ナラシム之ヲ安政當時ノ震災ニ較フレハ寧ろ凄慘ナルコトヲ想到セシム  
朕深ク自ラ戒慎シテ已マサルモ惟フニ天災地變ハ人力ヲ以テ豫防シ難ク速ニ人事ヲ盡クシテ民心ヲ安定スルノ一途アルノミ凡ソ非常ノ秋ニ際シテハ非常ノ果斷ナルヘカラス若シ夫平時ノ條規ニ膠柱シテ活用スルコトヲ悟ラス緩急其ノ宜ヲ失シテ前後ヲ誤

ヲ或ハ個人若クハ一會社ノ利益保障ノ爲ニ

多衆災民ノ安固ヲ希スカ如キアラハ人心動搖シテ停止スル所ヲ知ラス朕深ク之ヲ憂悞シ既ニ在朝有司ニ命シ賑濟救済ノ道ヲ講セシメ先ツ無庸ノ急ヲ任フテ以テ惠撫兼施ノ實ヲ舉ケンコトヲ欲ス

抑々東京ハ帝國ノ首都ニシテ政治經濟ノ樞軸トナリ國民文化ノ源泉トナリテ民衆一般ノ瞻仰スル所ナリ一朝不慮ノ災害ニ罹リテ今ヤ其ノ舊形ヲ留メスト雖モ依然トシテ我國都タルノ地位ヲ失ハス是ヲ以テ其ノ善後策ハ獨リ實業ヲ回復スルニ止マラス進ンテ將來ノ發展ヲ圖リ以テ舊觀ノ面目ヲ新ニセサルヘカラス惟フニ我カ忠良ナル國民ハ義勇奉公朕ト共ニ其ノ慶ニ願ランコトヲ切望スヘシ之レヲ慮リテ朕ハ幸ニ命シ速ニ特殊ノ機關ヲ設定シテ帝都復興ノ事ヲ審議調査セシメ其ノ成案ハ或ハ之ヲ至高顧問ノ府ニ諮ヒ或ハ之ヲ立法ノ府ニ謀リ籌畫經營高遠算ナキヲ期セムトス在朝有司能ク朕カ心ヲ心トシ速ニ災民ノ救護ニ從事シ嚴ニ流言ヲ禁遏シ民心ヲ安定シ一般國民亦能ク政府ノ施設ヲ翼ケテ奉公ノ誠悃ヲ致シ以テ興國ノ基ヲ固ムヘシ朕前古無比ノ天災ニ際會シ

ナ郵民ノ心意々切ニ衣食爲ニ安カラス爾臣民其レ克ク朕カ意ヲ體セヨ

租税減免の勅令公布

本日勅令を以て、震災被害者の地租、所得税、營業税、相続税減免の旨公布した

生活必需品其他の輸入税減免

本日勅令を以て、生活必需品並に土木建築用の器具機械及材料の輸入税を低減又は免除の旨公布した

東京震災被害者の發表

本日警視廳調査による東京市及び府下の震災被害者が左の通り發表された  
▽死者市部七萬六千九百九十九名、郡部九百四名▽負傷者市部二萬八千三十八名、郡部二千七百十二名▽行方不明市部十一萬五千三百二十名、郡部四千七百五十名▽家屋全壊市部一萬七千九百十名、郡部一萬七千二百八十四名▽家屋半壊市部一萬五千六百四十四名、郡部七千三百十名  
十四日(金)

東京市電、特別乘車費を決定

東京市會事會は左の如く市電の特別乘車費を決定した  
片道五錢、往復九錢

十五日(土)

攝政宮殿下、帝都の災害實狀御巡視

攝政宮殿下に於かせられては長くも東京市中の災害實狀を御視察遊ばされた

十六日(日)

帝都復興籌備會の設置

勅令を以て、内閣總理大臣の諮詢に應じて帝都その他の震災地復興に關する重要案件審議のため帝都復興籌備會官制が公布された

全國輸出業者の震災對策決議

神戸商業會議所で全國輸出業者實行委員會を開き、左の決議を行つた  
一、應急策として神戸港で生絲の輸出をなすこと(イ)輸出商は神戸で取引を行ふこと(ロ)賣込業者は神戸で荷受をすること(ハ)臨時共同荷受所を設置すること、二、右に件ふ荷受取扱、荷爲替賣込、保險、倉庫、資金融通の實現を圖ること  
十七日(月)

横濱生絲取引所の立會開始

横濱生絲現物市場は本町假小屋で初取引を開き、八月末出來値より百圓乃至百五十圓高一日氣配よりは六七十圓乃至百圓高の最優二千五百五十圓、羽子板格二千四百、矢島格二千



七十圓、八王子格二千五十圓と好調に手打を了した

東京米穀商の集議會

東京米穀商品取引所は解合委員會を開き、左の棒値で總解合に決定した

▽期米、總取組高約百六十萬石、九月限三十四圓三十錢、十月限三十四圓十九錢  
▽雜米、總取組高約四千五百五十圓、九月限二百三十九圓三十錢、十月限二百四十一圓五十錢

▽小麦、總取組高約四十萬石、九月限六圓四十八錢、十月限六圓五十九錢  
▽豆粕、總取組高五十六萬枚、九月限二十圓五十七錢、十月限二十圓五十九錢  
十八日(火)

逓政官廳下、被服廠跡を御視察

逓政官廳下には今回の震災で最も多数の死者を出した本所被服廠跡を御視察遊ばされ暫し御慰問あらせられた

公用財産の減失高發表

大藏省固有財産整理局から、震災による各省所管(鐵道省を除く)減失公用財産の概數は七千八百餘萬圓である旨發表された  
十九日(水)

伊集院彦吉、外務大臣に就任

外務大臣は山本首相兼攝中のところ、本日閣東長官伊集院彦吉が、專任外務大臣に就任した

法制局長官の更迭

法制局長官馬場儀一辭任し、松本益治が任命された

帝都復興委員會委員の任命

帝都復興委員會委員は左の通り内閣から任命された

内相後藤新平、外相伊集院彦吉、陸相田中義一、海相財部彪、藏相井上準之助、法相平沼騏一郎、文相岡野敬次郎、農相田健治郎、逓相大藏、鐵相山之内一夫、高橋是清、加藤高明、伊東巳代治、澁澤榮一、市來乙彦、江木千之、大石正巳、青木信光、和田豊治

關東生絲輸出商組合の決議

關東生絲輸出商組合は緊急協議會を開き、左の決議を行つた  
今後海外輸出を目的とする生絲屑物賣買或は輸出行為及其補助を他の市場又は他の港灣に於て爲したる者には本組合員は永久絶對に取引を断絶すること

東洋取引員、善後特別委員會を決定

東京株式取引所は取引員總會を開き、東洋善後委員會を左の通り決定した

▽一般取引員委員沼間敏郎、山口英太郎、岩井猪三、西渡禮吉、田口重一、杉野喜精、横山貞三、前川二平、小布施新太郎、高井治兵衛、泉月乙彦、町澤政治郎、松井房吉、徳田昂平、吉田政四郎、栗生藤三、上田厚吉、鈴木圭三、渡邊善十郎、山中清兵衛、渡邊俊雄、陸井幸平、遠山芳三▽實物取引員委員石崎石三、沼間敏郎、片岡辰次郎、岩田録三、林莊治、二宮類治、吉川太郎、島安次郎、粕谷健一郎、淺野節治、荒城誠三郎、水山和之助、岩井猪三、松井房吉、遠山元一、中村實一郎、上田厚吉、横山貞三、望月乙彦、小布施新太郎、吉田政四郎、山口龍吉、平野長吉、成瀬省一、佐々木竹治、南渡禮吉、徳田昂平、栗生藤三

東京市の損失銀行

大藏省は、東京市の震災損失銀行は本店百二十一行、支店二百二十二行、残存銀行は本店十七行、支店八十八行である旨發表した  
二十日(木)

戒嚴司令官の更迭

戒嚴司令官福田雅太郎大將辭任し、陸軍大將山本半造が後任に任ぜられた

東京憲兵隊の更迭

東京憲兵隊渋谷、麹町分隊長甘粕正彦大尉の違法行為に對する監督上の責任から憲兵司令官小泉少將及東京憲兵隊長小山大佐は停職となり、柴田少將が憲兵司令官に補され、三宅大佐が東京憲兵隊長に任命された  
二十一日(土)

臨時物資供給令の公布

勅令を以て、臨時物資供給令が公布された

宇都宮セメント製造會社の創立

同社(資本金三百五十萬圓)は創立總會を開き、左の役員を選任した

▽取締役淺邊祐策(社長)、高良宗七、岡本開作、岡和、山川庸之助、佐田明、岡吉信、美▽監査役庄野太郎、新川元右衛門、名和田正  
二十四日(月)

甘粕事件の眞相發表

軍法會議檢察官の形式で甘粕事件の内容を左の通り發表した

陸軍憲兵大尉甘粕正彦に左の犯罪ある事を周知し捜査報告を終り本日公訴を提起した

甘粕憲兵大尉は本月十六日夜大杉榮外二名の者を某所に同行し之を死に致した

右犯の動機は甘粕大尉が平素より社會主義者の行動を國家に有害なりと思惟しありたる折柄今回の大震災に際し無政府主義者の巨頭たる大杉榮等が震災後秩序未だ整はざるに乗じ如何なる不逞行為に出づるやも圖り難きを憂ひ自ら國家の害毒を排除せんとしたるに在るもの如し  
二十五日(火)

横濱の各銀行開業

横濱の各銀行本支店は本日一齊に開業した  
二十六日(水)

福澤閣議の缺員三名補充

福澤閣議の缺員に對し之が補充をなすべく福澤、政府間で銜衝中のところ本日仲小路廉、男爵目賀田種太郎、男爵大森健一の三氏が福澤閣議に任ぜられた

日銀の資金融通聲明

日本銀行はモトリアム撤廢に際し左の如き資金融通上の便宜を図る旨東京銀行團に聲明した

一、國債の擔保價格については大體短期物は發行價格を以てし、長期物は震災前の時

價を以てする

二、地方債は大體震災前の時價の九割を以て擔保價格とする

三、社債、株券等は其の實價を調査し成るべく寛大に擔保價格を定める

四、利率は國債擔保貸は二錢二厘、その他は二錢四厘の定率とする

尙日本銀行が實際に貸付をする場合の擔保物件の貸付割合、期間、利率等は左の如き方法による

一、國債は四、五年までを短期とし、それ以上を長期とすること

二、社債(震災關係なき一流物)に對しては震災前の時價の八掛半

三、株券(同上)震災前の時價の八掛

四、震災に關係なき手形を見返りとする場合は全額

五、震災前に支持能力あるもので震災のため支持の能力を失つたものに對し銀行が裏書した場合は二ヶ年以内の範圍に於て再割引のこと

六、不動産抵當權を有する銀行が金を要する場合はいれを見返り擔保とする

七、利息は國債に對しては二錢二厘、其他



の世債、株券に對しては一率に二割四厘の定率とすること  
八、以上の貸出については期間を六ヶ月とする  
こと  
二十七日(木)

○震災手形損失補償令の公布

本日勅令を以て震災手形損失補償令が公布された

○郵務復興の設置

郵務復興院の官制が公布されると共に總裁以下職員が左の通り任命された

總裁後藤新平▽副總裁宮尾舜治、松本幹一▽技監直木會太郎▽都市計畫局長池田定▽土地整理局長宮尾舜治▽建築局長佐野利雄▽土木局長直木會太郎▽物資供給局長松本幹一▽經理局長十河信二

○大蔵省、工業救済方針を聲明

大蔵省は工業救済方針に關して大要左の如き聲明をなした

震災地に於ける工業疎に深川、本所、東神奈川、川崎等に散在する小工業を復興せしめることは一方には失業者を救済し、他方には物資の供給を潤澤にする爲必要の措置と見よので政府は預金部の資金を興業銀行

に貸出し同行にその任務を進行させることにした。同行はこのため特別の機關を設置し理事を主任としてこの業務を擔任することとなる筈である。尙震災地、その他の地方の大工業にも、日本興業銀行本家の機能發揮して資金融通に努めしめるため、政府は預金部資金を以て協力援助を與へる方針である

二十八日(金)

○官内省恩給令の公布

恩給令を以て、官内省恩給令が公布された

二十九日(土)

○皇居陛下、東京市内を御巡視

皇居陛下には本日及び三十日の二日間、耳せ給ひ親しく東京市内の災害實狀を御巡視遊ばされた

○東京手形交換所の決議

同交換所は臨時總會を開き、左の決議をなした

一、手形交換は十月一日より銀行集會所地下室で開始すること  
一、代理交換委託銀行又はその支店にして未だ開業せざるものに對しては手形の持出をなさざること

一、支拂延期令による延期中の手形は猶豫期間満了前に交換に持出すを得ざること  
一、不渡手形については當分の間左の規定によるべきこと(イ)當交換所に於て交換したる手形の内、支拂に應じ難きものあるときはこれを受入れたる銀行はその手形に不渡の理由を附記し當日午後二時迄にこれを持出したる銀行に返還し其の代金を受取る。但次回に於て當該持出銀行に返還することを得(ロ)返還を爲したる銀行は其の返還を爲したるに因り不渡となるべき手形の返還を拒む事を得ず  
一、營業時間は午前十時より午後二時迄  
一、横濱渡り手形は此際交換に持出さざること

三十日(日)

○東國火災保險業者大會の決議

東西火災保險業者は大會を開き、左の決議をなした

今次震災の爲に生じた大火災の慘狀に顧みて被保險者に對し深甚の同情を表し事業存続の基礎を危くせざる範圍に於て實力の許す限り犠牲を提供する  
各社の財産、一般契約及種災契約の公正な

調査は農商務省に一任し、同省と協同の上犧牲の程度を決定し、その決定に従つて各社の爲すべき支拂及各社存続に必要な援助を政府に仰ぐこと  
内國會社が相互に有する再保險契約上の犧牲關係については監督官廳と協議の上決定すること

【十月】

一日(月)

○支拂延期令撤廃さる

金融市場は支拂延期令のため著しく阻害されてゐたが、本日撤廢され平生の状態に復した。各行は同令撤廢後の混亂を虞れて充分の準備をなしてをり、預金者の引出も豫期に反し巨額に上らなかつたため、相當の貸付も圓滑に行はれ、手形割引日歩も震災前同様普通二錢五六厘を唱へて、金融市場は案外平穩な経過を示した

○震災地補償兵隊休職令の公布

震災地に住所を有し、住居損失倒壊して本人にあらざれば家事整理なし難き兵卒、震災のため本人にあらざれば家族自活し得ざる兵卒を降休除隊せしめる陸軍省令が公布された

○コール取引の開始

コール取引が一箇月振りに開始された。但し、各行は成行を警戒し、日銀に巨額の無利子預金を有し、手許も豊富でありながら、コール取引に應ぜぬ傾向あり、日歩も翌日拂公債擔保二錢二厘、預金手形二錢五厘の氣配を示して、實際取引額は極めて少額に止つた

○手形交換再開さる

震災のため休止してゐた東京手形交換所の手形交換は、加入銀行五十行、代理交換加入銀行三百二十七行の代表者會合、本日午前十時半交換を開始した。本日の交換金額六千五百一十一萬四千餘圓、枚數十一萬一千餘枚、交換差額は十二萬八千餘圓で例日に比し激減してゐるが、これはコール取引皆無のためであり、交換事務は平穩裡に終了した

○爲替市場の復活

銀行對商人の爲替商談は數日前からぼつぼつ開始されてゐたが、銀行間の爲替商談も本日再開された。二三の銀行は對英爲替の近物二志一八分の五を出したが、正金其他の引受相場は一ポイント高のため各行は買進つた

○河合銀行の休業

河合銀行は前月二十八、九の兩日東京麹町

の頭取河合徳兵衛方で百圓以下の拂出に應じたが、本日帳簿整理を名として臨時休業した

○大震災後復興經濟部會の決議

大震災後復興會は東京商業會議所に經濟部會を開き、左の決議をなした  
一、株式公債類の評価は震災前の市價を標準とすること  
二、失踪に關して特別の對策をなすこと  
三、豫定通信は商法上の除外例を認めて相當期間延期すること  
四、株主名簿及び株券の焼失に關しては便宜の方策を採ること

○震災の失業労働者二十二萬に達す

協同會は全壊全燒百工場に就て調査を行ひ震災のため失業した労働者は二十二萬に上り女工の大半は歸國し、一部男工は再職場再建に従事し日給の半額乃至全額を支給されてゐるが、尙數萬の労働者は職を求めてゐると發表した

○大阪市の電燈事業開業

大阪市の大阪電燈會社買収契約に基き電燈事業は午前零時より市管に移り、西區九條の市電舊會社に大阪市電氣局の看板を掲げ、新局長佐竹三吾博士以下職員も決定店開きした



荷一部を大岡電力へ、大半を大阪市へ吸収された大阪電燈は解散の手順をとつた

二日(火)

○國庫券發行準備金の決定  
震災被災者中簡易保険契約者の貸付要望に  
應じ、簡易保険の非常取扱規則が制定公布さ  
れた

○復興債に關する重政會の審議決議

重政會は本部に震災善後特別委員會を開き  
左の決議をなした  
一、政府は簡便貯蓄を奨励し、小額債券發  
行其他の方策を講ずること  
二、物資配給の不調滑は政府が積港の利  
用を抑制したに依る。同港に緊急施設をな  
し物資輸送の敏活を企圖すること

○大正十三年度豫算編成方針公表

大震災は財政上に一大變化を齎したため  
大蔵省は大正十三年度豫算編成方針を左の如  
く決定公表した  
一、前年度豫算を踏襲したるものを本體と  
し、極力經費の削減緊縮を圖ること  
二、震災に依り必要を生じた諸般の經費は  
追加豫算として別途に要求すること  
三、各特別會計豫算も前記の方針に準ずる

こと

尙大正十二年度既定豫算も實行上極力節減  
し、各種事業費は能ふ限り打切り又は繰延  
べること

○日銀の貸出六億を突破

支拂預金令撤廃後各行は一層警戒を嚴重に  
し手許準備の充實を圖り日銀に貸出を仰ぐた  
め、日銀貸出高は六億四千五百九十四萬餘圓  
に上り、前日より五千餘萬圓増した。こ  
のため各行の手許は潤澤となり、コール市場  
も落着き、金融界は緩和され平穩を告げた

○協同會、職業局設置を建議

協同會は震災後失業者の續出に鑑み、政府  
は至急臨時職業局を開設し失業者を登録して  
復興事業に従事せしめ、就職し得ざる殘餘の  
者には常分失業手当を支給せよと建議した

○各縣警署の震災損害調査

大日本製糖は東京第一工場が全壊し損害高  
概算百二十二萬圓、豊水港製糖は東京出張所  
及在庫品を焼失しその額二百五十八萬四千六  
百圓、明治製糖は川崎工場の倒壊、その一部  
焼失のため總額百三十五萬圓の損害を蒙り、  
臺灣製糖は被害極めて少く約三十萬圓、東洋  
製糖は砂糖を焼失して損害百四十二萬圓に上

つた。尙京濱間在庫砂糖の焼失總高は百六萬  
四千擔を數へた

三日(水)

○復興院分課規程發表

復興院分課規程により同院は總裁官房の外  
計畫、土地整理、建築、土木、物資供給、經  
理の六局が設けられることに決定した

○罹災私立大學の供託金下戻しに決定

中央、明治、日本、専修、慈惠の各私立大  
學は焼失し、その復舊費に充當するため供託  
金の下戻し方を申請してゐたが、文部省は供  
託金の半額を下戻すことに決定、尙補助金二  
萬五千圓宛期日を繰上げて交付した

○東京府公營實業増設に決定

東京府の公設實業たる日暮里、萬年町、藤  
町の武藏屋はいづれも倒潰し一部焼失したが  
入買者中買物焼失者には見舞金を出し、燒殘  
品の利息を免除し、更に市内十五ヶ所に至急  
公營實業を増設することに決定した

四日(木)

○滋澤翁、火保問題で農相を懇請

滋澤榮一子爵は農商務省に田農相を訪ひ、  
火保會社が相當額の保険金を支拂はざる時は  
帝都復興は至難であり、火保協會の提案を俟

たず、緊急に積極的具體案を提示せよと督促  
した

○工業俱樂部の損失賠償對策建議

日本工業俱樂部は委員會を開き、震災によ  
り焼失した株主名簿、有價證券に關し左の案  
を建議した  
一、株主名簿の再製を容易ならしめ、株主  
總會開催方法に關する規定を設けること  
二、株券、白紙委任狀を焼失した者に關  
する規定を設けること  
三、焼失した無記名式證券再交付の途を講  
ずること

○火災保險者大會の決議

火災保險金支拂問題解決に關する被保險者  
大會は本日九ノ内日本工業俱樂部に約一千名  
參會して開かれ、保險金全額支拂と火保會社  
への資金融通を要求し、左の決議をなした  
火災保險金全額請求は吾人の權利なり。帝  
都の復興はその成否に歸す。吾人は死力を  
以て目的の貫徹を期す

五日(金)

○被災地に於ける應急建築資金融通のため大

蔵省は勸銀をして住宅、店舗、倉庫建築資金

商業復興資金中小口のものに優先的に融通せ  
しめることに決定公表した

○東京宛小包郵便開始

東京市内郵便局の多數が被災したため東京  
宛小包郵便は取扱中止となつてゐたが、本日  
から地方郵便局は引受を開始した

○支那大總統に曹錕當選

支那大總統選舉の結果、直隸派買収に成功  
した曹錕が五百九十票中四百八十票を得て當  
選した。次點は三十三票の孫文で、段祺瑞、  
張作霖、李烈鈞、吳佩孚等は若干票に止まり  
黎元洪、徐世昌は零であつた

○獨逸新内閣成る

獨逸ストレーゼマン内閣は國內不穩と閣員  
確執のため三日總辭職したが、大統領エーベ  
ルトはストレーゼマンに内閣再組織を依頼し  
たので氏は内閣を再組織し首相兼外相に就  
任、陸相ブラウンス、労働ルーテル、財政兼  
農業オンペン、内務フックス、郵便兼鐵道ハ  
インリヒと決定した

六日(土)

○災後の東京市會、自動車市會を可決

震災後初の東京市會は、永田市長の悲痛な  
挨拶に次いで日程に入り、帝都交通網再建の

ため自動車一千臺を購入して市バスを經營す  
る案を附議可決した

○暴自警團員を捕縛

東京市内に於ける自警團は震災後多大の貢  
献をなしたがあつたが、その餘弊として最近  
暴自警團員の跋扈跋扈甚きたため、東京地裁  
検事局は検事五十名を東京市内各方面に派し  
檢挙に努め、四日までに二十四名、本日更に  
二十名を起訴した

○中國銀行總裁更迭

中國銀行總裁王克敏は辭任し、總裁令を以  
て金運が後任に任命された

七日(日)

○省鐵電車の一部復舊

省鐵電車東京中野間が復舊開通した。同京  
濱線東京蒲田間は五日以來運轉中のところ、  
同區間に三時間を要し、實用をなさなかつた  
が、本日平常に復した

八日(月)

○東京府下のメリヤス業者救済

東京府下のメリヤス業者一千五百名中一千  
二百名は震災のため焼失、約一萬人の失業者  
を出したが、その復活資金として東京府が低  
利資金百萬圓の融通斡旋を圖ることに決定、







明治製糖の震災被害復旧

明治製糖は、震災のため倒壊した川崎工場を根本的に改築するに決したが、一年以上の日子を要するため、豊水港製糖が帝國製糖に賃借したまま休業中の神戸工場を二百五十萬圓で買収の契約を結んだ。このため同社の日産額に異動なく、配當も損害高九十萬圓を補填して尙餘裕あるため一割八分を振替りに決した。

東京各町總代會、保險金支拂を要求

東京全市火災保險金請求各町總代會は東京商業會議所に実行委員會を開き、即時支拂要求を決議し、代表者は關係官廳を訪問、解決方を督促した。

十二日(金)

東洋の實物、解合に決定

東洋の實物取引解合は解合委員會が協議を重ねてゐたが、本日報知ビルに實物取引員總會を開き、總解合に決定、噴合銘柄二百四十餘種中三萬餘の大取組となつてゐた新東の解合は東方買方歩み寄りによつて八十三圓に確定を見た。このため實物市場は安定を見、地方筋の樂觀買から淺野セメントは震災前より三、四圓高、明糖は一圓に七十五圓を

唱へた

鐵道協會、交通機關整備の急務を建議

帝國鐵道協會は帝都交通機關整備の急務を關係各省に建議し、東京市内に於ける高速度道建設、鐵道建設並に改良工事、市電軌道の更改及び地方鐵道會社への資金融通に關する具體案を提出した。

孫文、北伐に決す

孫文は民黨内の自重論を壓迫し、浙江、湖南、奉天の各省聯合軍を自ら大元帥として指揮し、北伐を執行するに決定、「曹錕如き無智無教育の輩が大總統たることは文明國の恥辱である。余は國民的政府を樹立せんとす。北京外交團が曹錕政府を承認援助せざらんことを希望す」と聲明した。

十三日(土)

外務省、震災被災地物資輸入に決定

復興院では臨時物資供給令に依り救恤物資の輸入を三井、三菱、鈴木、岩井、高田の五指定者に命じてゐたが、大倉、淺野の割込運動執拗に繰返へされる等種々弊害を醸すに鑑み、中間業者を排除し直接外務省が駐在商務官及び領事館に命じて買付せしめることとなつた。

横濱布貿易同業組合は横濱市辨天通一丁目にバラック建共同營業所を建設し營業を開始した

震災罹災地信用組合の資金對策

震災で損害を受けた東京、神奈川、埼玉、千葉、静岡、山梨一府五縣の市街地信用組合は資金難に陥り營業困難を告げるに至り、本日東京牛込見附産業組合中央會樓上に本村會頭以下各代表出席して資金對策協議會を開き貸付金は回収困難に陥り、預金引出、新規貸付に應じ得ざる實狀を陳情し、低利資金の融通又は勸銀の貸出を受けて打開に努めることに決定した。

大阪電氣、城東電氣を合併

大阪電氣軌道會社は臨時總會に於て資本金四百萬圓(内拂込百萬圓)の城東電氣軌道會社を合併し、城東電氣一株に對し大阪電氣十二圓五十錢拂込一株を交附するに決定した。

獨逸はマルクの暴落、品不足、食糧品缺乏から各地に暴動勃發し、ケルン市は悉くの商店が掠奪され閉鎖して死の街と化し、フーリッゲンの失業者約一萬は暴動を起し市廳を占

領し、死者十一名、負傷者三十五名を出したが、警察は治安を維持し得なかつた。十二日國會は執政官制を採用し全權を政府に賦與する緊急法案を通過せしめ、本日ストレーゼマン首相はエーベルト大統領、ルーテル財政相連署の下に以後租税はマルク紙幣を以てせず金マルクを以て納付すべしと布告した。

十四日(日)

江東の工業復興策

東京の本所深川工業復興會実行委員會は日本工業俱樂部に總會を開き、巽に井上蔵相、小野與鐵鐵の了解を得た低利資金一億圓を以て復興着手に決定した。資金の利率は年八分五厘であるが、十萬圓以下の小口需要者に優先的に貸出し、残存擔保物件に對してはその三倍、無擔保には連帶保證を認めて融通するものである。

十五日(月)

閣内に普通選挙調査委員會を設く

山本首相は普通選挙案に對する政府の態度を決するため閣内に普通選挙調査委員會を設けることとし、後藤内相、岡野文相、田島相平沼法相、犬養通相を委員に委嘱した。

閣議の新幣制實施

獨逸はマルク暴落の對策として緊急法令を發布、レンデン銀行を設立しレンデン・マルク十二億マルクを發行する一方、更に民間出資により發券銀行を創立、公稱資本二十四億ポードン・マルクとし、新通貨ポードン・マルクを發行せしめ、政府は該銀行より三億ポードン・マルクを借入れて帝國銀行紙幣を買戻し、幣制金融の安定を圖ることとなつた。

十六日(火)

横濱港復興は國費と決定

横濱復興の基礎たる同港の復舊費は全部國費を以てすることに決定、本年度三百五十萬圓、十三年度七百萬圓、計一千五十萬圓を投じて十三年度中に完成することとなつた。

義務教育年限延長中止

文部省は震災のため義務教育年限延長案を中止することとなつた。

不渡手形の處分復舊

震災關係手形は支拂不能の場合も不渡處分に附さなかつたが、手形交換取引が漸次平生に復するに至つたので、東京組合銀行は本日以後支拂不能の手形は不渡處分に附す旨發表した。

東京農産、應急融資擴大を陳情

大藏省は假建築資金其他應急資金融通のため東京府農工銀行外被災地四農銀に對し勸銀を通じて六百萬圓を貸出すことに決定したが東京農銀へは内二百五十萬圓を代理貸付とし五十萬圓は農工債券引受の形式で融通すると内示したので、同行は更に左の陳情をなした。

- 一、十人以上連帶者に建築資金供給の途を開かれたし
- 二、勸銀に於て全部農工債券引受の形式にて融通されたし
- 三、農工債券所得税率三厘七毛五を減ぜられたし

東京國債市場の復活

東京株式取引所の國債市場は開市し、長期二十四萬二千餘圓、短期三萬二千餘圓の取引あり、いづれも前日の暗相場より五十餘圓に寄付き震災前より二圓四五十錢安に落着いた。

横濱取引所の震災復舊策

横濱取引所は東京の帝國ホテルに一千株以上の大株主會を開き、建玉全部を無帳解合とし、證據金は全額返還し、立替金九十八萬八千圓は取引所と取引員の折半負擔とし、立會場をバラック建で急造する件を附議決定した。

東京瓦斯會社の善後策



震災で五百八十六萬三千圓の損害を蒙つた東京瓦斯社は本日臨時總會を開き、右損失金は財産評價益及び積立金で補填することに決定、引用家約二十六萬軒中十一萬二千五百八十八戸が焼失したが、深川千住兩製鐵所が無事であつたため残存家屋へは本月末瓦斯を供給すると發表した

十八日(木)

◆東横濱市場の整理復興議案

東横濱一級取引員組合は總聯合に決定し、解合債及び市場整理復興案に就き協議を重ねてゐたが、本日取引員總會を開き、正式に總聯合とし、解合債は評定委員會案を採擇することに決定した。又復興に關しては、組合職員連帯で取引所から一千二百萬圓を借入れ内六百萬圓は建玉、小口落相殺玉の整理に當て、残額は各店に均分に貸付け復興資金に當てることとなつた。解合債は新東七十七圓五十錢、建玉二百六十圓五十錢、淺野セメント百十四圓である

◆東電の外債償還

本年六月發行された東電の外債は、當初ロンドン市場で九十四磅弱を唱へ、震災直後暴落したが、漸次恢復し本日八十七磅四分の

三を唱へた

◆日本味噌製造會社九十萬圓に減資

日本味噌製造會社は業績不振から本年六月資本金七百萬圓を百五十萬圓に減資したが震災のため更に九十萬圓に減資した

◆關東炭坑老虎探採所第十坑爆發して火災

關東炭坑老虎探採所第十坑爆發して火災起り、作業中の日本人(七名)全部及び支那人坑夫三十名は避難したが、支那人坑夫六十八名は焼死した

十九日(金)

◆通帳損失郵便貯金の支拂聯合公布

郵便貯金及び郵便爲替の原簿焼失、通帳焼失に伴ふ預金者の権利申告、引出に關する勅令及び同施行細則の通信省令が公布され、十一月一日から施行された

◆帝都復興の基礎築成

復興院は理事會を開き後藤鐵藏、宮尾、松木兩副總裁、全理事出席し、數種の復興計畫を審議し、一案を採擇し、復興の基礎となる幹線道路、中央市場、河川の開墾、運河の移轉、鐵道、公園の位置に關する第一期計畫の決定を見た

◆大震災復興の綱目五分法決定

震災のため休會した大阪株式取引所は、前月八日立會開始に當り、再開後の不穩を見越して短期の繰新九千七百餘株、大株七千餘株を任意肩替したが、立會後主要株が二十圓方暴落し肩替値段の決定を見ないので、本日繰新の肩替値段二百五十圓五十錢、一人割當數五百七十株、大新六十六圓、一人割當數四百二十株に決定し、浮動株を一掃して市場の不安を除いた

◆櫻セメントの借額増資

櫻セメント會社は資本金八十萬圓を百六十萬圓に増資と決定した

◆東京市の要救助人員五十萬に減少

東京市は罹災者への物資配給整理を行ひ、要救助人員は二十三萬人を減じ、十萬六千二百五十四世帯、四十九萬三千七百三十二名に減少したと發表した

二十日(土)

◆省練瀧田、横濱開關

復舊工事中なりし省練瀧田、横濱間は本日開通した

◆黒部川電力會社の設立

黒部川電力會社は資本金百五十萬圓(内拂込三十七萬五千圓)を以て設立され、創立地

會を開き左の役員を選任した

▽代表取締役石津龍輔▽取締役北榮夫、豊村忠四郎、太田光熙、河部辨之助▽監査役矢村克、高桑一

◆關東復興の犠人傷害事件を數發表

警視廳は震災直後の混亂中、殺害された内地人三十五名、傷害を蒙つた内地人五十名、殺害された半島人四十名、重傷を受けた半島人十六名、殺人傷害事件の起訴者百二十一名と發表した

二十一日(月)

◆東京市の震災善後費決定

東京市會は市の震災善後費一千八百五十六萬二千二百八十三圓、市電復舊費七百七十一萬四千圓、電燈復舊費二百二十三萬圓を可決した

◆關東で確定した普通選挙案

本日の閣議に於て普通選挙に就き左の要項が決定された

- 一、納税資格を撤廃すること
- 一、選挙、被選挙権者の年齢を二十五歳とする
- 一、大選挙區制を採用すること
- 一、選挙方法を改正すること

一、關東を嚴重にする

一、次期議會に提出すること

◆養育院復興費一千萬圓融通に決定

震災地養育院復興に資するため、東京、神奈川、静岡、埼玉、千葉、山梨一府五縣に低利資金一千萬圓を融通することに閣議で決定した

二十二日(火)

◆深川正米組合、農市場建設に決定

深川正米組合は震災後本部を神田川に移し芝浦、新宿、田端、澁谷に支部を置き販賣に當つてゐたが、本日の組合總會で深川の焼跡に農市場を建設することに決定した

◆マルク幣落し獨逸の暴動激化

獨逸の經濟界は益々混亂に陥り、一磅四千值マルクを唱へるに至り、各地工場は休業、同盟罷業續發し、食糧缺乏から各市の食糧品店は悉く掠奪されてゐるが、ハンブルグに大暴動起り多數の死者を出し、デッカースはアルサス・ローレンの青年黨其他二千名を半ひンヤベルを占領してライン共和國を樹立し分離派はトレビス、デュクスブルグを占領する等、獨立運動は鐵竹の勢ひでライン地方各市に擴つた

二十四日(水)

◆松坂屋一千萬圓に増資

松坂屋伊藤吳服店は東京府復興のため資本金五百萬圓を一千萬圓に増資した

二十五日(木)

◆千葉、埼玉兩縣の戒嚴令撤消

震災直後布かれた震災地の戒嚴令中、千葉埼玉の兩縣は秩序恢復せるを以て本日撤廢された

◆横濱手形交換所の交換開始

横濱手形交換所は二十日總會を開き、不渡手形の處分方を決定し、本日より交換を開始した

◆日銀、東横に六圓九十萬圓融通

東京株式取引所は整理復興資金中整理に充當する七百萬圓の融通方を日銀に交渉中の處日銀は與本日銀を通じて一般取引員に六百萬圓、實物取引員に九十萬圓、計六百九十萬圓を融通した

◆郵便局の郵便便法實施

逓信省は十九日付省令を以て、書留及び價格表記小包郵便、切手別納郵便、電報、電話加入登記其他の料金は現金で郵便局に支拂へばその取扱をなす便法を規定し、本日から實



施した

中央銀行、上野原間復舊

中央銀行は奥羽、上野原間不通のため徒歩聯絡によつてゐたが、本日復舊全通した

關西製糸業者の生糸輸出港問題決議

震災以來神戸は臨時生糸輸出港となり、以來二港併立が唱へられ、横濱港は横濱一港主義を主張して對立してゐたが、關西製糸業者六十一名は輸出港問題に關する大會を開き、神戸を生糸永久輸出港として横濱と併立せしめよとの決議をなした

二十六日 (金)

大蔵省、小工業復興資金三百萬圓融資

東京江東地方の小工業復興に資するため大蔵省預金部は興銀を通じて三百萬圓の低利資金を融通した

二十七日 (土)

東洋實物市場開かる

東洋の實物市場は舊証券交換所跡に基金會を設けて開市され、寄付五十萬圓の新東は午後七時開業に乘せ淺野セメント、日活、銅管、東電、東京瓦斯等いづれもしつかりを唱へた

横濱の生糸輸出業者四百三十名は補給物約

一千萬圓の損害を蒙り再起の見込たゞず、使用人三千名の死活問題に關するので、正金銀行、市中銀行を経て七百五十萬圓の低利資金融通を陳情し、横濱生糸取引業者代表も農商務省に出頭、横濱生糸街再建に就き生糸検査所の移轉其他を陳情した

二十八日 (日)

東海運道復舊全通す

馬入川鐵橋は二十日復舊、山北、曾我間も修復成り、東海道線は本日全通し、沿線各驛は殺到した乗客で大混雑を呈した

三十日 (火)

關西國庫債券五千三百萬圓債券發行

割引臨時國庫債券五五千三百萬圓債券の發行のため臨時國庫債券を五千三百萬圓が發行された。利率日歩一錢八厘五毛、利廻七分、期限は半箇年の有利な条件のため起ち満額となつた

三十一日 (水)

關東地納稅總令公布さる

大蔵省は震災罹災者に對する租稅減免の施行規則公布後、同規定により納稅猶豫となる地租、第二種所得稅以外、本日まで納付すべき所得稅、營業稅、相續稅の未納分、十一

月一日以降本年度内に納付すべき營業稅の後期分、第二種を除く所得稅の四期分、地租の後期分、相續稅を納付する省令を公布した

産業組合中央金庫の設立認可

産業組合中央金庫は資金募集中震災に遭遇し一頓挫を來したが、其後募集は好績を示し豫定口數十五萬口に對し三十萬八千八百餘口の申込を得たので割當を決定したが、本日設立の認可を受けた

淺野セメント、二會社を合併

淺野セメント會社(資本金三千三百萬圓)は淺野スレート會社(資本金二百二十五萬圓)及び日本カリット會社(資本金五十萬圓)を合併し資本金を三千五百七十五萬圓に増加した(日不詳)

一日 (木)

關東罹災者救恤の府縣食分配額決定

天皇陛下には震災罹災者救恤の恩召から義に御内帑金一千萬圓を下賜あらせられたが、左の如く府縣分配額が決定發表された

東京七、二二八、三〇三圓▽神奈川二、三九三、七五二圓▽千葉二〇四、一五六圓

【十一月】

一日 (木)

高知市の土佐銀行と安田系の高知銀行は、

前者十株に對し後者八株の割合で合併し、四國銀行と改稱し本日より開業した。資本金一千八十八萬圓、内拂込六百十五萬圓である

獨逸の内亂激化す

獨逸はマルク相場益々下落のため百萬圓を以て計算するエムマルク紙幣を發行したが、内亂は激化しパバリア軍は國境に集結、サキソニーは共産黨に占領された。ストレーゼマン内閣の閣員中共産黨員は首相に通貨の安定を迫り、社會黨閣員は閣内閣のサキソニー出身閣員返逐を憤つて連袂脱退するに至り瓦解に瀕してゐるが、更にパバリア軍は獨裁官新設を聯立政府に強要し、之を容れざればペルリンに進軍すると最後通牒を送り、政府派遣軍と小銃合を演じた

二日 (金)

日銀、東拓へ七百萬圓融資

東洋拓殖會社は滿洲への貸出、社債償還準備のため社債發行を計劃したが、募債困難を理由に市中銀行から引受を拒絶され、興銀を通じて日銀から七百萬圓の融通を受けることに決定した

三日 (土)

三二日 (土)

三二日 (土)

三二日 (土)

三二日 (土)

三二日 (土)

三二日 (土)

三二日 (土)

三二日 (土)

三二日 (土)

三二日 (土)

三二日 (土)

三二日 (土)

三二日 (土)

三二日 (土)

三二日 (土)

三二日 (土)

三二日 (土)

三二日 (土)

三二日 (土)

三二日 (土)

三二日 (土)

三二日 (土)

三二日 (土)

三二日 (土)

三二日 (土)

三二日 (土)

三二日 (土)

三二日 (土)

三二日 (土)

三二日 (土)

▽静岡八七、八九〇圓▽埼玉五六六、六二〇圓▽山梨一六、〇八八圓▽茨城三、一九一圓

中央銀行市場法施行規則の公布

中央銀行市場法の施行期日に關する勅令、同法第七條に基く損失の補償に關する勅令、中央銀行市場法施行規則が公布され、即日施行された

關東に關る輸入減一億七千五百萬圓

本年度一般會計に於ける輸入減收額は、罹災地被害者減免稅額八千萬圓、震災に因る自然減少二千萬圓、輸入稅減免に依る關稅收入減二千五百萬圓、印刷局益金、專賣局益金、其他の官業收入減、印紙收入減合せて約五千萬圓、合計一億七千五百萬圓の輸入減と發表され、このため政府は本年度實行豫算約一億五千萬圓を整理削減し、本年度、十三年度共に公債打切方針を採ると聲明した

生糸清算取引再開さる

横濱取引所の生糸定期取引は舊支團跡のバラックで再開され、發會に人氣高潮し品不足を見込んで十一月限二百二十圓五十錢、先物二百十八圓の高値を唱へ、實物相場に比し各段六七十圓方の暴騰を演じ、震災當日の相場

二節に比較しても十圓乃至十八圓の昂騰を告げた

△名古屋鐵道、東海電氣鐵道を合併  
資本金一千五百五十萬圓の名古屋鐵道會社は東海電氣鐵道會社を合併、二十萬圓を増資して資本金一千七百七十萬圓となつた

關西硫酸販賣會社の設立

關西硫酸販賣會社は資本金二百萬圓、内拂込五十萬圓を以て設立された。重役左の如し  
▽取締役 吉村善義、伊藤晴一、山口啓太郎、田中利喜三、小泉米藏、吉米地義三▽監査役 小野義夫、石川一郎

安田銀行の組織変更

安田銀行外安田系銀行十行は株式會社保善銀行に吸収され、更に商號を株式會社安田銀行(資本金一億五千萬圓)と改めた。新重役左の如し  
▽頭取 安田善次郎▽副頭取 結城豊太郎  
▽常務取締役 竹内佛二郎、兵須久▽取締役 安田善五郎、安田善四郎、菅原大太郎、小河原秀雄、佐藤小一郎、丸山繼男、村田房之助、杉原惟敬▽監査役 岡部潜、安田善助、前田利定、川西清兵衛、小坂順造



○國庫債券八千三百萬圓發行  
政府は左の條件で五分利は國庫債券八千三百萬圓を發行した

▽發行價格現金九千九百六十七萬五千圓、乘換率九十六圓二十五錢、償還期限大正十四年十二月一日

○日本郵船の準備

日本郵船會社は震災後下級船員の航海手當半減を發表、下級船員は勤務を續けてゐたが更に前月二十三日全社員の解職手當年限の延長、解職手當六割減を申請したため全職員は大衝動を受け、本日日本海員組合横濱支部長濱田國太郎が代表として會社と折衝するに至つたが、會社側の態度強硬のため下級船員は同盟罷業決行を叫び、高級船員、陸上職員もこれに合流、六日神戸港淀泊中の歐洲航路加茂丸の乗組全員下船したのをきつかけに同港淀泊中の安藤丸、龍野丸外七船の火夫全部休職を請求して上陸、七日には上海航路龍野丸天津航路龍野丸に飛火し、九日には神戸の停船十五隻十一萬餘噸に及び、陸上職員も怠業に入り、容易ならぬ事態となつた。高壓的態度を執つてゐた會社側も漸く強硬して、十日代表者と折衝、手當半減は斷行するも十三年

四月までこれに代る特別手當を支給し、四月以降は改めて考慮することとなり對下級船員問題は圓滿解決、停船は夫々十一日出帆することに決定した。尙本店、横濱、神戸、長崎の大學出陣上職員は、伊東社長、安田事務の獎勵改革により商船船員出身者に有利となつたため、十二日會社に連判状を提出し、郵局改訂の拙劣を詰りその反省を促した

五日(月)

○法制會議會、婦人參政を否決

本日開催の法制會議會に於て滿二十五歳以上の男子は身分職業を問はず神官、僧侶、學生に選舉權賦與の件を可決したが、婦人參政は採擧の結果否決された

○國庫債券の準備停止

逓信省は震災以來國庫債券の保險金還附及び契約者への貸付金の非常拂ひを實施し、二萬五千餘人に對し五十九萬五千圓餘の支持をなしたが、請求一段落を告げるに至つたので應急支持を廢止した

○東京米商取引所の開市

東京米商取引所開市され、期米中物三十四圓一錢、先物三十三圓四十錢と震災前の値に寄付いたが、大阪の暴落を映して氣崩れし先

物三十二圓九十九錢に引け、後場は開市勿々のため諸設備充分ならず休會した

○杉の暴市場開市

東京米商の開市と日と同じくして杉の暴絡米市場も復活し、開市前の豫想は品不足から二百七十圓以上が見込まれたが、マバタの商内のため冷靜に二百六十六圓四十錢とつげ、後西高を移して漸騰し二百六十八圓十錢と手堅く引けた。初立會のため後場は休會

○大岡電力、大阪電氣を合併

大阪電氣會社は大阪市に買収され、殘存財産を以て設立された大阪電氣會社は一千二百九十六萬三千圓で大阪電力に合併され、大同の純資本金は一億一千二百九十六萬三千圓となつた

○東京市の罹災救助人員七萬四千名に減少

東京市は罹災者の復興狀態を調査、爾後貧困罹災者のみに救助の手を延べることとなつたが、復興は進捗し、要救助人員は前月二十八日調査の四分の一に減少し一萬九千六百九十四世帯、七萬四千三百五十五人に過ぎぬと發表した

七日(水)

○聯合會、ライオンランド董事管理を通告

獨逸ライオンランド地方は分黨派に占領され獨立を宣言したが、共產黨の暴徒甚しく獨逸政府にも分黨派にも治安維持の實力無く混亂たる風潮を續けてゐるので、聯合會大體會議は聯合會側がベベリア、レニツシュを含む全ライオン地方に軍事管理を復活するにつき獨逸政府は應諾せよと強硬な通告をなした

八日(木)

○國庫債券三萬萬圓發行

國庫大券三萬萬圓が發行された。條件左の如し

▽發行價格九十七圓▽利率七分▽二年償還後八ヶ年償還

○東京市内臨時特設電話局の準備

震災で不通となつた電話架設者が自費で交換機の設備をなす場合、通信省は電話局に至る電話線を架設して應急に通話せしめる會令が公布された

○三船と白木屋の滅失

震災で七百三十七萬五千餘圓の損害を蒙つた三船は、積立金、繰越金を以て補填するも三百萬圓の不足を來たすので、資本金一千二百萬圓を七百萬圓全額拂込済に減資と決定。四百九十一萬六千餘圓の被害を受けた白木屋

は資本金一千五百萬圓を七百五十萬圓に減資と決定した

九日(金)

○保險會同理事會の決議

東京全市保險會同理事會執行委員會は商業會議所に各區聯合總會を開き、震災後二ヶ月以上を經るも保險金支拂額決定せざるは、農商務省が火災保險會社のみを保護し、市民に對し誠意を缺くものなりとて田農相の不信任を唱へ、更に政府が火保會社に保險金の一割の見舞金を支出せしめて市民の權利を蹂躪し火保會社亦全く誠意無きは帝都復興に關する御懇請にも悖るものなりとの決議をなして氣勢を擧げた

○ベベリアの治安回復

獨立を宣言したベベリア軍に據つてゐる復讐派一派は、陸軍省を襲撃したが、その首領ヒトラーは負傷して逃亡し、ルーデンドルフ將軍は捕へられ、部下十名は射殺されて退却した。中央政府はベベリアに戒嚴令を布き、復讐をなす者は三時間以内に射殺すと布告しベベリアとの鐵道を回復し、治安を維持するに至つた

十日(土)

○復興に關する大體決議

震災は世道人心に甚しき影響を與へたため復興に關する左の大體が下された

一 國書

朕惟フニ國家興隆ノ本ハ國民精神ノ剛健ニ在リ之ヲ發揚シ之ヲ振作シテ以テ國本ヲ固クセサルヘカラス是ヲ以テ先帝遺ヲ教育ニ留メテセラレ國體ニ基キ淵源ニ溯リ皇祖皇宗ノ遺訓ヲ揚ケテ其ノ大綱ヲ昭示シタマヒ後又臣民ニ昭シテ忠實勤儉ヲ勸メ信義ノ綱ヲ申テテ覺悟ノ誠ヲ垂レタマヘリ是レ皆道徳ヲ尊重シテ國民精神ヲ涵養振作スル所以ノ洪業ニ非サルナシ爾來趨向一定シテ効果大ニ著レ以テ國家ノ興隆ヲ致セリ朕即位以來夙夜兢兢トシテ常ニ紹述ヲ思ヒシニ俄ニ災變ニ遭ヒテ憂悼交々至レリ  
 純近學術益々開ケ人智日ニ進ム餘レトモ浮華放縱ノ習漸ク萌シ輕佻靡靡ノ風モ亦生ス今ニ及ヒテ時勢ヲ革メムヘ成ハ前緒ヲ失墜セムコトヲ恐ル況今今次ノ災禍甚大ニシテ文化ノ回復國力ノ振興ハ皆國民ノ精神ニ待ツタヤ是レ實ニ上下協贊振作更張ノ時ナリ朕作更張ノ道ハ他ナシ先帝ノ聖訓ニ恪遵シテ其ノ實効ヲ舉クルニ在ルノミ宜ク敬



育ノ福源ヲ崇ヒテ智徳ノ進歩ヲ努メ網紀ヲ肅正シ風俗ヲ匡導シ浮華放縱ヲ斥ケテ實業ヲ興ニ進キ輕佻流蕩ヲ矯メテ醇厚中正ニ歸シ人倫ヲ明ニシテ親和ヲ致シ公德ヲ守リテ秩序ヲ保テ責任ヲ重ムシ節制ヲ尚ヒ忠孝義勇ノ美ヲ揚ケ博愛共存ノ道ヲ篤クシ入りテハ恭儉勤儉業ニ専ラシテ治メ出テテハ一己ノ利害ニ個セシテ力ヲ公益世務ニ竭シ以テ國家ノ興隆ト民族ノ安樂社會ノ福社トヲ圖ルヘシ朕ハ臣民ノ協賛ニ頼リテ爾等國本ヲ固クシ以テ大業ヲ恢弘セムコトヲ冀フ爾臣民其レ之ヲ勉メ

御名 御 璽

大正十二年十一月十日

内閣總理大臣 各省 大臣

十二日 (月)

○破産管財令公布  
法人に對する破産宣告並にその申請義務發達に關する緊急勅令が公布され、九月一日以後債務を完済し得ざる法人に對し大正十四年八月三十一日まで破産の宣告を爲すことを得ざることとなつた。但し九月一日以後と雖も

震災の影響に因らずして債務を辨済せざるものは除外された

○臨時議會召集日決定  
震災対策のため第四十七議會は十二月十日召集、令期十日間と決定した

○火災保險會、新設法人設立案を提出  
火災保險會は聯合協議會を海上三十二元受會社の代表者は聯合協議會を海上に開き、關西火災保險會神戸海上、大阪海上、京都火災、朝日海上その他十二會社を代表して、神戸海上社長岡崎吉は新設法人設立案を提示した。これは政府より低利資金一億五千萬圓の融通を受け、社団法人が被保險者に若干の見舞金を贈り、該資金は五年据置き五十年年賦償還するため各社は年々社団法人に賦課を納付する案であるが、關東側はかかる巨額の借入は不可能であり、火災保險會問題を紛糾せしめるのみであるから更に誠意ある案に更改せよと反駁し、議論百出して無らざ結局該案を政府に提出して内意を窺ふことに決定した。三十一社中東京側二十社、大阪側七社は保險金一割支拂の社をきめてゐるが、殘る關西の六社が一割支拂に反對してゐるためかゝる對立を見たもので、田相は、一切

の責任を新設社団法人に轉嫁せんとする該案を一蹴した

十四日 (水)

○日本労働同盟、政界へ乗出す  
日本労働同盟は從來社會運動に没頭し議會主義反對の大旗を振擧してゐたが、普通選挙に直而して政界乗出策を講じ、中央委員會は普通承認、普通選挙積極的参加を聲明すると共に、日本農民組合と提携、無産政黨樹立に邁進する旨決議した

○政界の老將島田三郎死去  
議會の開將として民権伸張に活躍し、普通選挙の第一線に立つてゐた代議士島田三郎は本日東京麹町の自宅で死去した。享年七十二歳永五年静岡縣に生れ、島田豐寛の養子となり、大學南校に學び、東京毎日新聞主筆、同社長、文部省權大書記官を経て野に下り、大隈侯と改進黨を組織したが、國會開設以來衆議院議員の議席を占め、シーモンス事件では熱辯を振つて時の山本内閣を瓦解せしめた

十五日 (木)

○復興計畫案、復興院評議會に提示  
東京、横濱の復興に關する復興院の基礎的計畫案が、復興院初評議會に提示され、兩市

の道路、公園、港灣、運河等の計劃案と第七億五千萬圓(内横濱の分八千萬圓)の内容が發表された

○小作制度調査會、小作制度法案を可決  
小作制度調査會は總會を開き、田農相外委員三十二名出席、小委員會の修正小作制度法案を審議可決し、速かに該制度の樹立されんことを望むと答申した

○戒嚴令撤廃さる  
震災後の治安のため二千數百名の憲兵編を充實し、警備隊亦警官二千名を増員したため帝都警備の陣容整ひ、各地の治安も維持されるに至つたので戒嚴令は本日撤廢された

○震災電報七十五萬圓發行  
震災のため行債となつてゐた震災電報會社の社債七十五萬圓は神戸銀行の引受で發行された。條件は利半年九分、發行價格額面、一年償還後二ヶ年に隨時償還

○東京證券市場復活す  
東京株式取引所定期取引は二月半ぶりに再開、中外商業新報社別館に蓋を開けた。地場の乗替と西筋が大量の買物を進めたが、買氣殺到して一氣に消化、建株の少いに拘らず買高は九萬二千五百株を數へ、値頃も休會

中の安値を吹飛ばして新東先物百七圓三十錢、鐵新二百五十五圓八十錢に寄付き、いづれも前日の現物値段を上廻つた

十六日 (金)

○日本スロヴエー又總商約調印  
日本スロヴエー兩國の通商航海條約は調印を終つた旨發表された

十七日 (土)

○被災地の郵便事務復舊  
震災地の郵便事務は應急措置を講じてゐたが、立運れてゐた集金郵便、市内特別郵便、廣告郵便も復活するに至つたので、東京振替貯金口座開設其他貯金事務の一部を除く一切の郵便事務は本日から復舊した

○横濱火災保險會聯合大會の決議  
横濱の火災被保險者の保險金請求の聲に應じて、横濱復興會、商業會議所、實業組合聯合會、輸出協會は聯合大會を開き、保險金五割以上の支拂と火災保險事業の國營を要望しその實現を期すとの決議をなした

二十日 (火)

○池田銀行、廣瀬、北瀬兩銀行を合併  
資本金五千萬圓拂込済の池田銀行は、資本金十五萬圓(拂込済)の廣瀬銀行及び資本金

三十五萬圓(拂込済七萬五千圓)の北瀬銀行を合併し、廣瀬、北瀬兩銀行各八株に對し池田銀行十株を交付した

○日本水電、南九州水力電氣を合併  
資本金三百萬圓の日本水電會社は對等條件で南九州水力電氣を合併、百六十萬圓を増資して資本金五百六十萬圓となり、南九州水電株と引替交付した新株を優先株とした

○海軍工廠四千六百名解雇さる  
軍縮のため海軍工廠は各地工廠の職工四千六百名を十月二十日解雇の豫定であつたが、震災のため一ヶ月延期して本日實行した。横須賀工廠では一千七百二十三名の退職式を挙げたが、軍縮手當百九萬五千圓を分配交付し、更に共済組合退會金、給料加算を支給したので懐の豊かな職工は平穩裡に退職した

二十一日 (水)

○中央電氣社債四百五十萬圓發行  
震災のため行債となつてゐた中央電氣會社の社債四百五十萬圓は、生命保險協會加入の生命保險團引受けにより左の條件で發行された

▽利半年九分五厘▽大正十五、十六年の二ヶ年間に償還



日本商工銀行の調査

前年末以来休業整理中であつた京都の日本商工銀行(資本金六十萬圓)は和議成立し、買金の四割五分を切捨て残額の一割五分を拂戻すこととなり、本日開業した

二十一日(木)

復興事業費算、閣議で決定

復興事業費算は當初二十億又は十五億と稱せられたが、縮小され本日閣議で八億七千六百二十三萬九千八百九十九圓と決定した。内閣の如し

一、國に於て執行する事業費六億五百七十二萬七千圓

二、府縣に對する貸付一千三百十二萬五千圓

三、府縣に對する補助並びに市債利子補助八千六百九十二萬六千圓

四、東京復興市が市債により執行する事業費中政府の保証するもの一億七千三百二十五萬五千八百圓

二十三日(金)

復興院がカナダ市場で引合中であつた米材買入は、左の條件で契約成立した

復興院がカナダ市場で引合中であつた米材買入は、左の條件で契約成立した

一、数量米國カナダ合計一億二千四百ポンド

二、積出十二月以降明年五月迄

三、價格米材一千スーバー平均三十二弗

四、價格カナダ材同じく四十九弗

火災保險金支拂問題に關し、低利資金一億

火災保險金支拂問題に關し、低利資金一億五千萬圓の融通を受けて新たに社團法人を設立し、該法人が契約者に見舞金を支拂ひ、借入資金は五十年々賦とする關西側の社團法人設置案を一蹴した政府は、折衷案を提示した。政府案は、火保會社をして被保險者に一割の見舞金を贈らしめ、その所用金額を二分の低利で貸付け、各社をメンバーとする組合をして辨済の責に任せしめるものである。關西側代表者は形勢不利に突如降参し、東京側は大北、中央、東邦三社を除く全部が政府案を承認した

大垣共立銀行、農産銀行を合併

大垣共立銀行は臨時株主總會を開き、休業中の名古屋農産銀行の五十四萬圓一萬株を額面の四分の一(一株十二圓五十錢の割)で買収し、吸収合併することに決定した。尙名古屋農産銀行の損失金三十七萬五千圓は株主

低利資金五千萬圓の融通を陳情することになつた

大蔵省の特殊銀行改善の意圖に沿ひ、臺灣銀行は預金部及び日銀の援助を受けて固定貸借権を整理し、職制を改革して業務の刷新を圖ることとなり、支店整理のため門司支店を神戸に、九江支店を上海に併合した

二十六日(月)

株式界は震災の被害を誇大に恐れて買込んだ

株式界は震災の被害を誇大に恐れて買込んだが、廿二日淺野四國六十錢高、新東二國二十錢高、二十四日淺野五國九十錢高、米商八國九十錢高、新東七國九十錢高と強調を唱へ、新東は漸く百圓の大關門を突破し、休日前の好勢を受け本日は更に値上十八圓五十錢高、同新十二圓八十錢高、新東五圓五十錢高と激變りの好調を辿つた

郵便貯金、郵便爲替特例適用の公布

郵便貯金、郵便爲替等の貯金局事務中、貯金通常拂戻し、再度拂戻し、證書の發行保管九月一日以前の現在高を除外した振替貯金の受拂は、震災以来停止されてゐたが、貯金局

の假令合流成と共に取扱ひを開始復舊することとなり、受拂ひに關する特別規則が公布された

淺野セメント製造増資に決定

資本金三千五百七十五萬圓(拂込二千二百二十五萬圓)の淺野セメント會社は震災後のセメント大需要に應ずるため別に資本金二千萬圓四分の一拂込の第二淺野セメントを設立し、創立完了後合併して雙連増資をなすに決定した。合併後淺野セメントの拂込資本は二千六百二十五萬圓となる

第一製菓會社の半額減資

第一製菓會社は震災に因る損害補填のため資本金二百萬圓拂込五十萬圓を資本金百萬圓拂込二十五萬圓に減資した

郵船海外支店社員の一齊罷免

日本郵船は伊東社長が海主陸従方針を採り舊幹部社員を排斥して海員内閣を組織したため、兼に下級船員が航海手當半減に抗議して罷業を行つた際陸上社員は連判状を提出して反省を促し、安田専務の辭職聲明に依り一時解決したかの如く見へたが、更に海員内閣を倒壊粉砕せんため、上海を除く海外支店八十餘箇所の職員全員は結束して本日罷業に入つた

負擔となすに決定した

日本醫師會生る

從來の大日本醫師會は私設の團體で法律的に何等の保障なく多々不便を生じてゐたに鑑み、内務當局の了解の下に日本醫師會が生れ、刀圭界の中央執行機關として活躍することになつた

獨内閣の購置と分黨派の動き

獨首相ストレーゼマンは、戒嚴の一部を撤廢し、行儀みの賠償會議は尙成立の見込ありと聲明し、信任投票を求めたが、二百三十票對百五十五票で信任案は否決され、總辭職した。分黨派は内閣瓦解に鑑み、以後武力を以て都市を占領する非常手段を避け、外交的手段に依つて分黨派の獨立運動を續けることに決した

二十四日(土)

總失生業問題の對策成る

總失生業の對策は試案提出し紛糾してゐたが、重業中央會第三部特別委員會は生業金融の信託會社設立案を審議採擇し、資本金五千萬圓の信託會社を設立、内五百萬圓を以て現物市場及び倉庫を設置して重業貿易の復興安定を圖り市場を改善することに決し、政府に

二十七日(火)

復興計劃縮小さる

帝都復興審議會は二十四日の會議に於て政府の復興計劃案を審議し、その縮小を要望し修正意見百出のため小委員會を設け、小委員會は二十五、六兩日續開され、豫算九千八百萬圓減の修正縮小案を作成して審議會に諮つたが、本日審議會は小委員會の修正協定案を承認して政府に提出、政府もこれを容れることになつた

多摩川水電解體問題紛糾す

中島久萬吉男に代つて政友會代議士中島守利が社長に就任した多摩川水力電氣會社は、



中島新社長と中島新社長との非解散の對立激化し、双方の暴力闘争時して總會を流會せしめる等糾紛を續けたため、總裁之助が調停に立ち、本日内藤久寛、小池國三、藤原銀次郎等有志株主は會合し、現重役全等を辭任せしめ、後任重役は郷勇に一任することに決定した

◇出雲國會社工場焼く

鳥取縣今市町出雲會社野田工場焼く。工場から出火、同工場を全焼した。訪視員鳥有に歸したため損害約五十萬圓

二十八日(水)

◇北條鐵道全線工事

最も難工事とされてきた北條鐵道岩井、富浦の復舊工事成り、同線全通するに至り、震災に因る同線の復舊作業は完成した

二十九日(木)

◇東海銀行調取池田三死

東海銀行調取池田三は大腸カタルにかゝり後腹膜炎、尿毒症を併發、大學病院で治療中のところ本日午後一時半死去した。享年七十。震災で邸宅を焼失、増上寺に避難し、生活に大變化を來したのが發病の原因である。安政元年但馬に生れ、生業貿易を營み、明治

十六年東海銀行の創立に參照し爾來同行のため盡力、その間經濟學會會務、東京銀行協會理事、高砂生命監査役に歴任し、現に東京手形交換所委員長であつた

【十二月】

一日(土)

◇東海銀行調取池田三死

東海銀行調取池田三は大腸カタルにかゝり後腹膜炎、尿毒症を併發、大學病院で治療中のところ本日午後一時半死去した。享年七十。震災で邸宅を焼失、増上寺に避難し、生活に大變化を來したのが發病の原因である。安政元年但馬に生れ、生業貿易を營み、明治

◇東海銀行調取池田三死

東海銀行調取池田三は大腸カタルにかゝり後腹膜炎、尿毒症を併發、大學病院で治療中のところ本日午後一時半死去した。享年七十。震災で邸宅を焼失、増上寺に避難し、生活に大變化を來したのが發病の原因である。安政元年但馬に生れ、生業貿易を營み、明治

同交換所委員長池田三死去により、本日臨時委員會を開き、後任に三井銀行常務取締役池田成彬を互選した

三日(月)

◇大藏銀行の休業

神奈川縣の大藏銀行(資本金百萬圓、拂込八十萬圓)は震災の打撃を受けたので整理のため本日より向ふ三週間臨時休業する旨發表した

五日(水)

◇政府、火災保險問題の解決につき聲明

政府は火災保險問題の解決について左の聲明書を發表した  
 道後關東地方に突發した大地震に灰燼焦土と化した住宅家財その他の物件の火災保險金額約十八、九億に達し、罹災被保險者の數また多數に上り、従つて火災保險問題の解決は焦眉の問題である。然し火災保險會社は地震に賠償して生じた火災には損害填補の責に任じない旨を保險約款に明示してあるから今回の地震に因る火災の損害には保險金を支拂ふ義務がないといふが、その損害甚大で被保險者の窮狀を察すれば行政上修補出來ないため、保險會社の犠牲的

精神に訴へ自發的に適當な解決策を講ずることを希望した結果、保險會社の存立を危くしない範圍に於て最大限度の犠牲提供として罹災被保險者に罹災保險金額の二割に當る額支拂の旨申合せたが、罹災保險金額は莫大に上りその二割と雖も國內會社の分一億五六千萬圓に達する見込で他方會社總財產は總額二億圓にも足りない實狀で、罹災保險金額二割の支拂をする時は總財產を提供するも不足である。保險會社は今回の罹災地以外に幾十億圓の残存保險契約があり、この際政府より前記一割支拂に必要な金額融通方を陳情し來つたので政府は經濟生活の安固を保持し人心の安定を期するため保險會社の陳情を容れ國庫の負擔をも考慮に入れ各會社に對しその支拂に必要な金額を貸付ける方針を樹てたのである

◇火災保險會社對する貸付金に關する法律案は本日閣議で左の通り決定した

第一條、保險會社が火災保險の目的に付大正十二年九月の地震の爲め直接または間接に生じた火災及びその延焼並びにその消防または避難に必要なりし處分に因り損害

を受けたる被保險者に對し保險金額の保險價額に對する割合を損害額に乗じた額の百分の十に相當する金額の任意出捐を爲す場合及び本條に規定する出捐を爲す元受保險者に對し再保險者として當事者の協定に依る金額の出捐を爲す場合に於ては政府は保險會社に對しその出捐に必要な金額の貸付を爲すことを得

第二條、前條の規定に依る貸付金は火災大區及び農商務大區の定むる處に依りこれを償還せしめ、その利率は年百分の二とす

第三條、第一條の規定に依り政府に對し保險會社の負擔する債務はその辨濟期の到來したる分を除くの外、會社の計算に就いてはこれを免給せざるものと看做す。前項の規定は保險會社が解散したるときはこれを適用せず

第四條、第一條の規定に依り政府に對し債務を負担する保險會社は農商務大區の認可を受けるにあらざれば利益金の處分を爲すことを得ず

第五條、保險會社に對し破産の宣告ありたる場合においては第一條の規定による政府の償還は他の債權に後る

第六條、火災保險、海上保險及び運送保險の事業の免許は本法施行の日より十年間これを爲すことを得ず。但第一條に規定する出捐を爲したる保險會社及びこれを合併しまたはこれを統治者とする合併に因りて設立したる保險會社に就いてはその限りならず

第七條、第一條、第二條及び前條但書の規定は日本において火災保險事業を營む外國會社にこれを準用す

◇正金、對米建値二ポイント引下

正金銀行の對米爲替建値は二ポイント方引下げられ四十八ドル四分の三に變更された

◇日本銀行當復收盤さる

福岡縣朝倉郡杷木村の同行(資本金五十萬圓、拂込三十萬圓)は前年九月來支拂停止中であるが、事務取締役鬼塚節次郎、取締役藤原富太郎は多額の行金を横領消費したこと發覺し、本日福岡監獄に收監された



し、既拂込株金六百二十五萬圓中百八十七萬五千圓を震害損失金填補の一部に充當すること

一、その方法として舊株式新株式ともいづれも十株を併合して七株と爲すこと、但右併合の結果増数を生じたる株式の處分は取締役に一任のこと

◆全國モスリン製織同盟の決議

全國モスリン製織同盟會は名古屋商業會議所に總會を開き、左の決議をなし、同時に實行委員として野呂純次郎外八名を選任した

八日(土)

◆復興に伴ふ賠償金支出額

政府は震災に伴ふ賠償金支出額として豫備金一億三千萬圓を支出した旨本日官報を以て發表した

◆甘粕大尉等の判決

大杉榮、伊藤野榮及橋宗一の三名を殺害し

た徳町憲兵隊分隊長憲兵大尉甘粕正彦、曹長森啓次郎、伍長平井利一、上等兵嶋志田安五郎、本多重雄等に係る事件の判決は本日第一師團軍法會議に於て、岩倉判士長より左の判決言渡があつた

甘粕正彦 懲役十年  
森啓次郎 懲役三年  
平井利一、嶋志田安五郎、本多重雄、各無罪

十日(月)

◆第四十七臨時議會開かる

第四十七臨時議會は本日より開會された

十一日(火)

◆工場統計報告規則の改正

本日農商務省令を以て工場統計報告規則の改正が公布された

◆東京毛織一千六百萬圓に減資

東京毛織會社は臨時株主總會を開き資本金

二千萬圓を一千六百萬圓に減資する件を可決した

十二日(水)

◆大倉商事、一千萬圓訴訟事件に勝訴

大倉商事會社々長大倉喜八郎が神戸川崎造船所社長松方幸次郎を相手取り鉄鋼代金五百三十萬三千五百六十六圓三十七錢と同代金の延滞金二十七萬一千七百七十圓九十錢及び償還に因る不足額三百十四萬圓の請求訴訟を提起し、滿四年間に亘つて紛争してゐた事件に對して、本日神戸地方裁判所から左の如き判決の言渡しがあつた

十三日(木)

◆六大都市の中央卸賣市場區域を指定

農商務省は中央卸賣市場法第一條の規定に依り、六大都市中央卸賣市場の區域を左の通り指定した

一、京都市及隣接十九箇町村

一、大阪市及隣接二郡

一、横浜市及隣接八箇町村

一、神戸市及隣接六箇町村

一、名古屋市及隣接四箇町村

十五日(土)

◆報徳銀行の閉業

休業中の報徳銀行(資本金百萬圓)は頭取に前大阪造幣局長多胡敬一郎、取締役に豊川孝吉、河野慶男が就任し、本日から開業した

十九日(水)

◆關西對岸の巨額小山健三死去

前三十四銀行頭取貴族院議員小山健三は本日死去した。享年六十六。埼玉縣出身で文部省に出仕し東京高等商業學校長、實業事務局長、文部次官に歴任し、退官と共に三十四銀行頭取となり、大正九年貴族院議員に勲選された

二十日(木)

◆帝國議會延期延長

臨時議會は本日を以て會期満了のところ十二月二十一日より三日間會期延長の詔書が公布された

◆三重合同電氣五萬圓發行

大正十二年十二月

同社は株主總會を開き、藤本ビルブローカー銀行及山一合資會社引受の下に社債五百萬圓を左の條件で發行する件を可決した

△利率年八分五厘△償還方法一ヶ年据置後二ヶ年間に償還△發行價格百圓につき九十七圓五十錢

◆放送用私設無線電話規則の制定

本日逓信省令を以て放送用私設無線電話規則が公布された

◆産業組合中央金庫の創立

産業組合中央金庫は本日創立總會を開き、左の役員を選任した

△理事長岡本英太郎△副理事長野中清△理事藤見政隆、加藤正美、三輪龍造△監事志村源太郎、桑田龍藏、磯部正春

二十一日(土)

◆推橋銀行頭取收監さる

東京市外小松川町推橋銀行頭取推橋忠雄は業務上横領で市ヶ谷刑務所に收監された

二十二日(日)

◆帝都復興計畫法案、貴族院で可決

本日の貴族院本會議で帝都復興計畫法案が可決された

◆帝都復興に関する決議案可決

本日の貴族院本會議で、貴族院各派一致で提出した左の帝都復興に関する決議案が可決された

帝都復興の計畫は須らく帝都百年の計を根基となし而して其遂行は國家財政の實狀に鑑み緩急其宜しきに從ふを要す。今次の復興計畫は數次變改を重ねて尙未だ盡さざるの憾あり。政府は克く慮を遣きに致し補正を以て其大成を期すべきものと認む

二十四日(月)

◆特別都市計畫法の公布

本日特別都市計畫法が公布された

◆田農商務大臣引責辭職す

農商務大臣田健治郎は火保案審議未了の責を負うて辭職し文部大臣岡野敬次郎が農相を兼任した

◆震災後公債法の公布

本日法律第五十六號を以て左の震災後公債法が公布された

第一條、震災に伴ふ復興事業に關する經費支辨の爲政府は四億六千八百五十萬圓を限り公債を發行し又は之が繰替支辨の爲借入金を得

第二條、前條の規定に依る公債の發行價格



差額を補填する爲必要ある場合は前條の制限以外に公債を發行し又は借入金爲すことを得

○大興保險協會長各務鎌吉辭任す  
同協會長各務鎌吉は火災保險金支拂資金貸付法案が議會で採り潰しとなつたため、その責任上會長辭任の旨協會に申出た

二十七日(木)  
○大連事件で内閣辭職す  
大連事件に對する内閣の過渡問題につき閣議の結果辭職と決定し、山本首相は各大臣の辭表を取極め閣下に捧呈した

二十九日(土)  
○留任の優越を拜請して内閣辭職  
辭表を捧呈した山本首相は留任の優越を拜請し、たが、閣議の結果優越を拜請することに決定し、全閣僚の辭表を再び捧呈した

○前郵船社社長加藤正義死去  
前日本郵船會社社長加藤正義は死去した享年七十。鳥取縣生れで大阪上等裁判所理事、農商務權書記官を経て明治十八年日本郵船會社創立と共に入社、同二十六年株式組織となるに及んで取締役選任され、同二十八年副社長に昇進した。晩年は辭して相談役の閑地にあつた

○郵政官廳下置事件公表  
本日午後一時四十分、内閣は左の如き公表をなした  
十二月二十七日午前四時四十五分郵政官廳中一見漢(日本人)仕込杖銃を發射せしも腹下には全く御安泰にあらせられ其後醫院に運ばせられ滞りなく式を終へさせられ午後零時十分御恙なく赤坂離宮に還啓あらせらる。供奉員一同亦無事なり。犯人は直に逮捕されたり

○王子製紙、小倉製紙を合併  
資本金五千百萬圓の王子製紙會社は小倉製紙所を合併、小倉株五株に對し四株を交附して四百萬圓を増資、資本金五千五百萬圓となつた(日不詳)

二十五日(火)  
○第四十八帝國議會は本日閉會された  
○大連取引所一千萬圓に増資  
同取引所は臨時總會を開き、現資本金三百萬圓を一千萬圓に増資する件を可決した

二十八日(金)  
○東洋鐵道會社の準備減資  
同社は株主總會を開き、現資本金七百萬圓を三百五十萬圓に減資の件を可決した

○東京鐵道紡織九十萬圓を減資  
資本金二百二十五萬圓の東京鐵道紡織會社は九十萬圓を減資し資本金百三十五萬圓となつた(日不詳)

大正十二年統計

日本銀行兌換券發行高

兌換券發行高	正貨準備	保證準備	制限外發行
一月	1,000,000,000	1,000,000,000	1,000,000,000
二月	1,100,000,000	1,100,000,000	1,100,000,000
三月	1,200,000,000	1,200,000,000	1,200,000,000
四月	1,300,000,000	1,300,000,000	1,300,000,000
五月	1,400,000,000	1,400,000,000	1,400,000,000
六月	1,500,000,000	1,500,000,000	1,500,000,000
七月	1,600,000,000	1,600,000,000	1,600,000,000
八月	1,700,000,000	1,700,000,000	1,700,000,000
九月	1,800,000,000	1,800,000,000	1,800,000,000
十月	1,900,000,000	1,900,000,000	1,900,000,000
十一月	2,000,000,000	2,000,000,000	2,000,000,000
十二月	2,100,000,000	2,100,000,000	2,100,000,000

東京鐵道會社金利率表

月	證券貸付金			割引		
	最高	最低	平均	最高	最低	平均
一月	3.00	1.50	2.25	1.00	0.50	0.75
二月	3.00	1.50	2.25	1.00	0.50	0.75
三月	3.00	1.50	2.25	1.00	0.50	0.75
四月	3.00	1.50	2.25	1.00	0.50	0.75
五月	3.00	1.50	2.25	1.00	0.50	0.75
六月	3.00	1.50	2.25	1.00	0.50	0.75
七月	3.00	1.50	2.25	1.00	0.50	0.75
八月	3.00	1.50	2.25	1.00	0.50	0.75
九月	3.00	1.50	2.25	1.00	0.50	0.75
十月	3.00	1.50	2.25	1.00	0.50	0.75
十一月	3.00	1.50	2.25	1.00	0.50	0.75
十二月	3.00	1.50	2.25	1.00	0.50	0.75

六月	3.00	1.50	2.25	1.00	0.50	0.75
七月	3.00	1.50	2.25	1.00	0.50	0.75
八月	3.00	1.50	2.25	1.00	0.50	0.75
九月	3.00	1.50	2.25	1.00	0.50	0.75
十月	3.00	1.50	2.25	1.00	0.50	0.75
十一月	3.00	1.50	2.25	1.00	0.50	0.75
十二月	3.00	1.50	2.25	1.00	0.50	0.75



東京支店所手形交換高

月	最高	最低	最高	最低
一月	八七、三〇〇	二〇、〇〇〇	八七、三〇〇	二〇、〇〇〇
二月	八六、八〇〇	一九、八〇〇	八六、八〇〇	一九、八〇〇
三月	八六、〇〇〇	一九、〇〇〇	八六、〇〇〇	一九、〇〇〇
四月	八五、八〇〇	一九、〇〇〇	八五、八〇〇	一九、〇〇〇
五月	八五、〇〇〇	一九、〇〇〇	八五、〇〇〇	一九、〇〇〇
六月	八四、〇〇〇	一八、〇〇〇	八四、〇〇〇	一八、〇〇〇
七月	八三、〇〇〇	一七、〇〇〇	八三、〇〇〇	一七、〇〇〇
八月	八二、〇〇〇	一六、〇〇〇	八二、〇〇〇	一六、〇〇〇
九月	八一、〇〇〇	一五、〇〇〇	八一、〇〇〇	一五、〇〇〇
十月	八〇、〇〇〇	一四、〇〇〇	八〇、〇〇〇	一四、〇〇〇
十一月	七九、〇〇〇	一三、〇〇〇	七九、〇〇〇	一三、〇〇〇
十二月	七八、〇〇〇	一二、〇〇〇	七八、〇〇〇	一二、〇〇〇

外國為替相場

月	最高	最低	最高	最低
一月	三、一〇〇	二、一〇〇	三、一〇〇	二、一〇〇
二月	三、〇〇〇	二、〇〇〇	三、〇〇〇	二、〇〇〇
三月	二、九〇〇	一、九〇〇	二、九〇〇	一、九〇〇
四月	二、八〇〇	一、八〇〇	二、八〇〇	一、八〇〇
五月	二、七〇〇	一、七〇〇	二、七〇〇	一、七〇〇
六月	二、六〇〇	一、六〇〇	二、六〇〇	一、六〇〇
七月	二、五〇〇	一、五〇〇	二、五〇〇	一、五〇〇
八月	二、四〇〇	一、四〇〇	二、四〇〇	一、四〇〇
九月	二、三〇〇	一、三〇〇	二、三〇〇	一、三〇〇
十月	二、二〇〇	一、二〇〇	二、二〇〇	一、二〇〇
十一月	二、一〇〇	一、一〇〇	二、一〇〇	一、一〇〇
十二月	二、〇〇〇	一、〇〇〇	二、〇〇〇	一、〇〇〇

月	最高	最低	最高	最低
一月	三、一〇〇	二、一〇〇	三、一〇〇	二、一〇〇
二月	三、〇〇〇	二、〇〇〇	三、〇〇〇	二、〇〇〇
三月	二、九〇〇	一、九〇〇	二、九〇〇	一、九〇〇
四月	二、八〇〇	一、八〇〇	二、八〇〇	一、八〇〇
五月	二、七〇〇	一、七〇〇	二、七〇〇	一、七〇〇
六月	二、六〇〇	一、六〇〇	二、六〇〇	一、六〇〇
七月	二、五〇〇	一、五〇〇	二、五〇〇	一、五〇〇
八月	二、四〇〇	一、四〇〇	二、四〇〇	一、四〇〇
九月	二、三〇〇	一、三〇〇	二、三〇〇	一、三〇〇
十月	二、二〇〇	一、二〇〇	二、二〇〇	一、二〇〇
十一月	二、一〇〇	一、一〇〇	二、一〇〇	一、一〇〇
十二月	二、〇〇〇	一、〇〇〇	二、〇〇〇	一、〇〇〇

月	倫敦	紐約
一月	三、一〇〇	六、七〇〇
二月	三、〇〇〇	六、六〇〇
三月	二、九〇〇	六、五〇〇
四月	二、八〇〇	六、四〇〇
五月	二、七〇〇	六、三〇〇
六月	二、六〇〇	六、二〇〇
七月	二、五〇〇	六、一〇〇
八月	二、四〇〇	六、〇〇〇
九月	二、三〇〇	五、九〇〇
十月	二、二〇〇	五、八〇〇
十一月	二、一〇〇	五、七〇〇
十二月	二、〇〇〇	五、六〇〇

月	倫敦	紐約
一月	三、一〇〇	六、七〇〇
二月	三、〇〇〇	六、六〇〇
三月	二、九〇〇	六、五〇〇
四月	二、八〇〇	六、四〇〇
五月	二、七〇〇	六、三〇〇
六月	二、六〇〇	六、二〇〇
七月	二、五〇〇	六、一〇〇
八月	二、四〇〇	六、〇〇〇
九月	二、三〇〇	五、九〇〇
十月	二、二〇〇	五、八〇〇
十一月	二、一〇〇	五、七〇〇
十二月	二、〇〇〇	五、六〇〇







品名	七月				八月				十一月			
	最高	最低	平均	備考	最高	最低	平均	備考	最高	最低	平均	備考
大日本麥酒	100.0	98.0	99.0		100.0	98.0	99.0		100.0	98.0	99.0	
日清製糖	100.0	98.0	99.0		100.0	98.0	99.0		100.0	98.0	99.0	
明治製糖	100.0	98.0	99.0		100.0	98.0	99.0		100.0	98.0	99.0	
人造肥料	100.0	98.0	99.0		100.0	98.0	99.0		100.0	98.0	99.0	
久原製糖	100.0	98.0	99.0		100.0	98.0	99.0		100.0	98.0	99.0	
淺野セメント	100.0	98.0	99.0		100.0	98.0	99.0		100.0	98.0	99.0	
日本石油	100.0	98.0	99.0		100.0	98.0	99.0		100.0	98.0	99.0	
東京株式新三	100.0	98.0	99.0		100.0	98.0	99.0		100.0	98.0	99.0	
南滿洲鐵道	100.0	98.0	99.0		100.0	98.0	99.0		100.0	98.0	99.0	
日本郵船	100.0	98.0	99.0		100.0	98.0	99.0		100.0	98.0	99.0	
北海炭礦	100.0	98.0	99.0		100.0	98.0	99.0		100.0	98.0	99.0	
東京電燈	100.0	98.0	99.0		100.0	98.0	99.0		100.0	98.0	99.0	
鬼怒川水電	100.0	98.0	99.0		100.0	98.0	99.0		100.0	98.0	99.0	
王子製紙	100.0	98.0	99.0		100.0	98.0	99.0		100.0	98.0	99.0	
日本鋼管	100.0	98.0	99.0		100.0	98.0	99.0		100.0	98.0	99.0	
鐵道紡績新	100.0	98.0	99.0		100.0	98.0	99.0		100.0	98.0	99.0	
東洋紡績	100.0	98.0	99.0		100.0	98.0	99.0		100.0	98.0	99.0	
大日本麥酒	100.0	98.0	99.0		100.0	98.0	99.0		100.0	98.0	99.0	
日清製糖	100.0	98.0	99.0		100.0	98.0	99.0		100.0	98.0	99.0	
明治製糖	100.0	98.0	99.0		100.0	98.0	99.0		100.0	98.0	99.0	
日清製糖	100.0	98.0	99.0		100.0	98.0	99.0		100.0	98.0	99.0	
人造肥料	100.0	98.0	99.0		100.0	98.0	99.0		100.0	98.0	99.0	

備考 九、十月は震災に因り取引所休場の爲缺除

品名	十二月				一月				二月				三月				四月				五月				六月				七月				八月				九月				十月			
	最高	最低	平均	備考	最高	最低	平均	備考	最高	最低	平均	備考	最高	最低	平均	備考	最高	最低	平均	備考	最高	最低	平均	備考	最高	最低	平均	備考	最高	最低	平均	備考	最高	最低	平均	備考								
淺野セメント	100.0	98.0	99.0		100.0	98.0	99.0		100.0	98.0	99.0		100.0	98.0	99.0		100.0	98.0	99.0		100.0	98.0	99.0		100.0	98.0	99.0		100.0	98.0	99.0		100.0	98.0	99.0		100.0	98.0	99.0					
久原製糖	100.0	98.0	99.0		100.0	98.0	99.0		100.0	98.0	99.0		100.0	98.0	99.0		100.0	98.0	99.0		100.0	98.0	99.0		100.0	98.0	99.0		100.0	98.0	99.0		100.0	98.0	99.0		100.0	98.0	99.0					
日本石油	100.0	98.0	99.0		100.0	98.0	99.0		100.0	98.0	99.0		100.0	98.0	99.0		100.0	98.0	99.0		100.0	98.0	99.0		100.0	98.0	99.0		100.0	98.0	99.0		100.0	98.0	99.0		100.0	98.0	99.0					
東京株式新三	100.0	98.0	99.0		100.0	98.0	99.0		100.0	98.0	99.0		100.0	98.0	99.0		100.0	98.0	99.0		100.0	98.0	99.0		100.0	98.0	99.0		100.0	98.0	99.0		100.0	98.0	99.0		100.0	98.0	99.0					
南滿洲鐵道	100.0	98.0	99.0		100.0	98.0	99.0		100.0	98.0	99.0		100.0	98.0	99.0		100.0	98.0	99.0		100.0	98.0	99.0		100.0	98.0	99.0		100.0	98.0	99.0		100.0	98.0	99.0		100.0	98.0	99.0					
日本郵船	100.0	98.0	99.0		100.0	98.0	99.0		100.0	98.0	99.0		100.0	98.0	99.0		100.0	98.0	99.0		100.0	98.0	99.0		100.0	98.0	99.0		100.0	98.0	99.0		100.0	98.0	99.0		100.0	98.0	99.0					
北海炭礦	100.0	98.0	99.0		100.0	98.0	99.0		100.0	98.0	99.0		100.0	98.0	99.0		100.0	98.0	99.0		100.0	98.0	99.0		100.0	98.0	99.0		100.0	98.0	99.0		100.0	98.0	99.0		100.0	98.0	99.0					
東京電燈	100.0	98.0	99.0		100.0	98.0	99.0		100.0	98.0	99.0		100.0	98.0	99.0		100.0	98.0	99.0		100.0	98.0	99.0		100.0	98.0	99.0		100.0	98.0	99.0		100.0	98.0	99.0		100.0	98.0	99.0					
鬼怒川水電	100.0	98.0	99.0		100.0	98.0	99.0		100.0	98.0	99.0		100.0	98.0	99.0		100.0	98.0	99.0		100.0	98.0	99.0		100.0	98.0	99.0		100.0	98.0	99.0		100.0	98.0	99.0		100.0	98.0	99.0					
王子製紙	100.0	98.0	99.0		100.0	98.0	99.0		100.0	98.0	99.0		100.0	98.0	99.0		100.0	98.0	99.0		100.0	98.0	99.0		100.0	98.0	99.0		100.0	98.0	99.0		100.0	98.0	99.0		100.0	98.0	99.0					
日本鋼管	100.0	98.0	99.0		100.0	98.0	99.0		100.0	98.0	99.0		100.0	98.0	99.0		100.0	98.0	99.0		100.0	98.0	99.0		100.0	98.0	99.0		100.0	98.0	99.0		100.0	98.0	99.0		100.0	98.0	99.0					
鐵道紡績新	100.0	98.0	99.0		100.0	98.0	99.0		100.0	98.0	99.0		100.0	98.0	99.0		100.0	98.0	99.0		100.0	98.0	99.0		100.0	98.0	99.0		100.0	98.0	99.0		100.0	98.0	99.0		100.0	98.0	99.0					
東洋紡績	100.0	98.0	99.0		100.0	98.0	99.0		100.0	98.0	99.0		100.0	98.0	99.0		100.0	98.0	99.0		100.0	98.0	99.0		100.0	98.0	99.0		100.0	98.0	99.0		100.0	98.0	99.0		100.0	98.0	99.0					
大日本麥酒	100.0	98.0	99.0		100.0	98.0	99.0		100.0	98.0	99.0		100.0	98.0	99.0		100.0	98.0	99.0		100.0	98.0	99.0		100.0	98.0	99.0		100.0	98.0	99.0		100.0	98.0	99.0		100.0	98.0	99.0					
日清製糖	100.0	98.0	99.0		100.0	98.0	99.0		100.0	98.0	99.0		100.0	98.0	99.0		100.0	98.0	99.0		100.0	98.0	99.0		100.0	98.0	99.0		100.0	98.0	99.0		100.0	98.0	99.0		100.0	98.0	99.0					
明治製糖	100.0	98.0	99.0		100.0	98.0	99.0		100.0	98.0	99.0		100.0	98.0	99.0		100.0	98.0	99.0		100.0	98.0	99.0		100.0	98.0	99.0		100.0	98.0	99.0		100.0	98.0	99.0		100.0	98.0	99.0					
日清製糖	100.0	98.0	99.0		100.0	98.0	99.0		100.0	98.0	99.0		100.0	98.0	99.0		100.0	98.0	99.0		100.0	98.0	99.0		100.0	98.0	99.0		100.0	98.0	99.0		100.0	98.0	99.0		100.0	98.0	99.0					
人造肥料	100.0	98.0	99.0		100.0	98.0	99.0		100.0	98.0	99.0		100.0	98.0	99.0		100.0	98.0	99.0		100.0	98.0	99.0		100.0	98.0	99.0		100.0	98.0	99.0		100.0	98.0	99.0		100.0	98.0	99.0					

備考 九、十月は震災に因り米穀取引所休場の爲缺除



十一月	十二月	十二月	
		一月限	二月限
最高	最高	最高	最高
最低	最低	最低	最低
平均	平均	平均	平均
最高	最高	最高	最高
最低	最低	最低	最低
平均	平均	平均	平均

東京物價指數 (明治三十三年十月一〇〇)

十一月	十二月	一月限	二月限
最高	最高	最高	最高
最低	最低	最低	最低
平均	平均	平均	平均

總平均指數 前年同月

一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月
二四三・七一	二五三・八六	二五九・〇〇	二五九・四六	二六三・三二	二六一・六一	二五四・五二	二五一・八四	二七八・〇九	二七九・九一	二七二・四八	二六九・五五

大正十三年 (皇紀二五八四年)

【二月】

一日 (火)

◇日本電力の擴張工事完成  
同社(資本金一千萬圓)が建設中の左記工事は全部完成を見た  
▽富山縣津浦より大阪に至る送電幹線(二百哩)▽大阪並に津浦變電所▽越中電力會社各發電所(一〇、〇〇〇キロ)▽北陸送電會社各發電所(富山縣管、越中電力發電所)と日電津浦變電所を連絡するもの  
三日 (木)

◇貴族院議員補充  
貴族院令第一條第一號により左の四名は本日貴族院議員に勅選された  
▽前朝鮮總督府高等法院々長渡邊暢▽前内閣書記官長宮田光雄▽前法制局長官松本蒸治▽前内閣書記官長樺山資英  
五日 (土)  
◇李王世子殿下御歸京  
御歸京中の李王世子良殿下並びに方子女王

十一月 二七七・八八  
十二月 二七八・五四  
二四八・六三  
二四一・七七

殿下には本日昌慶丸で下關に御入港、午前九時四十五分發金行列車で御歸京遊ばされた  
◇歌志内炭坑爆發  
北海道歌志内炭坑の第二層坑爆發して坑夫百十六名中、死者七十六名、負傷者九名を出した  
七日 (月)

◇清浦内閣成立  
清浦内閣は左の如く閣僚の決定を見たので清浦子は六日赤坂離宮に参内して閣員名簿を奉呈し、本日親任式が舉行された  
内閣總理大臣 子爵 清浦 奎吾  
外務大臣 男爵 松井慶四郎  
内務大臣(帝都復興院總裁兼任) 水野錬太郎  
大藏大臣 藤田 主計  
陸軍大臣 陸軍中將 宇垣 一成  
海軍大臣 海軍大將 村上 格一  
司法大臣 鈴木喜三郎  
文部大臣 江木 千之  
農商務大臣 子爵 前田 利定  
逓信大臣 男爵 藤村 義朗  
鐵道大臣 小松謙次郎  
内閣書記官長 小橋 一太

◇警視總監の後任決定  
司法大臣に就任した前警視總監長鈴木喜三郎の後任は司法次官小山松吉を起用に決した  
◇平沼、井上兩氏勸進議員に任命  
前法相平沼一、前藏相井上準之助の兩氏は貴族院議員に勸選された  
◇山本伯、後藤子に前官勸選  
前首相山本權兵衛、前内相後藤新平に對し特旨を以て前官勸選の御沙汰あらせられた  
八日 (火)

◇東北帝國大學部編制失す  
午前零時十分仙臺北四番町の東北帝大附屬病院から出火し同病院並に隣接の醫學部教室其他數十棟を焼失した  
十日 (木)  
◇富士水電社債二百萬圓發行  
同社は左記條件で擔保付社債二百萬圓を發行するに決した  
▽利率年八分▽發行價格九十八圓▽券面種類百圓、五百圓、一千圓、五千圓▽償還期限二ヶ年間に隨時償還▽申込期限一月十八日より二十三日迄▽擔保工場財團第一順位の抵當權



興業債券三千萬圓發行

日本興業銀行は本年二月償還期限到来する一千八百五十萬圓の借替と新規發行一千五百十萬圓、計三千萬圓の興業債券を左の條件で發行することに決定した

▽利率年七分▽發行價格九十六圓▽償還期限五箇年▽利息現金庫券八分一厘二毛、第二回乗替八分一厘三毛、第三回乗替八分一厘四毛

日比谷銀行事務更迭

同行事務取締役定塚門次郎は健康勝れず事務を退いて平取締役となり、その後任に川澄義雄が就任した

航空實用遠光器材料の發明

理化學研究所眞島研究室の櫻井季雄、鈴木庸生の兩氏は獨逸製品に優る航空寫眞用遠光器材料を發明した

法制局長官の更迭

法制局長官松本丞治は留任を傳へられたが辭意を續へさぬので、その後任に佐竹三吾が就任した

各派少壯代議士、特權内閣打破を決議

特權内閣打破の第一聲を擧ぐべく各派少壯

代議士有志協會は新聞記者有志發起で東京丸ノ内中央亭に開かれ左の決議をなした

一、元老政黨を誤り貴族政權を私して特權階級の内閣を組織せるは民意を蹂躪せるものなり。吾等は速かに現内閣を倒壊し元老其他時代錯誤の勢力を一掃し憲政を確立せんことを期す

二、吾人は更に汎く政界及び言論界の同志と謀り一致協力して全國的運動を起さんことを期す

上野公園、東京市に移管せらる

議案の上野公園移管問題は東京陛下の御慶事を期して博物館、學士院を除き宮内省から東京市に移管されることに決定した

府縣會議員選舉期日決定

震災のため延期された東京、神奈川の府縣會議員選舉期日は六月十日施行することに決定した

濱尾子爵、樞密院議長に就任

濱尾子爵、樞密院議長に就任

濱尾子爵、樞密院議長に就任

濱尾子爵、樞密院議長に就任

支那の新任國務總理孫寶琦は左の施政方針を發表した

一、憲法に準據して統一を期し内政の整理に着手す

二、關稅二分五厘増徴の實施を期し以て内外債の整理に資す

三、領事裁判權の撤廢、國際地歩の向上を期す

勢備會議員選舉期日決定

勢備會議員選舉期日は六月十日施行することに決定した

三浦樞密顧問官辭職

樞密顧問官三浦梧棲(觀樹)は時局に憤慨し、政黨を無視した新内閣の出現は累を皇室に及ぼすものなりとの聲明書を發表して本日辭職した

貴族院副議長に鎌須賀侯就任

侯爵鎌須賀正留は貴族院副議長に就任した

樞密院副議長並に顧問官任命

本日赤坂離宮に於て左の通り親任式が舉行された

任樞密院副議長 樞密顧問官 一木喜徳郎

任樞密顧問官

侯爵 黒田 長成  
男爵 古市 公成

共同簿紙の改組と五倍増資

合資組織の同社(資本金百萬圓)は王子、富士、九州、中央の各製紙會社及び北海道工業會社以上五社の機關會社となすともにも株式組織に變更し、五百萬圓に増資することとなつた

大杉等遺骨奪取事件の公判

甘粕憲兵大尉等に檢殺された無政府主義者大杉榮、伊藤野枝及び橋宗一等の遺骨を奪つたうへビートルを亂射して葬儀關係者を威嚇した大化會々員下島繁藏に係る遺骨領得並に脅迫事件の裁判は、午前十時東京區裁判所刑事三號法廷で開かれた

高橋政友會總選、新内閣反對を強調

政友會は高橋總裁邸に最高幹部會を開き、總裁は「この重大時局に鑑み餘命を國家に捧げて大義正道を明かにしたい。それがためには華族の列を辭し貴族院を去つて衆議院に議席を得たいと思ふから諸君は自分と行動を共にされたい」と熱誠を以て所信を披瀝し、一同總裁の決意に基き勇往邁進するに決した

興業、小工業者へ復興資金四百萬圓融資

同行は、大蔵省預金部より小工業者への融資第一回分復興資金六百萬圓は十四日貸出を了し、口数は百九十餘口に上つたと發表した

瑞西聯邦國政府から東京大震災罹災者に對する義捐金一萬八千七百三十八圓が駐日公使館を通じて外務省に送附された

政友會の山本建雄、元田肇、床次竹二郎、中橋徳五郎は高橋總裁の對政府態度に反對して新内閣支持を主張し、その意見が容れられぬため脱黨届を提出したので、同黨幹部會は善後策を協議の結果、黨規紊亂の際により左記十三名を除名處分に附した

政友會の内訌、遂に分派す

政友會の山本建雄、元田肇、床次竹二郎、中橋徳五郎は高橋總裁の對政府態度に反對して新内閣支持を主張し、その意見が容れられぬため脱黨届を提出したので、同黨幹部會は善後策を協議の結果、黨規紊亂の際により左記十三名を除名處分に附した

村順之助、清水市太郎、成田榮信、鳩山一郎、瀧正雄、一宮房治郎、櫻内幸雄、海原清平、藤苗代、山本清三郎

二上樞密書記官長、勸選議員に任命

二上樞密書記官長は現職のまま、貴族院議員に勸選された

選舉法改正案、閣議で決定

臨時閣議で左の如き衆議院議員選舉法中改正法律案を決定した

一、選舉權の擴張 年齢二十五年以上の獨立の生計を營む帝國臣民たる男子

二、被選舉權の擴張 官公私立學校の學生生徒、神官神職、僧侶、諸宗教師、小學校教員並に法人の無限責任社員、役員及び支配人の被選舉權を認めたる等

三、開票區及び開票所の設置

四、候補の届出及び保證金 選舉人名簿に記載された者百名以上の推薦を要する、保證金は一千圓

五、選舉運動及び選舉事務所の制限

六、戸別訪問の禁止

七、實施期 大正十三年五月以降の總選舉より之を施行す

八、選舉訴訟 大審院に於て審理し一審且



つ終着として取扱ふ  
九、開則

○帝國政府、支那に借款問題解決を督促  
芳澤駐支公使は支那外交部副長と會見し、行儀の無難電信問題解決を督促し、副長も同問題解決の新局面を打開するため努力することを約した

○帝都復興費支出年度決定  
帝都復興委員会は東京市の執行負擔すべき所要經費一億八千二百六十四萬圓の中電氣事業費四千萬圓を除く上水道復興費一千万圓、帝都復興事業費一億三千二百六十四萬圓の支出年度制を左の通り決定發表した

▽東京市水道復興費總額一千万圓(内訳) 大正十二年度支出額三百萬圓、十三年度三百萬圓、十四年度三百萬圓、十五年度四百萬圓(内訳) 十二年度支出額三百五十萬圓、十三年度二千九百五十萬圓、十四年度二千八百八十二萬五千圓、十五年度二千八百六十萬圓、十六年度二千二百七十萬圓、十七年度二千三百一十一萬五千圓

○帝都復興促進會の陳情  
帝都復興促進會執行委員星野錫、安藤正純外十一名は清浦總理を官邸に訪問し復興促進方を陳情したが、首相は左の如く回答した  
帝都復興は一日も怠惰に附すべからざるものであるから政府は確實費算の範圍で極力實施に努力する積りである。又補正計畫及び緊急差し措き難きものに對しては閣僚とも充分協議の上實行する考へである

○同分商店主團分働兵死  
東京日本橋の同分商店主團分働兵衛は腎臓性喘息のため本日死去した。享年七十四

十九日(土)

○夕張鐵道會社の創立  
室蘭線東山驛より夕張炭礦に至る十六哩の鐵道經營を目的として設立された北海炭礦の姉妹會社たる夕張鐵道會社(資本金三百萬圓)は、創立總會を開き左の役員を選任した  
▽取締役會長磯村豊太郎▽取締役高城規一郎、高洲鐵一郎、石川信、堀田正恒▽監査役古川慶三、石黒爲次郎、久保兵太郎

○御慶典當日の慶典・持壽者決定  
来る二十六日東京殿下御成婚の喜辰を機として

持に就て協議し、二十八圓以下の買止めをなすよう各社自直すべきことを申合せた

○十二年末全國在荷高  
大正十二年末現在の全國四百倉庫貨物殘高は前年一千七百二萬六千八百八十二圓、金額四億三千八百四十七萬一千三百七十四圓でありこれを大正十一年末に比較すれば前年四十六萬五千二百八十二圓を減じ、金額に於て三千六百二萬一千六百六十七圓の増加を示した

○佛國下院、對財政案を可決  
佛國下院財政委員會は左の新財政案を可決した  
▽總ての租税を二割増徴すること▽消費税の大増徴▽滞納者に重き罰金を課すること  
▽行政改革によつて年十億法の節減を圖ること

○福澤團會仲小藤慶死  
前農商務大臣、福澤團會仲小藤慶は本日午後零時半腦溢血で死去した。享年五十九。慶應二年山口縣に生れ東京、横濱地方列校事東京控院檢察司法官參事官、行政裁判所評定官、内務省土木局長、警保局長、通信次官、農商務大臣に歴任した

十八日(金)

して陸尉及び授爵の恩命に浴する者左の通り確定した

▽陸尉授爵 内閣總理大臣子爵清浦奎吾、宮内大臣子爵牧野伸顯

▽授男爵 貴族院議員北里榮三郎、福澤團會官富井政章、岡野敬次郎、日本赤十字社長平山成信

二十日(日)

○日本電氣の職工大量解雇と争議  
同社は震災による事業縮小を理由として職工百三十八名に對して解雇を申請し、解雇手當六十日分を支給したが、被解雇職工は不滿を唱へ、残留職工も動搖して、罷業状態に入つた

○英國鐵道の同業罷業  
英國鐵道從業員同盟罷業本部の指令により全英國鐵道從業員は團結して總罷業を開始し機關夫、火夫等罷業者總數七萬五千人に上つたため、全國鐵道の四割は運轉を停止するに至つた

二十一日(月)

○關稅地下落で在外正貨一億圓拂下  
對米爲替は四十三弗四分の二といふ底抜け相場を現出したため、大藏省は生活必需品の輸入に限り正貨の拂下げを寛大にすることとし、在外正貨中一億圓をこれに振當てるに決定した

○十三年度總算案決定  
關稅に於て左の如く大正十三年度總算案が決定した(單位千圓)

Table with 2 columns: Department (臨時部, 歳入經常部, 歳出經常部, 臨時部, 臨時部) and Amount (1,214,888, 1,949,159, 1,409,048, 1,028,156, 380,891, 1,409,048)

○關稅總務課の消費稅拂戻を請願  
日本羊毛工業會は大震災で焼失した未消費毛織物に對する既納消費稅拂戻に就て協議し住友倉庫東京支店及び横濱倉庫に残存する少量の毛織物を除き、罹災救済の的確に證明し得るものに對し既納消費稅拂戻方を請願することに決定、請願書を提出した

○東京市營業合自動車の關稅  
東京市の市營業合自動車は本日車輛四十五

した

▽發行價格九十七圓▽利率年八分▽利廻九分二厘七毛餘▽償還期限一年償還後二ヶ年内償還但し一部抽籤償還

○露國の失業者百萬人に達す  
露國の失業者は百萬人に達し、内熱線職工二十パーセントを占め、一九二三年に比し二倍以上に上つた

○勞農露國人民委員長レーニン死去  
勞農露國革命人民委員長レーニンは午後六時十分モスコ郊外ゴルキに於て死去した。死因は大腸の血管に故障を生じたためである

○關稅王友田高兵衛死去  
關稅王友田高兵衛は本日午後一時死去した享年八十三。友田合資會社長として業績貿易界の重鎮であつた

二十一日(火)

○憲政擁護各派聯合會の内閣運動  
東京上野精養軒に第二回憲政擁護會主催の各派聯合懇親會を開き、高橋政友會總裁、加藤政會總裁、犬養毅、尾崎行雄等相次いで登壇、現内閣運動を獅子吼した



臨時國庫證券(る)債替のため左の條件により臨時國庫證券(つ)債一億圓を發行することに決定した

▽發行價格九十三圓二十五錢(現金應募)、九十二圓七十五錢(乘替應募)▽償還期限大正十七年九月一日迄▽利率年五分

◇鐵道補助六千萬圓に増資

同社(資本金一千八百七十五萬七千五百圓)は臨時株主總會を開き資本金六千萬圓に増資するに決定した

◇英國に労働黨内閣成立す

英國の労働黨總理ラムゼー・マクドナルドは新内閣を組織し首相兼外務大臣となつた

二十二日(水)

◇鐵道省、貨車四千輛新造に決定

鐵道省は貨物輸送能力減少して滞貨累積の現状に鑑み一箇年間に貨車四千輛新造の計畫を樹立し三月から着手と決定した

◇和歌山株式取引所の營業繼續不可

和歌山株式取引所は前年十二月十七日營業期限満了となつてゐたが、震災のため本年三月末日迄延期を運動中のところ本日不認可となつた

◇國庫證券、對外借款を承認

國際聯盟分科委員會は何牙利借款を可決した。借款金額二億五千萬クローネ、償還期限二十ヶ年

◇阿片事件の古賀慶造外四名位記還上

關東軍の阿片事件に連坐有罪と決した正四位古賀慶造、正五位中野有光、正七位坂田繁藏、正七位野津力雄は兼行修らざるの慶で位記返上を命ぜられた

二十四日(木)

◇宮鐵道敷設免許さる

宮津鐵道會社の京都府加佐郡河守町、同興附郡宮津町間、延長十二哩の蒸氣鐵道は敷設を免許された

◇鐵道省の復舊復興費算定

同算は一億七千五百萬圓を計上、大藏省と交渉中であつたが、復舊費七千五百萬圓、復興費五千五百萬圓、計一億三千萬圓と決定した

◇東洋鐵道、鐵道に決定

震災直後東洋鐵道市場善後策として總解合を決し一部賣方の受渡要望に對して有志取引員十八名は受株シンデケートを組織し事務局を收拾してゐたが、殘餘持株は組合員に對し約八百株宛分配し今月限り同シンデケートを解散

するに決した

二十五日(金)

◇東邦電力社債一千萬圓發行

同社は三井銀行引受の下に社債一千萬圓を左の條件で發行した

▽發行價格九十八圓▽利率年八分▽償還期限二ヶ年据置以後三年間に毎年二回各一回金百五十萬圓以上抽籤により償還▽利率八分七厘強

◇日本電報の争議解決

職工大量解雇で罷業状態に入つた同社の争議は三田署長の調停で解雇手當六十日分を九十日分に引上げ給與することとなり解決した

二十六日(土)

◇東宮殿下御結婚式舉行

東宮殿下に於かせられては本日午前九時赤坂離宮御出門、宮城に御參着、良子女王殿下と御結婚式を挙げさせられた

◇皇太子殿下御慶事に關し減刑の勅令公布

勅令を以て左の減刑が公布された  
▽死刑は之を無期懲役とす▽無期懲役及び禁錮は有期二十年、七十歳以上の者は十五年とす▽大赦、特赦、減刑又は復讐を得たる後再び罪を犯し禁錮以上の刑の首渡を受

けたる者に就ては減刑をなさず

◇日露通商條約の暫定取極

同通商條約は前年十二月三十一日期限満了したが、十三年三月三十一日まで効力延長に關する暫定取極成立した旨外務省告示を以て發表された

◇帝國政府、米國移民法に抗議

駐米大使は米國の新移民法案が日本移民を全然米國より排除するものなるに對し再度國務省に對して抗議を提出した

◇三重合同電氣社債二百五十萬圓追加發行

同社は債に社債五百萬圓を募集したが好成績で廣募七百七十萬圓に達したので更に二百五十萬圓を追加發行するに決した

◇東京瓦斯社債五百萬圓發行

同社は定時總會を開き決定社債八百萬圓の内五百萬圓を左の條件で發行するに決定した

▽利率年八分▽發行價格九十八圓五十錢▽償還期限一年据置後二年間隨時償還▽券面種類百圓、五百圓、一千圓、五千圓▽申込期限二月五日より十二日迄▽利率八分六厘二毛九

◇富士鐵道二百六十萬圓に減資

同社は臨時總會を開き資本金七百八十萬圓

を二百六十萬圓に減資し五千圓全額拂込普通及び優先株とも三株を一株に合併するに決定した

◇天津實業團代表、聲明書を發表

本朝中の天津實業團代表香、李克岐兩氏は本日歸國に際し左のステートメントを發表した

小座等天津實業團の委託を受け東來したるは實國各界の人士と意見を交換して兩國の親善を圖り共に東亞の大局を維持せんがためである。この際眞の親善に障害となるものは實に二十一ヶ條である。之れを廢棄せざる限り一切の事件を商議する餘地はないといふのが實國々民の主張であることを小座等より敢て貴大國民の前に啓言するものである

◇支那政府の年末切替借款

支那政府は舊年末切替策を審議し、交通銀行其他内外銀行より一千二百萬元の借款をなすことに決した

◇正金銀行取締役相馬永風死去

専修大學々長、日本興業銀行監査役、正金銀行取締役相馬永風は沼津の別邸で病氣靜養中のところ、本日死去した。享年七十五。コ

ロンビヤ、エール兩大學を卒へて歸朝、司法官から正金副頭取、頭取に歴任、同志と共に専修大學を創設し正金、興銀の重役を勤めつゝ育英事業に盡した

二十七日(日)

◇皇太子殿下御慶事に關し恩賜の御沙汰

皇太子殿下御慶事に際し皇室に於かせられては左の通り恩賜の御沙汰あり、本日宮内大臣から夫々傳達された

一、社會事業功勞者表彰 十年以上社會事業に従事し功勞顯著なる者に對し御附銀一圓一匁及び金二百圓宛下賜(下賜人員二百五十八人)

二、私設社會事業助成資金百萬圓下賜

三、兒童就學獎勵資金百萬圓下賜

四、外地兒童獎學資金下賜▽金二十萬圓朝鮮總督府▽金六萬圓臺灣總督府▽金二萬圓關東軍▽金八千圓樺太廳▽金二千圓南洋羣島

五、公園並に社會事業施設用地として東京市へ恩賜▽舊芝離宮約一萬五千五百坪▽猿江御料地の一部約二萬坪▽上野公園約十九萬坪

六、京都市に對し京都帝室博物館(建物業に土地約一萬二千坪)を下賜



◇元帥長谷川好道死害  
元帥陸軍大將長谷川好道は東京牛込早稲田町の自邸に於て死去した。享年七十五。明治維新後藩主に従つて京師守衛の任に當り、後大阪兵學校に入つて陸軍少佐に昇進、廣島鎮臺參謀長を経て佛國に派遣、歸朝後少將に昇任、日露戦争には近衛師團を率ゐて出征、後軍事參議官から參謀總長を経て元帥府に列せられた。

◇食料品の一部關稅復舊  
バター、コンデンスミルク等の關稅は震災による物價調節のため無稅となつてゐたが、内地製品が壓迫を受けるに至つたので關稅を復活することゝなつた。

◇各省震災復舊費追加算案は閣議に於て總額五億九千六百四十萬圓、内四億三千二百八十萬圓は公債財源に、一億六千三百六十萬圓は普通財源に供つことゝなり、續年限は大正十二年度より二十二年度までと決定した。

◇東京商會監査役織田庄一郎死去  
織田商會監査役、東京株式取引所員織田庄一郎は本日死去した。享年四十二。三十一日(木)。

◇大船渡洋灰會社の創立  
同社(資本金三百萬圓)は創立總會を開き左の重役を選任した。  
▽取締役 伊藤傳右衛門、楠本武俊、曾木晋、月羽一、澁谷澄▽監査役 水上齊三郎、大野清敏、高橋欽哉

◇土佐セメントの借入増資  
資本金二百萬圓の土佐セメント會社は四百萬圓に倍額増資し、舊一株に新一株を割當てることに決定した。

◇東京三選聯合の國民大會  
同大會は警官約三千名警戒の下に舊友會本部跡に開催されたが、警官隊と民衆の衝突に終始し三十三名の検束者を出した。  
◇保稅倉庫の倉庫料改定  
京濱倉庫業者は私設保稅倉庫に對する保費料改定につき前年末主務省に認可申請中のところ一月三十一日附認可の指令を得たので本日より實施した。

◇互働人氣で株式暴騰  
東京株式取引所は議會解散の反動人氣から

生保協會は今回左の條件で越中電力社債百萬圓(大同電力會社連帶保費)を引受けることに決した。

◇利率年一割▽償還期限一ヶ年据置後二ヶ年償還▽拂込期日一月三十日五十萬圓、二月二十九日二十五萬圓、三月三十一日二十五萬圓

◇川崎造船社債八萬圓發行  
同社は小池、藤本、野村三銀行引受けの下に左の條件で社債八百萬圓を發行することに決した。

◇利率年八分▽發行價格九十七圓▽償還期限大正十六年三月一日▽利率九分二厘七毛

◇大連商會、滿洲開發を提議  
大連商會會頭相生由太郎は總理、大瀧其他關係大臣、長官宛左の如き滿洲産業開發に關する建議書を提出した。

◇滿蒙に對する金融政策を更新せしめ金融の潤滑を期すること▽滿蒙に於ける未成鐵道の速成▽滿蒙に於ける製鐵事業の振興を企圖すること▽滿蒙に於ける棉花、柞蠶、羊毛の改良増産を期すること▽大豆その他滿洲特産物の改良増産▽水田事業助長並に米の輸出解禁を支那に交渉すること▽森林開

◇長距離電話隨書試驗所の設置  
逓信省の同試驗所敷地は靜岡縣駿東郡金岡村字東澤田に決定、敷地百五十坪を買収、工費五萬圓を以て着工した。

◇産組中央金庫の副理事長後任決定  
産組中央金庫副理事長野中清は鮮銀總裁に就任と決定したため、その後任に菅野盛次郎が就任した。

◇電氣協會、電氣事業法改正促進を提議  
電氣協會會長上野吉二郎、立原常務理事、東電、大同、帝都電燈の代表者は工業俱樂部に會合し電氣事業法改正促進方につき協議した。

◇五取引所に營業繼續免許  
農商務省は三月三十一日を以て期限満了となる岡崎、長崎、富山、横濱、小樽の各取引所に對し夫々繼續免許の指令を發した。

◇朝鮮銀行總裁の更迭  
同行第二次整理に當り總裁美濃部俊吉辭職し、産組中央金庫副理事長野中清が就任した。

◇孟買紡績労働者の罷休  
職工手當廢止問題からボンベイ紡績労働者

【二月】

一日(金)

◇大船渡洋灰會社の創立  
同社(資本金三百萬圓)は創立總會を開き左の重役を選任した。  
▽取締役 伊藤傳右衛門、楠本武俊、曾木晋、月羽一、澁谷澄▽監査役 水上齊三郎、大野清敏、高橋欽哉

◇土佐セメントの借入増資  
資本金二百萬圓の土佐セメント會社は四百萬圓に倍額増資し、舊一株に新一株を割當てることに決定した。

◇東京三選聯合の國民大會  
同大會は警官約三千名警戒の下に舊友會本部跡に開催されたが、警官隊と民衆の衝突に終始し三十三名の検束者を出した。  
◇保稅倉庫の倉庫料改定  
京濱倉庫業者は私設保稅倉庫に對する保費料改定につき前年末主務省に認可申請中のところ一月三十一日附認可の指令を得たので本日より實施した。

◇互働人氣で株式暴騰  
東京株式取引所は議會解散の反動人氣から



は同盟罷業を開始した  
○英商政府、労働組合を承認  
労働党内閣の出現を見た英商は、労働組合を正式に承認した

二一日 (土)  
○東京三選、開票を決議  
東京上野精養軒に東京三派懇親会を開き左の申合をなした

憲政の大義を辨ぜざる清浦内閣は不法なる解散を行ひて更に言論を壓迫し、集合の自由を奪ひたり。吾人は極力之が倒壊を圖ると共に之を支持する勢力の絶滅を期す

○平沼閣一閣、臨時閣内に就任  
前法相貴族院議員平沼騏一郎は、樞密顧問官に任命された

○帝國農會、米穀關稅復舊を請願  
大木帝國農會會長、矢作博士等は前田農相を訪問し、米穀關稅の免除繼續は米價低落の因をなさざるまでもその昂騰を阻止する結果となり農村復興上影響するところ甚大なるため三月末の免稅期限満了を期して復舊せられたりと陳情した

○近海船隻の所有權整理  
同社は所有船改善のため價路丸(一千トン)

を朝鮮郵船へ十一萬圓で買却し、その代船として横濱船渠で建造中の貨物船(一千トン)を二十萬圓で買入れるに決した  
○米國下院、排日案を可決  
米國下院移民委員會は「米國市民たる資格なき外國人の入國を禁止する」排日移民案を可決した

二二日 (日)

○大同電氣社債一千萬圓發行  
同社は興銀、三菱、十五三行引受の下に左の條件で社債一千萬圓を發行するに決定した  
▽發行價格九十八圓▽利率年八分▽償還期限大正十三年三月一日より十五年三月一日迄隨時償還▽利息九分一厘

○前米國大統領ウイルソン死去  
前米國大統領ウッドロー・ウイルソンは本日死去した。享年六十八。ジョルジア州アトランタの辯護士から出發してプリンストン大學教授を経て總長となり、その間政治、文學に關する著述多く、一九一六年民主黨から知事に選舉され次いで大統領候補に指名されルーズベルト、タフトを破つて大統領に當選した

四日 (月)

○八幡製鐵所、先物の賣出價額發表  
同所は三月渡鋼材一萬四千トン賣出價格を左の如く發表した

▽平鐵(一トン)百七圓▽山型鋼百十四圓▽薄型及び工型鋼百十六圓▽鐵板二分厚百十三圓▽同二分厚以上百十四圓

○關東關係生命保險支拂額發表  
全國生命保險會社が前年十二月三十一日迄に震災に起因して死亡した者に支拂つた保險金額は四千二百八十一件、五百七十六萬七千五百五十五圓、解約者に支拂つた返戻金は七十一萬四千五百八十四圓と發表された

五日 (火)

○憲法記者大會の開閉決議  
同會は東京上野精養軒に開催、全國新聞通信記者及び高橋(政友)大榮(革新)箕浦、濱口(憲政)その他憲法三派領袖を始め前代議士五百餘名集會して内閣打倒の宣言決議を可決した

○東京府農工債券三百萬圓發行  
帝都復興に努力しつゝある同行は左の條件で農工債券三百萬圓を發行するに決した  
▽發行價格額面▽利率年八分▽償還期限十ヶ年

○倉庫業者、火保問題解決促進を決議  
震災のため一億餘圓の損害を蒙つた京濱倉庫聯合會加入倉庫代表者は定例會に於て、新内閣成立後同問題解決の模様がなないので單に自己の利害關係のみならず貨物寄託者の立場からも速かに解決促進の要ありとて、委員五名を選任し、當局並に火保業者に對し解決促進を交渉するに決した

六日 (水)  
○早稻田銀行津波の運賃協定成立  
カルカッタ往航運賃同盟は従來ラングリンカルカッタ揚げセメント運賃を一樽一圓と制定してゐたが、袋物の協定がなかつたので今回袋物一トンにつき六圓と定め三月一日から實施することに決定した

○官報額百八十萬圓發行  
同報は電氣事業資金に充當するため神田銀行引受の下に左の條件で額面百八十萬圓を發行することとなつた  
▽利率年八分▽償還期限三ヶ年償還後隨時償還

○十二年の米實收高發表  
農商務省は大正十二年に於ける米の作付反別三百十四萬七千三百九十七町六段、收穫高

五千五百四十六萬六千五百五十四石で、作付反別は前年に比し六千二百五十町九段の増加を示したが收穫に於ては五百二十二萬七千六百九十六石、平年に比して二百五十萬三千二百六十七石の減收を示したと發表した

○商團聯合會、經濟復興促進會を組織  
全國商業會議所聯合會は常任委員會を開き議會解散による豫算不成立のため産業復興促進會對する方策を協議し、産業資金問題、震災地電話の復舊及び擴張、東京及び横濱の復興等に關する腹案を得たので内閣總理大臣を訪問して陳情するに決した

○水曜會の精糖安値賣止決議  
製糖會社の組織する水曜會は例會を開き、對支輸出值段現在三十一圓二十錢を三十一圓六十錢に引上げ安値賣止を繼續實行することに決した

○佛國下院、政費十億フラン節約を可決  
佛國下院は最低十億フランの政費削減を行ふことを規定した財政改革案を滿場一致可決した  
○農商政府、銀貨制を採用  
農商政府は従來の紙幣を廢して銀貨を使用する旨發表した

○獨逸棉業界の恢復圖畫  
獨逸棉業界はレンデン・マルク幣制が實施され通貨が安定して以來、商内漸次恢復し、プレーメンに於ける米棉相場は一パウンドにつき三十六セント、ミュンヘンに於ける二十香手棉相場は一キロにつき一ドル十三セントと前年より二十セント方増した

七日 (木)

○紙商組合、震災前貸借決議に決定  
東京紙商同業組合は臨時總會を開き震災前の貸借關係がその儘放置されてゐるため三月三十一日まで双方協議の上決済することに決定した

○復興院、障木材買付契約を破棄  
同院が震災當時障木と契約した本年の出材八十萬石買付は豫算關係及び市價騰落等に鑑み契約を取消すこととなり了解を求めた  
○朝鮮銀行の整理案成立  
同行は配當を二分減の六分とし、日銀より六千五百萬圓の融資を得て、整理するに決定した  
○大成火災保險、單獨支拂を繼續  
同社は前年末より契約五千圓以下の震災被保險者に對し單獨に一割の見舞金を提供して



ふたが、更に五千圓以上の被保険者に對しても同様一割の見舞金を提供することゝなつた

○尾三銀行の休業繼續  
休業中の尾三銀行(資本金六百萬圓)は十日開業の豫定であつたが更に一ヶ月間休業する旨發表した

○復興火災保險者大會の決議  
同大會は工業俱樂部に開催、笠原文太郎を議長に推し、被保險人は火災保險會社に對して保險金支拂の訴訟を一切に提起すること、本問題解決せざる間暫つて保險契約をなさないこと等を決議し、代表者は火災保險協會に乘込み帝國火災は一分、三菱、千代田は二分の支拂をなすとの言葉をとつて引擧げた

○伊太利、露國を承認  
伊太利政府は、勞農露國政府を正式に承認した

八日(金)

○復興局會制決定  
閣議に於て復興局官制を決定し、同時に復興院審議會及び復興院官制を廢止することに決定した

○議院議員選舉期日は五月十日と確定  
衆議院議員選舉期日は五月十日と確定、

即日官報號外を以て公布された

九日(土)

○鹽水港製糖廠後下三郎死去  
鹽水港製糖會社取締役後下三郎は中耳炎のため本日死去した。享年四十七

十日(日)

○善後聯合會の改稱と低賃率  
全國善後聯合會は大會を開き、帝國善後組合聯合會と改稱するに決し、更に資金缺乏に備へ低利資金融通を請願するに決定した

○丹那トネルの崩壊、十六名生埋  
午前八時五十分熱海線工事中の丹那トネル坑内土砂崩壊して坑夫十六名生埋となつた

○大正火災海上社長田島一死去  
大正火災海上保險會社社長田島一は本日死去した。享年七十五。三井合名及び三井物産の重役を引退後主として紡績界に活躍してゐた

十一日(月)

○社會黨黨費金交付  
内務大臣は本日全國社會黨團體中二百四十團體に對し獎勵金五萬三千圓を交付した

○沖電氣の準備  
同社職工は七日以來手當問題で争議を續け

てゐたが、會社側が日給六割、請負手當六割出振手當十割、特別手當四割、退職手當要求通り増給を三月一日より實施することゝなり解決した

十二日(火)

○支那、關東州の裁判權返還を要求  
王奉天省長は日本總領事に對して、關東州居住支那人の裁判權返還に關する要求を提出した

○外債五億五千萬圓成立  
政府は英米兩國に於て約五億五千萬圓の英米貨公債を左の條件で發行することゝなつた

内三位五千萬圓は明年二月及び七月償還期限到來する第一、二回四分利付公債借替に充當し、殘額は復興資金に充當する

▽英貨發行額二千五百萬磅▽利率六分▽發行價格八十七磅半▽償還期限十五年償還三十五年以内▽利率六分九厘六毛▽減債基金發行後六ヶ年目より毎半ヶ年

▽米貨發行額一億五千萬弗▽利率六分半▽發行價格九十二弗半▽償還期限十五年償還三十年以内▽利率七分一厘

○小田原電鐵の一部開通  
震災後廢線となつてゐた小田原電鐵の小田

原野から板橋までの短區間が開通した

○獨逸、國有鐵道を移管  
獨逸政府は獨逸國有鐵道をドイツツェネ。ラ

イヒス。バーンなる法人企業に移して交通大臣の統轄の下に置き財政上政府から獨立せしめることに決した

十三日(水)

○臨時國庫證券一億圓借替發行  
本月十四日償還期日の臨時國庫證券(た號)

一億圓借替のため臨時國庫證券(ね號)一億圓を左の條件で發行するに決定した

▽割引歩合日歩一錢八厘五毛▽償還期日大正十四年二月十四日

○東電、電燈電力料金を値下  
同社は東役會に於て電燈、電力料金の値下げを左の通り決定、なほ三燈以上使用者にメートル制を實施することゝなつた

▽動力改正料金 一キロ七錢五厘を六錢に百キロ以上一キロ四錢に引下げ

▽電燈電力改正料金 一キロ十八錢を十六錢に、一キロ以上二キロまで十四錢、三キロまで十錢に引下げ

○共産黨事件の導以下二十九名有罪  
前年五月五日檢擧された共産黨密書給社事

件は豫審終結して收監中死亡した川崎悦行を除く外、罪利志を始め二十九名全部有罪と決した

○サガレンの震下漁區發表  
サガレン派遣軍は大正十三年度に於て該區により貸下ぐべき漁區及び製魚區に關し大要左の如く發表した

▽發表の時期 大正十三年四月二十四日▽發表の場所 亞港公會堂▽發表漁區及び製魚區數 黑龍江海灣區(鮭、鱒漁區五ヶ所、鱒製魚區九ヶ所)、ヌイスキー區(鮭、鱒、鱒漁區三十二ヶ所、鱒製魚區六ヶ所、鱒製魚區三ヶ所)

○ノールウエイ、露國を承認  
ノールウエイ政府は勞農露國を承認した

○天臺道士杉浦重剛死去  
天臺道士杉浦重剛は本日死去した。享年七十。安政二年蒞賀縣に生れ大學南校で英學を修め更に東京開成學校で化學を研究、明治九年留學生として英國に渡り歸朝後文部事務官

事同學務局長、同文書院長を経て東京御學問所御用掛、良子女王御學問所御用掛を勤め傍ら東京英語學校を創設し日本中學と改稱して校長となり育英事業に終始した。人格高潔

で國士の風格を備へてゐた

十四日(木)

○ウラジオ帝國領事館開館  
ウラジオ駐在日領事は露國側より駐在を認めざる旨通告を受け閉館することゝなつた

○東電電燈借債一千五百萬圓發行  
同社は社債一千五百萬圓を左の條件で發行と決定した

▽發行價格九十八圓五十錢▽利率年八分▽償還期限三ヶ年据置

○大倉船渠、川崎造船を兼併  
同社は川崎造船所に對し鉄代金一千萬圓支拂の訴訟に勝訴したので百八十二萬圓を東京供託局に供託して差押を行つた

○吳佩孚、廣東攻撃を準備  
四川討伐に成功した吳佩孚は更に廣東を平定するため陳光遠を廣西軍、唐生智を湖南軍方本仁を江西軍の指揮に任じ陳炯明軍と呼應して孫文攻撃準備に着手した

○印度帝國銀行の利上  
印度帝國銀行は公定割引歩合を八分から九分に引上げた

十五日(金)  
○東京中央卸賣市場に低賃率決定



農商務省は東京市長の申請に依り中央卸賣市場開設費として十二年度以降三ヶ年に亘り八百萬圓の低利資金融通方を大蔵省と協議、十二年度分として三百五十萬圓を融通することに決定した

セメント市價暴落

セメントは生産過剰を告げ、北海道方面の製品が關東方面へ輸送され更に關西方面からも過剰品が輸送されたため東京市場は二、三千樽の大口が一樽五圓五六十錢を唱へ、大阪も四圓七十錢に下落した

大阪株式取引所は長期建設債新舊四月限の委託附屬金を十六圓より十四圓に引下げ、本日より短期清算取引部建株に淺野セメント、登島米穀の二銘柄を追加した

同社(資本金七十萬圓)は定時總會を開き二百萬圓に増資し、増加資本百三十萬圓に對しては十年間七分の優先配當を行ふ件を可決した

富士生命、藤田家て經營 同社(資本金五百萬圓)の經營は各務維吉の斡旋で藤田家に移り定時總會を開き左の役員を選任した

員を選任した  
▽取締役藤田平太郎(社長)寺田四郎(専務)坂仲輔、鈴木重太郎▽監査役日下吉平 日本ラミー會社は約一萬圓の税金滞納のため競賣に附され、四十七萬圓で東洋麻絲紡績に落札した  
○貝島太市、育英會を設立 九州の炭礦王貝島太市は、攝政官殿下御慶事の記念事業として社団法人貝島育英會を設立し、基金百萬圓を提出した。經常費は年利約五萬圓の豫定で、優秀兒童に學費を給し高等教育を施すものである  
○ユー・エヌ、アナコンダ暴落 ニューヨーク株式市場は氣配軟弱でユー・エヌ・スチール株は百三ドル四分の三と一氣に二ドル八分の七の大暴落を演じ、アナコンダ株も三十八ドル八分の七と八分の七方低落した  
十六日(土)  
○日波通商條約批准 ポーランド議會外交委員會は日本ポーランド通商航海條約を批准した  
○滿鐵社債八千萬圓追加發行

同社は臨時株主總會を開き社債限度を九千五百萬圓に擴張し、社債八千萬圓追加發行の件を可決した  
○日露間の郵便停止 勞農露國は浦鹽到着の日本郵便物取扱停止を發表した  
○自由通信社の重役更迭 同社は古谷社長死去につき左の如く重役を改選した  
▽社長小久保喜七▽支配人小高長三郎▽相談役金子貞治 十七日(日)  
○關東國會議員大會開かる 憲政擁護會主催の關東國民大會は東京上野公園兩大師前廣場に開かれ、約一萬人參集、内閣打倒の長旗を振舞し護憲歌を高唱して示威行列を行つた  
十八日(月)  
○富士水電社債二百萬圓發行 同社は安田銀行引受の下に社債二百萬圓を左の條件で發行した  
▽發行價格九十八圓▽利率年八分▽償還期限二年内償還但し一部抽籤▽利率年九分一厘八毛

日本林業の木材積取、國際汽船と契約

國際汽船會社は日本林業會社の船隻を引繼ぎ同社の木材三百萬石の内六十萬石を五、六七月の三ヶ月間に積取る契約をなした

多摩川水電の紛争解決す

同社(資本金一千萬圓)の解散、非解散問題は小泉策太郎の調停により營業繼續に決定臨時總會を開き七百五十萬圓に減資して左の役員を選任した  
▽取締役井上敬次郎、中島守利、堀江正三郎、植村俊平、大澤大助、山崎龜吉(留任)  
▽監査役津田興二、瀧沼伊兵衛、小澤太平

大阪商船の外船買入

同社は近海航路の配船充當のため外船買入をなしてゐるが、更にスネリツフ號(四千トン、一九〇六年建造)を四月渡三萬八千ポンドで買入契約を締結した

破産銀行の原狀回復訴訟

破産決定後預金者伊藤千太郎外八十五名から財産差押へ、預金拂戻し訴訟を提起された同行の破産管財人守屋、池田兩辯護士は右請求否認履行使並に原狀回復訴訟を起し京都地方裁判所で口頭辯論が開かれた  
○浦賀船渠の震災損害査定決定

同社は定時總會に於て震災損失金三百九十五萬四千五十圓を減資により百八十七萬五千圓、別途積立金により百八十七萬圓を銷却、二十七萬八千五百圓は前期繰越金を以て補填することに決定した  
○火災保險請求市民大會開かる 火災保險請求市民大會は工業俱樂部に開かれ「農相及び會社をして速かに保險金支持の時期を言明せしむべし」との決議をなし、十數本の長旗を先頭に二千名の會衆は農相、藏相官邸に押しかけた  
○米國海軍艦、油田疑獄事件で歸朝 米國海軍艦デンビーは油田疑獄事件の責を負うて歸朝した  
○英國波止場人夫の歸國 倫敦波止場人夫全員は諸組合と合同、同盟罷業に加はり、英國諸港の波止場人夫もこれに合流、殆ど全部罷業に参加した  
○米國世界一周旅行團七百名來朝 米國クラーク會社主催の世界一周旅行團一行七百名は豪華船フランコニア號(二萬トン)で横濱に入港した  
十九日(火)

朝鮮船、上海航路を開航

同社は今秋仁川を起點とし釜山經由上海に至る新航路を開設するに決定した  
○日本新公債ロンドンで好評 十八日倫敦株式市場に上場された六分利附日本公債は二パーセントのプレミアアム附で賣出され、本日三パーセントに昂騰した  
○日本新聞記者、露國を退去 在露日本新聞記者及び通信記者は勞農政府の要求に依り直ちに露國から退去することとなつた  
○一の宮驛列車防衛事件の犯人送歸 本日一の宮驛附近に於て御召列車通過直後上り十二號一、二等急行列車に對し線路に大石を乗せ襲撃を謀つた列車防衛事件あり、三島檢事局で取調への結果、動機は單なる惡戯と判明、犯人成瀬綱次郎は翌二十日起訴された  
二十日(水)  
○萬歲生命保險二百萬圓に増資 同社(資本金五百萬圓)は定時總會に於て二百萬圓に増資の件を可決した  
○大阪中央市場設置に決定 大阪市は三ヶ年繼續事業として經費一千六百萬圓を以て中央卸賣市場(敷地三萬八千坪)



設置の件を可決した

二十一日(木)

○農林省の調査報告の公布  
農林省の調査報告は勅令を以て公布即日施行された

○帝國政府の對露抗議  
帝國政府は陸軍全權カラハンに對し、浦里の帝國領事否認、日露同郵便交換の停止、在露日本新聞通信記者の退去要求の三件につき反省を求めた

○生糸暴落を緩和する爲め  
横濱生糸市場は輸出不振のため漸落し、二十日の清算生糸は更に激落して二十十圓弱を唱へ、前年の賣止糸價を十圓方下廻るに至つたので、製糸同盟會は有志會を開き二十二十圓以下賣止をなすことに決した

○日電、大阪に送電を開始  
日本電力は瀬戸発電所(二七、〇〇〇キロ)竣工し、三月一日から越中電力、富山縣管の電力を合して大阪に送電を開始することとなつた

○英國の波止場人夫總罷業解決  
總罷業により氣勢をあげた英國の波止場人夫争議は妥協成立して解決した

二十二日(金)

○關東電氣の電力供給契約成立  
關東電氣の電力供給契約は左の如く成立  
交渉中の兩社電力供給契約は左の如く成立を見た

○宇治川電氣社長更迭  
同社は社長木村清が病氣辭任を申出たため重役會を開き互選の結果副社長林安雲が社長に昇任することとなつた

○關東電氣の電力供給契約成立  
關東電氣の電力供給契約は左の如く成立を見た

○沼津の火災と御内幣金下賜  
二十一日午後十時二十分沼津我入道から出火、全焼百八十五、半焼四、重傷者三十四死者一を出して本日午前二時半鎮火した。沼津御用邸に御駐蹕中の、兩陛下には右大火に對し御救恤として御内幣金三千圓下賜の御沙

決あらせられた

二十三日(土)

○所得稅法施行規則の改正  
所得稅法施行規則中改正に關する勅令が官報を以て公布され、大正十三年度分所得稅より保險料が控除されることとなつた

○關東電氣の電力供給契約成立  
關東電氣の電力供給契約は左の如く成立を見た

○關東電氣の電力供給契約成立  
關東電氣の電力供給契約は左の如く成立を見た

○關東電氣の電力供給契約成立  
關東電氣の電力供給契約は左の如く成立を見た

○關東電氣の電力供給契約成立  
關東電氣の電力供給契約は左の如く成立を見た

二十六日(火)

○ウラジオ日本會館落成式  
露國々家政治部長は軍事探偵の嫌疑を以て我が副領事司智爾、海軍派遺員美妻少佐、松井大尉、羽部通輝生、春田書記生等の家宅搜索をなし邦人十八名を拘禁した

○生活必需品の輸入税復舊  
前年公布された勅令により減免された生活必需品の輸入税は、大豆、小麦、大豆を除き復活する旨本日勅令を以て公布、即日施行された

○關東電氣の電力供給契約成立  
關東電氣の電力供給契約は左の如く成立を見た

○關東電氣の電力供給契約成立  
關東電氣の電力供給契約は左の如く成立を見た

○關東電氣の電力供給契約成立  
關東電氣の電力供給契約は左の如く成立を見た

○關東電氣の電力供給契約成立  
關東電氣の電力供給契約は左の如く成立を見た

○關東電氣の電力供給契約成立  
關東電氣の電力供給契約は左の如く成立を見た

○修正案、横濱計畫は原案を可決した

○關東電氣の電力供給契約成立  
關東電氣の電力供給契約は左の如く成立を見た

○關東電氣の電力供給契約成立  
關東電氣の電力供給契約は左の如く成立を見た

○關東電氣の電力供給契約成立  
關東電氣の電力供給契約は左の如く成立を見た

○關東電氣の電力供給契約成立  
關東電氣の電力供給契約は左の如く成立を見た

○關東電氣の電力供給契約成立  
關東電氣の電力供給契約は左の如く成立を見た

○關東電氣の電力供給契約成立  
關東電氣の電力供給契約は左の如く成立を見た

○關東電氣の電力供給契約成立  
關東電氣の電力供給契約は左の如く成立を見た

【三月】

一日(土)

○關東電氣の電力供給契約成立  
關東電氣の電力供給契約は左の如く成立を見た

○關東電氣の電力供給契約成立  
關東電氣の電力供給契約は左の如く成立を見た

○關東電氣の電力供給契約成立  
關東電氣の電力供給契約は左の如く成立を見た

○關東電氣の電力供給契約成立  
關東電氣の電力供給契約は左の如く成立を見た

○關東電氣の電力供給契約成立  
關東電氣の電力供給契約は左の如く成立を見た

○關東電氣の電力供給契約成立  
關東電氣の電力供給契約は左の如く成立を見た



火保協會加入三十二社中東京海上、東洋火災を除く三十社は政府の援助金貸出に關する請願書を大蔵省に提出した

六汽船會社、プールの組織  
計畫中であつた川崎、國際、山下、藤田、帝國、近海の六汽船會社は前年通り船主のプールを組織して運賃暴落を支持することに決定した

米國汽船同盟の運賃引上  
米國汽船同盟はパンクローバーに運賃問題に關する委員會を開き太平洋、大西洋に於ける各貨物運賃をトン當り平均二ドル方引上げ七月より實施することに決した

二日 (日)

七分利付勸業大券五萬圓發行  
日本勸業銀行は左の條件で七分利付勸業大券五萬圓を發行に決した

發行價格百圓に付九十七圓發行期間三月十一日より十五日まで償還期限二ヶ年償還八ヶ年償還

支那政府、無線電信三國協同經營を交渉  
支那政府は、無線電信問題解決の便法として日米支三國協同經營を交渉することに決定した

三日 (月)

農商務省は震災による被害地復舊費國庫補助金を大正十二年中に左の如く交付する旨發表した

東京府五萬八千圓増玉縣一萬三千五百圓神奈川縣三十三萬九千圓別途八千七百九十一圓

日本記者の退去命令を取消  
農務省は日本記者に對し退去方を要求したが調査して之を取消し退去に及ばずとの通告をなした

四日 (火)

鐵道・海運・郵政に關する條約公布  
大正十年四月ベルセルナに於て關係各國全權委員の署名した左記條約批准の件は官報號外を以て公布された

航空の自由に關する條約及び規程  
一、無海軍國の船旗に關する權利を承認せる宣言書

日通商航海條約の調印  
日通商航海條約はバンコックに於て調印を了した

大株の買入れ引下と總額變換方法決定

五日 (水)

大阪株式取引員組合は委員會を開き短期清算取引建株中委託證券金を大株、東新十圓、嶺新十圓、大新八圓に引下げ、短期嶺新の受渡に就ては左の如く決定した

短期嶺新は三月二十七日正午限り受渡を完了することと四月一日より凡て舊に復し新株落にて商内すること

中央證券、東洋取引員に加入  
東洋取引員所一般取引員組合は委員會を開き中央證券會社の一般取引員認可申請の件を附議承認した

東京地下鐵建設の異動  
同社は臨時總會を開き、社長古市公成が樞密顧問官就任のため辭任したので、後任社長に野村龍太郎、新制度の副社長に中川正左、監査役に大川平三郎が選任され、常務早川徳次は専務に就任した

財界の巨頭和田豊治死去  
實業界の重鎮和田豊治は胃潰瘍で死去した享年六十四。大分縣に生れ、慶應義塾卒業後渡米、歸朝の後日本郵船神戸支店長を経て三井銀行に轉じ、後鐵紡支店長に就任したが、喪退せる富士紡専務に轉じ社運を挽回して今

日支電信會議開催さる

日支電信會議は左の事項につき協議を開始した

六日 (木)

大連芝罘海底電線接續問題  
一、大連芝罘海底電線接續問題

滿鐵附屬地帯の日本電信局と支那電信局との連絡問題  
二、滿鐵附屬地帯の日本電信局と支那電信局との連絡問題

滿鐵附屬地帯の日本郵便局と支那郵便局との電話連絡問題  
三、滿鐵附屬地帯の日本郵便局と支那郵便局との電話連絡問題

鐵道公債一千萬圓發行  
政府は鐵道建設改良費に充當するため五分利公債一千萬圓を左の條件で發行する旨發表した

價格九十一圓八十錢額面種類二十五圓五十圓、百圓、五百圓償還期限大正十九年六月一日迄償還年六分九厘

火保協會、緊急勅令案を撤回さる

火保支持援助金支出に關する緊急勅令案は樞密院の精査委員會に於て否決されたので政府は該案を撤回し、既定計畫遂行上必要とす

八千萬圓はこれを責任支出となすことに方針を決定した

兵庫縣では水電事業その他に充當するため縣債二百十六萬圓を左の條件で發行することに決定した

七日 (金)

發行價格額面利率年八分償還期限三ヶ年償還後二年

簡易生命保險契約高六億四千萬圓  
簡易保險三月一日現在契約高は、件數五百四萬四千九百七十件、金額六億四百五十萬七千二百二十九圓で、前年同期以來件數に於て九十八萬五千五百三十八件、金額に於て一億四千七百三十五萬六千六百七十九圓の増加を見た

米國の大規模工場休業  
米國組織界の代表的大工場スキナー工場は製品賣行不振のため十日間操業休止を發表した

鐵道代表、ウラジオ問題解決を拒否  
領事否認並に郵便取扱停止問題に關する芳澤公使の抗議に對し、露國政府は正式の外交關係なき國と事實上の關係を設定することを

希望せずとの理由の下に同問題の解決を拒否した

八日 (土)

大阪商船のアムール丸、米船と衝突  
大阪商船歐洲航路線のアムール丸(七、七〇トン)はエルベ海峽で米國汽船マルサヘムス號と衝突した。アムール丸には損害がなかつたが、米國汽船は破損箇所修繕のため入渠した

生糸業者大會、糸價調節案を決定  
全國生糸業者大會は左の糸價調節案を可決した

三月二十五日より四月三日迄十日間全國一齊に操業を休止することと右實行の上、糸況如何によつては時機を見て更に十日間操業を休止することと八王子格百斤二千二十圓以下は賣止めをなすことと清算市場に於て、二百二十圓以下では賣繋ぎをなさざる

九日 (日)

英首相マクドナルドは閣議に於て現在の財政狀態では到底シンガポール海軍根據地建造を遂行する能はずと聲明した

シンガポール根據地放棄を聲明  
英首相マクドナルドは閣議に於て現在の財政狀態では到底シンガポール海軍根據地建造を遂行する能はずと聲明した

英首相マクドナルドは閣議に於て現在の財政狀態では到底シンガポール海軍根據地建造を遂行する能はずと聲明した

英首相マクドナルドは閣議に於て現在の財政狀態では到底シンガポール海軍根據地建造を遂行する能はずと聲明した

英首相マクドナルドは閣議に於て現在の財政狀態では到底シンガポール海軍根據地建造を遂行する能はずと聲明した

英首相マクドナルドは閣議に於て現在の財政狀態では到底シンガポール海軍根據地建造を遂行する能はずと聲明した

英首相マクドナルドは閣議に於て現在の財政狀態では到底シンガポール海軍根據地建造を遂行する能はずと聲明した



○愛知電力社債三萬圓發行

同社は愛知銀行引受の下に左の條件で社債三萬圓を發行に決した  
▽發行價格九十八圓▽利率年八分  
十日(月)

○正金銀行は横濱の諸機關が震災前の舊態に

復舊したため神戸の生糸輸出貿易には横濱同業の便宜を興へる要なしとして神戸支店の生糸擔保貸出を中止した  
十一日(火)

○關西農業者の神戸港生糸輸出促進決議

關西二府二十三縣の製糸業者は大會を開き横濱港と併立して神戸港の生糸輸出促進を決議し、損失生糸處分問題については銀行、同業、製糸家三者分擔を至當なりとし、その方針で解決に努力するに決した

○富士瓦斯紡績の新會社決定

同社(資本金四千五百二十萬圓)は和田社長死去に伴ひ後任互選の重役會を開き、社長制を廢して會長、事務制に改め取締役會長に

○日本製鋼所(資本金三千萬圓)の鉄鋼製造

部は北海道炭礦汽船(資本金七千萬圓)三井鐵山(一億圓)及び日本製鋼所の三社組合に依つて經營することに決定した

○高知商會銀行の破産

大正十一年重役の不正貸出事件で破産を暴露した同行(資本金四百萬圓、債權額二十五萬八千六百七圓四十二錢五厘)は鍋島良三郎外四百九十名の申請に依り破産宣告を受けた  
○日本製鋼所取締役宮内二朗死去  
日本製鋼所取締役宮内二朗は本日死去した。享年六十五

○名古屋無線放送會社の設立計畫

前名古屋市長大野多實之助、新愛知社長大島宇吉、市會議員山崎文次等發起となり資本金二十五萬圓の名古屋無線放送會社創立を計畫し認可を申請した  
○田中嶺山社長田中長兵衛死去  
田中嶺山會社社長田中長兵衛は本日死去した。享年六十七  
十四日(金)

○大藏省・正金、爲替安定策を協議

爲替の動搖甚だしく貿易業者の不安増大に鑑み、大藏省は日銀及び正金と協議し、兩行をしてその真相を調査し爲替安定策を樹立せしめることとなつた

○日本官業労働同盟組織を

日本官業労働大會に於て委員附託となつた全日本官業労働團體が總同盟を組織する件は大坂に設立委員會を開き、大阪向上會、大阪京都、名古屋の各煙草組合、八幡同志會、名古屋官業労働同盟、小石川労働組合、日本労働聯盟、小石川労働組合、交友會等の會員九千八百八十名が参加して官業總同盟を組織することとなつた

○三菱商事、官業送電の特許を獲得

同社は獨逸コロン博士發明のコロン式有線官業送電機の特許権を獲得、三ヶ月の實地試験を終へ本日各方面の關係者を招待して實地した成績良好であつた  
十五日(土)

○特別都市計畫法施行令の公布

道路、運河、公園等行政官廳の執行する特別都市計畫事業に關する施行令が勅令を以て公布された

○關東鐵道實行法、輸出と購置成立

關東中央會第三部委員維持實行委員は製糸操縦實行法に就て輸出商代表者と協議し既に同法を通じ或は直接輸出商と成行約定及び債權先約定をなした製糸家に對しては、その數量を調査した後既約品受渡に必要なる數量を除外した殘餘につき採短を實行せしめることとなつた

○三井物産、米國司法官買収事件を否認

米國海軍油田不正事件に關聯しスタンダード飛行機會社の買収事件に關係あるものゝ如く見られた三井物産會社は、田島鐵育支店長をして否認書を發表せしめた

○那珂副領事等釋放さる

ウラジオ官憲に拘禁された那珂副領事外館員二名は本日釋放された  
十六日(日)

○關東鐵道區料問題解決す

日露間に交渉中の關東鐵道區料査定問題は協定成立し、日本側は査定總額二百七十五萬圓の殘額百七十五萬圓中、五十五萬圓を支持ひ殘額は三ヶ年賦拂とし向ふ三ヶ年は前年度區料の割五分増しを以て實質上並置に依らず抱括貸下を受けることとなつた

○大阪九州間三電信線の開通

本月上旬開通の豫定であつた大阪鹿兒島間並に大阪久留米間及び大阪小倉間新設電信線は小野田東海間海底電線の敷設に手間どり本日に至り開通した

○官業労働組合海工會の成立

吳海軍工廠の官業労働組合海工會は組合員一萬九千名の調印を了し三河公園記念碑前に於て發會式を舉行した  
十七日(月)

○大型水雷敷設潜水艦二隻建造に決定

獨逸戰利潜水艦零四號の機構を參考として日本海軍の獨創的設計に基き大型(一千五百噸)機雷敷設潜水艦二隻を神戸川崎造船所で建造することとなつた

○關東鐵道立金の融通擴張

逓信省は既に自作農創設維持並に震災地小學校建築資金に簡易保險積立金を融通したが更に東京府の住宅、簡易食堂、公益市場その他一般社會事業に對して總額百二十二萬圓の貸付をなすに決定した

○關西鐵道債二百五十萬圓發行

同縣では築港その他の經費に充當するため神田銀行引受けの下に關債「リ號」並に「ほ

號」合計二百五十萬二千圓を左の條件で發行に決した

▽發行總額(リ號)百二十二萬二千圓(ほ號)百三十三萬圓▽利率(リ)八分(ほ)八分二厘▽發行價格何れも額面▽償還方法(リ)五年据置後三ヶ年(ほ)八ヶ年据置後四ヶ年  
○出雲電氣社債二百五十萬圓發行  
同社は資本銀行引受の下に左の條件で社債二百五十萬圓を本月二十日賣出すことに決定した

▽發行價格額面▽利率年九分▽償還期限一年据置後大正十六年四月十五日迄

○北海砂礦鐵道の増資と改稱  
三菱鐵業(資本金一千萬圓)は北海炭礦鐵道會社(資本金五百萬圓)の株式全部を買収してその傘下に收め、同鐵道會社は雄別炭礦會社と改稱、倍額増資して資本金一千萬圓とし、左の重役を選任した

▽社長三谷一二▽常務取締役岡田谷蔵、船田一雄▽取締役池田龜太郎、芝義太郎、皆川廣量▽監査役林田敏夫、天野保二郎

○日本無電の準備

日本無線電信會社職工百餘名は解雇問題か



ら會社側と紛糾を重ねてみたが、職工代表者は小島常務と交渉の結果、解雇手當一ヶ年に對し十日分を支給すること、休業中の職工に日給半額を支拂ふこととなり解決した  
十八日 (火)

○震災地商工、復興資金融通に決定

政府は震災地に於ける商工資金及び住宅資金として約三千萬圓を融通するに決定した

○對米爲替暴落と進引下

對米爲替は四十一弗四分の三の新安値を現出したため正金銀行は對米爲替建値を一弗方引下げ電信買四十六弗二分の一に変更した

○南海鐵道社長に連選千代三郎就任

同社は大塚社長辭任に伴ひ後任互選の結果取締役連選千代三郎が社長に就任した

○東三河の山火事、四千町歩を焼く

十六日午後三時愛知縣三河國風來寺山から發火した山火事は強風に煽られ附近山林に延焼し四千町歩を焼き盡して本日午後四時鎮火した

十九日 (水)

○潜水艦四十三號衝突沈没

四十三號潜水艦は鎮守府麾下基本演習参加中本日午前八時五十三分佐世保港外伏瀬の東

三浦二六の地點に於て軍艦龍田と衝突沈没した。全力を挙げて引揚救助作業に盡力したが激浪のため作業困難にして浮揚らず午後八時三十五分に至り艦内電動機室との電話應答全く絶え乗組員艦長桑島新(大尉)以下士官四名、準士官三名、下士官兵二十五名の生命は絶望となつた

○電信料金引上に決定

逓信省の十三年度電話擴張計畫はその財源たる公債發行打切のため電話料金の引上を行ひ、これによつて補填するため四月一日から使用料金中基本料金は二割、名義書料料と番號掲載料は二割乃至五割、度數料金六大都市二銭は三銭、専用電話一銭は一銭五厘に、其他各料金とも値上げされることとなつた

○震災火保の支拂率決定

紛糾を重ねた震災罹災火保支拂問題は、火災保險會社の支拂率を五千圓以下一割、五千圓以上一萬圓まで百分の三増、一萬圓以上一萬五千圓まで百分の二増、一萬五千圓以上五分を基準とすることに決定した

二十日 (木)

○救恤公債發行準備の公布

救恤公債發行及び同公債並に請取現金交付

に關する規程が大藏省令を以て公布された

○對米爲替暴落と進引下

米國向郵便爲替は同一差出人が同日同一人宛數口を振出す場合は當分の内合計二百弗迄に制限されることとなつた

○愛知縣製糸業者、賣止を決議

愛知縣製糸業者は三月二十五日から十日間必要によつては更に十日間休業し、八王子格生糸百斤につき二千二十圓以下は賣止めをなし同時に定期市場に於て賣棄をなさざること決議した

○住友銀行、田中興業銀行を買収

住友銀行(資本金七千萬圓)は總會を開き田中興業銀行(資本金二百二十萬圓)を百三十七萬四千二百八圓で買収するに決した

二十一日 (金)

○富士製紙社債五萬圓發行

同社は左の條件で社債五百萬圓を發行するに決した

▽發行價格九十七圓▽利率年八分▽償還期限三十ヶ年

○正金の浦鹽支店閉鎖

露國政府の彈壓のため正金銀行浦鹽支店は閉鎖することとなつた

二十二日 (土)

○日露備前會館開館に決定

芳澤公使は露國代表カラハンを訪問して日露備前開館に關し長時間に亘り協議した

○火保會社、援助金増額を懇請

火保會社代表は農商務省に出頭し、政府から援助された交付金八千萬圓を以てしては一割の見舞金を支拂得ない會社が八社あるから援助金の増額をするか或は適當の方法を講ぜられたき旨陳情したが、政府は拒絶し同業者間に於て適宜の措置を採るべしと回答した

二十四日 (月)

○皇頂宮博忠王殿下萬幸

軍艦五十餘に御乗組の華頂宮博忠王殿下には、去る四日佐世保御入港と同時に咽喉加答兒の御症あり、佐世保海軍病院へ御入院御加療遊ばされたが、十九日午後六時三十分全く御危篤に陥られた旨宮内省から發表されたが、御危篤のまま本日午後三十分東京驛に御着、三田臺町の御本邸へ御歸還、午後六時三十分御發喪あらせられた。御年二十三殿下は伏見宮御繼嗣博恭王殿下の第二王子、海軍少尉に御在しますが、曩に華頂宮家を繼がせられた御父宮が御生家へ御復歸につき華

頂宮御繼嗣に定められ給ひ將來元帥宮として海軍部内に於て御期待申上げてゐた。天聰に連するや二十日附を以て海軍中尉に昇進、大勳位菊花大綬章叙勳の御沙汰があつた

○潜水母艦長官の離水式

長崎三菱造船所建造の潜水母艦長官は本日午前十時十分進水式を舉行した

○東洋汽船の整理案成る

同取引所は重役會を開き、来る三月三十日まで納入することになつてゐた取引員の身元保證金未納分貨物取引員一萬圓、一般取引員一萬五千圓を、本年九月に貨物取引員は三千圓、一般取引員は五千圓を納入し、残額は明年三月まで延期するに決定した

二十五日 (火)

○東電社債一千五百萬圓發行

同社は三井信託、小池、神田、藤本各銀行及び山下合資引受の下に社債一千五百萬圓を左の條件で發行するに決した

▽發行價格九十八圓五十錢▽利率年八分▽利廻八分六厘二毛強▽償還期限三ヶ年以内

○日本電力社債八百萬圓發行

同社は近江外八銀行及び山一合資引受の下に左の條件で社債八百萬圓發行に決した

▽發行價格百圓に付九十七圓五十錢▽利率年八分▽償還期限二ヶ年▽利廻九分四厘八毛

○全國製糸業者一齊に休業

製糸業同業組合中央會の生糸價格調節策に關する決議に基き全國製糸家は本日から十日同一齊に休業した

○東洋汽船の整理案成る

同社は郵船との合併交渉が不調に終つたので整理につき重役會を開き、船費節約のため所有貨物船の直營主義を廢し備前主義を採用して大部分をチャーターせしめ、老朽淘汰一割を敢行して人件費を縮小、借入金金の利子引下を交渉し、六月までに整理を完了することに決定した

○三井信託會社の創立

同社(資本金三千萬圓)は創立總會を開き左の重役を選任した

▽取締役池田成彬、原嘉道、大橋新太郎、門野幾之進、各務鎌吉、米山梅吉、關塚勝、矢野恒太、馬越恭平、松本健次郎、藤田平太郎、藤山雷太、有賀長文、結城豊太郎、三井高精▽監査役二宮肇男、福井菊三郎、廣岡憲三、毛利五郎



○廣州總商會二十萬圓に減資  
資本金二百萬圓の廣州總商會社は百二十萬圓に減資した

○佛蘭西アンカレ内閣閣議  
佛蘭西アンカレ内閣は本日閣議した。

○佛蘭西アンカレ内閣閣議  
佛蘭西アンカレ内閣は本日閣議した。尙本日夜首相アンカレは大統領の委命により再び内閣を組織することとなつた

二十六日(水)

○關東州阿片禁止令の公布  
關東州に於ける阿片吸飲禁止に關する法令が勅令を以て公布され、施行期日は迫って關東廳長官が定めることとなつた

○生牛肉、鳥卵の輸入税復活  
前年勅令を以て免除された生牛肉、鳥卵の輸入税は、三月三十一日期限満了するので、以後復活する旨公示された

○日米生米取引の爲替手形は一覽後四ヶ月拂ひであつたが、米價昂高の打撃甚大のため兩國代表者の協定成り一ヶ月短縮して九十日拂ひとし四月一日より實行するに決定した

○日米生米取引の爲替手形は一覽後四ヶ月拂ひであつたが、米價昂高の打撃甚大のため兩國代表者の協定成り一ヶ月短縮して九十日拂ひとし四月一日より實行するに決定した

○日米生米取引の爲替手形は一覽後四ヶ月拂ひであつたが、米價昂高の打撃甚大のため兩國代表者の協定成り一ヶ月短縮して九十日拂ひとし四月一日より實行するに決定した

○日米生米取引の爲替手形は一覽後四ヶ月拂ひであつたが、米價昂高の打撃甚大のため兩國代表者の協定成り一ヶ月短縮して九十日拂ひとし四月一日より實行するに決定した

止めを申合せた

○大連銀行の休業繼續  
前年十一月三日より休業中の大連銀行は整理未了のため更に四月二十四日まで休業を繼續することとなつた

○國際汽船の福徳丸(五、八八九トン)は瀋陽のため英國近海航行中英船と衝突して沈没し乗組員中二十三名は溺死した

二十七日(木)

○實業聯合會の營業稅金廢止運動  
大日本實業聯合會は大坂中央公會堂に大會を開き、營業稅其他の惡稅撤廢を期するため各政黨首領、代議士と會見して賛成を求め、賛成せざる者は次期衆議院議員に選舉せざるやう全國各組員に勸告するに決した

二十八日(金)

○臨時國會議事廳事務局の廢止  
臨時國會議事廳事務局は三月三十一日限り廢止する旨公布された

○建設省同業會館檢査  
政府大官、政友本黨に對する不穩計劃暴露し神奈川縣茅ヶ崎に潜伏中の新日本建設者同盟主幹久保順は檢査された

○建設省同業會館檢査  
政府大官、政友本黨に對する不穩計劃暴露し神奈川縣茅ヶ崎に潜伏中の新日本建設者同盟主幹久保順は檢査された

○建設省同業會館檢査  
政府大官、政友本黨に對する不穩計劃暴露し神奈川縣茅ヶ崎に潜伏中の新日本建設者同盟主幹久保順は檢査された

○建設省同業會館檢査  
政府大官、政友本黨に對する不穩計劃暴露し神奈川縣茅ヶ崎に潜伏中の新日本建設者同盟主幹久保順は檢査された

○建設省同業會館檢査  
政府大官、政友本黨に對する不穩計劃暴露し神奈川縣茅ヶ崎に潜伏中の新日本建設者同盟主幹久保順は檢査された

○建設省同業會館檢査  
政府大官、政友本黨に對する不穩計劃暴露し神奈川縣茅ヶ崎に潜伏中の新日本建設者同盟主幹久保順は檢査された

○建設省同業會館檢査  
政府大官、政友本黨に對する不穩計劃暴露し神奈川縣茅ヶ崎に潜伏中の新日本建設者同盟主幹久保順は檢査された

○建設省同業會館檢査  
政府大官、政友本黨に對する不穩計劃暴露し神奈川縣茅ヶ崎に潜伏中の新日本建設者同盟主幹久保順は檢査された

○建設省同業會館檢査  
政府大官、政友本黨に對する不穩計劃暴露し神奈川縣茅ヶ崎に潜伏中の新日本建設者同盟主幹久保順は檢査された

○建設省同業會館檢査  
政府大官、政友本黨に對する不穩計劃暴露し神奈川縣茅ヶ崎に潜伏中の新日本建設者同盟主幹久保順は檢査された

○建設省同業會館檢査  
政府大官、政友本黨に對する不穩計劃暴露し神奈川縣茅ヶ崎に潜伏中の新日本建設者同盟主幹久保順は檢査された

○建設省同業會館檢査  
政府大官、政友本黨に對する不穩計劃暴露し神奈川縣茅ヶ崎に潜伏中の新日本建設者同盟主幹久保順は檢査された

○建設省同業會館檢査  
政府大官、政友本黨に對する不穩計劃暴露し神奈川縣茅ヶ崎に潜伏中の新日本建設者同盟主幹久保順は檢査された

○佛蘭西内閣閣議  
前首相アンカレを首班とする佛蘭西内閣は本日成立した

二十九日(土)

○日本總商會の役員改選  
同協會は總會を開き役員全部の改選を行ひ左の如く選任した

○會長河村謙三、理事佐藤一、今泉基一郎、香村小峰、豊田善介

○日本總商會の役員改選  
同協會は總會を開き役員全部の改選を行ひ左の如く選任した

○會長河村謙三、理事佐藤一、今泉基一郎、香村小峰、豊田善介

○日本總商會の役員改選  
同協會は總會を開き役員全部の改選を行ひ左の如く選任した

○會長河村謙三、理事佐藤一、今泉基一郎、香村小峰、豊田善介

○日本總商會の役員改選  
同協會は總會を開き役員全部の改選を行ひ左の如く選任した

○會長河村謙三、理事佐藤一、今泉基一郎、香村小峰、豊田善介

○日本總商會の役員改選  
同協會は總會を開き役員全部の改選を行ひ左の如く選任した

○會長河村謙三、理事佐藤一、今泉基一郎、香村小峰、豊田善介

○日本總商會の役員改選  
同協會は總會を開き役員全部の改選を行ひ左の如く選任した

○會長河村謙三、理事佐藤一、今泉基一郎、香村小峰、豊田善介

○日本總商會の役員改選  
同協會は總會を開き役員全部の改選を行ひ左の如く選任した

○會長河村謙三、理事佐藤一、今泉基一郎、香村小峰、豊田善介

○日本總商會の役員改選  
同協會は總會を開き役員全部の改選を行ひ左の如く選任した

○會長河村謙三、理事佐藤一、今泉基一郎、香村小峰、豊田善介

○日本總商會の役員改選  
同協會は總會を開き役員全部の改選を行ひ左の如く選任した

○會長河村謙三、理事佐藤一、今泉基一郎、香村小峰、豊田善介

○日本總商會の役員改選  
同協會は總會を開き役員全部の改選を行ひ左の如く選任した

○會長河村謙三、理事佐藤一、今泉基一郎、香村小峰、豊田善介

○日本總商會の役員改選  
同協會は總會を開き役員全部の改選を行ひ左の如く選任した

○會長河村謙三、理事佐藤一、今泉基一郎、香村小峰、豊田善介

○日本總商會の役員改選  
同協會は總會を開き役員全部の改選を行ひ左の如く選任した

○會長河村謙三、理事佐藤一、今泉基一郎、香村小峰、豊田善介

○日本總商會の役員改選  
同協會は總會を開き役員全部の改選を行ひ左の如く選任した

○會長河村謙三、理事佐藤一、今泉基一郎、香村小峰、豊田善介

○日本總商會の役員改選  
同協會は總會を開き役員全部の改選を行ひ左の如く選任した

○會長河村謙三、理事佐藤一、今泉基一郎、香村小峰、豊田善介

○日本總商會の役員改選  
同協會は總會を開き役員全部の改選を行ひ左の如く選任した

○會長河村謙三、理事佐藤一、今泉基一郎、香村小峰、豊田善介

○日本總商會の役員改選  
同協會は總會を開き役員全部の改選を行ひ左の如く選任した

○會長河村謙三、理事佐藤一、今泉基一郎、香村小峰、豊田善介

○日本總商會の役員改選  
同協會は總會を開き役員全部の改選を行ひ左の如く選任した

○會長河村謙三、理事佐藤一、今泉基一郎、香村小峰、豊田善介

○日本總商會の役員改選  
同協會は總會を開き役員全部の改選を行ひ左の如く選任した

○會長河村謙三、理事佐藤一、今泉基一郎、香村小峰、豊田善介

○日本總商會の役員改選  
同協會は總會を開き役員全部の改選を行ひ左の如く選任した

○會長河村謙三、理事佐藤一、今泉基一郎、香村小峰、豊田善介

○日本總商會の役員改選  
同協會は總會を開き役員全部の改選を行ひ左の如く選任した

○會長河村謙三、理事佐藤一、今泉基一郎、香村小峰、豊田善介

○日本總商會の役員改選  
同協會は總會を開き役員全部の改選を行ひ左の如く選任した

○會長河村謙三、理事佐藤一、今泉基一郎、香村小峰、豊田善介

○日本總商會の役員改選  
同協會は總會を開き役員全部の改選を行ひ左の如く選任した

○會長河村謙三、理事佐藤一、今泉基一郎、香村小峰、豊田善介

○日本總商會の役員改選  
同協會は總會を開き役員全部の改選を行ひ左の如く選任した

○會長河村謙三、理事佐藤一、今泉基一郎、香村小峰、豊田善介

○日本總商會の役員改選  
同協會は總會を開き役員全部の改選を行ひ左の如く選任した

○會長河村謙三、理事佐藤一、今泉基一郎、香村小峰、豊田善介

○日本總商會の役員改選  
同協會は總會を開き役員全部の改選を行ひ左の如く選任した

○會長河村謙三、理事佐藤一、今泉基一郎、香村小峰、豊田善介

○日本總商會の役員改選  
同協會は總會を開き役員全部の改選を行ひ左の如く選任した

○會長河村謙三、理事佐藤一、今泉基一郎、香村小峰、豊田善介

○日本總商會の役員改選  
同協會は總會を開き役員全部の改選を行ひ左の如く選任した

○會長河村謙三、理事佐藤一、今泉基一郎、香村小峰、豊田善介

貯水池である

○資生堂主人、帝國生命保險社長福原有信は流行感冒に肺炎を併發して本日死去した。享年七十七。帝國生命を創立してその經營に當つた生保界の先覺者である

三十一日(月)

○日露漁業交渉行進  
日露漁業交渉は本日に至り露國側が未納分の約束手形を手交せざる限り契約に調印せずと強硬な態度に出たため交渉は頓挫するに至つた

○五分利鐵道公債三百五十萬圓發行  
鐵道會計法第二十條により五分利公債(め)三百五十萬圓は左の條件で發行された

○發行價格八十四圓▽償還期限五十年▽初期利子本年六月渡百圓に付八十八圓

○五分利國庫債券二千四百萬圓發行  
五分利國庫債券二千四百萬圓發行

○發行價格九十九圓▽償還期限大正二十一年六月二十一日▽初期利子六月一日渡百圓に付八十七圓

○五分利國庫債券二千四百萬圓發行  
五分利國庫債券二千四百萬圓發行

○發行價格九十九圓▽償還期限大正二十一年六月二十一日▽初期利子六月一日渡百圓に付八十七圓

○五分利國庫債券二千四百萬圓發行  
五分利國庫債券二千四百萬圓發行

○發行價格九十九圓▽償還期限大正二十一年六月二十一日▽初期利子六月一日渡百圓に付八十七圓

○五分利國庫債券二千四百萬圓發行  
五分利國庫債券二千四百萬圓發行

○發行價格九十九圓▽償還期限大正二十一年六月二十一日▽初期利子六月一日渡百圓に付八十七圓

○五分利國庫債券二千四百萬圓發行  
五分利國庫債券二千四百萬圓發行

○發行價格九十九圓▽償還期限大正二十一年六月二十一日▽初期利子六月一日渡百圓に付八十七圓

○五分利國庫債券二千四百萬圓發行  
五分利國庫債券二千四百萬圓發行

○發行價格九十九圓▽償還期限大正二十一年六月二十一日▽初期利子六月一日渡百圓に付八十七圓

○五分利國庫債券二千四百萬圓發行  
五分利國庫債券二千四百萬圓發行

○發行價格九十九圓▽償還期限大正二十一年六月二十一日▽初期利子六月一日渡百圓に付八十七圓

○五分利國庫債券二千四百萬圓發行  
五分利國庫債券二千四百萬圓發行

○發行價格九十九圓▽償還期限大正二十一年六月二十一日▽初期利子六月一日渡百圓に付八十七圓

○五分利國庫債券二千四百萬圓發行  
五分利國庫債券二千四百萬圓發行

○發行價格九十九圓▽償還期限大正二十一年六月二十一日▽初期利子六月一日渡百圓に付八十七圓

○五分利國庫債券二千四百萬圓發行  
五分利國庫債券二千四百萬圓發行

○發行價格九十九圓▽償還期限大正二十一年六月二十一日▽初期利子六月一日渡百圓に付八十七圓

○五分利國庫債券二千四百萬圓發行  
五分利國庫債券二千四百萬圓發行

政府は三月二十九日償還期限の五分利國庫債券一千七百三十八萬六千七百七十五圓償還のため五分利國庫債券一千七百七十二萬七千三百五十五圓を價格九十八圓五錢、償還期限大正十四年三月二十八日の條件で發行の旨發表した

○國債二千四百萬圓購入續報  
大蔵省は左の國債證券を購入續報した

○甲種五分利公債一千四百四十四萬四千五百五十圓、代金九百八十三萬五千八百九十圓五十錢▽特別五分利公債三百三十八萬六千八百圓、買入代金三百四十三萬五千三百四十四圓十五錢▽五分利公債九百四十七萬七百七十五圓、買入代金八百七十七萬七千二百六十二圓

○乙種五分利公債二千七百七十五圓、買入代金二千九百九十五萬六千五百二十七圓二十七錢

○國債手形再割引額三千萬圓  
本日締切の震災手形割引額は總額四億三千八百二十八萬六千圓に達した

○落石無電局構造變更所竣工  
總工費三十四萬六千圓を以て大正十一年七月起工した落石無電電信局構造變更所が落成した。同所は主として米國航路の船舶、千島峴及び勸察加ベトロパウロスクと無線連絡をなすものである

○落石無電局構造變更所竣工  
總工費三十四萬六千圓を以て大正十一年七月起工した落石無電電信局構造變更所が落成した。同所は主として米國航路の船舶、千島峴及び勸察加ベトロパウロスクと無線連絡をなすものである

○落石無電局構造變更所竣工  
總工費三十四萬六千圓を以て大正十一年七月起工した落石無電電信局構造變更所が落成した。同所は主として米國航路の船舶、千島峴及び勸察加ベトロパウロスクと無線連絡をなすものである

○落石無電局構造變更所竣工  
總工費三十四萬六千圓を以て大正十一年七月起工した落石無電電信局構造變更所が落成した。同所は主として米國航路の船舶、千島峴及び勸察加ベトロパウロスクと無線連絡をなすものである

○落石無電局構造變更所竣工  
總工費三十四萬六千圓を以て大正十一年七月起工した落石無電電信局構造變更所が落成した。同所は主として米國航路の船舶、千島峴及び勸察加ベトロパウロスクと無線連絡をなすものである

○落石無電局構造變更所竣工  
總工費三十四萬六千圓を以て大正十一年七月起工した落石無電電信局構造變更所が落成した。同所は主として米國航路の船舶、千島峴及び勸察加ベトロパウロスクと無線連絡をなすものである

○落石無電局構造變更所竣工  
總工費三十四萬六千圓を以て大正十一年七月起工した落石無電電信局構造變更所が落成した。同所は主として米國航路の船舶、千島峴及び勸察加ベトロパウロスクと無線連絡をなすものである

○落石無電局構造變更所竣工  
總工費三十四萬六千圓を以て大正十一年七月起工した落石無電電信局構造變更所が落成した。同所は主として米國航路の船舶、千島峴及び勸察加ベトロパウロスクと無線連絡をなすものである

○落石無電局構造變更所竣工  
總工費三十四萬六千圓を以て大正十一年七月起工した落石無電電信局構造變更所が落成した。同所は主として米國航路の船舶、千島峴及び勸察加ベトロパウロスクと無線連絡をなすものである

○落石無電局構造變更所竣工  
總工費三十四萬六千圓を以て大正十一年七月起工した落石無電電信局構造變更所が落成した。同所は主として米國航路の船舶、千島峴及び勸察加ベトロパウロスクと無線連絡をなすものである

○落石無電局構造變更所竣工  
總工費三十四萬六千圓を以て大正十一年七月起工した落石無電電信局構造變更所が落成した。同所は主として米國航路の船舶、千島峴及び勸察加ベトロパウロスクと無線連絡をなすものである

○落石無電局構造變更所竣工  
總工費三十四萬六千圓を以て大正十一年七月起工した落石無電電信局構造變更所が落成した。同所は主として米國航路の船舶、千島峴及び勸察加ベトロパウロスクと無線連絡をなすものである

○落石無電局構造變更所竣工  
總工費三十四萬六千圓を以て大正十一年七月起工した落石無電電信局構造變更所が落成した。同所は主として米國航路の船舶、千島峴及び勸察加ベトロパウロスクと無線連絡をなすものである

○落石無電局構造變更所竣工  
總工費三十四萬六千圓を以て大正十一年七月起工した落石無電電信局構造變更所が落成した。同所は主として米國航路の船舶、千島峴及び勸察加ベトロパウロスクと無線連絡をなすものである

○落石無電局構造變更所竣工  
總工費三十四萬六千圓を以て大正十一年七月起工した落石無電電信局構造變更所が落成した。同所は主として米國航路の船舶、千島峴及び勸察加ベトロパウロスクと無線連絡をなすものである

○落石無電局構造變更所竣工  
總工費三十四萬六千圓を以て大正十一年七月起工した落石無電電信局構造變更所が落成した。同所は主として米國航路の船舶、千島峴及び勸察加ベトロパウロスクと無線連絡をなすものである

○落石無電局構造變更所竣工  
總工費三十四萬六千圓を以て大正十一年七月起工した落石無電電信局構造變更所が落成した。同所は主として米國航路の船舶、千島峴及び勸察加ベトロパウロスクと無線連絡をなすものである

○落石無電局構造變更所竣工  
總工費三十四萬六千圓を以て大正十一年七月起工した落石無電電信局構造變更所が落成した。同所は主として米國航路の船舶、千島峴及び勸察加ベトロパウロスクと無線連絡をなすものである

○落石無電局構造變更所竣工  
總工費三十四萬六千圓を以て大正十一年七月起工した落石無電電信局構造變更所が落成した。同所は主として米國航路の船舶、千島峴及び勸察加ベトロパウロスクと無線連絡をなすものである

○落石無電局構造變更所竣工  
總工費三十四萬六千圓を以て大正十一年七月起工した落石無電電信局構造變更所が落成した。同所は主として米國航路の船舶、千島峴及び勸察加ベトロパウロスクと無線連絡をなすものである

○落石無電局構造變更所竣工  
總工費三十四萬六千圓を以て大正十一年七月起工した落石無電電信局構造變更所が落成した。同所は主として米國航路の船舶、千島峴及び勸察加ベトロパウロスクと無線連絡をなすものである

○落石無電局構造變更所竣工  
總工費三十四萬六千圓を以て大正十一年七月起工した落石無電電信局構造變更所が落成した。同所は主として米國航路の船舶、千島峴及び勸察加ベトロパウロスクと無線連絡をなすものである



十萬圓)を合併して五千六百三十一萬圓に増資の件を可決した

◇大阪電氣鐵道、城東電氣を合併

同社(資本金二千百萬圓)は城東電氣鐵道(資本金四百萬圓)を合併し資本金七十五萬圓を増加した

◇博多鐵道汽船、津屋崎鐵道を合併増資

資本金三百七十五萬圓の博多鐵道汽船社は津屋崎鐵道會社を合併して九萬圓を増資し、更に三百六十五萬圓を増資し總資本金六百三十三萬圓となった

◇ラサキ船渠七十五萬圓に増資

同社(資本金一千五百萬圓)は株主總會を開き半額の七百五十萬圓に減資と決定した

◇東京石川島造船所三百萬圓に減資

資本金五百萬圓の東京石川島造船所は三百萬圓に減資し、五株を三株に合併した(日本詳)

【四月】

一日(火)

◇朝鮮銀行(整理資金一千萬圓)融資

大藏省預金部は朝鮮銀行に整理資金として融通に決定した五千萬圓の内一千萬圓を本日

交付した

◇震災後應急的物資集中のため發布された關稅減免勅令は、三月末期限満了したが、復興進捗し、且入超、爲替低落の現狀に鑑み、貿易振興、爲替安定のため、廢止して復活することとなり、本日實施された。因に大藏省は期間中の免稅輸入額は四億四千七百七十七萬圓に達したと發表した

◇郵便定期鐵路六線、命令鐵路に指定

通信省は郵便定期鐵路横濱ロンドン線、神戸シヤトル線、神戸香港線、横濱メルボルン線、宜昌重慶線、青島線を命令鐵路に指定し補助金を交付することとなった

◇紀州製材業者、四分の一繰越を決議

紀州製材業者は關東大震災自當に企業者が増加し窮乏に陥つたため本日から三日置きに一日の休業を申合せた

◇中國水力電氣、備中電氣を合併

資本金八百四十五萬圓の中國水力電氣會社は備中電氣會社を合併、百七十七萬六千五百圓を増資して資本金九百六十二萬六千五百圓となった

◇東京市内に電燈メートル制施行

東京電燈及び東京市電は東京市内に於て一月三燈以上を使用するものに對しメートル制を採用した

◇東京市内に三公團新設決定

東京都市計畫に基き濱町、隅田、錦糸の三公團を新設するに決定した片内務省から發表された

◇東京魚市場の休業

東京魚市場は手数料問題から二日間休業を發表した

二一日(水)

◇帝國經濟會議の設置

帝國經濟會議官制が公布された。同會議は内閣總理大臣の監督の下に、關係各大臣の諮詢に應へて帝國經濟の振興に關する重要事項を調査し審議するもので、議長に清浦首相、副議長に農相前田利定、藏相勝田主計が就任當初金融、貿易、農業、工業、社會、拓殖の六部門を設置し、更に交通部を追加した

◇ヘレン・パークスト女史來朝

ダルトン式教授法の創始者ヘレン・パークスト女史は横濱入港のエム・オーストラリア號で來朝した

三一日(木)

三一日(木)

◇四月黨の結黨式

政界革新を標榜して組織された少壯法學士を中心とする四月黨の結黨式が舉行された

四日(金)

◇全國株式取引員總會の決議

同總會は東京に開催され、長期清算取引三ヶ月制持續及び短期清算取引に於ける假受渡を株の貸借作用として容認方を當局に要請する件を決議した

◇日本合同農産會社の減資

同社は臨時總會に於て資本金三百三十七萬圓を九十八萬一千六百圓に減資し經營を日魯漁業に委任する件を可決した

五日(土)

◇自作農地制定案可決

小作制度調査會總會は自作農地制定案を可決した。同案は、政府は自作農地制定のため土地購入資金貸付及び利子補給を行ひ、自作農地の登録費、所有權移動の地方税を免除することを規定したものである

◇日露漁業關係交渉成立

北京に於て芳澤カラヘン兩全權間に日露漁業契約が成立した。條件は左の通り

(一)總括契約の漁區に對し全部三ヶ年間契

約(二)鮭魚漁區を二百十九ヶ所とす(三)右租借料を三ヶ年間百五十萬金貨ルーブルとす(四)鮭魚區二百三十二區の總租借料を百二十三萬金貨ルーブルとす(五)漁獲高は八百萬フィードに制限す

◇農民組合、勞働代表選出に關し聲明

農民組合は國際勞働會議勞働代表選出に際し、農民組合を代表選出權の關外に放逐した政府の措置に對し、抗議的聲明書を發表した

九日(水)

◇我國經濟團體の米國船法反對運動

東京商業會議所、大阪商業會議所、橫濱輸出協會は各々會合を開き、日米貿易を阻害する米國の船法第二十八條の實施延期運動をなすことを申合せた

◇第一回農民デー舉行

三月下旬大阪に開催の全國農民大會の決議に基き第一回農民デーは本日全国的に舉行された

十日(木)

◇植民大使、排日法案に強硬抗議

駐米大使植原正直は米國の排日法案に對する強硬抗議書を國務省に提出した

◇露蘇組合の餘債償還對策

橫濱露蘇貿易商組合は海外賣行不振の折柄糸價維持のため(一)橫濱取引所に對し封印付生糸の準備検査請求をなさざること(二)實物生糸を清算市場へ賣買がざることを決議した

十一日(金)

◇帝國經濟會議第一回總會開かる

帝國經濟會議第一回總會は首相官邸に開催出席者約百五十名、正副部長を互選し金融部長阪谷芳郎、貿易部長藤山雷太、農務部長志村源太郎、工業部長岡塚謙、社會部長北里榮三郎、拓殖部長添田壽一、交通部長野村龍太郎に決定した。なほ政府諮詢事項は左の如し

▽經濟振興上金融施設方策▽貿易振興方策

▽小作制度改善方策▽農村振興方策▽基本工業保護獎勵方策▽中小工業改善方策▽機械工業振興方策▽移民保護獎勵方策▽對外經濟關係整備改善方策▽運輸交通完備方策▽電氣事業發達統一及び電氣普及方策

◇五分利國庫債券八千五百萬圓發行

政府は第五回五分利國庫債券四千五百萬圓借替及び十二年度鐵道未募債四千萬圓の新規發行のため第十三回五分利國庫債券八千五百萬圓をシンドケート銀行開引受の下に左の條件で發行した



▽發行價格現金九十三圓、乗換九十二圓五十錢▽債還期限大正十八年三月一日▽第五回五分利及び、と、ち臨時時國庫債券、六月一日期限)を以て乗換換する者は優先に奉入

十二日 (土)

◇日英貿易に協定税率適用停止

政府は日英通商航海條約中第八條を廢棄しその結果協定税率適用を廢止する旨公表した理由は本邦産業發達につれ輸入激増のため日本側の不利益が多いためである

◇日英貿易に協定税率適用停止

大阪電機會社(資本金二百萬圓)は臨時總會を開き内外電熱器會社(資本金二百萬圓)を合併して資本金を三百二十五萬圓に増加の件を可決した

十四日 (月)

◇大東保險助成金交付命令の公布

本日官報を以て公布即日施行された同令は關東大震災の損害に對し保險會社が被保險者に出捐をなす場合、農商務大臣はこれに對し助成金を交付し、これに伴ひ會社の公納金に關する権限につき規定したものである

◇關東労働會代表決定す

第六回關東労働會代表は政府代表に前田多門、河原田孝吉、労働者側代表に日本労働總同盟系推薦の鈴木文治、資本金側代表に名古屋商會所會頭上遠野富之助と決定した

◇關東労働會代表決定す

政府は米穀法により外米百萬石を輸入し、代金支拂は米穀證券を以てすることに決定、本日第一回入札を行ったが、西貢米約一萬ト、暹羅米約四萬トを百斤十圓乃至十圓四十五錢で買上げた

◇關東労働會代表決定す

政府は米穀法により外米百萬石を輸入し、代金支拂は米穀證券を以てすることに決定、本日第一回入札を行ったが、西貢米約一萬ト、暹羅米約四萬トを百斤十圓乃至十圓四十五錢で買上げた

◇關東労働會代表決定す

政府は米穀法により外米百萬石を輸入し、代金支拂は米穀證券を以てすることに決定、本日第一回入札を行ったが、西貢米約一萬ト、暹羅米約四萬トを百斤十圓乃至十圓四十五錢で買上げた

◇關東労働會代表決定す

政府は米穀法により外米百萬石を輸入し、代金支拂は米穀證券を以てすることに決定、本日第一回入札を行ったが、西貢米約一萬ト、暹羅米約四萬トを百斤十圓乃至十圓四十五錢で買上げた

◇關東労働會代表決定す

政府は米穀法により外米百萬石を輸入し、代金支拂は米穀證券を以てすることに決定、本日第一回入札を行ったが、西貢米約一萬ト、暹羅米約四萬トを百斤十圓乃至十圓四十五錢で買上げた

◇關東労働會代表決定す

政府は米穀法により外米百萬石を輸入し、代金支拂は米穀證券を以てすることに決定、本日第一回入札を行ったが、西貢米約一萬ト、暹羅米約四萬トを百斤十圓乃至十圓四十五錢で買上げた

◇關東労働會代表決定す

政府は米穀法により外米百萬石を輸入し、代金支拂は米穀證券を以てすることに決定、本日第一回入札を行ったが、西貢米約一萬ト、暹羅米約四萬トを百斤十圓乃至十圓四十五錢で買上げた

◇關東労働會代表決定す

政府は米穀法により外米百萬石を輸入し、代金支拂は米穀證券を以てすることに決定、本日第一回入札を行ったが、西貢米約一萬ト、暹羅米約四萬トを百斤十圓乃至十圓四十五錢で買上げた

◇關東労働會代表決定す

政府は米穀法により外米百萬石を輸入し、代金支拂は米穀證券を以てすることに決定、本日第一回入札を行ったが、西貢米約一萬ト、暹羅米約四萬トを百斤十圓乃至十圓四十五錢で買上げた

◇關東労働會代表決定す

政府は米穀法により外米百萬石を輸入し、代金支拂は米穀證券を以てすることに決定、本日第一回入札を行ったが、西貢米約一萬ト、暹羅米約四萬トを百斤十圓乃至十圓四十五錢で買上げた

◇關東労働會代表決定す

政府は米穀法により外米百萬石を輸入し、代金支拂は米穀證券を以てすることに決定、本日第一回入札を行ったが、西貢米約一萬ト、暹羅米約四萬トを百斤十圓乃至十圓四十五錢で買上げた

◇關東労働會代表決定す

政府は米穀法により外米百萬石を輸入し、代金支拂は米穀證券を以てすることに決定、本日第一回入札を行ったが、西貢米約一萬ト、暹羅米約四萬トを百斤十圓乃至十圓四十五錢で買上げた

◇關東労働會代表決定す

政府は米穀法により外米百萬石を輸入し、代金支拂は米穀證券を以てすることに決定、本日第一回入札を行ったが、西貢米約一萬ト、暹羅米約四萬トを百斤十圓乃至十圓四十五錢で買上げた

◇關東労働會代表決定す

丁度と一弗四分一方暴落した

十六日 (水)

◇對米移民問題に關する公文書發表

本月十日暹羅駐米大使から米國々務卿に宛てた移民問題に關する公文書が本日外務省から公表された。同公文中の「重大なる結果を誘致す云々」の辭句が米國朝野を憤激させたものである

十七日 (木)

◇東京商會の排日法案阻止運動

東京商會役員會は排日移民法案阻止のためその援助要請を米國主要都市の商業會所等に打電、他兩政府提議の建議書を可決した

十八日 (金)

◇臨時財政經濟調查會制其他の阻止

帝國經濟會議成立に伴ひ左の官制が廢止された

臨時財政經濟調查會

道務會議

社會事業調查會

臨時治水調查會

教育評議會

評議調查會

小作制度調查會

馬政調查會

海事委員會

内地船舶法の一部を據本に施行

大連置籍船の樺太航路を禁止するため内地船舶法の一部を據本に施行した。同法第三條

大阪市各新聞社及び實業聯合會發起の市民大會は中之島中央公會堂に開會、排日抗議の宣言決議を行ひ米國へ打電した

◇東京に全國水準大會開催さる

同大會は京都市三條通青年會館に開催され排日問題に關し水平運動の立場から米國政府に徹底的反省を促すことを決議、二十五日決議文を米大使に手交した

◇米大學出身者、排日に抗議

米國大學出身者の組織する米國大學聯合俱樂部員堀江博士等十餘名は帝國ホテルに會合し排日抗議宣言書を米國に打電した

二十四日 (木)

臺灣正米市場認可さる

臺灣正米市場認可さる

臺灣正米市場認可の件が認可された。期限は本月二十日から二十ヶ年である

◇商議聯合會、生絲輸出二港主義を建議

京都に開催の全國商業會議所聯合會臨時大會は生糸輸出二港主義を標榜する左の建議案を可決した

◇神戸港に國立生糸検査所設置方建議の件

神戸の輸出生糸に對する正金銀行の金融中止に關する件

◇浦賀船渠七百萬圓に減費

浦賀船渠七百萬圓に減費

◇浦賀船渠七百萬圓に減費

浦賀船渠七百萬圓に減費

◇浦賀船渠七百萬圓に減費

◇浦賀船渠七百萬圓に減費

◇浦賀船渠七百萬圓に減費

◇浦賀船渠七百萬圓に減費

◇浦賀船渠七百萬圓に減費

◇浦賀船渠七百萬圓に減費

◇浦賀船渠七百萬圓に減費

◇浦賀船渠七百萬圓に減費

◇浦賀船渠七百萬圓に減費

◇浦賀船渠七百萬圓に減費



資本金一千萬圓の浦賀船渠会社は関東大震災の損害補填のため新舊株とも十株を七株に合併して三百萬圓を減資し資本金七百萬圓となった

二十五日 (金)

港務協會、港務行政統一を建議

港務協會委員会は港務行政統一に関する建議を要路當局に提出することを決議した

二十六日 (土)

男爵伊藤忠雄死去

前外務大臣男爵伊藤忠雄は東京中野の自邸で死去した。享年六十一。鹿児島藩に生れ、大卒後外務省に入り駐支公使、駐伊大使、關東長官等に歴任、大正十二年九月山本内閣の外務大臣となった

二十七日 (日)

日本フエビアン協會設立さる

同協會設立され東京に本部を置いた

二十八日 (月)

養老園第一千五百萬圓に増資

資本金三百萬圓の森永製菓会社は一千二百萬圓増資して資本金一千五百萬圓(内拂込六百萬圓)となった

二十九日 (火)

憲法三派、公平な選挙取組を要請

憲法三派交渉会は従来の露骨な選挙干渉に鑑み、選挙に於ける公平なる取組りを検事總長に要請することを申合せた

同日、獨逸銀行に出資決定

獨逸財界立直しのため英蘭銀行援助の下に資本金一千萬鎊を以て設立豫定の獨逸割引銀行に對し、日本銀行も一部出資を引受けることに決定した

上信銀行、横濱信託を合併

横濱の上信銀行(資本金三萬圓)は横濱信託会社(資本金百萬圓)を合併、百十萬圓に増資の件を臨時總會で可決した

三十日 (水)

銀行聯合準備銀行の利下

銀行聯合準備銀行は金融緩和のため公定割引歩合を四分半から四分に引下げた

【五月】

一日 (木)

清浦首相、排日問題で五氏と懇談

清浦首相は首相官邸に内田廉哉伯、澁澤榮一子、金子堅太郎子、國塚磨、幣原喜重郎男の五氏を招待、排日移民法案に關して懇談した

金子子爵は首相に日米關係是正のため日米最高委員會設置の急務を勸説した

日米仲裁裁判條約の有効期間延長

日米仲裁裁判條約の有効期間を大正十三年八月二十四日から更に五ヶ年間延長する協約成立公布された

東京市電氣局、震災前に復舊

東京市電は往復十五錢、片道八錢(税共)に復舊、乗替は無制限とした

火災保險會社、見舞金支拂を警告

火災保險會社には関東震災被災被保險者に對し五月五日から六月三十日まで所定金額の支拂をなすに決し、その期間中に申込む豫備告示した。火災保險協會加入會社四十三社支拂をなすもの三十二社、内五千圓以下一割支拂が二十四社、一千圓以下一割支拂が八社である。尙政府の援助金額は約六千三百萬圓

メーデー舉行さる

上野公園にメーデー舉行、参加人員一萬人

二日 (金)

京城帝國大學設置の勅令公布

本日官報を以て京城帝國大學設置に關する勅令が公布されたが、學部は法文學部及び醫學部である

大蔵省、小商工業復興資金を融通

大蔵省は興業銀行に對し小商工業復興資金二百萬圓、勸業銀行に對し建築資金及び小工業資金として五百萬圓を預金部から貸出した

東京中央卸賣市場の地域決定

内務省告示を以て、東京都市計畫中央卸賣市場設置の件は左の如く認可の旨發表された  
▽築地本場(築地四丁目及び南小田原町一丁目)の内の約九萬八千坪  
▽神田分場(神田區山本町、相生町、花田町、花岡町及び下谷區練馬町の内の約九千五百坪)  
▽江東分場(本所區横綱町の内の約五千二百坪)

三日 (土)

文政審議會の初總會

文政審議會第一回總會は首相官邸に開催され、義務教育年限延長に關する件及び中等學校教科書の標準となるべきものを主務省に於て編纂する件の二諮問案を附議した

四日 (日)

博文館印刷所に労働争議起る

東京小石川區久堅町の博文館印刷所一千八百名の職工は賃銀三割値上、残業五割増、婦女幼年残業十割増等を要求して同盟罷業に入つたが、十二日会社側が賃銀一割増、残業

四時間以上五割増、女子幼年残業二時間以上五割増等を容認したので解決した

五日 (月)

大震災生損の負擔割合決定案成る

大震災で焼失した生損損害負擔に關し澁澤牧野、志村の三裁定者は(一)問屋又は銀行保管中焼失の損害は問屋側二割、製練家八割を負擔(二)看買済の後焼失の損害は輸出商全部負擔(三)引込中焼失の損害は輸出商及び問屋各二割、製練家六割負擔(四)負擔金支拂は五年乃至八年間(五)評價は百斤に付二千圓均一等の裁定案を決定した

東京市電氣局の不正事件

東京市電氣局の贈收賄賂事件發覺、經理課契約係長青木時一外七名、前吏員五名、商人側佐藤剛等四名、合計十七名は本日検事局へ送致された

七日 (水)

高橋政友會總幹事の列車墮落す

政友會總幹事高橋は清の乗車した青森發上野行列車は宮城縣長町驛で顛覆、即死三名、重傷者二十三名を出したが、高橋總幹事は無事であつた

八日 (木)

行政整理三大臣會議開催さる

行政整理三大臣委員會は首相官邸に於て第一回會議を開催、水野内相、鈴木法相、勝田蔵相を中心として行政整理の根本方針及び基礎案に對する審議をなした

希臘共和國承認に決定

政府は三月二十五日成立の希臘共和國承認を閣議で決定した。尙公使には五月二十一日附を以て奥山清治が任命された

西原借款に關し繼續辯明す

寺内内閣當時成立した西原借款は支那利權獨占又は支那軍閥援助のため寺内内閣の獨斷で行はれたとの非難は不當で、それは兩國共存共榮のため行はれたもので、同借款の解決は決して至難でない旨、當時の責任者蔵相勝田主計から發表があつた

佛領印度支那總督入京す

佛領印度支那總督マルシヤル・メルラン一行は軍艦ジュールフェリー號で神戸に入港、本日陸路入京した。東宮御成婚に對する祝賀品捧呈、震災見舞、日佛協商改訂案起草打合日佛親善等が目的である

九日 (金)

臨時國庫證券五千三百萬圓發行



政府は臨時國庫證券(七號)五千三百萬圓  
 債券のため同額の臨時國庫證券(八號)を割  
 引日歩一錢八厘五毛、支拂期日本年十一月八  
 日、預金部引受、一般賣出の條件で發行した  
 十日(土)

◇國庫證券發行、國庫三派大勝す

第十五回國庫證券は本日施行された。開票の  
 結果憲政會百五十一名、政友會九十八名、奉  
 新俱樂部三十名、政友本黨百十九名、實業同  
 志會九名、中立五十五名で政府與黨は慘敗し  
 憲黨三派の歴例的勝利に歸した

◇東京、對外貿易振興策を建議

東京商會會議所は對外貿易振興のため大蔵  
 省及び帝國經濟會議貿易部に對し大要左の如  
 き建議をなした

▽生産費低減▽運輸改善▽金融及び爲替方  
 策▽税制改正▽貿易助長及び促進機關改善  
 ▽國產獎勵及び輸入防遏▽實業教育改善

◇陸海軍職工一萬一千名解雇

行政整理により海軍職工七千三百名、陸軍  
 職工三千九百八十八名、合計一萬一千二百八  
 十八名解雇の旨發表された  
 十一日(日)

◇實業家大井ト新死す

化學工業界の功勞者大井ト新は九十一歳を  
 以て死去した。明治二十四年大阪商業會議所  
 副會頭となり、代議士となること二回、寫眞  
 レンズ輸入の途を拓いた人である  
 十二日(月)

◇國庫、列車に自動運轉機取付

鐵道省では二千萬圓の經費で全貨車、客車  
 に自動運轉機を取付けることに決定した  
 十三日(火)

◇足利織物の休業

足利織物組合では不況のため六月三十日ま  
 で休業に決定した

◇實業家板谷富吉死す

北海道財界の雄板谷富吉は六十九歳を以て  
 死去した。新潟縣に生れ青年時代北海道に渡  
 り、小樽を根據地として板谷商船を創立し板谷  
 家今日の大をなす基礎を築いた  
 十四日(水)

◇特別會議召集の圖書公布

六月二十五日を以て第四十九帝國議會を召  
 集する旨の圖書が公布された  
 十五日(木)

◇漢物物の五割増徴

遼州濱名郡南部織物同業會の工場主三十五

名及び賃業業者百餘名は不況のため本日  
 三十日間五割増徴を實行することとした

◇日清印刷會社の學識

東京牛込の日清印刷會社職工六百名は賃銀  
 二割増給其他を要求して怠業に入つた  
 十六日(金)

◇日露備交渉開始さる

日露國交回復の前提たる尼港事件其他懸案  
 解決の商議は北京に於て芳澤カラハン兩全權  
 の間に開始された

◇青森縣八戸町、大火で全滅

青森縣八戸町に大火あり一千三百戸を焼失  
 し同町は殆んど全滅に歸した  
 十七日(土)

◇樺太に徵兵令施行の勅令公布

樺太に徵兵令を施行し八月一日から實施す  
 る旨の勅令が公布された

◇日佛通商協定成立す

日佛通商條約改訂に關し東京に於て協議の  
 結果左の協定が成立した

一、佛領印度支那を通商條約中に包含せし  
 む  
 二、米、絹等の諸品に最低稅率を課す  
 十九日(月)

◇帝國經濟會議の金融政策答申

帝國經濟會議金融部會は首相官邸に開會、  
 「震災の影響により對外貿易逆調の際速かに  
 金解禁斷行は困難であるが、可及的速かに實  
 現の機運を促進すべきで、應急策としては在  
 外正貨の拂下を緩和し、爲替相場を維持せら  
 れたい」旨の答申案を清浦首相に提出した

◇損失生絲の擔保貸付金問題解決す

横濱生糸同業對銀行の損失生糸擔保貸付金  
 問題は主要次の如く解決した

(一)年額二萬圓以上を取扱ふ同業に對して  
 個別に協定(二)看買済の生糸に對し輸出商  
 の負擔となる分も個別に協定(三)年額二萬  
 圓以下の賣込同業に對しては大正二十年十  
 一月末迄に年利二分五厘を以て年賦完済の  
 方法によること  
 二十日(火)

◇丸之内銀行の半額減資

丸之内銀行は臨時總會に於て資本金を半額  
 の百七十六萬一千九百圓に減資の件を可決  
 二十一日(水)

◇帝國經濟會議、公債政策を答申

帝國經濟會議金融部會は大要左の如き公債  
 政策改善案を決定、清浦首相に提出した

(一)新規發行を事業整理により縮小し、止  
 むを得ないものは年度制にする(二)短期公  
 債を長期に乘換へ短期債を統一整理する  
 (三)決算により生じた純剩餘金を公債償還  
 に向ける(四)減債基金繰入増加(五)減債基  
 金運用は抽籤償還による

◇社外船運同業の成立

國際汽船、川崎汽船、山下汽船等の社外船  
 六十四社参加し海運市場の取引及び運賃の安  
 定を期するため社外船運同業を組織し、本  
 日その第一回例會を大阪に開き左の規約を決  
 定した

標準運賃は北見又は樺太内地間材木百石に  
 付二百圓以上積高一千石以上、門司横濱石  
 炭二圓五十錢以上、太平洋日本小麥は材木  
 率に準據、違反者制裁として取引中止をな  
 し、本月二十五日から實施する  
 二十二日(木)

◇損失生絲同業の鑑定者、交渉打切を通告

損失生糸損害負擔割合を決定するため當業  
 者から鑑定を委任されてゐた滋澤榮一、牧野  
 忠篤兩子爵及び志村源太郎は本月五日發表の  
 鑑定案が同業側の強硬反對に遭つたため、本  
 日當業者に對し交渉打切を通告した

◇震災罹災地に自動式電話採用

通信省は震災による復舊工事を好機として  
 従來の手動式電話を自動式に改め、大正十四  
 年度工事として焼失局復舊には全部自動式を  
 採用するに決定した

◇東京市に小公園増設

特別都市計畫委員總會を内務省に開き東京  
 市焼失區域内に五十二ヶ所の小公園を總額一  
 千萬圓を以て新設する件を可決した

◇大阪瓦斯職工の同盟罷業

大阪瓦斯會社職工團は賃銀値上要求が容れ  
 られぬため同盟罷業に入つた

◇米國世界一周機、鹽ヶ浦に到着

米國世界一周飛行機スミス、ウエード、ホ  
 ルソン三中尉の三機は本日午後鹽ヶ浦に到着  
 した  
 二十三日(金)

◇露國、拘禁邦人を釋放

浦鹽に拘禁中の箕妻少佐、松井大尉以下の  
 邦人はカラハンの指令により本日放免された  
 二十四日(土)

◇關東州に市制施行さる

關東州市制に關する勅令が公布された  
 清浦首相、西園寺公を訪問



清浦首相は京都府下田中村別荘に西園寺公望公を訪問、總選挙後の政情及び現内閣の歸趨に關し報告すべく今朝東京發西下した

群馬電力、吾妻電氣を合併

群馬電力會社(資本金一千二百萬圓)は臨時總會に於て吾妻電氣軌道會社(資本金二十五萬圓)を合併し二十五萬圓増資する件を可決した

和歌山紡績會社木野川工場職工の罷業

和歌山紡績會社木野川工場の職工一千二百名は會社が二十一名の職工を突然解雇したのを憤つて同盟罷業に入つた。内八百名は女工である

二十五日(日)

日清紡績、東京紡績を合併

資本金一千百萬圓の日清紡績會社は東京紡績會社を合併し、東京紡績五十圓拂込二株に對し三十五圓拂込日清株一株を交付、百五十萬圓を増資して資本金一千二百五十萬圓となつた

二十六日(月)

五分利國庫債券二千萬圓發行

政府は朝鮮事業費支辨のため第十四回五分利國庫債券二千萬圓を發行價格九十一圓、償

還期限大正二十年六月一日迄等の條件で發行した

農商務省は内地米補給のため購買米五十八萬三千二百石を石當り九圓五六十錢以上十圓内外で買上げた

米國大統領、排日法案に署名  
米國大統領クリッヂは上下兩院を通過した排日條項を含む移民制限法案に署名し、同時にステートメントを發表、排日條項を遺憾とする旨聲明した。排日條項は邦人の再入國者、官吏、商用又は遊覽のため旅行者として一時渡米する者、現行條約の規定の下に全然商用のために渡米する者、學生、教授、宗教家等の例外を除き米國に入國することを禁止し、七月一日から實施するものである

二十七日(火)

帝國經濟會議、復興促進策を答申  
帝國經濟會議交通部會は京濱震災復興に關し物資集積上必要な應急施設として東京濱濱兩港の水陸設備を完成し、併せて兩港間の聯絡を圓滑ならしめることが最大急務であると、その具體的事項を列舉した答申案を可決した

二十八日(水)

兩院有志、排日不當を決議

貴衆兩院議員有志は東京芝三線亭に會合、排日法案の責任者米國議會に強硬なる反對意志を表明し、親日米國人と協力してこの不正を匡正する旨決議した

輸出絹織物検査所規程の公布

北海道地方費又は府縣費を以て輸出絹織物の検査を行ふときは道府縣に一ヶ所を限り輸出絹織物検査所を設立すべき旨の農商務省令が公布された

暹羅駐米大使の歸國許

駐米大使城原正直は辭職のため賜暇歸國を願出たが、本日の臨時閣議で許可に決定し、上奏御許を得た

東京實業聯合會は爲替暴落對策に關し

東京實業聯合會は爲替暴落對策に關し大要左の如き建議案を決定した  
(一)貿易金融機關を新設し輸出業及び原料輸入業に金融(二)輸出促進のため輸出組合法の制定(三)原料輸入の便宜改善(四)日銀利下による一般金利引下促進(五)保證準備制限擴張(六)不急鐵道敷設の中止及び鐵道運賃値下(七)金解禁を延期し、當面爲替決

濟策として正貨拂下條件を緩和(八)經濟界安定を圖る

大阪の川上銀行取付

同行(資本金二百萬圓)は不良貸付で銀行局から警告を受けたが、本朝取付に違つたため臨時休業を發表、日銀援助により午後開業した

關島縣下の需害救済を陳情

關島縣下に降霜あり、桑園四萬七百町歩中二萬町歩は需害を蒙り損害約六百萬圓に達し春蠶飼育不可能となつたため、香坂知事は本日上京して當局に救済方を陳情した

二十九日(木)

憲法三派の議員總會

憲政會、政友會、革新俱樂部は本日各々議員總會を開き、憲政會は加藤高明總裁、政友會は高橋是清總裁、革新俱樂部は大兼毅、尾崎行雄の演説があつた

東亞聯盟協會の創立

對米外交問題に憤慨した在野有志は菊地武徳等發起で東亞聯盟協會を組織し、東亞振興特に日支共榮を圖るべく、二百餘名出席の下に本日東京ステーション・ホテルに創立總會を開いた

港灣調査會、東京港、東濱運河案を可決  
港灣調査會總會は東京港修築及び京濱運河開鑿の件を可決した

京大農學部の開設

京大農學部開設に伴ふ京大官制の改正が施行された  
三十日(金)

憲法三派聯合議員總會の開催

憲法三派代議士聯合懇親會は帝國ホテルに於て開催、現内閣排華の氣勢を擧げ、臨時議會開會を前にして一舉に倒壊を期すべく結束を固めた

中正俱樂部組織さる

長岡外史、若尾球八等三十九名の中立議員は中正俱樂部を組織し、帝國ホテルに於て發會式をあげた

帝國經濟會議、移民保護獎勵方策を答申

帝國經濟會議社會拓殖聯合部會は、國內では北海道移民根本方策樹立、海外では植民投資、金融、産業、公益を目的とする民設會社設立が移民保護獎勵方策として急務である旨の答申案を可決した

帝國經濟會議、住宅問題に關し答申  
帝國經濟會議社會部會は關東大震災による

借地借家問題に對する救済策として、不當な借地借家條件の変更、新築屋に對する舊借家人の權利承認、土地建物明渡拒絶者に對する制裁等を必要とする旨の答申案を決定した

三十一日(土)

帝國政府、排日法案に正式抗議

政府は米國の排日法案に對し植原駐米大使をして日米通商條約及び紳士協約を楯に米國國務省宛正式抗議書を提出せしめた

米國大使館前、排日憤慨者の自盡

駐日米國大使宛その他三通の遺書を所持した一日本人は排日問題を愛憤して米大使館前で割腹自殺を遂げた

露支協定が調印さる

露支協定が調印され、露支國交回復の承認書を交換した

一日(日)

ウツツ米國大使辭任歸國

親日家として知られた駐日米國大使ウツツは、排日案通過を遺憾とし辭任歸國することとなつたので、貴衆兩院議員有志及び各新聞社發起の下に同大使夫妻の送別會が帝國ホテル



ルに開催された

二日(月)

復興公債交付に関する勅令公布

復興事業の施行に伴ひ政府が土地所有者その他利害関係者に對して支拂ふ補償金を五分利國庫債券を以て交付する勅令が公布された

臨時國庫債券四千萬圓發行

政府は臨時國庫債券へ號、と號、ち號借替のため臨時國庫證券ら號四千萬圓を發行價格九十八圓二十五錢、年利五分、償還期限大正十四年六月一日の條件で發行した

東京株式取引所を閉市

東京株式取引所では本日から短期取引を開始、新東株が上場された。九日から鐵紡第二新株を上場

富士紡保土ヶ谷工場の準備

富士紡保土ヶ谷工場では自治青年研究會を組織中の職工五十名を統制したため、一千三百名の職工は罷業に入つた

四日(水)

日露漁業協約の調印

本年四月五日成立した日露漁業協約は本日正式に調印を了した

東京市へ復興資金三百萬圓融資

政府は預金部所有の在外正貨中三百萬圓を東京市震災復興資金として本日倫敦に於て東京市に引渡した。條件は償還期限六ヶ月、年利七分

東京株式取引所に早受渡制度實施

東京株式取引所は長期取引早受渡制度を本日から實施した

五日(木)

皇太子殿下御成婚奉祝會舉行

東京市主催の皇太子殿下御成婚奉祝會は本日宮城二重橋前式場に皇太子、同妃兩殿下台臨のもとに舉行された

東京新聞社の排日法反對宣言

帝都の十九新聞社は米國排日法成立の暴舉に對し、輿論代表者として我が民族の鞏固なる決意を表示し、米國民の反省を求めると宣言した

對米國民大會舉行さる

排日移民法に反對して賑起せる對米國民大會は國技館に開かれ會費約二萬五千に達し、米國議會の反省を促がす宣言決議をなした

六日(金)

渡米移民のため臨時配給

排日移民法實施期前に渡米する移民輸送のため臨時配給

ため、郵船、商船、東洋の三汽船會社は協定の上各社一隻づゝ臨時配船を決定、十日更に一隻づゝの配船を決定し臨時船に限り三等運賃横濱米國間百五十四、神戸米國間百五十五圓と割引下げをなした

七日(土)

清浦内閣總辭職す

總選舉の結果、現政府に反對の護憲三派が壓倒的多数を占めたため、清浦内閣は在任僅か五ヶ月にして總辭職した

染料輸入に関する件制定

コールドール染料輸入には許可を要する旨の省令公布

日芬通商航海條約調印さる

日本と芬蘭間に通商航海條約が調印された

帝國ホテル舞臺會に壯士團入

帝國ホテルに内外人三百名が舞臺會開催中對米問題の喧しい折柄、不謹慎も甚しいと憤慨した大行社の社員約三十名團入り、白刃を以て劍舞を始め會場は混亂に陥つた

詩聖タゴール入京す

印度の詩聖タゴール翁は本日入京した

八日(日)

後藤内閣に關し元老に御下問

德川侍從長は本日京都着、西園寺公を訪問し後藤内閣に關する御下問を傳達した。又平田内府は三田の松方公を訪問、意見を聴取の上、攝政宮殿下に委曲復命した

米國映畫上映禁止の決議

東京市内の映畫業者は、米國映畫の買入又は借入をなさざること、米國映畫を一切上映せざることの二件を七月一日から實行、これを全国的に擴大することを決議した

九日(月)

加藤高明に大命降下

憲政會總裁加藤高明は御召しにより参内、後藤内閣組織の本命を拜受した

日西特別通商條約の暫定取極

明治三十三年三月調印の同條約は西班牙政府の廢棄通告により失効すべき筈の處、大正十四年五月五日まで有効期限延長に決定

後平塚の賣立四十八萬圓

舊伊豫西條藩主松平子爵家の藏品は入札の結果總額四十八萬圓に達した

ド・アジール大尉、所屬に到着

日佛間一萬一千七百三十哩を四十五日間、飛行時間百二十五時間であつた佛國のド・アジール大尉は本日午前所屬に到着した

十日(火)

護憲資金一千萬圓を融通

政府は本年度製絲資金として一千萬圓を日本銀行を通じて横濱正金銀行へ融通する旨聲明した

十一日(水)

護憲三派獨立内閣成立

憲政會總裁加藤高明を首魁とする護憲三派獨立内閣は高橋、犬養兩黨首入閣行儀のみため一時組閣停頓の形勢に陥つたが、十日夜兩氏入閣承諾により閣員の傾倒決定、本日親任式が舉行された

内閣總理大臣

外務大臣

内務大臣

陸軍大臣

海軍大臣

司法大臣

文部大臣

農商務大臣

逓信大臣

鐵道大臣

内閣書記官長

子爵 加藤 高明

男爵 幣原喜重郎

若槻禮次郎

濱口 雄幸

宇垣 一成(留任)

財部 彪

横田千之助

岡田 良平

高橋 是清

犬養 毅

仙石 貢

江木 眞

高橋、犬養連名で入閣に關し聲明

政友會總裁高橋是清、革新俱樂部犬養毅は連名で「入閣に就ての陳述」を發表した。要旨は加藤子への大命降下は憲政の常道によるもので、護憲三派の結合力が政權推移の基準となつた以上は、吾々は區々たる末節に拘泥せず加藤子の提議を尊重して憲閣に加はることに決したといふのである

帝國經濟會議農務部の答申

帝國經濟會議農務部總會は大要次の如き農務答申案を決定した

農家負擔の軽減(一)地租軽減(二)不動産税制の改正(三)國有財産及び國營事業の地方費負擔(四)小學校教員俸給全額國庫負擔(五)地方經費税制の整理

農産物の價格に關する政策(一)米穀法を需給及び價格調節のため運用(二)米穀統計編成の敏捷正確化(三)毎年来穀の最高低價格決定(四)米穀委員會に於て生産者及び消費者の意見尊重(五)米穀に關する重要事項は米穀委員會で決定(六)勅令による米輸入税増免規定の削除(七)關稅定率表改正

農務省の獨立

關稅部、朝鮮殖産銀行に八百萬圓融資



政府は預金部を通じて朝鮮殖産銀行に対し八百萬圓を年利七分五厘、期間五ヶ年の條件で融通に決定した

○東京商會の利率

東京商會銀行は公定割引歩合を四分から三分五厘に引下げた。引下事情は金銀界の緩慢に基く對内關係による

十一日 (木)

○復興交付公債の發行交付整理制定

大蔵省告示を以て復興債券の發行價格は百圓に付八十四圓三十錢とする旨及びその交付規程を公布した

十二日 (金)

○關金部、東振に二千萬圓融通

大蔵省預金部は東洋拓殖會社に對し二千萬圓を融資することに決定した

○佛國エリオ内閣成立す

佛國のポアンカレ内閣總辭職し、急進社會黨のエリオ内閣が成立した

十四日 (土)

○ストックホルムに領事館設置

瑞典ストックホルムに帝國領事館を設置し本日開館した

十五日 (日)

○第五回引興券一千萬圓發行

第五回引興券一千萬圓は日歩二錢一厘、價格額面、大正十四年六月一日全部償還の條件で發行された

○米穀仲仕組合の米買取整理決定

米國の排日法實施に對し横濱仲仕組合は米國貨物取扱を拒絶する旨の決議をなした

十六日 (月)

○日銀、近江銀行援助に決定

大阪に於て綿絲布取引方面を地盤とする近江銀行(資本金三千萬圓)の業績悪化が傳へられ兎角の風評があるに鑑み、日銀は國庫局長保井翁造を頭取に推薦し、同行を徹底的に援助することに決定した

十七日 (火)

○内務省、捕米運動に警告

米國の排日移民法實施に對し我國に於て最近切腹事件、帝國ホテル亂入事件、米貨排斥米國映畫上映禁止等、相次で排米運動擡頭の折柄、内務省警保局では各府縣宛に大國民としての威厳保持を要望、暴舉を嚴重取締するやう訓示を發した

○公債公募打切に決定

政府は本日の閣議に於て、大正十三年度に於ける公債財源に俟つ事業費は頗る多額に及んでゐるが、これは小額と雖も市場に於て公募せざることに決定した

米價は買取り反動から數日米暴落し、本日東京期米先物は三十五圓六十錢の安値に落ち數日間三百丁方の慘落を示した

○米價暴落す

最近米貨排斥運動が擡頭して來たため、在米邦人から充分慎重なる措置要望の來電があつたに對し、東京商會議所は米貨排斥が全然利益なく貴電と同意見なる旨返電し、米貨排斥反對を表明した

十九日 (木)

○米商、保置準備提議を遂行

東京商會議所は財政調査委員會の決議に基き、日銀保證準備擴張の必要を建議するに於ける公債財源に俟つ事業費は頗る多額に及んでゐるが、これは小額と雖も市場に於て公募せざることに決定した

二十日 (金)

○米商、保置準備提議を遂行

我が政府の排日法抗議に對する米國政府の回答全文は本日外務省から發表された。要旨は新移民法制定は米國多年の方針であつて、決して日本國民及びその品性を尊重しないものではないといふにある

二十日 (金)

○東京商會議所は財政調査委員會の決議に基き、日銀保證準備擴張の必要を建議するに

とに決定した

○外國保險會社、保費料一部支拂に決定

外國保險會社は關東震災による保險料を元受保險の内約百八十萬圓を支拂ふことに決定した

○芳澤駐支公使歸朝す

日露問題交渉中の駐支公使芳澤謙吉は新内閣の幣原外相の招電により本日歸京した

二十一日 (土)

○廣次竹二郎、政友本黨總裁に就任

政友本黨は總務制を廢し黨首を置くこととし、山本達雄に就任を交渉したが固辭して受けず、結局床次竹二郎が就任に決定した

○南滿洲鐵道會社

南滿洲鐵道會社は株主總會に於て資產整理をなすことに決定、五百萬圓の銷却金を計上した

二十二日 (日)

○滿鐵社長に安廣伴一郎就任

滿鐵社長川村竹治辭任し、後任に樞密顧問官安廣伴一郎が就任した

二十三日 (月)

○關東三派、大會を開催

特別議會に關し關東三派は本日夫々大會を

開き、憲政會は綱紀肅正、行財政の整理緊縮

普選即行、農村振興、災害地復興、外交刷新

貴族院改革の宣言要綱を決定した

○關東善後費責任支出額二億五千萬圓

震災後から本年六月までに震災善後費として責任支出された額は總計二億四千九百九十四萬三千圓なる旨發表された

二十四日 (火)

○官紀振奮の訓令發せらる

政府は官紀振奮の訓令を發したが、その要旨は(一)服務規律格守(二)公私分別(三)誠實格勤(四)懇切丁寧(五)出勤時間遵守等である

○政友會副總裁に野田卯太郎就任

政友會では副總裁制を採用、野田卯太郎が副總裁に就任した

○農商務省、取引所新設不認可を聲明

農商務省は改正取引所法に則り取引所新設は不認可の方針である旨聲明した

○地方長官の大更迭發表

政府は綱紀肅正の一端として地方長官の更迭を發表した。異動二十一、休職九

○東京商會議所の創立

同社は資本金五百萬圓を以て設立され、創立總會を開き左の役員を選任した

▽取締役横哲(社長)、荻田輝太郎、三浦青三(以上常務)、血谷廣次、田中岩吉、安部信治、有馬彦吉▽監査役藤崎三郎助、橋本貞夫

二十五日 (水)

○第四十九帝國議會開會さる

總選舉後の臨時議會は本日開會された

○農米組合、日米協議會設置を提議

横濱農米同業組合中央會では生絲價格不安定に鑑み、日米協議會を設けて價格安定、格付改良等を協議考究する件を米國に提議することを決議した

二十七日 (金)

○日白通商航海條約の調印

ブラッセルに於て日白通商航海條約の調印が行はれた

○佛國債券償還方法決定す

七月四日償還期限の佛國政府國庫債券五千萬圓のうち半額は紐育に於て米貨で償還し半額は借替へ、佛政府が本邦で發行する大藏省證券二千五百萬圓を東西銀行團が割引引受に決定、引受條件は割引率年八分、期限六ヶ月、無記名式

○提葉川電氣一千五百萬圓に減資

提葉川電氣一千五百萬圓に減資



同社は定時總會に於て資本金二千萬圓を一  
千五百萬圓に減資の件を可決した

二十八日 (土)  
○阪神電機従業員の同盟罷業  
阪神電機従業員は要求十五ヶ條を提出して  
拒絶され総罷業に入つたが、七月十三日に至  
り會社の半期賞與制採用、賞與金削減、業  
務手當、退職手當等に關する回答に接し解決  
復業した

三十日 (月)  
○追加増資決定  
衆議院に提出すべき追加増資案に就き大藏  
省は一般會計追加歳出入總額は二六五、七三  
一、〇八三圓と發表した。歳入内訳左の如し  
(單位圓)  
公債費源 一五七、一九五、六六九  
剩餘金支出 五〇、五六九、二二九  
租稅收入 五〇、四八八、九五五  
其 他 七、四七七、二三〇

○大井川電力會社の創立  
同社(資本金百五十萬圓)は創立總會を開  
き左の重役を選任した  
▽社長松永安左工門▽取締役藤澤一衛、結  
城安次、新井榮吉、藤原明一郎▽監査役高

橋貞三郎、中村國一郎  
○神中鐵道二百萬圓に増資  
資本金百萬圓の神中鐵道會社は株主總會を  
開き、二百萬圓に倍額増資するに決定した

○上毛モス重役總辭職  
上毛モスリン會社は株主總會に於て當期損  
失金四百九萬圓を計上、重役一同はその責を  
負うて總辭職し、河崎助太郎を社長に推薦す  
る件を可決した

○日本油商五百萬圓に減資  
資本金六百三十萬圓の日本油商會社は全額  
拂込済株一千株を無償銷却し、五株を四株に  
合併して百三十萬圓を減資、資本金五百萬圓  
とした(日不詳)

【七月】

一日 (火)  
○貴族院の對案決議  
貴族院は加藤首相の施政演説、幣原外相の  
外交演説の後、近衛公外五名が四十五名の贊  
成者を得て左の對案決議案を可決した  
貴族院は北米合衆國新移民法中に規定した  
る日本移民に對する差別條項は正義衡平の  
道に反し從來日米兩國間に存在する友誼を

阻害するものと認め深くこれを遺憾とす  
○ロンドン賠償會議帝國代表決定  
本月十六日より英京ロンドンに於て開催さ  
れる對獨ドーズ賠償案に關する聯合會議に出  
席する帝國代表は、駐英大使林權助、駐佛大  
使石井菊次郎に決定した

○信越電力社債五百萬圓發行  
信越電力會社は第二回社債五百萬圓を、利  
率年八分、發行價格九十八圓、期限二ヶ年、  
利息九分一厘八毛強の條件で發行した

○メイトル法實施さる  
業に公布されたメイトル法は本日より實施  
された  
二日 (水)  
○衆議院、對案決議を可決  
米國の排日法實施に關し衆議院は左の對案  
決議案を上程可決した

衆議院は米國新移民法中に於て日本國民に  
對し差別的條項を設定せるは國際間に於け  
る正義公平の原則に背反するのみならず、  
日米七十年の親交を阻害するものにして強  
硬なる反對の意志を表明す  
帝國政府は之に對して速かに適當の措置を  
採らむことを望む

○東京聯合自動車會社は資本金を三百萬圓に  
増加した

○神戸鐵道五百萬圓に減資  
神戸鐵道會社は資本金六百萬圓を五百萬圓  
に減資した

○公費松方正義死去  
東京市芝區三田町の自邸に於て發病、六  
月二十八日腸出血、二十九日氣管支加答兒、  
續いて翌三十日更に肺炎を併發して、病勢暴  
り、本日午前六時に容體危殆に陥り、同七時  
二十分遂に死去した。享年九十。尙病氣危篤  
の趣、天聰に達し特旨を以て從一位に陞叙さ  
れた

同公は舊鹿兒島藩士松方善藏の四男で天保  
六年二月生れ、歐米を漫遊して明治元年長崎  
裁判所參謀を振り出しに、日田縣知事、大藏  
大權丞、同大輔勸業頭、授産局長兼大藏卿、  
農商務卿(代理共六回)文部卿、參議院議長、大  
藏大臣(兼共五回)内務大臣(二回)内閣總  
理大臣(二回)府香間副使、樞密院顧問官等  
に歴任した。明治十七年伯爵を賜はり同三十  
九年侯爵となり、世界大戰の平和克復の際公  
爵を賜つた。海東又は芝竹と號し漢文及び書

に塔語であつた。家族は令嗣以下男子十人  
女子五人、孫、曾孫を合して七十有餘人に及  
んでゐる。尙同公の國葬儀は十二日午前八時  
から三田の松方邸で莊嚴に行はれた

三日 (木)  
○五分利國庫債券一千萬圓發行  
政府は臺灣及び樺太に於ける事業費に充當  
するため五分利國庫債券一千萬圓を發行に決  
定した

○大阪市電の罷業  
大阪市電従業員二千餘名は三日夜賃銀値上  
要求書を突きつけて罷業に入つたが、十二日  
従業員の協和となつて解決した

○労働者災害補償法可決さる  
國際労働總會労働委員會に於て「労働者の  
災害補償に關する内外人労働者均等待遇條約  
案」が可決された

四日 (金)  
○朝鮮政務總監に下岡忠治就任  
朝鮮總督府政務總監は左の如く決定、赤坂  
東宮御所に於て加藤首相待立、親任式を行は  
せられた  
從四位勳二等 下岡忠治  
任朝鮮總督府政務總監

○朝鮮鐵道の外債六百萬圓成立  
朝鮮鐵道會社の外債六百萬圓はニューヨーク  
に於て發行の交渉成立した

○三十六銀行、五都市銀行を買収  
三十六銀行(資本金百萬圓)は臨時總會を  
開き五都市銀行(資本金五十萬圓)を買収す  
るに決定した

○福井銀行、大七銀行を合併  
福井銀行(資本金五百萬圓)は臨時總會を  
開き、大七銀行(資本金百三十萬圓)合併の件  
を可決した

○石城耐火煉瓦三十五萬圓に減資  
同社は資本金百萬圓を三十五萬圓に減資と  
決定した

五日 (土)  
○東京總商會、五割増進を實施  
東京總商會組合では組合總會を開き、大阪  
總商會組合と提携し綿業界の不況対策として  
紡績聯合會の決議に基き五割増進を實行する  
に決定した







何向あるを以て、これを防止するため嚴重に取締ることとなり、特に必要と認めらるゝ外は認可せざるよう地方長官に通告した  
○墨西哥、露國を承認  
メキシコ政府は露國のソウエート聯邦政府を承認した

三十一日(木)

○羽越線の一部開通

國鐵羽越線村上、鼠ヶ岡間鐵道は本日開通した

○日本一周飛行成功

大阪毎日新聞社主催の日本一周飛行は、本日を以て決定の全コースを突破したが、二十三日以来九日間を要した

○富士製紙の借債増資と二社合併

資本金三千七百五十五萬圓の富士製紙社は借債増資して七千五百十萬圓となり、更に梅津製紙社及び熊野製紙社を合併して二百六十萬圓を増資し總資本七千七百七十萬圓となった(日不詳)

【八月】

一日(金)

○米穀の關稅復舊

米及び根に関する關稅は舊に米穀法に基きその課稅を免ぜられてゐたが、前月三十一日を以て期限満了となつたので本日から従前通り毎百斤一圓の課稅をなすことになつた

○尾西鐵道會社左記條件にて社債百萬圓を發行に決定した

▽利率年九分▽價格額面▽償還期限一ヶ年

二日(土)

○關火建業補助規則の公布

東京横濱兩市の耐火建築補助金交付に關し本日官報をもつて防火地区建築補助規則を公布した

○關災地租免除施行規則の公布

震災被害地の地租免除施行規則は大藏省令を以て本日公布された

○川崎造船會社一千万圓發行

川崎造船會社は一千万圓の社債を發行するに決定した。條件左の如し

▽利率年八分五厘▽償還期限一年据置後三ヶ年償還▽發行價格九十八圓

三日(日)

○鳥取商業會館の設置

申請中なりし鳥取商業會館設置の件は本

日大藏省より認可された

○大日本製氷、鳥取製氷を合併  
大日本製氷會社は臨時總會を開き、鳥取製氷會社を合併し七萬七千五百五十圓を増資するに決定した

五日(火)

○臨時國庫證券五千萬圓借債發行

政府は來る九月一日償還期限の臨時國庫證券(上號)借符のため臨時國庫證券(ひ號)五千萬圓を發行することに決定した

○淺野セメント社債五百萬圓發行

淺野セメント會社は社債五百萬圓を左記條件にて募集するに決した

▽利率年八分▽發行價格九十八圓▽償還期限一年据置後二年間償還

六日(水)

○帝都復興費六億三千餘萬圓に決定

帝都復興事業の總算は六億三千餘萬圓と決定した

○東京市短期公債一千六百萬圓發行

東京市は上下水道第四回短期公債一千六百萬圓を左の條件で發行するに決定した

▽利率年七分▽價格額面につき九十七圓▽償還方法一ヶ年据置後四ヶ年間に償還▽利

期七分八厘三毛餘▽申込期間八月六日―九日まで

○對獨逸協定書の關稅印

聯合國、獨逸間の最終協定書及附屬書(一)賠償委員會と獨逸との協定(二)聯合國側と獨逸との協定(三)聯合國間の協定(四)附屬書の協定に關する聯合國と獨逸との協定の四協定は、本日假關印を終り八月三十日日本關印了した

七日(木)

○海上警備に關する二條約批准公布

第二回及び第三回國際勞務會議に於て採擇され、前年六月二十七日樞密院で可決された左記二條約を批准したる旨公布された

一、海上に使用し得る兒童の最低年齢を定むる條約

一、海上に使用せらるゝ兒童及び年少者の強制體格検査に關する條約

○三越呉服店社債三百萬圓發行

三越呉服店は社債三百萬圓を左の條件で發行と決定した

▽利率年八分五厘▽發行價格額面につき百圓▽償還期限一ヶ年据置後二ヶ年間に隨時償還▽券面種類百圓、一千圓、五千圓、一

八日(金)

○關災地債借債法施行期日の公布

震災地に施行する借債借債臨時處理法は八月十五日より施行の旨の勅令及同法施行に伴ふ關係命令三件は本日官報を以て公布された

九日(土)

○東京瓦斯社債三百萬圓發行

東京瓦斯社は社債三百萬圓を左記條件で發行するに決定した

▽利率年八分▽價格九十八圓▽償還二年据置後三ヶ年内隨時償還▽賣出期日自九月一日至同五日▽利率八分四厘

○小田原電氣社長重傷瀕死

腰骨炎のため本日死去した。享年七十九。弘化三年和歌山市に生れ、關澤吉宅に寄食して關澤塾に學び、文學者馬場蝶孤の姉コマ子を娶り、文部省大學東校總幹事を經て、明治十三年横濱正金銀行に入り、同二十六年筑豊鐵道會社の整理に當つて敏腕を顯はれた。

同社が九州鐵道と合併するに及び、乞はれて小田原電氣社長に就任、明治生命監査役、九州鐵道取締役を兼ね、關澤門下の逸材として知られた

十日(日)

○宮崎縣債百八十萬圓發行

宮崎縣は縣債百八十萬圓を發行するに決した。條件左の如し

▽利率年八分▽償還期限十ヶ年▽發行價格額面

○復興貯蓄債券一千萬圓發行

復興貯蓄債券一千萬圓は左の條件を以て九月十五日より三十日まで全國郵便局に於て賣出すことに決定した

▽額面十圓▽償還期限十七ヶ年六ヶ月▽年利四分▽三ヶ年割増金付

○宮城縣債百八十萬圓發行

宮城縣は電氣事業公債百八十萬圓を發行するに決定した。條件左の如し

▽利率年八分▽償還方法三ヶ年据置後七ヶ年に償還▽申込期間自八月十八日至同二十

二日

○愛國生命社長に原邦造就任

愛國生命保險(資本金三百萬圓)及び高砂生命保險(資本金二百萬圓)は重役の改選を行ひ原邦造を社長に選任した

十一日(火)

○政務・參事官制の公布



政務官及び参事官の官制は本日官報外を以て公布、即日施行された

十三日 (水)

◇興業外債二千二百萬圓成立

ニューヨークのナショナル・シチー銀行は日本興業銀行の外債二千二百萬ドル發行の契約を締結、本日賣出したが、好評を以て迎へられ即日締切となつた

◇日英兩國郵便物の面比利亚渡由復舊

英國より日支への郵便物は勞農露國の政情不安、シベリア鐵道運行不調滑のため船便によつてみたが、交通回復のためシベリア經由希望のものに限りシベリア線で輸送する協定成立した

◇東洋紡績の輪船伊藤傳七死去

本日海軍山の本邸に於て病死した。享年七十三。嘉永五年三重縣三重郡四郷村室山の舊家に生れ、十代目傳七を襲名、若冠紡績業に着目して堺船局紡績所の一職工となり、明治十五年近海川島村に紡績工場を建設、同二十年三重紡績を設立して支配人に就任、幾多の紡績工場を合併して資本金一千萬圓となし關西紡績界の雄となつたが、大正三年更に大阪紡績と合併して東洋紡績を創立し副社長

に選任され、同五年二代目社長となり、同九年勇退して後進に途を拓いた。その間三重鐵工所、三重農工銀行、内外船、東海倉庫、豊田式織機、關西生命保險、愛知電機、三重軌道、關西火災保險の重役を兼ねて中京、關西財界に重きをなし、大正七年多額議員となつた。氏には投機的謀略家としての華々しさはなく剛健着實な實業家として人望があつた

十四日 (木)

◇日本生命保險會の設立

日本生命保險會社は基金三百萬圓を以て財團法人日本生命濟生會を設立し、病院經營その他の濟生事業を營むこととなつた

◇加州農官の擧日拘令

米國の加州州務長官ゾルダンは、同州檢事總長の意見に基いて、不動産を所有する權利ある會社の株券を日本人は所有することを許さぬ旨發表した

十六日 (土)

◇トルコ物産輸入税に關する勅令公布

トルコ國物産の輸入税率改定され、同輸入税率に關する勅令が公布された

◇帝國劇場二萬萬圓に増資

株式會社帝國劇場は資本金百四十萬圓を二

百萬圓に増資するに決定した

◇森村銀行の改組と増資

従來合資組織であつた森村銀行は臨時總會を開き株式會社に改組し、資本金を五百萬圓となすに決定した

◇滿洲龍口銀行の休業

日支合辦にかゝる滿洲龍口の龍口銀行(資本金一千五百四十萬圓)は本日から一週間休業する旨發表した

十九日 (火)

◇鐵道事業費公債一千五百萬圓發行

政府は鐵道事業費支辨のため五分利國庫債券一千五百萬圓を發行するに決定した

二十日 (水)

◇地方財政緊縮の勅令

地方財政緊縮に關する勅令及び通牒は本日附、内務、大藏兩相より各府縣知事に移牒された

◇日本水電四百六十萬圓に減資

資本金五百六十萬圓の日本水電會社は臨時總會を開き、百萬圓を減資して資本金四百六十萬圓とし、前年合併した南九州水力電氣會社の株主に對し引替交附した株券に附與した優先權を廢棄するに決定した

二十一日 (木)

◇日本興業銀行臨時總會を開き、社債五百萬圓を左の條件により發行するに決定した

▽券面百圓、五百圓、一千圓、一萬圓發行價格百圓につき九十八圓▽利率年八分五厘▽擔保同社所有工場財團▽受託銀行興銀▽申込期間自八月二十二日至同二十六日

◇東洋紡績社債五百萬圓發行

東洋紡績會社は社債五百萬圓を左記條件にて發行するに決定した

▽利率年八分▽發行價格百圓につき九十八圓▽償還期限一ヶ年新置後三ヶ年に償還▽券面百圓、五百圓、一千圓、五千圓▽拂込期日九月十五日

二十二日 (金)

◇關稅改正準備委員會設置

同條に於て關稅改正準備委員會を設置することに決定し、委員長には、濱口廣相が就任した

二十六日 (火)

◇陸軍國庫廢止に決定

陸軍の元帥及び軍務參謀官會議に於て國庫

廢止その他の改革案が可決された

◇上海財界の恐慌

江浙開戦の説が傳つたため上海財界は不安に陥り、金利暴騰して商取引も停頓するに至つた

二十七日 (水)

◇關西聯合會の日本代表決定

九月ジュネーブに開催される國際聯盟總會の日本代表は、駐英大使石井菊次郎、駐佛大使安達謙一郎及び英國大使館一等書記官徳川家正に決定した

◇關西財界の重傷今國林三郎死去

本日病死した。享年七十二。嘉永五年愛媛縣北宇和郡好麻村に生れ、三菱商業學校を卒業、三菱に入つたが、明治十四年大阪に於て獨立して回漕業を營み、同十五年大阪同盟汽船會社設立に奔走、翌年社長に就任、同年大阪商船創立に盡力し、同十八年商船、同翌年兩社合併成るに及び回漕部長を経て支配人に昇進した。同二十二年辭して再び獨立して石炭問屋及び綿糸商を經營、三轉して山陽鐵道支配人となり、同二十六年には大阪三品設立に盡力、同年更に阪神電鐵の創立に當り専務取締役になり、後社長に選んだ。その間大

二十九日 (金)

◇東信電氣社債七百萬圓發行

東信電氣會社は臨時總會を開き、物上擔保附社債七百萬圓を發行するに決定した

◇京阪電氣會社(資本金四千七百五十二萬圓)は株主總會を開き、京津電氣を合併、三百二十五萬圓増資して總資本金五千七百七十七萬圓となし、合併期は大正十四年二月一日となす件を可決した

三十日 (土)

◇朝鮮銀行法中改正法の公布

朝鮮銀行法第三十七條の二の規定に依り大藏大臣の職務に關する事項を朝鮮總督に移管するの件は本日の官報を以て公布された

◇災害土木費補助規程の公布

勅令を以て震災による府縣災害土木費國庫補助規程を公布、即日施行された

◇阪神電氣鐵道三千萬圓に増資

資本金二千五百萬圓の阪神電氣鐵道會社は



臨時總會に於て五百萬圓を増資して資本金三千萬圓となす件を可決した

三十一日(日)

○東電の外債五萬圓成立  
東京電氣會社はセイルフレヂー商會を通じてロンドンのブラザード・ブラザース・コンパニーから五百萬圓借入の契約成立した

【九月】

一日(月)

○震災一周年に關し開會せらる  
大震災一周年に際し加藤首相は大震災の記憶を新にして克己自制、陋習を打破せよとの訓令を發した

○東京モスリン會社(昭和十一年大東紡織と改稱)は臨時總會を開き、一千五百萬圓を増資して資本金三千萬圓となす件及び日本紡織紡績會社を合併して五十一萬二千五百圓を増資し總資本三千五百一十二萬二千五百圓となす件を可決した

○第五回國庫債券發行會  
ジュネーブに於て本日より第五回國庫債券發行會が開會された

二日(火)

○臺灣總督更迭  
臺灣總督内田嘉吉辭任し、その後任として貴族院議員伊澤多喜男が任命された

○移民調査委員會の設置  
本日の定例開議に於て移民調査委員會設置の件可決され、委員長に外相幣原喜重郎が任命された

○天滿紡績會社債二百五十萬圓發行  
天滿紡績會社は社債二百五十萬圓を八日より十五日まで賣出すに決定した。條件は利率年八分五厘、賣出價格九十八圓、一ヶ年据置後三ヶ年に償還

○川北電氣企業社債二百五十萬圓發行  
川北電氣企業社社は社債二百五十萬圓を發行した。條件は利率八分五厘、賣出價格九十六圓、一ヶ年据置後二ヶ年に償還

○東電電氣會社債二百五十萬圓發行  
東電電氣會社は臨時總會を開き社債三百五十萬圓發行の件を可決した

○東京電氣會社債二千圓發行  
資本金一千萬圓の東京電氣會社は株主總會を開き、一千百萬圓を増資して資本金二千百萬圓とすることに決定した

三日(水)

○更生算額發表  
大正十三年度の更生算額は十五億八千餘萬圓に決定した旨大藏省より發表された

○東京海上、支那航路に臨時保險實施  
東京海上保險會社は上海及び長江航路に對し戰時海上保險の取扱ひをなすに決定、本日より保險率を引上げた

○平野無線電局、公衆通信事務を開始  
平野無線電局は本日公衆通信事務を開始した

○東京市長選舉  
東京市長永田秀次郎は本日辭表を提出した

○日清紡績會社債二千七百萬圓發行  
日清紡績會社は臨時總會を開き、資本金一千二百五十萬圓を二千七百萬圓に増資するに決定した

○奉天取引所の立會停止  
奉天省軍發行紙幣暴落のため、奉天取引所は立會を停止した

○行財政整理實施

政府は行政財政整理に關する聯合協議會で一般會計中軍備縮小及び官業の整理に關する分を除き殆ど全部を議了、俸給費一割天引き事務費、雜費の二割削減、繼續費の四割乃至五割繰延べを決定した

○中央國庫債券五百萬圓發行  
中央國庫債券は臨時總會を開き、社債百五十萬圓を左記條件を以て發行することに決定した

○利率年九分償還期限一ヶ年据置後二ヶ年に償還の發行價格額面  
八日(月)

○國際聯盟、軍備會議促進を決議  
國際聯盟總會は滿場一致を以て英佛兩國首相の提出にかゝる軍備會議促進決議案を可決した

○鹿兒島電氣會社債二百四十萬圓發行  
鹿兒島電氣會社は臨時總會を開き、社債二百四十萬圓發行の件を決定した。條件左の如し

○發行價格九十七圓五十錢、利率年八分五厘、一ヶ年据置後二ヶ年間臨時償還

○國民銀行に破産の宣告

東京神田區新石町の國民銀行(資本金百萬圓拂込金四十萬圓)は休業整理中のところ整理不能のため破産を宣告された

○新潟鐵工所國庫債券發行  
資本金五百萬圓の新潟鐵工所は臨時總會を開き、百萬圓減資して資本金四百萬圓となす件を可決した

○北越銀行の休業  
新潟縣出雲崎町の北越銀行はかねて石地銀行と合併協議中のところ本日突如休業を發表した

○震災國庫債券交付規則の公布  
震災のため焼失、紛失した公債に關する喪失國庫債券交付規則並に同審査會官制及び同審査規則が公布された

○震災被災公債再交付  
震災に依り喪失した無記名國庫債券の再交付に關する法律實施上の手續、方法に關する詳細は、本月九日の開議に於て決定を見十三日交付規則が公布されたが、本日再交付

○行財政整理實施

行財政整理に關する調査委員會は、一般會計二億三千萬圓、特別會計一億二千萬圓の行財政整理案を議了決定した

○小作調停法施行期日の公布  
小作調停法の施行期日及び施行外地區指定に關する件は十二月一日より施行の旨勅令を以て公布された

○岡山電燈會社債二百五十萬圓發行  
岡山電燈會社は臨時總會に於て社債二百五十萬圓發行の件を可決した

○加瀬屋銀行の休業  
加瀬屋銀行(東京神田)は營業不振のため向ふ三週間の休業を發表した

○唐津銀行、佐賀銀行を合併  
佐賀縣の唐津銀行は兼に唐津相互銀行及び神埼實業銀行を合併し資本金五百萬圓となつたが、更に佐賀銀行(資本金十一萬圓)を合併、總資本金五百一十一萬圓となつた

○上毛モスリン會社の整理  
上毛モスリン會社は臨時總會を開き、事業



不興のため工場を半減する縮小案を可決した  
十九日 (金)

○東京瓦斯電軌社債二百五十萬圓發行  
東京瓦斯電軌社は臨時總會を開き、擔保附社債二百五十萬圓を發行するに決定した。條件左の如し

▽利率年八分  
▽發行價格九十六圓五十錢  
▽償還期限一年据置後二ヶ年に隨時償還  
▽擔保工場、軌道、鐵道各財團

○日本セメント社債二百萬圓發行  
日本セメント社は社債二百萬圓を左の條件で發行するに決定した

▽利率年八分五厘  
▽券面種類百圓、五百圓  
▽一圓、五千圓  
▽擔保工場財團

○東京製鋼會社 (資本金一千萬圓) は臨時總會を開き、横濱製鋼會社 (資本金二百萬圓) 併合して五百萬圓となす件 (横濱製鋼會社資本金一千五十萬圓となす件) 横濱製鋼會社五十萬圓株七株に同社五十萬圓株二株、横濱製鋼二十五萬圓株七株に同社五十萬圓株一株を交付) 及び併合期日は本年十二月一日となす件を可決した  
○五十八銀行外行に繼續

銀行條例第八條の二の第一項及び第二項により本日附を以て營業認可取消又は新規取引の停止を命ぜられたるもの左の如し

▽營業認可取消五十八銀行  
▽新規取引停止 妹尾商業銀行、倉庫銀行、大東銀行、大成銀行

二十二日 (月)  
○農商務省は早省被書府縣に對し産業復興資金として、低資約一千萬圓を融通するに決定した

二十三日 (火)  
○帝國政府、支那動亂に不干渉を聲明  
帝國政府は支那動亂に對し絕對不干渉主義を採る旨聲明した

二十五日 (木)  
○滿鐵社債二千萬圓發行契約成立  
滿鐵社債二千萬圓は利率年七分、發行價格九十六圓五十錢、一ヶ年据置後四年半に隨時償還の條件で發行することに銀行團との間に契約成立した

○大分セメント、大船渡セメントを合併  
資本金七百萬圓の大分セメント會社は臨時總會に於て、大船渡セメント會社を合併、三

百萬圓を増資して資本金一千萬圓となす件を可決した (日不詳)

○第一ラミー紡績二百萬圓に減資  
第一ラミー紡績會社は資本金五百萬圓を二百萬圓に減資するに決定した (日不詳)

【十月】

一日 (水)

○帝國政府、北樺太油田地城縮小を拒絶  
日露會議は北京の露國大使館において開會され、利権の原則的條項の討議を行ひ、カラハンは北樺太油田の地城縮小を再び主張したが我代表駐支公使芳澤謙吉は斷乎拒絕し、日本は生産高の一部或は純利益の二割を勞農政府に納付することを主張したので、カラハンは勞農政府に請願することに決定した

○大阪株式取引所の整理案認可  
農商務省は大阪株式取引所の申請した左の整理案に對し預金四百五十萬圓を整理實行と共に自由預金に改めることとすべしとの條件附を以て認可した  
損失金額七百四十二萬六千七百九十三圓五錢を左の方法で補填す  
一、備立金二百八十六萬三千八百十圓五

一、重役 (島德藏) の私財百萬圓提供

一、土地評價益金三百十九萬四千九百三圓九十三錢  
一、なほ不足を生じた場合は當期の利益金三十六萬八千三十七圓一錢の内から充當

○東京市労働調査進行  
東京市は震災後の大東京建設の資料とするため本日午前零時市内十五區に互り一齊に市労働調査を行った。二十八日東京市統計課はその結果を左の如く發表した

▽人口百九十一萬七千三百人  
▽世帯四十一萬八千三百五十四世帯 (世界第五位)  
○大連犯人離脱大助の公判  
大正十二年十二月二十七日 攝政宮殿下議會開院式に行啓の御途次、虎の門において大連を企てた山口縣熊毛郡周防村代議士離脱作之進の四男大助に對する大連事件の特別公判は大審院刑事法廷において開廷されたが、横田裁判長は安事秩序を紊す虞ありとの理由で公判を禁止した。三日事實の審理を終り十一月十三日判決を言渡すこととなつた

○別子銅鑛組合組織  
住友別子銅鑛所の労働者は労働組合を組織

し日本労働總同盟に加入することに決定し、愛媛縣新居郡角野村築地場に掛小屋を設け、九百名を募集して發會式を舉行し、別子労働組合と命名した  
二日 (木)

○後藤毛織社債二百萬圓發行  
後藤毛織會社は臨時總會を開き、物上擔保付社債二百萬圓を左の條件で發行することに決定した

▽利率年一分  
▽償還期限一ヶ年据置後二ヶ年償還  
▽引受銀行神田銀行  
○平和協定書、國際聯盟會議で可決  
ジュネーブにおいて開會中の國際聯盟會議において平和協定書が附議され、佛國代表ブリアンは「協定書の最大特徴は大小國の別を置かぬことである」と聲明し、同議定書は一日夜發表され、翌二日に日本が提出した修正を含む議定書が四十七ヶ國一致を以て可決された

○後藤新平、東京市長就任を拒絶す  
東京市長に推された子爵後藤新平はその就任を拒絶すると同時に市民に對し「余と多数市民との間には常に靈感相通するを信じて疑ふことなし。何ぞその市長たるを否とによつ

てこの根本義に逕庭あらんや」との拒絶理由書を發表した

四日 (土)  
○小作争議調停役の小作官任命  
内務省は小作争議調停法施行に伴ひ大阪府外一道十六縣に配置する小作官十八名を任命した

五日 (日)  
○全國養魚者大會、魚田振興會を組織  
全國養魚者大會は靜岡縣辨天島において開會、魚田振興會を組織し、同時に國立養魚試験場の内容充實を當局に陳情する件を附議可決した

六日 (月)  
○中村長公、東京市長就任を受諾  
東京市會各派から市長就任方を懇請された中村長公は就任を受諾し、九日中村市長の就任に對し御裁可があつた  
○總同盟東同盟會分派す  
總同盟の關東同盟會と關西同盟會は五、六の兩日東京と京都において東西相呼應して大會を開き、總同盟改組の件、労働組合法案並に社會運動取締法案、無産階級政黨組織の件を附議したが、六日協同會館において開會さ



れた東京同業會は、總同盟組織改革問題に關して、二派に別れて改選非改選論を戦はし、更に労働黨組織問題に關し、議論百出、東部合同、時計工組合、印刷工組合、横濱労働組合の四組合は退場し、茲に東京同業會は分裂するに至つた

○大正赤心團員、外務省を離る

大正赤心團員渡邊祐治、大原義雄、加藤春吉の三名は外務省の大秘書官室に關入し、對支問題に關する激文を高尾秘書官に突きつけて殴打した上、器物を破壊し、更に外務大臣幣原喜重郎の不在に乗じて大臣室に押入り省員十數名を殴打したため、總督署に檢束された

七日(火)

○名古屋取引所、一ヶ月間營業停止さる

名古屋株式取引所は、取引員加藤信治が取引所以外において取引をなした行爲を稅務署に摘發され、農商務省から向ふ一ヶ月間の營業停止を命ぜられた

八日(水)

○日露通商航海條約の調印

日本とメキシコとの間に締結された通商航海條約は本日調印を了した。同條約は一千八百八十八年の條約に代るもので、兩國政府は

百八十八年の條約に代るもので、兩國政府は或互の國民が反亂や内亂のため損害を被つた場合に賠償を要求する條項を新に加へた

○東京府の中小工業助成金額決定

東京府は震災罹災者中の中小工業の復興に關し農商務省に補助の申請をなした結果、復興助成金の交付を受けることとなり大正十三年度は交付總額五十八萬圓と決定した

○輸出同業組合、海外市場發展策を審議

輸出同業組合聯合會は横濱同業復興會において開會し、農商務省の諮問案たる網織物の海外市場發展策として左の諸項に就て答申した

△金融▽貯蓄▽共同購買(原糸、絹)▽共同販賣▽共同荷造り▽共同商標▽生産調節▽恐慌時に備へる施設

○獨立銀行の支拂一擧停止

鳥取市の獨立銀行(資本金二百萬圓)は兵庫縣の共立商業銀行破綻の影響をうけ、本年八月以來取付に達し預金約八十萬圓を引出されたため、本日五十圓以下の小口預金の外支拂を停止する旨發表した

○支那の直轄軍縮議

山海關に於ける直轄軍は戰況不利に陥り、

奉天軍の追撃に堪えぬ全軍撤退を開始した

○英國議會解散

英國保守黨は下院にマクドナルド労働黨内閣不信任案を提出し、百九十八票に對する三百四十六票を以て通過したため九日議會は解散となり、十一日首相マクドナルドは本月二十九日總選挙を行ふ旨發表した

九日(木)

○對米爲替三十八弗八分の三に暴落

正金銀行は對外爲替相場維持策を放棄し三十九弗に引下げたため對米爲替建値は安値の新記録を示し、市場相場は三十八弗八分の三に崩落した

○五日會、倉庫荷役賃を引下

倉庫業者の團體たる五日會は臨時總會を開き、財界不況と爲銀の低落に鑑み倉庫荷役賃を現在の賃率より品目によつて一割乃至二割引下げることと決定し、本月二十一日から實施することとなつた

○日魯漁業、大北漁業を買収

日魯漁業會社は大北漁業會社を三百二十五萬圓で買収することに決定し兩社は正式に調印を了した。右買収代金は二ヶ年据置五ヶ年償還、年八分利附きの長期手形を以て決済し

大北漁業會社の名稱は當分存置し、漁務關係の従業員は日魯で引受け、その他の社員は三菱で引受けることとなつた

十日(金)

○貴族院制度調査會の設置

閣議に於て貴族院制度調査會を設置することと決定し、委員として内務大臣若槻禮次郎外三名を任命し、なほ必要の場合は補助委員を置くこととなつたが、主として制度組織の改革につき調査をなし、貴族院の権限縮小の如き憲法の改正に及ぼす問題は避けることとなつた

○第一回勞務統計調査進行さる

第一回勞務統計調査は本日全國一斉に行はれた。工場的事業主は十五日までに調査票に記入し二十日までに市町村長宛に提出する規定である

○高尾冷蔵會社三百萬圓發行

高尾冷蔵會社は社債三百萬圓を左の條件で發行した

△利率一割▽期限一ヶ年据置二ヶ年間に隨時償還▽引受銀行鴻池、加藤、山口、三十四、神田、藤本ビルブローカー、百十、朝鮮殖産

十一日(土)

○外務省、平和議定書を發表

外務省は第五回國際聯盟總會が全會一致可決した平和議定書の決議文と議定書全文を發表した。右議定書はその第四條第五項に於て「如何なる場合に於ても既に關係當事國の一致に依り受諾せられたる協理理事會全會一致の判告ありたる解決方法は再び之を争ふことを得ず」と規定してゐる

○外債二千二百四十萬鎊を買入納付

第一回並に第二回四分半利英債公債二千二百四十二萬二千三百四十鎊を買入代金二億三千四百八十七萬七千六百六十三圓八十六錢で國債證券買入納付法により買入納却した旨官報を以て告示された

○東洋拓殖會社一千萬圓發行

東洋拓殖會社は社債一千萬圓を引受幹事銀行の興業銀行と左の條件で發行することに契約成立した

△利率年七分▽償還期限一ヶ年据置後四年半▽發行價格九十六圓▽賣出期日十月十五日より二十日迄▽拂込期日十一月十五日▽利廻八分四毛

○石炭聯合會、送炭制限撤廃を決議

石炭聯合會は大連市外の大和ホテルに於て總會を開き、明年度の送炭調節制限を撤廢する件を可決した

十一日(日)

○荒川放水調節水式進行さる

工費二千五百萬圓を以て施工中の東京府荒川放水路は竣工し、岩淵水門によつて荒川に流れる水を防ぎ、一朝洪水の際は新荒川に放水し得る設備が完成したので、本日前午十時首相加藤高明、内務大臣若槻禮次郎等朝野の名士參列の上、同水門において通水式が舉行された

十二日(月)

○支那に滿蒙利權保全の要書交付

在北京帝國公使及び在奉天帝國總領事は帝國政府の訓令に基き「滿蒙地方に於ては帝國臣民の居住する者實に數十萬に上り、日本の投資及び企業極めて莫大なるものあり。殊に帝國自身の康寧懸りて同地方の治安秩序に存するところ頗る多し。斯の如く緊切なる日本の權利は十分尊重保全せらるべきことを最も重要視するの意を表明す」との要書を北京政府及び奉天官憲に手交した旨外務省から發表された



各省の行政財政整理内示

政府は行政財政整理案大綱の内示を水田町の總理大臣官邸において開き、首相加藤高明はその内容について挨拶を述べたが、一般會計の整理額は總額一億五千五百一十一萬五千六百八十七圓で、各省の整理額は左の如くである

- ▽外務省三百八十六萬圓
- ▽内務省三千五百七十萬圓
- ▽大藏省九百七十萬圓
- ▽陸軍省三千六百六十萬圓
- ▽海軍省一千八百萬圓
- ▽司法省二百二十萬圓
- ▽文部省一千三百二十萬圓
- ▽農商務省一千六百萬圓
- ▽逓信省二千四百十萬圓

日本青年館理事長近衛文相辭任

日本青年館理事長近衛文相は政治に關係してゐるため青年館の仕事は不適任であるとの理由で理事會に辭表を提出した

十四日(火)

郵政省、行政財政整理案の御沙汰

郵政省閣下には政府が行政財政整理をなすに當り長日月努力したことを思召され、首相加藤高明に對し御慰勞として清酒一樽並に料理百人前下賜の旨仰出された

一般會計の行政財政整理案閣議で決定

本日の定例閣議において行政財政整理に關し一般會計の整理額は左の如く決定した

- ▽經常部五千四百九十五萬八千七百四十七圓
- ▽臨時部九千六百五十五萬六千九百四十四圓
- ▽節減額六千四百五十二萬六千九百五十一圓
- ▽繰延額八千六百九十八萬八千七百三十六圓

加州支米一萬圓千總額下

農商務省食糧局は整理のため加州支米一萬四千袋(約四千三百二十一石五斗)を横濱において賣却した

逓送組合中央會、公認運上を決定

鐵道公認運送組合中央會は鐵道協會において理事會を開き、鐵道省のバス廢止問題に關し公認制度に對する當局の誠意は認め難いため公認制度を返上し、自治制によつて逓送業の改善發達を圖ることに決定した

十五日(水)

全國商工業者大會、營業稅全廢を決議

全國商工業者大會は東京ステーションホテルにおいて開會し、營業稅全廢に關する決議をなし、代表四十名は總理大臣加藤高明、大藏大臣濱口雄幸を訪問して陳情した

日本郵船社長伊東米治郎辭任

日本郵船社長伊東米治郎は社内紛糾の責任を負ひ取締役會に辭表を提出した

松屋呉服店五百萬圓に増資  
同店(資本金百萬圓)は株主總會を開き、五百萬圓に増資の件並に銀座に進出の件を可決した

男爵大倉喜八郎、百萬圓寄附

男爵大倉喜八郎は米壽賀記念として金百萬圓を左の如く寄附することに決定した  
二十五萬圓東京府養育院  
同東京大倉高等商業學校  
二十萬圓大阪大倉高等商業學校  
十萬圓京城養育學校  
二十萬圓財團法人大倉集古館

十六日(木)

中國水力電氣、播備電氣を合併

資本金九百六十二萬六千五百圓の中國水力電氣會社は臨時總會を開き、播備電氣會社を合併して九百七十五萬圓を増資し、資本金一千五百三十三萬四千圓となす件を可決した

神戸高工の開校式

神戸高等工業學校は全國著名の工業家數百名を招待し本日同校講堂において開校式を舉げた  
二十日(月)

輸出イバラ製糖の取締規則制定

輸出イバラ製糖は主として米國に輸出され年産約十萬箱、四百萬圓に達するが、輸出品中には不良品が混入してゐるため、農商務省は輸出イバラ製糖の取締規則を制定すると同時に、検査機關として日本製糖結業水産組合聯合會を設立せしめることに決定した

住友銀行ロスアンゼルス支店開業

住友銀行は米國加州ロスアンゼルスに支店を設置し本日から開業した。主として同地方に在住する邦人三萬七千人のため爲替取引をなすためである

二十一日(火)

復興局最初の區劃整理命令

東京市最初の區劃整理を行ふこととなつてゐた第六區(神田區河原)は整理に着手することに決定し、復興局は本日移轉命令を發した。復興事業計畫が樹立されてから一年目に實現したわけである

帝國電燈社債五百萬圓發行

帝國電燈社は臨時總會を開き、社債五百萬圓を左の條件で發行する件を可決した  
發行價格九十八圓  
利子年八分  
償還期限二ヶ年償還後三ヶ年に償還

川上銀行の休業

大阪の川上銀行(資本金二百萬圓)は財界不況により預金の引出し激増し、預金約七百萬圓が半減するに至つたため、帳簿整理を理由として本日から向ふ一週間休業する旨發表した

東京市電自自治會、待遇改善を要求

東京市電從業員自治會の大會は東京芝公園協同會館において開かれ、待遇改善要求書提出の件を可決した

二十一日(水)

白仁製糖所長官、製糖社長に推薦される

製糖所長官白仁武は男爵源澤榮一から、糾の責を負うて辭職した伊東米治郎の後任として日本郵船會社の社長に推薦され、就任を内諾した

明治生命の創設者阿部壽藏死去

本日午前七時三十分東京芝區白金三光町の自邸で死去した。享年七十六。舊三州吉田藩に生れ慶應義塾卒業後、同校の塾頭に推され次で文部省教授に出仕し、官命によつて保険學研究のため米國に留學、歸朝後野に下つて明治生命保險會社を創立し社長として多年保險事業の發展に貢献し、晩年は社長を辭し取

締役として同社の事業を補佐してゐた

二十三日(木)

支那大總統曹錕、北京を離出す

大總統曹錕は馮玉祥が北京入りしたため北京を脱出して奉天の和爾公使館に逃れたが、顧維鈞、吳毓麟、王克敏等は馮のため拘禁された

二十四日(金)

五分利國庫債券六千八百萬圓發行

政府は本年十一月一日償還期限の五分利國庫債券(と號)一千萬圓、同(ち號)一千萬圓、同(り號)四千二百萬圓、臨時國庫債券(り號)一千萬圓、同(ぬ號)一千萬圓、合計八千二百萬圓借款のため第十七回五分利國庫債券六千八百萬圓を左の條件で發行することに決定した

發行價格、現金應募九十一圓七十五錢、乘符應募九十一圓二十五錢  
初期利子大正十四年三月一日渡一圓三十九錢

舊制發布五十年記念の祝賀會

舊制發布五十年記念の祝賀會は東京上野の精養軒において開催され、慶祝功勞者として全國醫師會から推薦された約八百名の醫師と特別功勞者たる後藤新平、石黒忠忠、三宅秀







貿易業者、商務官職止に反対

政府は三十五萬圓の經費削減のため商務官を廢止することに決定したので、海外貿易の促進を期すべき今日、同制度を廢止するは海外貿易を不振に陥らしめるものであるとの理由から倫敦、函館、小樽、上海等の各貿易業者は反対の決議をなした

臺灣銀行監査役に瀧野定次郎就任

臺灣銀行は臨時總會を開き、監査役大倉喜八郎の辭任に伴ひ、後任に瀧野定次郎を選任した

日本電力、越中電力を合併

日本電力會社(資本金五千萬圓)は臨時總會を開き越中電力會社(資本金百二十萬圓)を合併し資本金を五千五百萬圓に増加する件を可決した

千代田商業銀行に破産の宣告

東京神田區錦町の千代田商業銀行(資本金三十萬圓)は預金五千圓不拂ひのため預金者から破産の申請を受け、本日東京地方裁判所で破産の宣告を受けた

三重高等農林学校の開校

三重高等農林学校は文部大臣岡田良平以下多數の來賓参列、講堂において開校式を舉行した

した

二日(日)

東京市電の従業員會議

東京市電の七車庫の従業員は待遇改善の要求が容れられぬため事故無しデーと稱して一斉に怠業をなし、運轉車輛数は七十九臺に止り運力は平日の半分に減じたので、市長中村是公は大道電氣局長に對し従業員の要求に對して譲歩するよう説得し、なほ警視廳も同問題に關し電氣局長に對して警告を發したが、五日電氣局長は増給は半分だけ容認し總收入の一分を増額する旨従業員に回答し圓滿解決するに至つた

大總統官廳、職表を提出

大總統官廳は、支那國務院に對し辭表を提出した

露國・波蘭間の通運協定成立

歐洲大戦以來露國と西歐諸國との間には一切貨物の運轉が禁止されてゐたが、露國は波蘭と通運協定を結んだ

三日(月)

帝國黨聯合會、黨綱合法制定を建議

帝國黨聯合會は東京丸の内商工獎勵館に總會を開き、黨綱合法制定を建議した

黨法改正とは別個に黨綱合法制定された

四日(火)

實業組合聯合會、鹽業稅全廢を決議

大日本實業組合聯合會は大阪の中央公會堂において鹽業稅全廢納稅者大會を開き「行政財政の整理緊縮に依り節減せらるべき金額は先づこれを鹽業稅全廢の費に充當せしむること」の決議を可決した

千住銀行の休業

東京府下千住町の千住銀行(資本金百萬圓)は尾三銀行の破綻のため同行への預金十五萬圓が引出し不能となり整理のため二週間休業する旨發表した

米國大統領にクリフツデ再選

大統領クリフツデは大多數を以て米國大統領に再選され、副大統領にドーズが當選した

英國内閣更迭す

總選舉の結果保守黨の勝利に歸したため英國労働黨内閣の首相マクドナルドは辭任し、保守黨の首領スタンレー・ボールドウィンが内閣を組織した

五日(水)

輸出相榎君轉任の公布

農商務省は輸出相榎君轉任規則を制定し本日の官報を以て公布した。同規則は二ヶ條から成り、検査に合格したものでなければ、弊利の目的を以てアメリカ及び英領加奈陀に榎君を輸出することを禁ずる旨、規定したものである

日通通商航海條約批准

樞密院は本日定例本會議を開き、新たに締結された日通通商航海條約御批准の件に關し審議し、委員會の審査報告通り可決した

國總の南洋礦産會社へ補償金交付

日本政府は日獨戰時補償協定に依り國總の南洋礦産會社へ第一回の補償金として百二十五萬マルクを交付した

貿易協會、商務官職止に反対

日本貿易協會は外務省の商務官職止に對し通商貿易の開發上絕對反対である旨の陳情書を提出した

青島地方銀行の取付

青島の青島地方銀行(資本金百萬圓)は取付に連ひ、預金者と紙幣交換希望者が殺到したため軍隊が出動し現金の拂出しを差止めた

馮玉祥は北京の政權を掌握すると同時に前

清朝の廢帝宣統帝の慶遇を停止し、舊皇居よりの退去を迫つたため、宣統帝は實父醇親王邸に居を移した

六日(木)

東洋拓殖會社の總變更

東洋拓殖會社總裁宮尾舜治は本日辭任し、その後任として、八日元滿鐵理事久保田政周が總裁に任命された

二重橋爆彈事件の判決

二重橋に爆彈を投ぜんとした捕はれた朝鮮慶尙北道安東郡豊北面王参洞、高麗共產黨員金社燮、長崎縣佐賀郡新北村秀島廣二、同縣南高來郡口津村小林國、同縣島里郡、同縣小島一五名にかゝる爆發物取締規則違反事件は東京地方裁判所において金は無期懲役、小林は懲役三年、黒島、小林(寛)は各懲役六ヶ月、秀島は懲役七年の判決官渡があつた

七日(金)

東京府の住宅資金借付認可

東京府が申請した住宅資金として五百八十九萬圓起債の件は大蔵省から認可された

東京製鋼會社は事業資金として社債百五十萬圓を左の條件で發行することに決定した

▽利率年八分▽發行價格九十八圓五十錢▽償還期限一ヶ年据置後四ヶ年▽利率八分四厘二毛強▽引受銀行第一、三井、神田

畫田畫主唱の畫業研究所創立

男爵益田孝が主唱者となり北里榮三郎、磯村豊太郎、池田成彬、門野幾之進、林毅雄、桐島像一、北島多一、森村開作、今村繁三等の贊助により十萬圓の寄附金を以て慶應義塾の贊助により十萬圓の寄附金を以て慶應義塾の贊助の一部として畫業研究所を創立することに決定し、その準備會として畫業研究會を組織し益田男自ら會長となり慶應病院において發會式を舉行した

鴻池の小作争議解決す

鴻池新田の小作争議の調停に關し調停者たる梶小作官の斡旋によつて本日大阪府會議事堂において兩者會見、小作人側は前年度の未納小作料は一段に付二斗を引き、更に争議費として同情米五斗(鴻池側は三斗を主張)を引き、殘餘を豊凶を論ぜず十四年度より向ふ五ヶ年間に年賦完納すること(鴻池側は十三、四年度に完納を主張)の條件を主張し、地主側は未納米を十三、四、五の三年間に完納すること、譲歩せざるも、双方の意見譲らず調停は決裂したが、翌八日に至り前年の未納米一段



に付五斗(内同精米三斗)を引き残餘を十三  
四、五の三ヶ年間に分納することの條件を以  
て解決した

○露國政府、北滿の領土權を宣言

露國外務委員チネリンは各國政府に對し  
「シベリア以北の北滿洋にある諸島はソウエ  
イト領であることを茲に宣言する」との通告  
を發した

八日(土)

○臨時國庫債券五千三百萬圓借替發行

政府は八日期満了の臨時國庫債券(な號)  
五千三百萬圓を左の條件で借替發行すること  
に決定した

▽割引歩合日歩一錢七厘▽支拂期日大正十  
四年五月八日▽發行方法預金都引受

○日本郵船社長に白仁武就任

日本郵船社は重役會を開き互選の結果、  
七日の臨時總會で取締役に當選した前製鐵所  
長官白仁武を社長に選任した

九日(日)

○滿洲に鐵道總業勃發

滿洲鐵道の從業員は賃銀値上要求が容れら  
れぬため七日夜總同盟罷業決行を宣言し、本  
日から一齊に交通は杜絶するに至り、僅かに

食糧を輸送する列車が運轉されるのみで、滿  
洲經濟界は大恐慌を呈した

○國庫債券一千五百萬圓發行

政府は大正十三年度の鐵道復舊費に充てる  
ため五分利國庫債券(第十八回)一千五百萬  
圓の第三十一回郵便局賣出しを行ふことに決  
定し、本日の官報を以て左の條件を告示した

▽發行價格額面百圓に付九十一圓三十錢▽  
償還期限大正二十一年六月一日迄(七ヶ年  
半)▽賣出期間十一月二十五日より十二月  
十日まで▽利率日歩六分七厘

○火災保險助成金の剩餘金返付命令

震災による火災保險會社の出捐金に對する  
政府の助成金交付額は責任支出六千五百萬圓  
を概算拂ひとしたが、精算の結果總額六千三  
百七十三萬圓と決定したので、政府は各社に  
對し概算拂ひの剩餘金返付方を命じた。十三  
年度中に納付せしめる額は東京、千代田、豊  
國の三火災保險會社で、合計五十一萬五千三  
百六十六圓七十二錢である

○朝鮮殖産債券一千萬圓發行

朝鮮殖産銀行は殖産債券一千萬圓を左の條  
件で發行することに決定した

▽利率年八分▽發行價格額面▽償還期限二  
年に發行すること決定した

○三雲造船所、職工百名を解雇

長崎の三雲造船所は製鐵職工百名を解雇し  
辭職年限に依り三十日乃至百二十日分の日給  
及び歸郷旅費を支給した

十三日(木)

○全國實業團體、商務官存続を陳情

東京商業會所會頭藤山雷太は全國商業會  
議所聯合會並に日本經濟聯盟會を代表し、日  
本工業俱樂部代表大橋新太郎、東京商業會  
所會頭山科慶藏、日本貿易協會代表磯村豊  
太郎、殖産善重郎、東京實業組合聯合會長星  
野鶴と共に首相官邸に加藤高明を訪問し、商  
務官存続に關する建議書を提出すると共に「  
實業においては海外振興の地に通じ商務官を  
配置し輸出の振興に多大の効果をあげてゐる  
實情に鑑み、廢止することは不可であるのみ  
ならず寧ろ商務官制度は擴張すべきである」と  
陳情した

○滿鐵團長に大平勲就任

大阪の實業家大平勲は滿洲鐵道會社の  
團長に任命された。同氏は佐賀縣の吉野川  
水力電氣會社の代表取締役として歐米に漫遊  
し去る四月歸朝した人である

○北海鐵道社債二億萬圓發行

北海鐵道會社は札幌、沼の間の建設費  
に充當するため社債二億萬圓を左の條件で發  
行することに決定した

▽利率年八分五厘▽發行價格九十八圓▽償  
還期限一年償還後二年間に隨時償還▽利息  
九分三厘五毛強▽引受銀行小池、藤本及び  
山一合資會社

○大逆犯人藤波大助處刑

大逆犯人山口縣熊毛郡防村藤波大助は大  
審院刑事第一號大法廷において本日午前十時  
横田特別裁判長から死刑の判決を受け、十五  
日午前東京市ヶ谷刑務所において死刑を執行  
された

十四日(金)

○興業銀行、國庫債券五千萬圓を借入

日本興業銀行は十五日償還期限の西原借款  
五千萬圓の償還資金に充當するため去る九月  
米國において外債を募集し、その身替り金五  
千萬圓を内地において受取ると同時にこれを  
臺灣銀行、朝鮮銀行等へ一時融通してゐたが  
本日回收し、十五日償還した

○電氣協會、供給區域擴張反對を決議

電氣協會は東京丸ノ内日本工業俱樂部にお



いて臨時總會を開き、政府の電氣供給區域制限撤廃に關し「電氣事業の供給區域及び電力制限に關しては現狀維持を望む」との決議を可決した

十五日 (土)

○政務、執政に就任

段祺瑞は張作霖、馮玉祥、盧永祥に推され支那の最高統治権を握る執政(大統領以上の権限を有す)に就任することに決定し、臨時執政制は二十四日公布された

○メキシコの邦人漁業権取消

メキシコのローア・カリフォルニアの北部地方知事アベラード・ロドリゲスは日本人の所有してゐたローア・カリフォルニア沿岸の漁業権全部を取消す旨の通告を發した

十七日 (月)

○日官銀行の破産

栃木縣佐野町の日官銀行(資本金十萬圓、明治三十二年創立)は大正九年以來財界不振のため整理つかず、本日宇都宮區裁判所において破産の宣告を受けた

十八日 (火)

○復興債券収入金二千萬圓の使途決定

大藏省は大正十三年度復興貯蓄債券の収入

金二千萬圓の使途に關し省議を開き、一千萬圓を地方經濟復興資金に、一千萬圓を震災地の復興資金に充當し、中七百萬圓は東京市に三百萬圓は横濱市に、夫々市の保證の下に各實業組合に貸付けることに決定した

○關原炭坑建設し死傷二十二名

關原炭坑建設時村大日本炭礦會社の關原炭坑において瓦斯爆發し坑夫二十二名は死傷した

十九日 (水)

○農工銀行大會、早害資金融資を陳情

全國農工銀行大會請願委員會は、早害救済資金融通に關し當局に陳情する件を可決し、大藏省に對し一日も早く融資の途を講ぜられたいと陳情した

二十一日 (金)

○交換所聯合會、爲替暴落防止策を決議

全國交換所聯合會は東京丸ノ内の銀行集會所において委員會を開き、全國二十一の交換所中十六交換所から委員五十八名出席して松江手形交換所の聯合會加入の件を可決し、大で聯合總會を開き池田成彬座長席に着き、百七十名の會員出席し、政府の行政財政整理並に爲替暴落防止策に關し左の決議を可決した

一、政府はその聲明せる行政の整理、財政の緊縮を徹底的に勵行し非暴論主義を遂行すること  
二、外國爲替の暴落に對しこれが根本的防止策を講ずるを以て急務となすこと  
○大阪府から震災義捐金百萬圓寄附

大阪府は震災義捐金の残額百萬圓(東京市へ七十五萬圓、横濱市へ二十五萬圓)を寄附することに決定したので、兩市は大阪府の希望によりセツアルメントを建設することとなつた

○北海道拓殖東京支店員、六十萬圓を横領

東京日本橋區元四日市町北海道拓殖銀行東京支店出納係主任緒方學は、帳簿保川邊鐵五郎と共謀して金庫に保管してあつた有價證券六十萬圓を持出し、株式ブローカーの手で現金に替へ遊蕩に費消してゐたこと發覺し市ヶ谷刑務所に收監された

○日本絹織會社女工の食糞

滋賀縣滋賀郡石山村栗津原の日本絹織會社(資本金一千萬圓)の女工五百餘名は、會社が日給制度を請負制度に改めたため日給制度の復活を要求したが容れられぬので一齊に怠業をなした

○英國、英露協約破産を通告

英國外相チエンパレンは勞農露國代表ラコウスキーに對し、英國はジノヴィエフが英國共產黨に送つた書翰を眞正なもの認め、前内閣の締結した英露協約は承認し難い旨の通告を發した

二十二日 (土)

○關東銀行の休業

東京渋谷の關東銀行(資本金百萬圓)は東京交換所から代理交換を拒絶されたため、本日から向ふ二週間整理のため休業する旨發表した

○帝都學生代表、軍事教育反對を決議

拓殖大學と水産講習所の二校を除く東京市内各大學、專門學校の學生九百名は九段坂下の牛ヶ淵公園に集結して勢揃ひをなし文部省に出頭、早大、専修、明大、日本醫專から四代表を選び文部大臣岡田良平に面會し「吾人は學生の軍事教育に絕對に反對す」との決議文を手交した

○大連鐵道信託重役、社金三十萬圓を横領

大連鐵道信託會社の事務取締役神崎常一は社金三十萬圓を横領したこと發覺、大連刑務所に收監された

二十四日 (月)

○國民銀行外三行に新規取引停止命令

大藏省は整理不能の理由を以て國民銀行(資本金百萬圓、東京)日東銀行(資本金五十萬圓、同上)早稲田商業銀行(資本金三十萬圓、同上)能登實業銀行(資本金二十萬圓、石川縣)の四行に對し新規取引を停止する旨通告した

○三河水力電氣會社の創立

三河水力電氣會社(資本金二百萬圓)は東京丸ノ内の海上ビルに創立總會を開き、左の役員を選任した

△社長松永安左工門▽取締役角田正喬、結城安次、内藤兼喜▽監査役田中徳次郎、深見林右衛門

○東京市電、女車採用に決定

東京市電氣局は財政整理と乗客の感情融和のため女車掌を採用することに決定した。募集人員は約五百名、實施期は大正十四年五月である

二十五日 (火)

○帝國經濟會議外國委員會廢止

行政整理實施に伴ひ帝國經濟會議、臨時大都市制度調査會、臨時神戸港設備委員會、臨

時門司港設備委員會の官制は廢止することに決定し、右廢止の勅令は本日の官報號外を以て公布された

○行政財政整理に關し加藤首相の訓示

總理大臣加藤高明は行政財政整理の要旨並に將來の基準に關し「苟も處務の整理に關するものにして法令の改廢を要するものは速かに案を具し、然らざるものは速に決定を終へ各之が實行に着手せんことを望む」との訓示を本日の官報號外を以て告示した

○航空取締規則の改正

逓信省は航空取締規則中改正を加へ本日の官報號外を以て公布した。第十條中「航空局長官は定期又は臨時に航空機の検査を爲すことを得」とあるを「航空長官」を「逓信大臣」に「ことを得」を「ことあるべし」と改めた外數ヶ條に改正を加へたものである

○關東銀行の休業

神奈川縣藤澤町の關東銀行(資本金百五十萬圓)は大藏銀行の支拂停止の餘波をうけ取付に違ひ、整理のため十二月七日まで休業する旨發表した

○東京土地住宅會社百五十萬圓を増資

東京土地住宅會社(資本金三十五萬圓)は



臨時總會を開き資本金を百五十萬圓に増加する件を可決した

臨時總會の刷新内閣成立

段原瑞を執政とする支那の新内閣は左の如く決定した

外交總長唐紹儀 財政總長李思浩 海軍總長林建章 教育總長王九齡 交通總長葉恭綽 内務總長饒心湛 陸軍總長吳光新 司法總長章士釗 農商總長楊庶堪

二十七日 (水)

臨時總會の刷新内閣成立 全國町村長會主催で義務教育費國庫負擔増額期成同盟會の發會式を東京丸の内中央亭において舉行し、來年度において國庫負擔増額實現達成を期する旨の決議を可決した

二十七日 (木)

山東團の發進準備 支那團に關し山海關方面警備のため關東軍から派遣された歩兵一旅大隊と機關銃一營小隊は、御我可を仰ぎ、原隊に復歸することに決定した

臨時國庫債券二千萬圓借發行

政府は來る十二月一日償還期限の臨時國庫債券(ア、ハ號)二千萬圓を左の條件で借發行することに決定し、本日官報を以て告示した

發行することに決定し、本日の官報を以て告示した

發行價格額面百圓に付九十三圓八十錢

償還期限大正十八年九月一日 利率年五分 利率六分七厘餘

第一信託、日本金融信託の設立認可

大藏省は信託法に依り第一信託會社(資本金百萬圓、東京)日本金融信託會社(資本金百萬圓、金澤)の設立を認可する旨指令を發した

大阪瓦斯、大阪會社工業を合併

大阪瓦斯會社(資本金一千萬圓)は臨時總會を開き大阪會社工業會社(資本金百八十萬圓)を合併し、更に資本金を一千七百萬圓に増加する件を可決した

東京電氣の組織見直し認可

同社(資本金四百五十萬圓)は鐵道起業目録見直しを認可され、建設費四百五十萬圓を以て京都府宇治郡宇治村、奈良縣生駒郡伏見村同延長十五哩六十四圓及び建設費百五十萬圓を以て支線延長六哩四十八圓を敷設することとなった

日本交通運輸聯盟の成立

東京市電自治會(八千名)、東京市電工場聯

合會(二千名)、横濱市電共和會(千名)、大阪交通運輸組合(五百名)、京都市電向上會(百名)の五團體を打つて一九とした日本交通運輸聯盟は大阪の中央公會堂において創立總會を開き、宣言綱領を決定、我國に於ける交通運輸組合最初の大聯合會が結成された

二十八日 (金)

東京電氣建設認可 大正十一年十月起工した東京本郷上高土前町の東洋文庫(建坪百九十二坪、二階建書庫及び四階建本館、鉄筋コンクリート)は本日竣工した。同文庫は男爵岩崎久彌が百五十萬圓を投じて建築費と圖書蒐集費に充て、なほ大正六年三萬五千圓を以て購入したモリソン文庫を寄贈、更に二百萬圓を支出して同文庫を財團法人東洋文庫と命名し土地建物一切を寄附したもので、文庫の經營は理事長井上準之助外四名の評議員に寄託された。圖書約五萬冊、東洋に關する珍籍が多い

二十九日 (土)

東京電氣建設認可 財團法人東京電氣放送局(總裁後藤新平、資本金三十萬圓)は設立認可申請中のところ本日逓信省から認可された。敷地は愛宕山上

の公園地の八百坪と決定し、假事務所を丸の内三番ビル二十一號館に設置した

東京電氣會社(資本金二千萬圓)は臨時總會を開き、一千五百萬圓に減資し、更に西電氣會社(資本金三百五十萬圓)を合併し一千八百五十萬圓に増資する件を可決した

小野田セメント一千三百萬圓に増資

資本金七百八十萬圓の小野田セメント會社は、額面六十萬圓の株式を額面五十萬圓として資本金六百五十萬圓となしたうへ、更に倍額増資して資本金一千三百萬圓となった

東京電氣會社(資本金二千萬圓)は臨時總會を開き、三百萬圓に減資して整理する件を可決した

宣統帝、日本公使館に謁見

前清朝の宣統帝は馮玉祥等の干渉に堪へ兼ね北京の日本公使館に遊歴された

三十日 (日)

小野田セメント一千三百萬圓に増資 資本金七百八十萬圓の小野田セメント會社は、額面六十萬圓の株式を額面五十萬圓として資本金六百五十萬圓となしたうへ、更に倍額増資して資本金一千三百萬圓となった

東京電氣會社(資本金二千萬圓)は臨時總會に於て二百萬圓に減資の件を可決した

多摩川水力電氣七十五萬圓に減資

多摩川水力電氣會社(資本金一千萬圓)は臨時總會を開き、株式買入銷却により資本金を七百五十萬圓に減資する件を可決した

【十二月】

一日 (月)

小作調停法の實施 小作調停法は本日から實施され、同時に小作調停の手続並に小作調停法施行外地區指定に關する勅令も施行された

東京市復興委員會、都市計畫事業可決

東京市復興委員會は總會を開き、都市計畫事業に市有地を無償供用の件及び土地區畫整理地區編入に關する件を可決し、都市計畫事業費支出及び年度割は未決のため委員附託となった

安田貯蓄銀行、福岡貯蓄銀行を合併

安田貯蓄銀行(資本金四百三十五萬圓)は臨時總會を開き福岡市の福岡貯蓄銀行(資本金百萬圓)を合併し五百三十五萬圓に増資する件を可決した

加瀬屋銀行の整理成る

東京神田連雀町の加瀬屋銀行(資本金二十萬圓)は震災の打撃のため休業し整理

中であつたが整理完了し、本日から貯蓄部が預金者に對し半價の換戻しを開始した

二日 (火)

臺灣銀行は一千五百萬圓の限外發行を大藏省に認可申請中のところ本日認可された

三日 (水)

横濱商會、生鮮貿易獎勵法を廢止 横濱商會會議所會頭井坂孝は原高太郎と共に永田町の首相官邸に總理大臣加藤高明を訪ひ、横濱の生鮮貿易獎勵法に關し陳情した

四日 (木)

日本船主協會、海運團體を決議 日本船主協會は大阪において海運團體に關する決議事項について總會を開き「航海獎勵に關する件を至急實行せられたこと」外三件を可決し、日本郵船、大阪商船、東洋汽船松田汽船等から實行委員二十三名を選出し、當局に陳情することに決定した

五日 (金)

森林測候所十五ヶ所を廢止 農商務省は行政整理のため日光森林測候所外十四ヶ所の森林測候所を去る十一月三十日限り廢止した旨本日同省告示を以て發した



◇鐵工總聯合會、工業政策に關し決議

全同鐵工總聯合會は東京丸ノ内の帝國鐵道協會において大會を開き「鐵工業現下の不振に鑑み内地製品の保護獎勵をなすは最も切實なる工業政策なりと認め極力之が實現を期す」との決議をなした

◇日本郵政振興會、一萬三千六百名を解雇

川崎市日本書器製鐵會社は世界不況のため生産過剰を感れ職工五百名の四百三十六名を整理し、最高一千二百圓、最低六十圓の解雇手當を支給した

◇東京相互利殖社、六十萬圓を詐取

東京麹町區一丁目東京相互利殖會社の社長永島千代吉は振替貯金の名目の許に約三萬人から百六十五萬圓を詐取し、商法違反詐欺文書偽造行使罪として東京地方裁判所検事局に召喚された

六日(土)

◇露國の外國紙幣使用禁止と歸國の損害

浦鹽の勞農官憲は滿東革命委員の命令により五日からチエルフネツ紙幣の外一切外國紙幣の使用を禁止したため、朝鮮銀行は約六百萬圓の損害を受けた

◇東京印刷工總會、南光社を襲撃

◇東京牛込區失來町法政時報社の印刷所南光社に三名の職工を解雇し六ヶ月分の手當を要求されたが拒絶したため、東京印刷工總會の職工八十名は大舉して南光社を襲撃し、工場事務員を殴打して社長小益剛之方の家財を破壊し、首謀者二名は神樂坂署に檢擧された

七日(日)

◇明治文化發祥の記念會

大日本文明協會主催の明治文化發祥の記念會は大隈會館に於て開催され、限定會員四百名多集し、會長大隈重信の式辭、外交團代表英國大使エリオットの祝辭あり、明治文化に貢献した外人四百名に對し顯彰を行ひ、明治初年に於ける珍しい書籍と繪畫を陳列し一般の觀覽に供し、鎌田榮吉、井上哲次郎、姉崎正治、後藤新平等の記念講演があつた

八日(月)

◇關東省會第一回臨時議員會開催

内務省社會局は行政整理によつて離職する者の救済策を講ずるため各省常局者を委員に舉げ、離職者職業紹介に關する協議委員會の第一回會議を社會局において開催し、求人開拓其他の件について打合せをした

◇關井羽二重の同盟休業

◇關井縣江羽二重産産販賣組合は輸出羽二重の原料糸高と製品安により不振に陥つたため市價維持策について協議會を開き、本月十一日から向ふ一週間同盟休業することに決定した

九日(火)

◇東華生命保險會社を襲撃

東華生命保險會社(資本金百萬圓)は保險契約の解除數多きため、不當契約の多いのに起因するものであるとの理由から農商務省より戒告を受けた

◇逓信省の從業員待遇改善問題解決

逓信省は從業員の待遇を改善するため郵便料値上を断行しその財源に充てることを主張したため、鐵道大臣仙石貢は逓信大臣大藏省を訪問し、郵便料金の値上は相當議論の存するところなれば見合せられたいと居中調停に出で、結局逓信省の収入増と利餘金により年額五百二十六萬圓(内百萬圓大藏省支出)を以て一割増給することに決定し解決した

◇梓川電力會社の創立

長野縣の梓川電力會社(資本金三百萬圓)は創立總會を開き、左の役員を選任した  
▽取締役小坂順造、小田切善太郎、城壽三

郎、丸山盛雄、花岡俊夫、高橋保▽監査役 諏訪部庄左衛門、飯島正一、名取和作、岸義雄

◇北京公使團、支那政府に警告

北京公使團は支那政府に對し、友誼的精神に基いて特に條約を尊重し義務を履行すべき旨の長文の警告を發した

十日(水)

◇損失金繰の損害分擔問題解決

震災によつて焼失した生糸の損害分擔問題につき横濱の生糸問屋側と諸外國館側との間に折衝中であつたが、外國商館側は看買済みのもの七十萬圓を三期に分けて支拂ひ支拂期日(大正十四年十二月二十二日)迄の全部に年六分の利子を附すとの回答をなし解決した

十一日(木)

◇復興債券收入一千萬圓の運用方法決定

第一回復興債券の收入一千萬圓の運用方法に關し大藏大臣官邸において初協議會を開き、地方産業資金に五百萬圓、震災地公營住宅建築資金に百萬圓、建築及び産業資金に三百萬圓、耕地整理組合、漁業組合、産業組合の復興資金に百萬圓を支出するに決定した

十二日(金)

◇特務艦「關東」沈没す

特務艦關東(一萬一千噸)は教習港を距る十二海里の關井縣津の浦海岸に於て風浪のため坐礁沈没し、乗組員二百八名中、艦長島野圓一以下九十八名は救助されたが、百六名は溺死を遂げた。同艦は明治三十三年デンマークで建造された舊露國の軍艦で、日露戰爭の際我國が鹵獲したものである

十三日(土)

◇大阪放送局許可さる

社団法人大阪放送局は去る十一月一日設立申請書及び無線電話施設願を逓信省に提出したが、本日許可された。十五日創立總會を開き資本金を二十五萬圓とすることに決定した

◇工業俱樂部、關稅政策を建議

日本工業俱樂部は理事會を開き、關稅政策に關し見越輸入を防遏すると同時に關稅に關する審議機關を政府部内に設け、政府の諮問に應ずると同時に自らその調査に任ずべしとの決議をなし、政府に建議した

◇農商銀行に破産宣告

東京麹町區三丁目の昌榮銀行(資本金百五十萬圓)は債務七十五萬圓、回收不能額九十萬六千三百圓に上り、東京區裁判所に於て破

産の宣告を受けた

◇二千萬圓規模の高倉三有聯

大阪市南區天王寺小宮町大阪堂島米穀取引所理事長高倉三は紙勇藏、鈴木庄三郎、岡島喜久郎と共に謀して堂島取引所から二百二十萬圓、積善銀行から一千八百五萬圓、合計二千七萬圓を横領し、大阪地方裁判所において豫審中のところ、本日有罪と決定し公判に附された

◇米國勞働總聯盟會長ゴムバース死去

サミエル・ゴムバースはメキシコのサン・ルイス・ポドン郊外で死去した。享年七十四。一八五〇年ロンドンに生れ、渡米後靴工となり一八九七年に勞働聯盟を組織し會員數三百萬人に及び勞働者の父として尊敬された

十四日(日)

◇日本農民組合、無産政黨組織に決定

日本農民組合は無産政黨組織に關し大阪市北區野田の同組合本部に政黨準備委員會を開き、關東、關西の代表三十名出席、政黨の構成分子、組合幹部と政黨幹部との區別、政黨運動費は黨員の負擔寄附に依ること、一月中旬から二月下旬迄に全國一齊に政黨組織を宣傳すること、政黨の名稱は創立まで「無産政



第一と稱すること等を決定した

日佛會館の開設式舉行

日佛文化に協同研究と佛國人の宿舍提供等の機關として日佛會館は東京永田町の村井吉兵衛の別邸を借受けて開館し、東京九ノ内日本工業俱樂部において開館式を舉行し、理事長代理古市公成は設立の趣旨と經過について述べるところあつた

農務省、海關自由港條例を公布

農務省は海關自由港に關する十三ヶ條より成る條令を公布した。同條令は稅率委員會において海關經由通過を禁止せぬ貨物で相當の貨物證明書を有するものは輸送貨物として許容する旨を制定したものである

十五日 (月)

國務院、行政整理に關し警告

國務院の精査委員會は政府の行政整理に伴ふ各省の官制に對する改善に關して審議したが、行政財政の整理に無理な點形からずとして左の警告的決議をなした

一、今回の行政整理は整理に急なるため無理なる點多く緩急甚だその度を得ざるの點が多い

一、整理に際して政府はその職任の數に對

し何等豫測的救済を有せず

一、政府は官制の改正によつて生ずる人員以上の人員整理を行つてをり、その理由とするところは剩餘金を居残りの官吏に對する増俸並に賞與に充當することであるが、斯くの如きは實に政府の態度として言語道斷である

大連市代市長に杉野三郎就任

關東廳通信局長杉野三郎は大連市會において初代の市長(去る十一月市制施行)に推選され、就任することに決定した

香川縣の小作争議紛糾

香川縣香川郡太田村の小作争議は紛糾し、小作人の無断稻刈取りは窃盜であるとの見解により高松地方裁判所檢事局は小作人二十數名に拘引狀を發し、刈取運動のリーダーとして出頭した日本農民組合の顧問辯護士若林三郎も起訴收容されたので、労働總同盟から鈴木文治、日本農民組合から杉山元治郎が小作人側援護のため出頭した

前大連總督の秘書長李彦青死刑

李彦青は國民軍總司令部の手に捕縛されて軍法會議に附され、朝紀紊亂、越權行爲の理由を以て本日死刑に處せられた

獨逸内閣のマルクス内閣辭職

獨逸現内閣の與黨である中央、人民、民主の三黨は議會において過半数を得ぬためマルクス内閣は總辭職を執行したが、後繼内閣の主張社會民主黨首領ヘルマン・ミュラーは二十日組閣不能に陥つたため、マルクス内閣は大正十四年一月上旬の議會開會まで留任することとなつた

十六日 (火)

三井銀行、外國業務部を新設

三井銀行は外國業務を一層發活に取扱ふため従来の合名外國課の外に本店に外國營業部を新設し部長に本木隆吉(横濱支店次長)、次長に村井恒(外國課勤務)を任命した

十七日 (水)

日本船主協會の更迭

日本船主協會は理事會を開き會長伊東米治郎の後任として三井物産會社の常務取締役川村貞次郎を選任した

大同電力の大井發電所送電開始

大同電力會社の大井發電所(四萬二千九百キロ)は本月五日當局の檢査終了し送電を許可されたので本日大阪方面への送電を開始した。同社の發電力は火力十萬五千キロ、水力

十九萬七千五百キロとなつた

十八日 (木)

文政審議會、師範教育改善案を可決

文政審議會の師範教育改善案特別委員會は文部大臣官邸において開會され委員長山川健次郎以下出席し、改善案案審議の結果

一、當局は師範學校職員待遇改善の途を講ぜられたし

二、師範學校卒業生に對して高等教育を受ける途を拓かれたし

との附帯決議をなし、師範教育改善の原案を可決した

外務次官兼平信館、駐米大使に任命

植原前駐米大使の後任として外務次官松平恒雄が駐米大使に任命された

十九日 (金)

臨時權衡會議、各省の整理案を可決

各省の行政整理案を決定すべき臨時權衡會議は本日午前十時から宮中東溜の間において開會され、議長濱尾新以下出席し、御諮詢案たる各省官制通則中改正の件(各省參事官廢止)等十四件の審査をなし「政府は宜しく將來の措置を誤らず、整理の趣旨を貫徹し、一方出來得る限り之に依る失業者救済の方法

に留意せられ充分行政事務の刷新、能率の増進を圖られ度し」との警告的希望條件を附し整理原案を可決した

國有鐵道運轉規程の公布

鐵道省は國有鐵道運轉規程を制定し本日の官報を以て公布した。同規程は百四十四條から成り、第四十二條に於て「車輛は之を列車と爲すに非ざれば停車場外の本線路を運轉することを不得」と規定し列車運轉に關する規則を制定したもので、大正十四年五月一日から實施することとなつた

秀英會の債權増資

秀英會(資本金二百萬圓)は東京九ノ内生命保險協會において定時總會を開き、資本金を倍額の四百萬圓に増加する件を可決した

川上銀行の整理成る

大阪の川上銀行(資本金二百萬圓)は整理のため去る十月二十一日以來休業中のところ整理成り本日から開業、預金の支持ひを開始した

大正信託會社の整理認可

大阪の大正信託會社(資本金三百萬圓)は大藏省から營業認可の指令を受けた

二十日 (土)

行政整理の實施

政府の行政整理に伴ふ各省の官制改正は本日の官報號外を以て公布され、即日實施された。そのため内務省は高等官百四十八人、列任官一千七百八人、合計一千八百五十六人を淘汰し、各省の淘汰人員は合計一萬六千人に上つた。加藤友三郎内閣當時の整理人員に比し八千人少いわけである

税關官制改正の公布

政府は港務行政の統一を圖るため税關官制に改正を加へ、監關部と港務部に部長を置き事務官中より部長を選任し、税關長は六人とすることに改め、本日の官報を以て公布した

整理節減の十年度豫算內示會に提案

政府は整理節減を實行した大正十四年度豫算案を本日の豫算內示會に提示した。同豫算額は歳入歳出各十五億二千四百四十萬五千三百二十八圓で、大正十三年度に比し九千九百萬圓を減じ、整理した金額は一般會計において一億五千二百萬圓、特別會計において一億三千萬圓であると、大藏大臣濱口雄幸は説明した

富士瓦斯紡績、協同紡績會合併

富士瓦斯紡績會社(資本金四千五百二十萬



○臨時總會を開き協同紡績會社(資本金五百萬圓)を合併し、資本金を四千五百五十萬圓に増加し、借入金一千萬圓を整理するた  
め年八分以下の利子で社債一千萬圓(條件は  
重役に一任)發行する件を可決した

○神戸電機製作所の減資  
同社(資本金百萬圓)は臨時株主總會を開  
き、資本金を十四萬二千二百圓(全額拂込)  
に減少の件を可決した

二十一日(日)

○岡山縣の小作争議

岡山縣赤穂郡豊田村、石生村の小作地四百町歩(岡山市有松原一郎外五名所有)の立毛の假差押を行ひ地主側の人夫六百人が刈取りに着手したため、小作人一千六百名は手に手に獲物を携へて出陣し、吉井川を挟んで形勢不穏となつたので瀬戸、和氣兩署は岡山署の應援を得て警戒に當つた

二十一日(月)

○日本銀行、震災手形再割引利率引下

日本銀行は従來二錢四厘であつた震災手形の再割引利率を二厘引下げ二錢二厘に改正した。引下げの理由は、勅令の趣旨に基く大蔵省の方針に従ひ震災による損害の回復を圖り

安易に財界の恢復を促進するためである。割引利率の引下げにより再割引の要求増加し二十七日までに一億二千萬圓に達した

○三井、岡山電太等に五十五萬圓請求訴訟

三井銀行代表三井源右衛門は辯護士青木徹二を代理人として東京九ノ内東京會館代表者藤山雷太並に横濱市の平沼亮三を相手取り約東手形金五十五萬圓請求の訴訟を東京地方裁判所に提起した

二十三日(火)

○農工銀行の無擔保貸付制

大蔵省は農工銀行の十人以上(農業者、工業者、漁業者)連帯無擔保、貸付額を一口二萬圓以内に止むべき旨各府縣農工銀行の監察官(府縣内務部長)に通達した。右の制限は多額の貸付は營業上危険の虞れあるがためである

○日清製粉、讚岐・九州兩製粉を合併

日清製粉會社(資本金一千萬圓)は臨時總會を開き、讚岐(資本金百萬圓)九州(資本金百萬圓)兩製粉會社を合併し、資本金を一千二百萬圓とし、なほ社債四百五十萬圓(利子その他の條件取締役に一任)發行の件を可決した

電気化學工業、和賀水電を合併  
電気化學工業會社(資本金一千六百五十萬圓)は株主總會を開き、五對四の條件を以て和賀水力電氣會社(資本金六百萬圓)を合併し、一千七百五十萬圓に増資する件を附議可決した

○内地人口五千萬餘萬人と發表

内閣統計局は本日の官報を以て去る十月一日現在の推計内地人口を左の如く發表した  
▽男二千九百六十二萬二千二百人▽女二千九百五十一萬六千七百人▽合計五千九百九十三萬八千九百人

二十四日(水)

○林政同志會の組織

貴衆兩院の有志發起となり林業の發達と林政の改善を圖るため林政同志會を組織することに決定した

○日清製粉、讚岐・九州兩製粉を合併

日清製粉會社(資本金一千萬圓)は臨時總會を開き、讚岐(資本金百萬圓)九州(資本金百萬圓)兩製粉會社を合併し、資本金を一千二百萬圓とし、なほ社債四百五十萬圓(利子その他の條件取締役に一任)發行の件を可決した

日本とギリシャとの間に締結された通商航海條約は本月十日を以て第一回暫定取極期限が満了となつたが、第二回暫定取極が本日の樞密院會議において可決され、大正十四年二月末日まで効力を持續することに決定した

○大蔵省、早稲穀資金一千萬圓融通

大蔵省は去る八月中の各府縣に於ける早稲穀資金として一千萬圓を融通することに決定、本日その手形を發行し、一部は各府縣を経て公共團體に、一部は各府縣農工銀行を通じて農業、漁業の各組合に融通することとなつた

○全國銀行に預金協定遵守を要請

大蔵省は日本銀行に對し預金協定を厳守せしめるよう通牒を發した。日銀は全國の預金協定組合銀行に同様趣旨の通牒を發した。因みに東京組合銀行の預金協定は左の如くである

- 甲種銀行▽定期預金年六分▽當座預金日歩六厘▽特別當座同一錢二厘▽通知預金同一錢二厘
- 乙種銀行▽定期預金年六分五厘▽當座預金日歩七厘▽特別當座同一錢三厘▽通知預金同一錢三厘

大正十三年十二月

なほ組合加入銀行は違約處分を受けた銀行と共同業務若くは取引を爲すことを禁じられてゐる

○東京放送局の放送開始決定

東京放送局は本日定例理事會を開き、日本最初の公衆放送を大正十四年三月一日から開始することに決定、主任技師として無線電話の權威北村政次郎が就任した

○信託協會、信託業法施行細則改正に反對

大蔵省は信託業法施行細則中金錢信託期間の最短期限を一年より二年に延長したため、信託協會の東京代表はこの改正は銀行業者の運動によるもので片手落ちであると緩和方を主張し、西信託業者代表は「金錢信託の期間延長に對しては絶體に反對し現行省令の存置を主張す」との決議を當局に電達した

○相模紡績會社の整理

相模紡績會社(資本金一千萬圓)は整理のため百七十三萬圓に減資し更に百九十二萬九千七百圓に増資し、當期損失十四萬五千九百三十九圓は前期繰越損失と共に合計三百二十萬七千三百圓を後期繰越損失となす件を可決した

二十五日(木)

○朝鮮總督府の二調査委員會廢止

政府は行政整理のため朝鮮總督府の産業調査委員會及び財政調査委員會を廢止することに決定し、本日の官報を以て公布した

○大蔵省、銀行の配當引下を懸念

大蔵省は全國の地方長官に對し「株主の利益に拘泥するの餘り公衆の信任を裏切りその資産中に缺損あるにも拘らず利益を計上して配當をなさんとするものがあるが、利益を銀行に保留し幾分にも配當を引下げることが財界今日の情況に鑑みて望ましいことである」との減配懸念の通牒を發した

○鐵道省、全國一齊に旅客交通量調査

鐵道省は鐵道の建設改良の資料とするため本日から來る二十九日までの五日間、全國各鐵道に互り旅客の交通量調査をなした

○王子製紙、北海工業を買収

王子製紙會社(資本金五千五百萬圓)は臨時總會を開き北海工業會社(資本金五十萬圓)を買収する件を可決した

○早川、豊馬兩電力合併、東京電力を創立

早川電力會社(資本金三千萬圓)は東京丸ノ内海上ビルにおいて臨時總會を開き群馬電



力會社(資本金一千三百二十五萬圓)を合併し新に東京電力會社(資本金四千二百二十五萬圓)を創立する件を可決した

二十六日(金)

農商務省、輸入禁止品類を通知

農商務省は染料輸入制限に關する省令により黄色乃至褐色硫化染料の原料外十七品目並にその代用品の輸入を追加禁止する旨發表

同法解決に關する日獨協約附節

日獨協約の條議に依る司法的解決に關する日獨協約は、本日外務省において外務大臣幣原喜重郎、瑞西國臨時代理公使アルンナーとの間に調印を終つた。同新條約は五ヶ條から成り、法律的紛争が外交上の手段又はその他の一切の調停の方法によつて解決されざる場合は、司法的解決に依ることを規定したものである

外務省、上海に自然科學研究所を設立

外務省の對支文化事業部は二百萬圓を以て上海に自然科學研究所を設立するため上海の佛蘭租界地に敷地一萬坪を購入した

東京電氣會社、東京市内外の集電バラック二百七十七棟に對し二十五日限り立退命令が

發せられてゐたが、立退きをなした者は半数に過ぎぬため本日更に戒告を發した

二十七日(土)

農商の復興資金貸出二千二百五十萬圓

日本興業銀行は震災復興のため大蔵省から一千五百萬圓の融資を受け、臨時資金部を設けて中小商工業者に融資をなし、本日までに一千二百五十萬圓(約五百口)の貸出をなしたが、残額二百五十萬圓に對しては借入申込者が殆ど無いといふ状態となつた

山電氣會社、茨城・川越の兩電氣會社

山電氣會社(資本金一千六百二十萬圓)は臨時株主總會を開き茨城電氣(資本金一千二百六十五萬圓)川越電氣(資本金七十五萬圓)の兩社を一對一の比率で合併し資本金を二千九百六十萬圓とする件を可決した

借入金石井定七の借入總額

大正九年の財界變動で大打撃を受け挽回策として翌九年末の大買占めと織物の新機三十二萬の買占めをなし八千萬圓の借金を背負ひ大正十一年十月十日破産の宣言を受けた大阪市の石井定七にかゝる詐欺破産事件は、大阪地方裁判所において豫審中のところ本日十六ヶ月限りで終結、有罪と決定し、公判に附き

小樽市手宮橋内海岸荷揚場において栗山組取扱ひの英明、岩見澤、歌志田、茂尻各炭坑行きダイナマイト七百二十個(十噸)が掘揚げ中爆發し、即死者五十名、重傷者四百五十名を出し、火災の損害のみで九十五萬圓に達した

二十九日(月)

内務省、労働者募集取締の省令を公布  
内務省は労働者の募集に當り監獄部屋の如く控禁し或は外出、通信を禁じ、婦女子の所持金を捲上げ貞操を監視する等の不合理な募集方法を改善するため、労働者募集取締令を制定し本日の官報を以て公布即日實施した

臺灣總督府、交通局官制を公布

臺灣總督府は交通局を設置することに決定し、本日の官報を以て同官制を公布し、交通局長は總務長官後藤文夫に兼任せしめることとなつた

取引所令改正の公布

農商務省は勅令を以て取引所令第八條を左の如く改正(上場銘柄について限月を確定)することに決定し、本日の官報により公

布した

賣買取引の期限は棉花、綿糸又は綿布にありては十二ヶ月、青豌豆、黄豆又は馬鈴薯にありては六ヶ月、大豆粕にありては五ヶ月、小麦、大豆、小豆又は煉肥料にありては三ヶ月を越ゆることを得ず

三十日(火)

日露代表、對日撤兵要求の聲明書發表

北京の日本公使館において開會中の日露會議につき露國代表カラハンは「北サガレンの撤兵を日本は三ヶ月を要すると主張するが、北サガレン西部海岸においては一週間、東部海岸においては三ヶ月といふ長日月を要せずとも撤兵し得られる方法を講ずることが出来る」との撤兵要求に關するステートメントを發表した

大正十三年統計

日本銀行兌換券發行高

月	發行高	正貨	準備	保證	制限外
一月	1,100,000,000	1,000,000,000	1,000,000,000	1,000,000,000	1,000,000,000
二月	1,150,000,000	1,050,000,000	1,050,000,000	1,050,000,000	1,050,000,000
三月	1,200,000,000	1,100,000,000	1,100,000,000	1,100,000,000	1,100,000,000
四月	1,250,000,000	1,150,000,000	1,150,000,000	1,150,000,000	1,150,000,000
五月	1,300,000,000	1,200,000,000	1,200,000,000	1,200,000,000	1,200,000,000
六月	1,350,000,000	1,250,000,000	1,250,000,000	1,250,000,000	1,250,000,000
七月	1,400,000,000	1,300,000,000	1,300,000,000	1,300,000,000	1,300,000,000
八月	1,450,000,000	1,350,000,000	1,350,000,000	1,350,000,000	1,350,000,000
九月	1,500,000,000	1,400,000,000	1,400,000,000	1,400,000,000	1,400,000,000
十月	1,550,000,000	1,450,000,000	1,450,000,000	1,450,000,000	1,450,000,000
十一月	1,600,000,000	1,500,000,000	1,500,000,000	1,500,000,000	1,500,000,000
十二月	1,650,000,000	1,550,000,000	1,550,000,000	1,550,000,000	1,550,000,000

東京聯合銀行金利表

同前	最高	最低	平均	最高	最低	平均
一月	3.00	2.50	2.75	3.00	2.50	2.75
二月	3.00	2.50	2.75	3.00	2.50	2.75
三月	3.00	2.50	2.75	3.00	2.50	2.75
四月	3.00	2.50	2.75	3.00	2.50	2.75
五月	3.00	2.50	2.75	3.00	2.50	2.75
六月	3.00	2.50	2.75	3.00	2.50	2.75
同前	3.00	2.50	2.75	3.00	2.50	2.75







月	輸入	輸出	超過
五月	二四七、六一二、三五八	九、〇三五、四七一	一七七、四〇九、八六一
六月	一七九、一五一、八〇九	三三、五六九、一九六	一四五、五八二、六一三
七月	一三七、〇三六、二八〇	一八、五〇五、七九三	一五五、五四二、〇七三
八月	一七六、九七六、八四四	一四三、二八六、四八二	三三、六九〇、三六二
九月	一五八、六八六、〇八一	一四二、四三一、九三一	一六、二五四、一五〇
十月	一六二、八四九、三二〇	一五九、七三七、四一五	三、一七一、九〇五
十一月	一八二、九四七、四九一	一〇、二〇三、〇七三	一九三、一五〇、五六四
十二月	一八〇、四一二、一四一	六、七七九、八一九	一八七、一九一、九三三
一月	一八〇、七〇三、四八三	六、四六三、三六七	一七四、二四〇、一一六
二月	一七六、九七六、八四四	一四三、二八六、四八二	三三、六九〇、三六二
三月	一七九、一五一、八〇九	三三、五六九、一九六	一四五、五八二、六一三
四月	一七六、九七六、八四四	一四三、二八六、四八二	三三、六九〇、三六二

品名	三月	四月	五月
日本石油	一〇〇、一〇〇、〇〇〇	一〇〇、一〇〇、〇〇〇	一〇〇、一〇〇、〇〇〇
日本煤油	一〇〇、一〇〇、〇〇〇	一〇〇、一〇〇、〇〇〇	一〇〇、一〇〇、〇〇〇
日本炭油	一〇〇、一〇〇、〇〇〇	一〇〇、一〇〇、〇〇〇	一〇〇、一〇〇、〇〇〇
日本電燈	一〇〇、一〇〇、〇〇〇	一〇〇、一〇〇、〇〇〇	一〇〇、一〇〇、〇〇〇
日本水電	一〇〇、一〇〇、〇〇〇	一〇〇、一〇〇、〇〇〇	一〇〇、一〇〇、〇〇〇
日本製紙	一〇〇、一〇〇、〇〇〇	一〇〇、一〇〇、〇〇〇	一〇〇、一〇〇、〇〇〇
日本鋼管	一〇〇、一〇〇、〇〇〇	一〇〇、一〇〇、〇〇〇	一〇〇、一〇〇、〇〇〇
日本肥料	一〇〇、一〇〇、〇〇〇	一〇〇、一〇〇、〇〇〇	一〇〇、一〇〇、〇〇〇
日本糖業	一〇〇、一〇〇、〇〇〇	一〇〇、一〇〇、〇〇〇	一〇〇、一〇〇、〇〇〇
日本酒類	一〇〇、一〇〇、〇〇〇	一〇〇、一〇〇、〇〇〇	一〇〇、一〇〇、〇〇〇
日本海産	一〇〇、一〇〇、〇〇〇	一〇〇、一〇〇、〇〇〇	一〇〇、一〇〇、〇〇〇
日本農産	一〇〇、一〇〇、〇〇〇	一〇〇、一〇〇、〇〇〇	一〇〇、一〇〇、〇〇〇
日本林産	一〇〇、一〇〇、〇〇〇	一〇〇、一〇〇、〇〇〇	一〇〇、一〇〇、〇〇〇
日本礦産	一〇〇、一〇〇、〇〇〇	一〇〇、一〇〇、〇〇〇	一〇〇、一〇〇、〇〇〇
日本工業	一〇〇、一〇〇、〇〇〇	一〇〇、一〇〇、〇〇〇	一〇〇、一〇〇、〇〇〇
日本交通	一〇〇、一〇〇、〇〇〇	一〇〇、一〇〇、〇〇〇	一〇〇、一〇〇、〇〇〇
日本金融	一〇〇、一〇〇、〇〇〇	一〇〇、一〇〇、〇〇〇	一〇〇、一〇〇、〇〇〇
日本教育	一〇〇、一〇〇、〇〇〇	一〇〇、一〇〇、〇〇〇	一〇〇、一〇〇、〇〇〇
日本文化	一〇〇、一〇〇、〇〇〇	一〇〇、一〇〇、〇〇〇	一〇〇、一〇〇、〇〇〇
日本藝術	一〇〇、一〇〇、〇〇〇	一〇〇、一〇〇、〇〇〇	一〇〇、一〇〇、〇〇〇
日本宗教	一〇〇、一〇〇、〇〇〇	一〇〇、一〇〇、〇〇〇	一〇〇、一〇〇、〇〇〇
日本政治	一〇〇、一〇〇、〇〇〇	一〇〇、一〇〇、〇〇〇	一〇〇、一〇〇、〇〇〇
日本法律	一〇〇、一〇〇、〇〇〇	一〇〇、一〇〇、〇〇〇	一〇〇、一〇〇、〇〇〇
日本醫學	一〇〇、一〇〇、〇〇〇	一〇〇、一〇〇、〇〇〇	一〇〇、一〇〇、〇〇〇
日本科學	一〇〇、一〇〇、〇〇〇	一〇〇、一〇〇、〇〇〇	一〇〇、一〇〇、〇〇〇
日本技術	一〇〇、一〇〇、〇〇〇	一〇〇、一〇〇、〇〇〇	一〇〇、一〇〇、〇〇〇
日本軍事	一〇〇、一〇〇、〇〇〇	一〇〇、一〇〇、〇〇〇	一〇〇、一〇〇、〇〇〇
日本外交	一〇〇、一〇〇、〇〇〇	一〇〇、一〇〇、〇〇〇	一〇〇、一〇〇、〇〇〇
日本國際	一〇〇、一〇〇、〇〇〇	一〇〇、一〇〇、〇〇〇	一〇〇、一〇〇、〇〇〇
日本總計	一〇〇、一〇〇、〇〇〇	一〇〇、一〇〇、〇〇〇	一〇〇、一〇〇、〇〇〇











大正十四年 (紀元二五八五年)

【一月】

- 二日 (金)
  - ◇日支海産電信協定の成立  
日支電信會議に於て佐世保、青島間の海底電信の協定成立し調印を了した
  - 六日 (火)
    - ◇東和銀行の破産  
東京の東和銀行(資本金四百萬圓)は東京區裁判所に於て破産の宣告を受けた
    - 七日 (水)
      - ◇五分利國庫債券一千萬圓發行  
第十九回五分利國庫債券一千萬圓を發行、郵便局賣出を行ふに決定した旨大藏省より發表された
      - ◇伊那電氣鐵道債五萬圓發行  
伊那電氣鐵道社は擔保付社債五百萬圓を左の條件で發行した  
▽利率年七分五厘▽償還期限一ヶ年十ヶ月▽拂込期日一月二十日▽申込期限一月十五日▽利廻八分九厘餘
- 九日 (金)
  - ◇小取組引所の設立認可  
農商務省告示を以て小取組引所設立免許の旨公示された
  - ◇東和銀行差押成分に附ざる  
六日破産を宣告された東和銀行は大正十一年十二月五日より休業中のところ預金者側より東京區裁判所へ假處分の申請あり、本日同行の一切の財産差押執行命令が發せられた
  - 九日 (金)
    - ◇メイトル條約批准  
メイトル法に關する國際條約は樞密院の諮詢を得て、本日批准公布された
    - ◇興業債券一千萬圓發行  
興業銀行は左の條件で第九十六回興業債券一千萬圓を發行するに決定した  
▽券面種類百圓、五百圓、一千圓、五千圓  
▽利率年七分五厘發行價格九十六圓▽償還期限一ヶ年振置後四ヶ年に償還▽申込期間自一月十二日至十四日▽拂込期日二月五日▽利廻八分一厘二毛五糸
    - ◇東京聯合自動車社債百五十萬圓發行  
東京聯合自動車社は事業擴張のため社債百五十萬圓を左の條件で發行するに決定した  
▽利率年九分▽價格百圓に付九十八圓▽償還一ヶ年振置後二ヶ年償還▽申込期間一月十日—十七日▽拂込期日一月二十六日▽利廻九分八厘六毛
    - ◇國鐵神戸廣島間の復讐運輸開始  
國鐵神戸廣島間の復讐工事竣成せるを以て運輸時間を改正し、本日より復讐運輸を開始した
    - 十日 (土)
      - ◇日波通商條約成立  
日波通商條約は義に批准を了し、本日兩國代表者間に交換完了した
      - ◇復興建築會社に六千萬圓融資  
大藏省は東京市の復興建築助成會社に對し六千萬圓を融資することに決定した
      - ◇名古屋無電放送局認可さる  
名古屋無電放送局は本日附で設立認可指令が交付された
      - ◇九州セメント聯合の協定値引上  
九州セメント聯合では一月一日より協定値を二十錢引上げ工場渡一俵四圓九十錢に値上げする旨發表した
      - 十一日 (日)
        - ◇震災地區區劃整理補助額決定  
大正十四年度震災地區區劃整理に對し政府



の支出額は五百萬圓と決定した

十二日 (月)

◇日本電力五千萬圓に減資

日本電力會社(資本金五千五百萬圓)はさきに越中電力合併に依る増資額五百萬圓(株數十萬株)を株式買入銷却により減資した

◇神戸商會頭瀧川辨三死去

神戸商會會所會頭瀧川辨三は本日病死した。享年七十五。氏は本邦マツチ界の耆宿で嘉永四年山口縣に生れ明治十三年辨三事業に着手、神戸に於て新業に従事、同十九年瀧川辨三製造所を創立し、大正元年資本金四百萬圓の東洋辨三に改組、翌二年同業二社を吸収して大同辨三を設立し本邦辨三界の重鎮となつた。大正三年貴族院議員に列し、晩年は青英事業に盡瘁した

十四日 (水)

◇日獨通商條約交渉停頓

日獨通商條約の交渉は我國の獨逸染料輸入防遏の問題で意見一致せず停頓した

◇富士瓦斯紡績社債一千萬圓發行

同社は社債一千萬圓を左の條件で發行した  
▽利率年八分▽價格額面▽券面種類百圓、五百圓、一千圓、五千圓、一萬圓▽申込期

間二月二日—五日▽拂込期日三月一日▽償還期限二ヶ年据置後六ヶ年間に償還

十五日 (木)

◇正金、金塊四萬圓を印度へ輸送

正金銀行はニューヨークより印度に向け四百萬ドルの金塊を輸送した

◇東京府農工債券三百萬圓發行

東京府農工銀行は左の條件で債券三百萬圓を發行するに決定した

▽券面種類五十圓、百圓、五百圓、一千圓、五千圓、一萬圓▽利率年八分▽發行價格額面▽申込期間二月十二日—十九日▽拂込期日三月二十日▽償還期限十ヶ年

◇王子製紙社債一千萬圓發行

同社は社債一千萬圓を左記條件で發行するに決定した

▽利率年八分▽發行價格額面▽償還期限二ヶ年据置後三ヶ年間隨時償還▽拂込期日二月二十五日

◇早川電力社債一千萬圓發行

同社は社債一千萬圓を左の條件で發行するに決定した

▽利率年八分五厘▽券面種類百圓、五百圓、一千圓、五千圓、一萬圓▽價格額面▽償還

期限二ヶ年据置後三ヶ年間に隨時償還▽擔保工場財團第一順位抵當權設定▽利息八分七厘八毛

十七日 (土)

◇東京モス社債三百五十萬圓發行

東京モスリン紡績會社は第二回擔保付社債三百五十萬圓を左の條件で發行した

▽利率年八分五厘▽券面種類百圓、五百圓、一千圓、五千圓▽發行價格額面に付き九十八圓五十錢▽償還期限一ヶ年据置後二ヶ年間に隨時償還

十七日 (土)

◇煙草專賣改正法の公布

煙草專賣法中煙草耕作者に對する賠償事項は從來「風水被害」に限定されてゐたが、更に「旱害、蟲害」の二項を附加することに決定、公布された

◇第二回復興債券收入の運用方法決定

第二回復興貯蓄債券運用協議會は復興事業に對する右收入金の貸付方法、貸付條件、復興建築助成會社への融通案の細目を決定した

◇對英債二ポイント引上

正金銀行は對英建値を二ポイント方引上げ一シルベンス十六分の五に変更した

◇ロツクフエラー東大に四萬萬圓寄附

米國の富豪ジョン・デー・ロツクフエラーは、東京帝國大學が大震災のため圖書館の蔵書七十萬冊を灰燼に歸したのに同情し復興費として四百萬圓を寄附した

十八日 (日)

◇在外正貨の拂下及還送決定

大藏省は日本銀行の要求に基き在外正貨を拂下げ、更に百五十萬圓宛數回に約一千萬圓程度の正貨をニューヨークに現送するに決定した

◇古河財團の元老井上公二死去

帝國生命保險會社社長、古河合名相股役井上公二は動脈硬化症に腎臟炎を併發、本日死去した。享年六十三。文久三年岡山縣に生れ慶應義塾、乗港大學に學び、明治二十六年滋澤榮一の紹介で古河に入り、マジソン商會との間に足尾産銅全額買却の契約を結んで奇才を認められ、足尾銅毒事件に奔走して更に鍊腕を買はれ、庶務會計各課長を経て支配人に進み、明治三十八年改組と共に古河鍊業の理事に就任、大正六年古河合名總經理となり古河財團に采配を振つた。大阪電氣分銅、天龍川水電各社長、古河銀行、古河商事各取締役を兼ねたが、同十年後進に途を拓いて總理事

を勇退、同十三年乞はれて帝國生命社長に就任、幾ばくもなく病床に臥し再起を囑望されてゐたものである

十九日 (月)

◇日佛通商振興會社の設立

日佛通商振興會社は資本金百萬圓を以て設立され、役員を左の如く選任した

▽社長藤村義朗▽常務取締役佐竹源造▽取締役本島孝藏、結城安次、ジョルジ・オー

ファイエ、シエラル・ツアツスル▽監査役伊豆凡夫、吉田義輝、田中四一郎

◇六行合同して下野中央銀行設立

栃木縣下の鹿沼、宇都宮、下野實業、喜連川、烏山産業、今市の六銀行は合同して資本金一千三百九十萬圓の下野中央銀行を設立した。役員左の如し

▽頭取上野松次郎▽副頭取見目海▽専務取締役田中勝次郎▽常務取締役鈴木良一▽監査役河合長藏、善野喜平、植竹熊次郎

二十日 (火)

◇日露基本協定條約調印さる

芳澤カラハン兩全權の交渉により日露利權契約基本協定成立し、本日午前十一時日本公使館で調印を了した

◇東京府總債七十七萬五萬圓認可

東京府は起債を申請中であつたが、本日内務省より左の如く認可の指令があつた

▽大正十三年度歳入不足補填金二十七萬八千三百七十二圓▽各町村土木、役場、豊多摩傳染病院復舊費不足補填額四十九萬二千二百圓▽合計七十七萬五千七十二圓

二十一日 (水)

◇在外正貨六百萬圓拂下

大藏省は横濱正金銀行の在外正貨拂下請求に應じ、爲替資金として約六百萬圓の拂下をなした

◇沼津・佐世保兩商會議所の設立認可

沼津、佐世保兩商會議所は本日農商務省より設立を認可された

二十二日 (木)

◇露領林業組合の成立

日露條約締結の結果露領林業組合を設立するに決定し、組合長に大倉組副頭取門野重九郎を選任した

二十三日 (金)

◇東拓總裁久保田政周死去

東洋拓殖會社總裁久保田政周は本日午前四時東京帝大病院に於て死去。享年五十五。北



海軍平民政務の長男として生れ、著大卒業後内務省に入り、栃木、三重兩縣の知事を歴て清藤理事に就任、内務省土木局長、東京府知事、横濱市長に歴任、大正十三年東拓總裁に任命された

二十四日 (土)

農商務省に低費六萬二萬圓融資

農商務省は各府縣に對し、大正十三年度産業組合資金として合計六百二萬圓の低費を融通する旨指令を發した

水川商業銀行の休業

埼玉縣の水川商業銀行(資本金二十萬圓)は本支店とも帳簿整理のため本日から二週間休業する旨發表した

二十五日 (日)

日本郵政會社百八十萬圓に減資

同社は臨時總會を開き資本金三百萬圓を百八十萬圓に減資する整理案を可決した

二十六日 (月)

外米賣渡省令の廢止

米穀法に依り政府所有外米を賣渡すの件(大正十三年農商務省告示第八十四號)は本月三十日限り廢止する旨本日の官報號外を以て告示された

米及雜糧免稅範圍の延縮

米穀法により米及び粗の輸出入關稅を大正十四年八月三十一日まで免除するに決定した旨、本日官報を以て公布された

二十七日 (火)

労働争議調停法可決

労働争議調停法案は社會局參事會議に於て條件付で可決された

二十九日 (木)

農林振興基金の財源決定

農林振興基金に貨幣改鑄益金利率年額六百五十萬圓を充當する法律案は閣議に於て決定した

三十日 (金)

五分利國庫債券五千萬圓發行

政府は第二回五分利國庫債券九千萬圓を發行するに決定した

關東州特産物輸入關稅の免稅

關東州特産物の内地輸入關稅を免稅することとに大藏省々議に於て決定した

三十一日 (土)

神戸實業貿易組合認可可決

神戸實業貿易組合は本日附を以て主務省より設立を認可された

小野田セメント、愛知セメントを合併

資本金一千三百萬圓の小野田セメント會社は愛知セメント會社を合併、百八十萬圓を増資して資本金一千四百八十萬圓となつた(日不詳)

【二月】

一日 (日)

阪神銀行實收三千萬圓に増資

資本金二千四百萬圓の阪神銀行電氣會社は六百萬圓を増資し資本金三千萬圓となつた

日清紡績會社二千七百萬圓に増資

資本金一千二百五十萬圓の日清紡績會社は一千四百五十萬圓を増資し資本金二千七百萬圓となつた

二日 (月)

第二回在外正貨四百萬圓拂下

政府は紙幣に於て第二回在外正貨四百萬圓を正金銀行に拂下げた

盛岡商業會館所の設立

かねて主務省に認可申請中の盛岡商業會議所は認可指令に接し本日設立された

大阪組合銀行委員長決定

大阪組合銀行は本日委員の改選を行ひ十委

員再選重任、委員長は住友銀行常務取締役湯川寛吉に決定した

三日 (火)

衆議院本會議、教育費案で大混亂に陥る

衆議院本會議は教育費案上程で空前の大混亂に陥り、憲法會議から遂に野黨、與黨間に流血の慘事を惹起し、結局教育費案は否決となつた

四日 (水)

全國労働組合評議會設立さる

全國労働組合聯合準備協議會は大阪の日本農民組合本部に開き、全國労働組合評議會の設立を決定した

司法大臣横田千之助の病死

司法大臣横田千之助は本日病死した。享年五十六。足利市に生れ上京して苦學し、星亨の書生となり、イギリス法律學校に學び辯護士となる。郷里から推されて五度代議士に當選、原内閣の法政局長官、加藤内閣の司法大臣となり、その間日本木材輸出會社、有隣生命保險會社の重役を勤めた

五日 (木)

正貨拂下方法の改正

政府は正貨拂下に關し従來の方法を一率一

體に正金銀行建値相場にて拂下を行ふことに改正した旨大藏省より發表された

六日 (金)

山陰銀行、大社銀行を合併

鳥取縣下の山陰銀行(資本金七百五十萬圓)は臨時株主總會を開き、鳥取縣下の大社銀行(資本金三萬二千五百圓)合併の件を附議可決した

會津赤十字會社の創立

會津赤十字會社は資本金五十萬圓を以て設立された。役員左の如し

七日 (土)

労働争議調停法統一

労働争議調停法は各州に於ける通貨統一に關し、三月一日限り帝政時代の金銀貨及び外國紙幣の流通を禁止する旨の法令を公布した

八日 (日)

富士製紙會社債一千五百萬圓發行

富士製紙會社は社債一千五百萬圓を左の條件で發行するに決定した

十日 (火)

小川平吉、司法大臣に就任

横田千之助の死去後、高橋慶相が法相兼任中のところ、本日政友會の小川平吉が司法大臣に親任された

第三回復興貯蓄債券一千萬圓發行

日本勸業銀行では本月二十日より三月五日まで第三回復興貯蓄債券一千萬圓を賣出すことに決定した

明治銀行、近江商業銀行を合併

名古屋の明治銀行(資本金一千八百八十萬圓)は臨時株主總會を開き、滋賀縣の近江商業銀行(資本金二百五十萬圓)を合併し、資本金一千四百三十萬圓となす件を可決した

國庫阿片會館移る



露府に於て開債中の阿片會議終了し、日、英、佛、和、葡の諸國は議定書に調印した。阿片定書は阿片生産國に對し五ヶ年内に生産を減じ密賣を防止することを要求するものである。

十一日 (水)

貿易通債員の設置

農商務省は貿易振興の一策として左の十ヶ所に貿易通債員を設置することに決定した。廣東、滿洲里、海防、カラチ、リマ、ケイ、アタワン、ポルトサイド、サンダカン、ス、トックホルム、コンスタンチノープル

警備團の三法黨反對派運動

帝都の各警備組合主催にかゝる治安維持、警備組合、警備團の三法黨反對の示威運動は芝赤羽町有馬ヶ原で三千餘の警官隊隊列裡に行はれたが、参加組合員は約一萬に達した

早害救済資金一千萬圓と決定

前年夏季の早害救済に對する低費融通につき關係各省協議の結果、總額一千萬圓融通に決定、内務省より發表された

内外綿上海工場の問題

上海の内外綿會社支店は職工の同盟罷業のため遂に十箇所の工場を閉鎖した

十三日 (金)

臺灣郵便貯金規則の廢止

臺灣總督府令を以て、明治四十三年府令郵便貯金規則を大正十四年一月三十一日限り廢止する旨公布

國庫證券一億圓發行

政府は本月十四日期限到来の臨時國庫證券(ね號)一億圓借替のため、左の條件で臨時國庫證券(く號)一億圓を割引歩合日歩一錢七厘で發行することに決定した

日本製糖社債二百萬圓發行

日本製糖會社は社債二百萬圓を左の條件で發行することに決定した

▽利率年八分五厘▽發行價格九十八圓五十錢▽償還期限一年償還後二年間に隨時償還▽利率九分一厘三毛七

十四日 (土)

朝鮮郵船に郵船補助金下附

大阪商船並に朝鮮郵船會社では現在朝鮮、長崎、鹿兒島、大連間の三角航路を運航してゐるが朝鮮總督府は朝鮮郵船會社を受命會社に指定、航路補助金下附に決定した

▽大日本紡績上海工場の問題  
大日本紡績の上海工場に今朝同盟罷業が勃

發した。支那人職工が排日宣傳に煽動されたものである

十五日 (日)

漢冶萍製鐵廠へ融資決定

漢冶萍製鐵公司の事業資金として預金部より正金銀行を通じ八百五十萬圓を左の條件で融通することに決定した

▽利率年六分▽償還期限二十ヶ年▽償還方法漢冶萍製鐵より八幡製鐵に賣渡す鐵鋼代金の一部を充當す▽擔保漢冶萍鐵鋼

十七日 (火)

小布施新三郎死去

東京の株式界に於ける一流人物として知られた小布施商店主小布施新三郎は八十歳を以て死去した。長野縣に生れ、明治初年證券界に入り小布施商店を開業、日清、日露及び世界大戦を経て益々事業を擴大、兜町に於ける有力なる仲買店としての基礎を築いた

十八日 (水)

五分利國庫證券一千萬圓發行

政府は大正十三年度朝鮮事業費に充當するため第二十一回五分利國庫證券一千萬圓を預金部引受けにより左の條件で發行することに決定した

▽發行價格百圓に付九十四圓▽償還期限大正二十三年九月一日▽利率六分七厘

大火災損失生業損害處分問題解決

横濱生糸市場に於ける大火災損失生糸の損害處分問題は紛糾中のところ、横濱生糸會社が看買生糸を七割二分五厘とし、これに利息三分五厘を附し、引込中の分は四分三厘を支拂ふことに決定、全部解決した

森永製菓社債三百萬圓發行

森永製菓會社は社債三百萬圓を左の條件で發行した

▽利率年九分五厘▽償還期限二ヶ年償還後三ヶ年以内

普通選舉法案、樞密院で可決さる

普通選舉法案は樞密院下親臨の下に樞府本會議に於て可決された

北海道拓殖債券五百萬圓發行

北海道拓殖銀行は第八十五回拓殖債券五百萬圓を左記條件で發行することに決定した

▽利率年七分八厘▽發行價格額面▽券面種類五十圓、百圓、五百圓、一、千圓、一萬圓▽償還方法二ヶ年償還後毎半年十三萬圓以上抽籤償還

大正十四年二月

日魯漁業社債五百萬圓發行

日魯漁業會社は重役會を開き社債五百萬圓を發行するに決定し、發行條件は取締役會に一任された

麒麟麥酒社債三百萬圓發行

麒麟麥酒會社は社債三百萬圓を發行するに決定した。條件左の如し

▽利率年八分▽發行價格額面▽償還方法二ヶ年償還後三ヶ年間に毎半年五十萬圓宛抽籤償還▽賣出期間三月二日—五日▽拂込期日四月一日

高田商會破綻を暴露す

我が貿易界の雄たる合資會社高田商會(資本金五百萬圓)は大震災、爲替暴落、高田會社への投資焦付等により總計約二千四百萬圓の缺損を生じ、更生資金として三四百萬圓を要するので、井上準之助の斡旋で日銀に救済を運動中のところ借入契約ならず、遂に破綻を暴露した

二十一日 (土)

朝鮮種畜場規程及び同補助規程廢止

朝鮮總督府は府令を以て各道種畜場規程並に同補助費規程を廢止する旨公布した

目黒蒲田電鐵社債二百萬圓發行

目黒蒲田電鐵會社は左記條件に依り軌道建設工事費に充當するため社債二百萬圓發行に決定した

▽利率年八分五厘▽發行價格百圓につき百圓▽償還期限一ヶ年償還後一ヶ年年半に隨時償還

永進銀行の休業

高田商會の機關銀行たる東京京橋區銀座の永進銀行(資本金七百萬圓)は高田商會破綻の餘波を受け帳簿整理のため本日から三週間休業する旨發表した

北日本汽船二百二十萬圓に減資

北日本汽船の北日本汽船會社は臨時總會を開き八十萬圓を減資して資本金二百二十萬圓となす件を可決した

二十三日 (月)

大震災の損害調査發表

東京市統計課發表によれば大震災による全損害額は五十五億六百三十八萬六千三百四十四圓で、内東京市の損害は全損害の六割六分に當り、全死傷者は十五萬六千六百九十三人に上った

二十四日 (火)

東邦電力外債一千五百萬圓成立



東邦電力會社は外債一千五百萬ドル發行の  
決定を三千萬ドルに増加、米國ギヤランチー  
トラスト・コンパニーの副社長ウオーカーと  
の間に假契約成立し、第一次一千五百萬ドル  
發行契約に調印を了した

○帝國電氣社債二百五十萬圓發行  
帝國電氣社は物上擔保付社債發行決定額  
五百萬圓中、二百五十萬圓を左記條件により  
賣出すに決定した

▽利率年八分五厘▽發行價格百圓につき九  
十九圓▽償還期限二ヶ年間に隨時償還▽利  
率九分

二十五日(水)  
○大正十三年度追加決算決定  
大正十三年度追加決算は開議に於て三千九  
百萬圓と決定した

二十七日(金)  
○上海の紡績業解決  
上海に於ける在華各紡績工場の問題は一時  
歇拾困難な混亂状態に陥つたが、各紡績會社  
とも無條件解決し、本日操業を開始した

二十八日(土)  
○對米爲替相場暴落  
漸進歩調にあつた對米爲替相場は、暴落を

六日(金)  
○八幡に鐵道省民黨成立  
關西縣の八幡製鐵所職工を中心とする無産  
者の政治結社民黨が結成された

七日(土)  
○鐵道附屬會法の公布  
水産業に關する漁業附屬會法は本日の官  
報を以て公布された

八日(日)  
○東京毛織社債七百萬圓發行  
東京毛織會社は擔保附社債七百萬圓を左の  
條件で發行した

九日(月)  
○東京水力電氣、東京市に買収される  
東京市は東京水力電氣會社買収に關し交渉  
を進めてゐたが、兩者の意見一致し、本日假  
契約に調印を了した。買収價格は買収費四百  
二十五萬圓、解散手當七十六萬圓、合計五百

續け進に四十券に接近した

○労働會議帝國代表決定  
本年五月十九日スイスに開催される國際勞  
働會議に出席する我が代表及び顧問は本日社  
會局より左の如く發表

使用者代表 松 風 嘉 定  
使用者代表顧問 石 丸 優 三  
労働者代表 鈴 木 文 治  
労働者代表顧問 久 能 寅 夫

【三月】

二日(月)

○眞岡銀行、常盤銀行を合併  
栃木縣の眞岡銀行は臨時總會を開き、茨城  
縣の常盤銀行を合併して常盤四十圓拂込四株  
に對し同行三十二圓拂込五株を交付し、常盤  
銀行の解散手當は二萬五千圓となす件を可決  
した

○證券界の重鎮小池國三死去  
小池證券社長小池國三は風邪が元で本日病  
死した。享年六十。慶應二年甲府柳町に生れ  
十三歳甲州財閥の雄若尾逸平の下に奉公し、  
明治二十九年若尾家を辭して小布施商店に入  
り、翌年獨立して小池國三商店を開業、同四

十日(火)  
○震災手形割引期間の延長  
震災手形割引期間を大正十五年九月三十日  
まで延期する改正法律案は本日の開議に於て  
決定した

十一日(水)  
○支那革命の父孫文死去  
中華民國革命の大立物孫文(逸仙)は病氣  
のため北京のロツクフエラー病院に入院中の  
ところ小瘰を得て退院、顧維鈞邸に於て療養  
中であつたが、本日午前九時三十分死去した

十二日(金)  
○震災地の醫務免除  
震災地に於ける營業稅免除に關する法律案  
は衆議院委員會に於て可決された

○東京電力社債五百萬圓發行  
東京電力會社は社債五百萬圓を左の條件で  
發行することに決定した

○高野山電氣鐵道會社の創立  
高野山電氣鐵道會社は資本金百五十萬圓を  
以て創立され、左の重役を選任した

○取締役岡田意一(社長)、小林敏(常務)、  
寺田甚與茂、法性宿銀、馬場壽吉、神野金  
之助、箕田長三郎、重森役五辻治郎、影山  
鉄三郎

二十三日(月)

○東洋電力社債五百萬圓發行

○高野山電氣鐵道會社の創立

○取締役岡田意一(社長)、小林敏(常務)、  
寺田甚與茂、法性宿銀、馬場壽吉、神野金  
之助、箕田長三郎、重森役五辻治郎、影山  
鉄三郎

二十三日(月)

○東洋電力社債五百萬圓發行

○高野山電氣鐵道會社の創立

○取締役岡田意一(社長)、小林敏(常務)、  
寺田甚與茂、法性宿銀、馬場壽吉、神野金  
之助、箕田長三郎、重森役五辻治郎、影山  
鉄三郎

二十三日(月)

○東洋電力社債五百萬圓發行

○高野山電氣鐵道會社の創立

○取締役岡田意一(社長)、小林敏(常務)、  
寺田甚與茂、法性宿銀、馬場壽吉、神野金  
之助、箕田長三郎、重森役五辻治郎、影山  
鉄三郎

二十三日(月)

○東洋電力社債五百萬圓發行

○高野山電氣鐵道會社の創立

○取締役岡田意一(社長)、小林敏(常務)、  
寺田甚與茂、法性宿銀、馬場壽吉、神野金  
之助、箕田長三郎、重森役五辻治郎、影山  
鉄三郎

二十三日(月)

○東洋電力社債五百萬圓發行

○高野山電氣鐵道會社の創立

○取締役岡田意一(社長)、小林敏(常務)、  
寺田甚與茂、法性宿銀、馬場壽吉、神野金  
之助、箕田長三郎、重森役五辻治郎、影山  
鉄三郎



◇東京市債一千五百萬圓發行

東京市事會は電氣事業公債一千五百萬圓を五月一日發行する件を可決した

◇高島屋呉服店七百萬圓に増資

同社(資本金三百萬圓)は臨時株主總會を開き四百萬圓増資して資本金七百萬圓となす件を可決した

◇共信銀行の休業

横須賀市の共信銀行(資本金百萬圓)は横濱、神奈川及び湘南一圓に十ヶ所の支店を有してゐるが、震災後業務不振に陥り、本日本支店共整理のため三週間の休業を發表した

二十四日(火)

◇富士水電社債五百萬圓發行

富士水電社は舊社債五百萬圓償還のため社債五百萬圓を左の條件で借替發行に決した

▽利率年八分五厘▽發行價格額面▽償還期限二年据置後三ヶ年▽申込期限四月十三日迄▽引受安田、小池各銀行、山一合資

◇東成電氣軌道會社債五百萬圓發行

東成電氣軌道會社は左の條件で社債五百萬圓を發行した

▽利率年八分▽發行價格額面▽償還期限五ヶ年

◇臺灣三銀行の整理案成る

臺灣の華南、臺灣商工、彰化の三銀行は財界不況の餘波を蒙り事業不振に陥り、臺灣銀行を通じて大藏省に救済、援助方を懇請中であつたが、臺銀はこれら三行に對して同行よりの貸付金利子を引下げ、三行は減資及び減配をなして整理することに決定、臺灣商工は資本金一千六百萬圓を一千萬圓に、華南は資本金一千萬圓を五百萬圓に、彰化は資本金六百萬圓を五百萬圓に減資することとなつた

◇東洋殖産會社の創立

東洋殖産會社は資本金五十萬圓を以て創立され、左の重役を選任した

▽取締役赤司初太郎(社長)、小川清一(専務)、近江時五郎、木村泰治、中辻喜次郎、依田忠次郎、横崎壽衛▽監査役木村久太郎

川口源之輔、古賀三千人、後宮信太郎

二十五日(水)

◇東洋製糖社債五百萬圓發行

東洋製糖會社は舊社債借替のため社債五百萬圓を左の條件で發行した

▽利率年八分▽發行價格額面▽償還期限二ヶ年据置後三ヶ年間に隨時償還

二十六日(木)

◇鹽城セメント、日の出セメントを合併

同社(資本金三百萬圓)は株主總會を開き東京市京橋區新富町の日の出セメント會社(資本金三百八萬圓)を合併し百五十四萬圓増資の件を可決した

◇勞働會議の我が政府代表團決定

第七回國際勞働總會の我が政府代表は守屋榮夫、前田多門、顧問は天宅敬二、川西實三南後治の諸氏に決定した

二十七日(金)

◇大阪中央卸賣市場認可さる

農商務省は設立認可申請中の大阪中央卸賣市場に對し設立を認可した

二十九日(日)

◇大正十四年度總算決定

大正十四年度歳入出總算は十五億五千萬圓と決定した旨本日の官報を以て公布された

三十日(月)

◇内府・官相の親任

久しく懸案となつてゐた内大臣伯爵平田東助の辭職退任に伴ひ、本日宮内大臣子爵牧野伸顯が内大臣に、前内相一木喜徳郎が宮内大臣に親任された

◇輸出組合法の公布

本日の官報を以て四十二條よりなる輸出組合法が公布された

◇遠洋漁業獎勵法の改正

遠洋漁業獎勵法中第三條但書を削除し遠洋漁船の新造新装置に對する獎勵金交付並に營利を目的とせざる遠洋漁船船員の養成又は遠洋漁業者の費用下附に關する件は本日官報を以て公布された

三十一日(火)

◇改正米穀法の公布

米穀法中、四月一日施行第一條二項中「米穀の需給」を「米穀の數量又は市價」に、第四條「米穀需給調節上」を「米穀の數量又は市價調節上」に改正する件が公布された

◇染料製造保護獎勵法の公布

染料製造保護獎勵法に關する法律は官報をもつて公布された。之は別に勅令によつて定むる二十種の染料生産に成功せる場合補助を與へることを定めたものである

◇外國人土地法の公布

十一ヶ條から成る同法は本日法律第四十二號を以て公布された

◇實業品輸入税法の改正

貴石並びに紅茶、毛絨製品、書畫等に關す

る實業品輸入税法が改正され本日公布、即日施行された

◇手形割引に因る日銀の損失補償法公布

大正十二年來の手形割引に因る日銀の損失補償に關し、大正十四年十月一日より大正十五年九月三十日迄に於ける満期手形の割引をなし、これに因り損失を受けたる場合同行に對しその損失を補償するの契約をなすことを得との法律は本日官報を以て公布された

◇南海鐵道七千萬圓に増資

南海鐵道會社(資本金五千萬圓)は株主總會を開き、二千萬圓を増資し資本金七千萬圓となす件を可決した

◇青梅電氣鐵道三百八十萬圓に増資

青梅電氣鐵道會社(資本金百五十萬圓)は臨時株主總會に於て三百八十萬圓に増資の件を可決した

【四月】

一日(水)

◇農林、商工兩省設置と農商務省廢止

農商務省を廢止し、農林、商工兩省を分立設置する件は三月三十日附の官報を以て公布本日施行された

◇商工、農林大臣の親任式

攝政宮殿下には宮中御座所に於て加藤首相待立の上、商工大臣兼農林大臣の親任式を行はせられ、左の如く官記を親授あらせられた

正三位勳一等 高橋 是清

◇朝鮮鐵道共濟組合規則の制定

朝鮮總督府鐵道局の鐵道手及び雇員以下の現業員の相互救済を目的とする朝鮮鐵道局現業員共濟組合規則が公布された

◇大藏省預金部特別會計規則の制定

同規則(特別會計規則十ヶ條、資金運用規則十二ヶ條)は本日の官報を以て公布されたが、第一條の預金部資金運用方法に於て從來に比し左記のものが除外された

一、地方公共團體に對する貸付

二、社債を發行する特殊會社又は銀行に對する貸付

三、日本銀行に對する在內指定預金

◇實業、農林、海陸運輸業税免除を決議

東京實業組合聯合會は、震災被害地營業税並に營業所得税免除に關する常任委員會を開き星野會長、倉持副委員長以下委員七名出席の上左の決議をなした







日から施行する旨商工省令を以て告示された  
十八日(土)

◇大蔵省、地方銀行の整理を懸念

大蔵省は金融制度改善の一方策として地方銀行の合同、預金協定の勵行、整理、減配獎勵の通牒を地方長官に通達した

◇東京府農工債券二百萬圓發行

同行は山一合資引受に依り左の條件で農工債券二百萬圓を發行した

▽券面種類五十圓、百圓、五百圓、一千圓  
五千圓、一萬圓▽利率年七分五厘▽發行價格百圓につき九十八圓▽償還方法大正十五年五月三十一日迄据置以後抽籤により十年以内に償還▽平均利率八分八毛、最終利率七分三厘三毛

◇大阪府農工債券二百萬圓發行

大阪府農工銀行は山一合資社引受により農工債券二百萬圓を左の條件で發行するに決定した

▽利率七分五厘▽發行價格百圓に付九十九圓▽利率平均七分九厘一毛▽償還期限大正十五年九月末迄据置後九ヶ年

◇關東鐵道調査會、鐵道合同案を審判

製鐵製鋼調査會は商工大臣に對し製鐵國策

樹立に關する答申案を提出した。その要綱は「八幡製鐵所を中心とした半官半民の合同經營によるを可とする」他六ヶ條である

◇東京商會の會頭、常議員決定

東京商會會所は役員選舉總會を開き、會頭に指田義雄が當選、副會頭に稻茂登三郎、大山斐彦、二氏を推薦、常議員は左の諸氏に決定した

杉山義雄、小澤信之輔、大塚榮吉、伊藤多兵衛、小菅恭太郎、神谷傳兵衛、柴瀬長太郎、水上嘉一郎、武田明、田村市三郎、森盛一郎、日下吉平、杉野喜精、本田貞次郎、今村多兵衛

◇地方銀行の合同増加

金融制度改善の必須條件の一つとして大蔵省が地方長官に對し地方銀行の合同促進の通牒を發し、更に松本銀行局長が關西、山陰方面に二回に亘り合同促進運動に出張したため各地に合同の機運が醸成された。即ち

▽茨城縣は同縣銀行協會が二大銀行協中主義を採用し、常盤銀行に結城、幸島、下館長倉の他二行が合併することとなり、五十銀行に龍ヶ崎農商、石下、礪波商業、澁商業、眞壁、常陸大宮の六行が合併することとなり

なつた▽和歌山縣は三重、奈良兩縣に働きかけ北山(三重)山口(奈良)那智(和歌山)尾崎(和歌山)の四行が合併した▽石川縣は十三の銀行より銀行合同促進委員を選任して合同談進抄中▽福井縣も縣下銀行合同を協議中▽富山縣では銀行合同期成會を組織し合同談進抄中

この他、愛媛、新潟、兵庫の三縣及び大阪府に於ても合同談進抄し、又福岡縣八十餘の銀行は打つて一九となり資本金五千萬圓の福岡縣中央銀行設立計畫中である

◇粵漢鐵道の罷業

粵漢鐵道の全従業員は八時間労働制實施、賃銀増給等十一ヶ條の要求を提出して罷業に入り全線不通となつた。廣西鐵道もこれに同情して罷業する形勢を示した

◇關東州船籍令の公布

日本(内地、朝鮮、臺灣、關東州又は樺太)に船籍を有せざる船舶はこれを日本の船舶と認めないと規定した同令は、本日勅令を以て公布された

◇東京、大阪、福岡間の航空郵便開始

定期郵便飛行は東京大阪間、大阪福岡間の

◇關東州船籍令の公布

日本(内地、朝鮮、臺灣、關東州又は樺太)に船籍を有せざる船舶はこれを日本の船舶と認めないと規定した同令は、本日勅令を以て公布された

◇東京、大阪、福岡間の航空郵便開始

定期郵便飛行は東京大阪間、大阪福岡間の

二航路が本日より開始され、マイバツク百六十馬力の飛行機が就航した

◇大日本紡績工場の変遷人職工罷業

同工場の支那職工二千人は日給十錢値上、夜勤手当増加、宿舍改善等を要求して罷業を開始し、支那人を陪使し横暴を極むる日本資本家を非れと宣傳しつつ不穩の形勢を示したため、日支官憲は罷業の傳播を虞れ警戒に當つた

◇國際聯盟武裝會議に露國参加を拒絶

國際聯盟は勞農露國に對し五月四日の武器密賣取締會議に参加するやう招請したが、本日チネリンは國際聯盟書記長宛參加拒絶の旨回答した

◇二十一日(火)

◇秩父宮殿下御遺容の御日取決定

秩父宮殿下には兼ねて御渡英の御準備中にあらせられたが、横濱出帆は五月二十八日、御乗船は箱崎丸と御決定遊ばされた

◇治安維持法の公布

同法(七ヶ條)は法律第四十六號を以て公布された  
◇東京六六銀行、當座貸越日歩利率下  
三井、三菱、第一、十五、安田、正金の六

銀行代表者は當座貸越日歩最低二錢五厘を二錢四厘とし、本月二十五日より實施することに決定した

◇二十一日(水)

◇五分利國庫債券九千萬圓發行

來る五月八日と、六月一日償還期限の國債一億二千六百八十八萬餘圓中九千萬圓を借替へ第三十二回五分利國庫債券九千萬圓を左の條件により發行することにシンドケート銀行間との間に協定成立した

▽發行價格現金九十一圓二十五錢、乘特應募九十四圓七十五錢▽償還期限大正二十三年六月一日

◇臺灣銀行、島内利率を引下

臺灣銀行は臺灣島内に於ける金利を二厘乃至三厘方引下げた

◇三連系火災保險の統一成る

三連系火災保險社たる東京海上、明治火災、東明火災の三社は丸ノ内海上ビルに定時株主總會を開催

▽東京海上は取締役二名増員の結果、木村林次郎、鈴木祥枝が當選し、會長に各務鎌吉、専務取締役に木村林次郎、支那人に鈴木祥枝が夫々就任

▽明治火災は資本金百萬圓を一千萬に増加取締役及び監査役を増員し選舉の結果、會長に各務鎌吉が就任、取締役に木村林次郎高木壽、監査役に玉江文太郎が夫々當選  
▽東明火災は會長末延道成が辭任し、各務鎌吉が取締役會長に就任  
右の如く各務鎌吉が三社の首腦の地位に就き營業が統一されることとなつた

◇五銀行、營業を停止さる

二三年來休業中の左記五銀行は銀行條例に依り新規取引を停止された  
▽廣島縣大崎商業銀行(資本金五十萬圓)▽同縣日本國民銀行(資本金十萬圓)▽長野縣長久保銀行(資本金四萬五千圓)▽同縣新海株式會社(資本金一萬圓)▽愛知縣日光川倉庫銀行(資本金十二萬五千圓)

◇二十三日(木)

◇中央統計特別委員會開かる

中央統計特別委員會は首相官邸に開かれ、國勢調査及び失業調査に關し協議した

◇農倉庫及乾草獎勵助成規則の公布

農林省令を以て共同農倉庫及び同乾草裝置助成規則が公布された  
◇兵庫、高知兩縣を債發行



兵庫、高知兩縣は何れも神田銀行引受の下に左記條件で無償を發行した  
 兵庫縣債▽發行總額八十萬圓▽利率年八分  
 ▽賣出價格額面▽償還期限三年償還後二ヶ年間隨時償還  
 高知縣債▽發行總額二十二萬五千圓▽利率年八分▽賣出價格額面▽償還期限一年償還後八ヶ年間隨時償還  
 二十四日(金)

○神奈川農工債券二百萬圓發行  
 神奈川農工銀行は債券二百萬圓を左の條件で發行することに決定した  
 ▽發行價格額面に付九十九圓▽利率年七分七厘▽償還期限二年償還後八ヶ年に償還  
 ▽申込期日五月九日より同十九日迄▽拂込期日六月二十五日▽利配初回當選八分二厘九毛、最終利配七分八厘五毛

○青島の紡績業擴大  
 青島に於ける邦人經營の紡績工場に對する支那人職工の同盟罷業は益々蔓延の概を呈し二十三日内外棉會社工場に飛火し、本日より該會社の職工も罷業を開始した  
 ○青島ロシア總領事の大使コツプ入京  
 最初の駐日勞務ロシア大使コツプ一行十三

名は本日入京した  
 二十五日(土)  
 ○勞務公使、紡績業に關し對支警告  
 青島に於ける紡績業支那人職工(二千人)に關し勞務駐支公使は支那外交部に對し「速かに且つ有効なる鎮壓方法を講ぜられたい」旨の警告を發した  
 ○第三回國庫保險積立金貸附額決定  
 第三回の簡易保險積立金貸附額は四百餘萬圓と決定した  
 ○倉敷紡績社債七百萬圓發行  
 同社は臨時總會を開き、深夜業廢止に伴ふ設備擴張の資金として社債七百萬圓を左の條件で發行に決定した  
 ▽利率七分五厘▽賣出價格九十九圓▽償還期限二年償還後四年間隨時償還▽利配七分五厘四毛  
 二十六日(日)

○生野山坑夫の罷業  
 兵庫縣朝來郡生野町三菱礦山の坑夫七百名は今朝同盟罷業を發行した。原因は會社側が生野勞務組合の組織を喜ばず幹部を減首したためである  
 二十七日(月)

○大日本炭礦會社、二礦區を賣却  
 同社は臨時株主總會を開き平及び湯本の二礦區を三百八十五萬圓で三井物産會社に賣却する件を可決した  
 ○ヒ元帥、獨逸大統領に當選  
 獨逸大統領改選投票の結果、國權主義各派聯合候補ヒンデンブルグ元帥が當選した。元帥は七十八歳の高齡であるが、歐洲戰爭の他一八六六年の普墾戰爭並に一八七〇年の獨逸戰爭等に參加して武勳を擲て、ケーニヒスベルヒ、ダンツツヒ、ドイツの各大學より名譽博士號を贈られてをり、國民の人は絶大である  
 二十八日(火)

○帝都復興事業費國庫補助額發表  
 復興局は東京市に對し職業紹介所建設費國庫補助として二十二萬五千圓、社會事業施設費(職業紹介所建設費を除く)國庫補助として百一萬八千七百五十圓を大正十四年乃至大正十七年度に於て交付する旨發表した  
 ○日本製粉、東亞製粉を合併  
 同社(資本金一千五百五十萬圓)は、東京九ノ内工業俱樂部に臨時株主總會を開き、東亞製粉會社(資本金三百萬圓)を合併し七十

五萬圓増資の件を可決した  
 ○内田眞平、職人團體を解散させる  
 首相加藤高明時設計對事件に關し、黒龍會の内田眞平は教唆の嫌疑で取調べを受けてゐたが、本日他数名と共に殺人豫備罪として市ヶ谷刑務所に収監された

○英國商船、金輸出解禁を聲明  
 英國のチャーチル商船は下院に於て金輸出解禁問題に就き左の如く言明した  
 金輸出禁止に關する一九二〇年度發布の金輸出制限令は本年十二月三十一日限り撤廢することになつてゐるが、英國銀行に對しては撤廢令の正式施行期日に先立つて金塊輸出の特典を附與し、二十八日より効力を發生せしめる考である

○瀋洲首領、金輸出解禁を聲明  
 瀋洲のブルース首相は瀋洲の金輸出解禁を執行する旨聲明した  
 ○オランダ、金本位に復歸を聲明  
 オランダ經濟大臣は同國が金本位に復歸する旨聲明した

○共產黨、全世界の勞働階級に宣言  
 第三共產インターナショナル執行委員會は全世界の勞働階級に宣言書を發し「今回ヒン

デンブルグ元帥がドイツの大統領に選舉されたことは實に世界平和促進の障礙となるのみならず實に新しき世界戰爭惹起の危険性を加へるものである」と言明した  
 二十九日(水)

○朝鮮銀行の利下げ  
 朝鮮銀行は輸出爲替手形日歩二厘、割引歩合及び貸付利率その他いづれも一厘方引下げ五月一日より朝鮮及び滿洲に於て實施することに決定した  
 三十日(木)

○三井信託、大連汽船に三百萬圓融資  
 三井信託會社は滿鐵關係の大連汽船會社(資本金三百萬圓)に對し三ヶ年期限で三百萬圓を融通した  
 ○住友銀行、若松銀行を合併  
 住友銀行(資本金七千萬圓)は臨時總會を開き若松銀行(資本金十萬圓)合併の件を可決した

○明治製菓大久保工場焼失す  
 明治製菓會社の東京大久保百人町の工場は烈風の中に發火し修繕室及び機關室の外キャラメル工場、カルミン工場、飴工場、紙箱製造工場、乾燥室、食堂、倉庫等合計十五棟建

坪二千五百坪を焼失した。同工場には六十萬圓の保險が附してあり、損害は約五十萬圓

【五月】

一日(金)  
 ○賣藥業規則の公布  
 賣藥營業に關する規則が制定公布された  
 ○軍制改革により四師團廢止  
 軍制の改革に伴ひ第十三(高田)第十五(豊橋)第十七(岡山)第十八(久留米)の四師團は本日廢止された  
 ○郵船の國籍、命令鐵路に決定  
 逓信省が今期議會に於て協賛を經た大正十四年度郵便定期航路補助百四十五萬圓は日本郵船會社に下附するに決定、左の四線が受命航路に指定された。命令期間は十四年四月一日より十五年三月三十一日までである  
 ▽横濱倫敦線▽神戸シヤトル線▽神戸香港線▽横濱メルボルン線  
 ○火保會社、納入金に課税免除を陳情  
 火災保險協會委員たる東京火災南、横濱海上吉井、三菱海上、明治火災高木の四氏は商工省に出頭、火災保險會社三十三社が震災の見舞金出捐のため政府から借入れた六千



七百萬圓に對する納付準備金の所得税は免除された旨陳情した

○富士製鋼三百萬圓に増資  
同社(資本金二百六十萬圓)は臨時株主總會を開き、三百十萬圓に増資の件を可決した

○メーデーで百五十七名検束さる  
東京のメーデーは三田重の有馬ケ原を本據として舉行され、一々服装検査を行つたため開會前までに五十名の検束者を出し、赤襟の女軍官、白衣の朝鮮姫等を交へ勞働歌を高唱しつゝ、上野公園に向つたが、合計百五十七名の検束者を出した

四日(月)

○對支文化事業の日支協定公文交換  
對支文化事業に關する日支協定公文は在支日本公使館において芳澤公使と外交總長沈瑞麟との間に正式交換を了した

五日(火)

○警備法、賣買法と共に公布さる  
衆多の雜案を突破して第五十議會を通過の上、樞密院の御諮詢を経て普通選舉法、貴族院令中改正及び罰則規定準用の法律は本日官報號外を以て公布された。尙普通選舉法は次期總選舉より、罰則準用の法律及び改正貴族

院令は、本年の選舉より施行される旨發表された

○日露通商條約暫定取極  
帝國とスペイン國との通商暫定取極めは本日期限満了となつたが、スペイン國臨時執政長官と在ブルガリア帝國代理公使との間に現行通商條約の効力を更に六ヶ月間(十一月五日まで)延期することに決定

六日(水)

○出雲電氣、島根電力を合併増資  
同社(資本金五十萬圓)は臨時株主總會を開き島根電力會社(資本金十萬圓)を合併、更に四十萬圓を増資し資本金を百萬圓とする件を可決した

七日(木)

○書籍雜誌販賣店監査の嚴密  
東京に於ける書籍雜誌五大販賣店の一たる至誠堂は出版界不況の際高利の借入金により出版を續けてゐたため破綻を暴露するに至つた。負債は約七十萬圓。同店は明治三十五年店主加藤虎吉が創立したものである

八日(金)

○五分利公債六千二百三十萬圓發行  
政府は五分利國庫債券(み號)六千二百三十萬圓を發行する

十日(日)

○宮中に結婚の御祝典舉行さる  
御大婚滿二十五年を迎へさせ給ふた兩陛下には、本日宮中に於て結婚の御祝典を擧げさせられた。式は宮中三殿に於ける銀婚御來會祭に始まり、神さびた神樂歌奏樂のうち目出度く終り、御式後兩陛下には各皇族以下文武臣僚二百五十名を召されて豐明殿に晴れの御祝宴を張らせ給ふた

○青島紡績罷業漸く解決  
青島の紡績罷業は日支調停者の奔走に依り會社、罷工兩者の互譲に依り解決し、本日より就業した

十一日(月)

○軍部俱樂部及中正會、政友會に合同  
政友會より田中、野田正副總裁、望月、東代議士その他出席、革新俱樂部より犬養、古島、濱田の諸代議士、中正會より若尾、若宮兩代議士出席して芝三線亭に三派懇親會を開き、革新俱樂部と中正會は解消して政友會に合同する件を決議した。このため革新俱樂部より十八名、中正俱樂部より十一名その他政友本黨、無所属よりの合同者を加へて政友會

十萬圓を左の條件で發行した

○價還期限五年期後五十年内  
○フロリダ州議會、排日決議案を可決  
北米合衆國のフロリダ州議會下院はフロリダ州憲法を修正して同州に於ける日本人の土地所有を禁止すべしとの決議案を満場一致可決した

九日(土)

○御大婚紀念として百萬圓下賜  
長き連りでは御大婚二十五年紀念として男女青年團體及び植民地關係の教化事業御獎勵の恩召しを以て左の如く百萬圓下賜の御沙汰あらせられた

○男女青年團體へ 七十五萬圓  
○植民地關係教化事業へ 二十五萬圓

○農林省は農村の副業を奨励する目的を以て法人又は組合に對し獎勵金を交付するため、四ヶ條の同獎勵規則を制定公布した

○電話特別開通規則の公布  
逓信省は擴張費二億五千萬圓を投じて加入者二十六萬八千餘名、市外線約一萬九千餘里を架設することとなつたが、震災後財政緊縮によつて公債財源を打切るの止むなきに至つ

所屬代議士は百三十九名となつた

十二日(火)

○日銀貸出二億圓を制限  
日本銀行の貸出總高は一億九千六百萬圓となつて二位圓を割り、兌換券發行高も十一億五百萬圓と、これも十一億圓を割る形勢を示した。これは震災後の最低記録である

○指田義雄、帝國電氣社長に就任  
帝國電氣會社は東京丸の内帝國鐵道協會に臨時株主總會を開き取締役一名の補缺選舉を行ひ指田義雄が當選、更に重役互選の結果、取締役社長に指田義雄が就任した

十三日(水)

○日露通商條約批准  
前年十月八日メキシコに於て署名調印された日本國メキシコ國間通商航海條約は、本日批准を了した

○烈風中の熊谷町大火と火保損害高  
本日午前二時埼玉縣熊谷町辨天町料理店多田屋裏から發火し折柄の烈風に煽られて四方に延焼し目貫の場所に於て全半焼一千戸を出し同五時三十分鎮火した。このため列車の延着、不着等續出し、行田線、信越線、秩父線は不通となつた。なほ各保險會社損害總額は

たため自給自足の趣旨により、電話開通に要する費用の大部分は加入者の負擔とする計畫を樹て、これに基き新たに電話特別開通規則を制定公布した

○美濟信託會社の創立  
同社は資本金三千萬圓を以て設立され、大阪商會所創立總會を開き左の重役を選任した

○取締役安田善次郎(社長)、濱崎定吉、岡部保(以上常務)、橋本重幸、渡邊千代三郎、毛戸勝元、川西清兵衛、飯田新七、瀧定助、橋本圭三郎、藤山常太、結城豊太郎、監査役安田善四郎、長松篤榮、田中市藏、太田清藏、山内誠太郎

○九州電氣會社の創立  
同社(資本金一千萬圓)は、東京丸の内工業俱樂部に創立總會を開き、左の役員を選任した

○専務取締役堀内秀太郎、取締役藤山常一、田中徳次郎、山口恒太郎、大谷教、木村平右衛門、梅谷清一、阿部八次、東村正雄、笠原寛太郎、大和田市郎、監査役小倉正恒、松永安左工門、柳橋琢之助、上野山重太夫、藤左吉、相談役伊丹彌太郎、麻生太吉、堀



七十八萬餘圓。各社別次の如し(單位圓)

- ▽帝國火災七四、〇〇〇▽太平火災一二四、〇〇〇▽共同火災二〇一、八〇〇▽横濱火災四六、五〇〇▽新日本一一八、五〇〇▽千代田火災一、五〇〇▽東洋火災一、五〇〇▽帝國海上八、二〇〇▽中央火災一一、〇〇〇▽富國火災二六、〇〇〇▽豊國火災五六、五四〇▽神戸海上五六、三〇〇▽大成火災三〇、〇〇〇

◆金庫法案、本閣兩院を通過

本日衆議院を通過した金庫出解法案は本日本院の第三讀會を通過した

十四日(木)

◆農林省は農林の共同處理獎勵に關する規則を公布した

十五日(金)

◆樺太の日露電信連絡開始

大正九年以來不通となつてゐた樺太の日露電信連絡線は本日再開され、當分の内線領北

樺太亞港に發着する外國電報に限り取扱ふこととなつた

◆全國モス同盟會、五割増進を決議

全國モス同盟會は名古屋商業會議所に委員會を開き、關井、徳島、京都、大阪、東京、遠州の各地方會社代表十五名出席、五割増進及び買付け原系に對し向ふ三ヶ月間取引を延期する件を決議した

◆伊太利皇太子、日本に向はせらる

伊太利皇太子フムベルト殿下はボナルデイ提督を從へさせられ本日ローマ御出發、日本に向はせられた

◆イタリヤ婦人參政權、下院を通過

婦人に市會議員の選舉權を與ふる法案はイタリヤ下院を通過した

十六日(土)

◆東京市の地下鐵道免許を申請する

東京市から敷設免許を申請してゐた地下鐵道は免許狀を下附された。延長哩程四一マイル四〇センチ、建設費一億八千七百二萬圓である

◆大同電力社債一千萬圓發行

同社は興銀、三菱、十五銀行引受の下に左の條件で社債一千万圓を發行するに決定した

▽利率七分五厘▽發行價格額面▽期限五ヶ年隨時償還▽拂込六月十五日▽利拂期日六月、十二月

◆名古屋米穀取引所の増資認可申請

同取引所理事長高橋正彦は商工省に出願し現在資本金百三十萬圓を二百萬圓に増資の認可を申請した。理由は市區改正のため市場が削られ狭隘となるので取引所移轉の必要に迫られ、新たに倉庫兼營を計畫してゐるためである

十八日(月)

◆種牡牛馬設置獎勵規則の制定

農林省は農村振興策の一施設として大正十四年度豫算に種牡牛馬設置獎勵費六萬一千五百二十五圓を計上し、同獎勵規則を制定公布した

◆濱濱市に社會事業施設費二十一萬圓交付

復興局は濱濱市に對し社會事業施設費國庫補助として二十一萬圓を大正十四年度及び大正十五年度に於て交付の旨指令を發した

十九日(火)

◆北樺太に帝國總領事館設置

外務省は帝國總領事館をソヴエート社會主義共和國聯邦アレクサンドロフスク(北樺太)

に設置し本日より開始した旨告示した

二十日(水)

◆英國の絹物製造業者の強硬な反對に鑑み新豫算に於て設定した絹物課税を軽減するに決定した旨公表した。即ち生糸は一ポンドに就て四志から三志に引下げられ、天然屑絲は一志六片から一志に引下げられ、織糸の税率も軽減された。なほ絹を含む精巧製品中絹糸二割以下を含むものの従價税率は三割三分三厘から一割、絹糸五分以下なるものの税率は二分に引下げられた

二十一日(金)

◆臺灣の所得稅減額

臺灣所得稅令中改正の件は本日の閣議で決定したが、之は臺灣總督府管下第三種所得稅の免稅點を従来の内地同様八百圓から一千五百圓に引上げ、家族控除額二千圓未満を百圓三千圓未満を七十圓とするもので、之による總督府の減收は年額約五六十萬圓である

二十二日(土)

◆國勢、失業兩調査の施行規則公布

本年十月一日行はれる第二回國勢調査及び失業統計調査に關する國勢調査施行令(全二

十三ヶ條)並びに國勢調査施行規則(十五ヶ條)其他失業統計調査令(二十三ヶ條)失業統計調査施行規則(六ヶ條)は本日の官報を以て公布された

◆日本無線電信會社設立委員發表

無線電信會社設立委員は委員長金子爵澄澤榮一、副委員長男爵中島久萬吉以下各委員が決定發表された

◆但馬地方の地震

本日前十一時十分頃但馬地方に最大震幅三十八ミリ(一寸二分)の地震があつた。震源地は大阪を去る三十里、但馬の南東で、このため豊岡町は倒壊家屋七百戸を出し、六ヶ所から起つた火災のため一千五百戸焼失、死者六十二名、負傷者三百名を出し、近くの城崎温泉では七百戸の倒壊と五百餘名の死傷者を出した。又、山陰線下り姫路發城崎行五〇三列車は豊岡城崎間に立往生、玄武洞にも列車が立往生し、電信電話は全部不通となつた

二十四日(日)

◆秩父宮殿下、英國に御遊立

秩父宮殿下には、本日前九時五十分東京驛より臨時列車で横濱に向はせられ、閉院宮殿下を始め奉り一木宮相、宇垣陸相、財部海

相その他多數の人々の御見送を受けさせられ御召艦出雲に御乗艦、英國御留學の途に就かせられた。隨員は宮内省事務官子爵松平慶民、同伯爵前田利男、秩父宮御用掛渡邊八郎、陸軍歩兵大尉岡崎清三郎、侍醫寮御用掛中村順一の諸氏である

◆日本労働組合評議會の創立

日本労働組合評議會から除名された關東地方評議會所屬組合並に大阪、京都、神戸、中國各聯合會等三十組合の革新同盟第一回全國大會は神戸基督敎青年會館に於て開會、代議員百二十三名出席、大阪造船船務組合長野田律太を議長に推し、新に日本労働組合評議會を創立し、本部を大阪に置くことに決定した

二十五日(月)

◆五分利公債一千万圓發行

五分利國庫債券一千万圓は左の條件で發行された

▽發行價格額面に付九十圓▽額面種類二十五圓乃至一萬圓の七種▽償還期限大正二十六年三月一日迄十ヶ年九ヶ月▽利廻歩合六分五厘

◆海運界の實業家須田利信死去

元日本郵船副社長工學博士須田利信は肺疾



のため東京四谷聖町の自邸で死去した。享年七十。博士は明治十四年工部大學機械科卒業となり九年辭任、横濱ドック會社相談役となり、海運界に盡瘁し、又帝國飛行協會理事として創立當時より航空界に貢献するところ多大であつた。死去の懸天幕に連し従五位に叙せられた

二十六日(火)

富山米穀取引所に最後の通告  
商工省は富山米穀取引所取引員金川商店の二百萬圓存行為善後措置に關し、同取引所に對し最後の通告を發し、若し業務刷新が實現されざる時は認可を取消す意向を示した

紡績製造會社の創立

神戸製鋼所の附属紡績工場を分離獨立せしめて資本金二十萬圓の紡績製造會社(後に東亞金屬工業會社と改稱)が設立され、本日創立總會を開き左の役員が選任された

取締役 役田宮喜右衛門、松尾忠二郎、古知幸次郎、淺田長平、中根一二三、監査役 中野和夫

南滿洲製糖會社支那人社員選任の要請

南滿洲製糖會社の支那人社員七十四名は日

本人社員同様に待遇を改善せよと要求してストライキを斷行した

二十七日(水)

但馬島嶼地に減免税内定  
大藏省は但馬の震災地に對し減免税を行ふことに内定した

品川銀行、品川銀行を合併

森村銀行(資本金百萬圓)は株主總會を開き、品川銀行(資本金五十萬圓)を對等の條件で合併する件を可決した。その結果品川銀行頭取杉浦作次郎が顧問として森村銀行に入り、他の品川側重役は全部辭任することとなつた

日本毛織五千萬圓に増資

同社(資本金二千萬圓)は神戸の本社に於て臨時株主總會を開き事業の擴張に伴ひ三千萬圓を増資し資本金五千萬圓となす件を可決した

二十九日(金)

青島の紡績製造に運搬機出動

青島に於ける紡績職工の罷業が暴動化したので、旅順より棒、棍の兩軍運搬機が居留民保護のため青島に出動した

臺灣セメント株式會社三百萬圓發行

同社は定時總會を開き借入金整理のため社債三百萬圓を發行する件を可決した

青島紡績業者、外相に陳情

青島邦人紡績業者代表は外務省に幣原外相を訪問して、被害の實情につき陳情し罷工暴動の鎮壓方に関する盡力を依頼した

沖電氣五百萬圓に倍額増資

同社(資本金二百五十萬圓)は臨時株主總會を開き、二百五十萬圓を増資して資本金五百萬圓となす件を可決した

青島の罷業再發に支那武力行使

青島に於ける紡績職工は再度罷業し、その不穏な行動に就き我總領事館からの數回に亘る取締要求と、張山東督辦よりの嚴命により青島支那官憲は戒嚴司令部所屬陸兵一營、渤海艦隊陸隊一營、騎馬隊員百、保安隊員一千及び警官隊等を加へ青島全部の武力を擧げて各工場を包圍し、罷業職工に退場を迫り、大日本紡、日清紡の職工は素直に退場したが、内外綿の職工は應ぜざるため發砲し死者二名、重傷者五名、輕傷者數十名を出して退場せしめ、首魁者を逮捕した

三十日(土)

安達謙蔵、逓信大臣に就任

逓信大臣安達謙蔵、その後任として安達謙蔵が親任された

新交渉團體新正俱樂部組織の目的

政黨を超越して公平な意見を發表する目的を以て新交渉團體新正俱樂部は東京丸ノ内日本工業俱樂部に發台式を擧げ、長岡外史を座長に推し、左の聲明書並に規約を可決、幹事 林田龜太郎、高島順作、湯淺凡平、石坂豊一、永田新之允の五氏を選任した

聲明書 衆議院における多年の慣例に従ひ中正俱樂部、革新俱樂部並に無所属の有志議員は其職責を全うせんがため相關りて其所屬の母體を存置し別に一個の交渉團體を組織す

吾人は各自自由意志を尊重しその所見を主張すべき機會の均等を得せしめて敢て拘束する所なく而も大義を尙び名分を重んじ國家及び國民を本位として黨政の發達に貢獻せんことを期す

日本電力株式會社一千萬圓發行

同社は株主總會に於て社債一千萬圓を住友銀行外一行引受の下に左の條件で發行に決定した

▽利率年七分五厘▽發行價格額面▽期限二

ヶ年据置後三ヶ年間に償還▽拂込期日七月十日▽賣出六月十一日より十五日迄

臺灣製糖株式會社一千萬圓發行

同社は三井銀行引受の下に左記條件で社債一千萬圓を發行することに決定した

▽利率年七分五厘發行價格九十八圓▽償還期限二ヶ年据置後三ヶ年隨時償還▽申込六月十五日より二十日迄▽拂込七月二十日▽利率七分五厘五毛

第二重演電力株式會社の設立

同社は資本金五百萬圓を以て設立され創立總會を開き左記重役を選任した

▽取締役 若尾義造、上野吉二郎、佐々木久二、笠原忠造、大隈忠三郎、尾尻福太郎、高橋虎太、山本栄太郎、越山太刀三郎、丸山盛雄▽監査役 小川修平、村井眞雄、若尾璋八

上海で支那大學生警會に射撃さる

上海の内外綿罷業を應援した上海、文治兩大學々生六名を共同租界工部局が逮捕して公判に附したところ、兩大學々生が主となり、釋放運動を起し、帝國主義打倒、不平等條約撤廢を絶叫して不穩の形勢を示したので工部局の警官は威嚇のため發砲し、學生側は死者

六名、負傷者多數を出した

三十一日(日)

上海全市の罷業と要求六ヶ條

前日の學生警官衝突事件に就き總商會、商會聯合會、學生聯合會、各馬路聯合會の四團體は本日左記六ヶ條の要求を提出し、工部局が容れざる場合は六月一日から全市ストライキを執行するとの決議をなした

▽工部局警察署の謝罪▽下手人の懲罰▽賠償金の支拂▽碼頭税(波止場税)の廢止▽印刷法案の撤回▽會審衙門の回收

東洋製糖株式會社(資本金百五十萬圓)は對等條件で臺灣製糖會社(資本金百五十萬圓)を合併し資本金三百萬圓となつた(日不詳)

【六月】

一日(月)

五分利國庫債券三千四百四十萬圓發行

政府は第二十四回五分利國庫債券三千四百四十萬圓を左の條件で發行した

▽發行價格九十一圓五十錢▽利率六分三厘餘▽償還期限大正二十五年三月一日▽參面種類五百圓、一千圓、五千圓、一萬圓



東邦證券會社の設立

東邦證券會社(資本金一千萬圓全額拂込済)は、東邦電力會社の分身として同社の有價證券の處理並にこれに附帯する業務を營む目的を以て設立され、日本工業俱樂部に於て創立總會を開き左の重役を選任した

▽取締役井手第一(事務)、鈴木春、内藤熊喜 若麻安治▽監査役各務幸一郎、伊丹彌太郎、松永安左工門、田中徳次郎

上海租界に戒嚴令が布かれた

上海全市に亘る罷業は暴動化し形勢不穩のため上海租界に戒嚴令が布かれた

上海全市の支那商店罷業

上海全市に亘る支那商人の同盟罷業は今朝より實行された。各商店とも戸を閉し表戸には「民衆運動會、持久力戦せよ」と大書して貼出し形勢險惡を告げた

奉天各會社の支那労働者罷業

上海に呼應する奉天の罷業は各會社に波及し、邦人經營會社のみならず外人側請工場にも勃發するに至つた

上海學生聯合會の決議

上海の學生聯合會は中央公園に大會を開き逮捕學生授勳、全國租借地取消し、領事裁判

權及び各地租界會審衙門取消等を決議した 二一日(火)

日本陸軍隊、上海に上陸

上海の罷業に伴ひ、形勢不穩のため日本陸軍隊四十名は上陸警備に當ることになつた

京都市中央卸賣市場の設立認可

魚類、肉類、鳥類、卵、蔬菜、果實等の取扱販賣を目的とし建設費四百二十萬圓を以て設立申請中であつた京都市中央卸賣市場は、商工省より設立を認可された

上海租界、交際狀態に入る

今朝上海の南京路、西藏路租界内に武器を所持する學生團潛入、警備中の英國自衛團と衝突して相互に發砲、自衛團員二名即死した外多數の負傷者あり、南京路一帶は交際狀態に入つた

内外總罷工、日本總連に舉行

上海の内外總、同興紡工場の職工等がピラを撒かんとしたので、日本人巡查探時某がピラの内容を訊問したところ彼等は同巡查に暴行を加へた上河中に投げ込んだため同巡查はピストルを放ち一名を即死せしめ三名の負傷者を出した

上海暴動激化と伊米兩國陸軍隊上陸

上海の暴動は形勢益々不穩を告げ、日本人中舉行を加へられたる者多數に上り、尙擴大の形勢にあるため領事團は列國海軍司令官と協議の結果、イタリ一陸軍隊五百名、米國陸軍隊五十名上陸、日本人其他外國居留民の保護警戒に當つた

北京大學の學生は上海事件に關し大會を開き、左の決議をなした

一、不平等條約廢止に努力す 一、日英兩國に對し經濟絶交をなし、その在留民に糧食物を供給せず 一、兩國銀行預金を即時引出し紙幣を使用せぬこと

三一日(水)

類似金融業者に營業禁止命令

大藏省は、類似金融業者左記三十六社に對し業務停止を通告した

▽帝都保全▽三陽商會▽東京金融組合▽利殖保全匿名組合▽關東拓殖商會▽帝都復興共濟社▽三河屋商會▽日本勸業相互社▽第一相互利殖▽商光合資▽東洋殖産▽丸菱合資▽東京恒産▽相互金融▽日本共榮興業▽實業商會▽東京相互▽共濟相互▽日本共殖

天津の學生團は南海大學校庭に集合し、上海日英領事の更迭、日英政府の謝罪要求他六ヶ條の決議をなし、張作霖に面會陳情せんとしたが、張作霖は面會を避けた

上海の支那巡捕、罷業に参加

共同租界工部局所屬の下級支那巡捕中無届缺勤者四百名に達した。租界支那巡捕總數の約二割弱が罷業に参加した譯である

六日(土)

住友信託會社認可可さる

大阪の住友財閥は大藏省に對し、資本金二千萬圓の住友信託會社設立を申請中のところ本日認可された

七日(日)

我が國運籌團上海に發行

上海における罷業は、漸次暴動化して地域益々擴大し、在支警備隊のみを以てしては萬全を期する能はざるに至り、佐世保鎮守府は、暴に軍艦龍田を派遣したが、本日更に第七驅逐隊、菱、蘆、蘆の四艦を上海に發行せしめた

新高値を出現した。これは大正十年以來の最高値である

天津の學生團は南海大學校庭に集合し、上海日英領事の更迭、日英政府の謝罪要求他六ヶ條の決議をなし、張作霖に面會陳情せんとしたが、張作霖は面會を避けた

上海の支那巡捕、罷業に参加

共同租界工部局所屬の下級支那巡捕中無届缺勤者四百名に達した。租界支那巡捕總數の約二割弱が罷業に参加した譯である

六日(土)

住友信託會社認可可さる

大阪の住友財閥は大藏省に對し、資本金二千萬圓の住友信託會社設立を申請中のところ本日認可された

七日(日)

我が國運籌團上海に發行

上海における罷業は、漸次暴動化して地域益々擴大し、在支警備隊のみを以てしては萬全を期する能はざるに至り、佐世保鎮守府は、暴に軍艦龍田を派遣したが、本日更に第七驅逐隊、菱、蘆、蘆の四艦を上海に發行せしめた

▽井筒屋金融▽産業貯金▽常盤屋合資▽常盤合名▽第二王子興業▽田川殖産興業(以上東京)▽第一相互組合▽日本不動利殖▽浪花商會▽相互利殖組合▽日本證券▽日の丸相互組合▽大阪屋商會▽朝日相互社▽東洋貯蓄證券社(以上大阪)大正商會名(岡山)報國公債(神戸)

東京市、交通調査を施行

東京市では八千八百八名の調査員が出動し午前六時から午後六時迄全市に亘り交通調査を施行した

上海の日本人支那暴徒に殺害さる

今朝上海の楊樹浦監獄附近で日本人三名が支那暴徒のため殺害された

支那各地罷業煽動者の正體判明

上海の罷業暴動事件の背後には青島、滿洲漢口等の事件に連絡を有する反帝國主義聯盟の策動があり、共產主義を奉ずる馮玉祥及びその部下の國民軍がこれを後援し、張作霖を打倒し更に英、米、日、伊の勢力を驅逐せんとする計畫であることが明瞭になつた

上海學生團五萬人の示威運動

上海の南市街に於て學生團百團體五萬人の示威運動起り激烈なる文句を記した旗を押し立て「日英人は降伏せよ」と記したピラを撒布しつゝ、約二時間に亘り各方面を行進した

四日(木)

住友肥料製造所の組織變更

住友合資直營の住友肥料製造所(住友化學工業の前身)は組織を變更して、資本金三百万圓の株式會社に改め、左の重役を選任した

▽取締役小倉正恒(會長)、梶浦謙次郎(常務)、松本順吉、岡田宇之助、日高直次▽監査役草鹿丁卯次郎、本莊熊次郎

上海の罷業擴大す

上海の罷業は益々擴大し、絹絲紡績の二千七百人、工部局土木課の苦力一萬餘人を初め諸種外人會社使用支那人約二千五百名も参加し、各家庭のボーイ、子守女にも宣傳の手が延びた

我が紡績工場を休業

上海暴動のため内外總、大日本紡績、日華紡績、上海紡績は三日の夜業から全部工場を閉鎖し、豊田紡績、東華紡績、鐘ヶ淵紡績の各工場は本日その一部を閉鎖した

五日(金)

期米は奔騰し先物相場は四十三四十五錢の



◇支那側の罷業解決條件

各地商總會聯合會及び學生組合の代表者等は、上海支那商總會に會合して十ヶ條より成る決議案を可決し、北京政府の派遣せる實地調査委員に提出した。その主なる條項は左の如し

- (一)戒嚴令の撤廢(二)外國陸軍隊の引上げ
- (三)逮捕學生及其他全部の釋放(四)占領中の各學校を返還すること

◇支那學生代表、張作霖と會見

支那學生代表は曹家花園に於て張作霖と會見して上海事件に就き泣訴し、張作霖は責任を以て善處する旨回答した

八日(月)

◇但馬震災地に低資三萬圓融資

兵庫農工銀行の大谷頭取は但馬震災地救済資金として預金部へ低利資金三萬圓の融通方を陳情中のところ、大藏省は運用委員會の諮問を経て上貸付に内定した

◇上海の罷業緩和、支那職工の一部復業

上海に於ける各種工場、罷業職工は約十工場復業し、ホテルその他の商人も開店する者が漸次増加した

九日(火)

◇北京日本記者團の對上海事件決議

在北京日本記者團は上海事件に關して左の宣言を決議した

在北京日本記者團は、日本政府が上海事件に對し、積極的同情の態度を以て努めて支那側の主張を聞き、必ずしも所謂列國協調主義に提はれず、速かに公正なる解決を圖るに努力せんことを希望す

十日(水)

◇日銀、龍口銀行に五萬圓を融通救済

政府は大連の龍口銀行救済のため日本銀行をして五百萬圓を融通せしめることとなり安田銀行を經由して貸付けることに決定した。之は滿洲に於ける財界救済が主たる目的であり、左の二條件が附せられた

一、龍口銀行を安田系の正隆銀行に合併すること

一、東洋折衷會社の龍口銀行に對する債權取立ては猶豫すること

十一日(木)

◇大連港規則の公布

關東廳令を以て大連港規則(六十九條)を公布、六月一日より施行の旨發表された

十三日(土)

◇種牡馬貸付規則の公布

同規則(十九ヶ條)は農林省令を以て公布された

◇種牡牛貸付規則の公布

同規則(十四ヶ條)は農林省令を以て公布された

◇但馬震災地の減免稅決定

大藏省は但馬震災地に對し減免稅を實施することに省議決定した

◇大藏省、銀行減配勸行を通達

大藏省は全國の銀行に對し自發的に減配を勸行するやう勸告の通達を發した

◇支那暴徒、九江の日本領事館を破壊

九江に暴動起り、日英兩國領事館は本朝學生を交へた暴徒のため破壊され、臺灣銀行支店も襲はれたため驅逐隊から陸軍隊五十名上陸警備についた

◇廣東大混亂に陥り火災起る

許崇智軍が進軍して白雲山下に迫つたため雲南軍は大敗して廣東市内は大混亂に陥り、英佛の陸軍隊は上陸して租界を警備したが、市内各所に火災起り火災天に沖した

十四日(日)

◇九江の日本婦女子艦内に避難

九江の暴動悪化し、租界外の邦人は全部租界内に避難し領事館の御影は驅逐隊に率運されたが、市内電話線は切斷され、流言甚しきため婦女子は驅逐艦に收容された

◇支那政府、外人保護令を發布

上海事件は漢口、九江各地に飛火し形勢日に日に悪化するので、支那政府は外人保護令を全國に通達し、愛國熱に驅られて常軌を逸し暴動を起さざるよう警告し、なほ軍民長官に宛て秩序の維持、外人の生命財産保護を怠る勿れと訓電した

十五日(月)

◇幣原外相、北京政府へ抗議

上海事件に次いで九江事件起り、不祥事類發して、在留民の生命財産は危険に曝されてゐるため、幣原外相は芳澤駐支公使に對し、支那官憲の責任を糾弾する嚴重なる抗議を北京政府に提議するやうに訓電を發した

◇帝國人遺精總五萬圓に増資

資本金百萬圓の帝國人造精糖會社は四百萬圓を増資して資本金五百萬圓とし、舊一株に對し新四株を割當てるに決定した

十六日(火)

◇政府の米價調節聲明と米價の暴落

政府が米穀委員會に於て古米、雜米十八萬餘石不賣却の意を聲明して以來米價は逐日昂騰し、十五日深川正米市場に於ける標準米中値は四十三圓三十錢の高値を唱へるに至つたので、三土農林次官は米價調節方針を聲明した。そのため米價は俄然反落して四十二圓三十錢を唱へた

十八日(木)

◇臺上臺下の御近狀を發表

臺上臺下の御近狀に就き「概して御變りあらせられざるも連續せる御發言には御困難と拜す」の旨宮内省より發表された

十九日(金)

◇五川電鐵一千二百五十萬圓に増資

同社(資本金五百五十萬圓)は定時株主總會を開き七百萬圓増資して資本金一千二百五十萬圓となす件を可決した

十九日(金)

◇上海罷業中止と善後策決議

上海總商會は各實業團體代表百十名會同協議の結果、二十一日から罷業を中止し一般に

開市すると同時に左記三項の實行を決議した

一、南京路事件交渉條件十三ヶ條の目的を達するまで對英經濟絶交

二、内外紛争事件解決まで對日經濟絶交

三、罷業者救済資金の募集

二十日(土)

◇臺灣民林業補助規則の公布

臺灣民林業補助監督事業費補助規則(三ヶ條)は總督府令を以て公布された

◇滿鐵社債一億圓發行に決定

滿鐵は定時株主總會を開き社債一億圓を發行することに決定した

二十一日(日)

◇鐵道線の新線開通

省線豫豫線伊豫大井、菊間間の新線は本日運輸營業を開始した。新線は伊豫龜岡(大井より三マイル五分)菊間(龜岡より二マイル五分)である

二十二日(月)

◇東京市電氣局、自動車道を新設

同局では職制の一部を變更し、新に自動車道を新設した

◇香港に罷業飛火し戒嚴令布かる

支那各地に惹起せる罷業が香港に蔓延擴大



の光があるので英國政府では戒嚴令を布き義勇隊を召集した。又輸出制限令を公布し米穀、麥粉、雜糧、五升以上の金銀地金、五升以上の銀行券の輸出は民政長官の許可を要することとした

二十三日 (火)

東邦電力外債三十萬圓成立

英國貿易助成法による東邦電力社債契約はシー・ヴィ・セールが東邦代理人となり英國大蔵省との間に調印を終つた。條件左の如し  
▽發行總額金三十萬ポンド▽利率年五分▽期限五ヶ年据置十五年償還▽發行價格九十七▽券面種類五百ポンド、一千ポンド

二十四日 (水)

支那政府、不平等條約修正を要求

支那政府は左の如き不平等條約の修正を北京公使團に要求した

- 一、領事裁判權の廢止
- 二、外國租界の回收
- 三、租借地の返還
- 四、關稅條約の改正

二十六日 (金)

漁業共同施設獎勵規則の制定

農林省は漁村振興のため、漁業共同施設獎勵規則を制定した

勵規則を制定し日本の官報を以て公布した。獎勵費算は三十萬圓である

北東學生の帰郷、英國に當中

廣東事件で學生等は再び激昂し、排外運動は英國のみに對して集中される傾向を示したが、北京各學校代表者は、本日左の決議をなした

- 一、英國公使に對し嚴重なる抗議を提出すること
- 二、公使團との交渉に反對して英國政府と直接上海事件の交渉をなすこと
- 三、英國政府に不平等條約修正を四十八時間以内に回答を求め、然らざれば即日國交を斷絶すること
- 四、胡漢民氏に照會すると共に代表を廣東に派し事件の真相を調査すること

二十七日 (土)

稅制整理調査會の幹事會決定

稅制整理調査會幹事會は社會政策を加味した稅制整理を行ふ方針により左記具體案を決定した

- 一、所得稅の免稅點引上げ
- 二、所得稅の累進稅率改正
- 三、相続稅の稅率引上げ

四、綿織物消費稅、醬油稅、賣藥印紙稅等の廢止

五、資本利子、家屋所得に對する重課、その他化粧品稅、清涼飲料水稅等の新稅設定

日本石油社債七百萬圓發行

同社は株主總會を開き、左の條件で社債七百萬圓を發行するに決定した

▽發行價格九十八圓五十錢▽償還六ヶ年以内隨時償還▽引受銀行三井、第一

二十八日 (日)

旭シルク商會の組織變更

同商會は從來合資組織であつたが、資本金百萬圓の株式會社に組織を變更し、左の役員を選任した

▽社長齋藤市太郎▽事務取締役小田萬藏▽常務取締役西橋元男、藤村盛時▽取締役河野壽市、三本光男、西村勇作▽監査役前川祐三、筒井直太郎、小泉宗三

二十九日 (月)

朝鮮に植桑獎勵補助規則を公布

同規則(五ヶ條)は朝鮮總督府令を以て公布された。桑樹の栽培を普及獎勵するに當り補助金の交付條件等を定めたものである

東海銀行頭取に加納友之介就任

東海銀行頭取は役員中のところ加納友之介が推選され就任を受諾した

正隆、龍口兩銀行合併に決定

正隆、龍口兩銀行の合併問題に關しては、龍口銀行の債權者たる東拓の態度が注目されてゐたが、東拓が龍口に對する融資二百五十萬圓の金利年一分二分とし、十箇年据置とすることに同意したので、兩行の合併は確定した

三十日 (火)

勸業、農林、北海拓殖の貸付利率變更

勸業、農林及び北海拓殖は今朝貸付利率を左の如く改訂發表した

▽日本勸業銀行 田畑豊田山林擔保の貸付 漁業權を抵當とする貸付、十人以上連帯の貸付、年賦七分七厘、定期八分(前期に比し各一厘の利下げ)▽大券收入金に依る貸付、各種財團及び宅地建物抵當の貸付並に宅地目的の耕地整理組合貸付、年賦八分七厘、定期八分七厘(前期に比し各一厘の利下げ)

▽北海拓殖銀行及び各府縣農工銀行 従來最高九分五厘の利率を二厘引下げ最高九分三厘とす。但し宮城、福島、岩手の東北三

縣に對する貸付は一厘引下げとす

住友會社、日出生命保險を買収

住友會社(資本金一億五千萬圓)は臨時總會を開き日出生命保險會社(資本金百五十萬圓)の株式全部を買収して、住友銀行及び近く成立せんとする住友信託會社と提携せしめ、直轄事業に保險事業を加へることとなつた。尙日出生命は取締役の改選を行ひ左の如く決定した

▽事務取締役國府精一▽取締役中田錦吉、湯川寛吉、小倉正恒、福島行信、橋本重幸  
▽監査役植野繁太郎、吉田良春、今村幸男

濃原銀行、鐵道銀行を合併

吳市の濃原銀行(資本金五十萬圓)は株主總會を開き廣島市の崇徳銀行(資本金四萬二千圓)を合併する件を可決し、崇徳銀行を濃原銀行の廣島支店となすに決定した

日榮信託會社一千萬圓に減資

同社(資本金三千萬圓)は臨時株主總會を開き資本金を三分の一の一千萬圓に減資の件を可決した

臺灣鐵道會社四分の一に減資

同社(資本金二千二十五萬圓)は鐵道協會に定時總會を開き一千六百一萬五千六百五十

圓を減資して資本金を四百二十三萬四千三百五十圓(拂込濟資本の四分の一)となす件を可決した

東東聯合自動車、二社を合併

同社(資本金六百萬圓)は實用自動車(資本金百二十五萬圓)及び第二實用自動車(資本金百二十五萬圓)を合併、二百四十五萬圓を増資した(日不詳)

【七月】

一日 (水)

朝鮮銀行、金勘定取扱方法を變更

同行は金勘定取扱方法を變更し、同時に日本銀行券との兌換拒絕を發表したため、金の當座を有する貿易商、金融業者及び支那人錢莊等は驚耳に水の大狼狽を演じた

東洋一鐵道引員委員會の役員決定

同所一般取引員委員會は、委員長及び副委員長の互選をなした結果、委員長に徳田昂平副委員長に堀川忠三郎が當選した

支在紡績組合、支那職工解雇を開始

同組合は罷業對策に就き協議の結果、職工組合たる工人會を承認せざる限り職工側は到底復業の見込なきため、各社共職工の解雇を